



Keijyu Healthcare System

2020

# 業績集

The collection of achievements

社会医療法人財団 董仙会  
社会福祉法人 徳充会

Vol.23 june,2021



2020年 [令和2年]  
**業績集**  
The collection of achievements

単年度方針

# 一歩前へ！



## 2020年度けいじゅヘルスケアシステム業績集発刊にあたって

2020年度は年度を通じて、全国で、けいじゅヘルスケアシステムで、したたかな新型コロナウイルス感染症に翻弄された年であった。病院、クリニックの外来、さらには通所介護系施設においては5月を底に、空前の患者・利用者減を見、また同時期の手術や検査を感染防止の観点から制限した。全体の患者・利用者動向は、感染の第1波、第2波、第3波の蔓延に比例して、年度末まで大きな影響を受けた。

また、患寿総合病院では、発熱者に対応するためにプレハブ診察室を5月早々には立ち上げ、まずは既存のLAMP法によるウイルス定量検査を、さらに年度後半には入手に難渋した新鋭PCR機器を導入して、迅速なウイルス定量検査を開始した。また、県行政の求めに応じてコロナ患者用病床を確保し、実際には12月からコロナ感染患者の受け入れを開始した。

この間、いずれの病院並びに施設からも、職員の感染、クラスターを発生させなかった。このことは、職員の自覚と緊張感の現れとして誇りたい。また、年度前半には不足する防護具（PPE）の確保と年度を通じて複雑な行政文書を読み込み丁寧な補助金・支援金の申請にかかわった本部職員の活躍も誇りに思いたい。

このようなコロナ禍の中、TQM発表大会や各種研究会・研修会など、さらには夏祭り、交流会などのイベントも中止に追いやられた。しかしながら、コロナ禍は働き方やDXを一気に推し進めてくれた。6月からはオンライン面会サービス、来院前AI問診サービスを導入したほか、院外はもとより院内・法人内の会議、委員会、カンファレンス等もオンライン化が進み、年度内に2回開催したTQM発表大会もバーチャル大会となった。また、オンライン病院見学は、地元の七尾高校、羽咋高校、門前高校の生徒を対象とした「医療へのいざないオンラインツアー」の開催や他病院からの見学依頼に対応した。さらに、リクルートのための会社説明会、面接（試験）、内定者の集いや監査法人による法定監査、PET-CT更新をはじめとする新規大型医療機器導入等にかかる商談までもオンラインで行った。

このように、2020年度法人方針“一歩前へ！”を、否応なくオンライン化という道具で進めることとなった。この経験が、“築け 未来を！～レジリエンス（困難から回復する力）を發揮せよ”という2021年度計画につながり、今年度から始まる2021-2023中期事業計画につながるものと確信する。



令和3年6月吉日

けいじゅヘルスケアシステム 理事長

神野 正博

# いつでも 誰でも たやすく

安心して診療を受けられる病院にする。

人命尊重、心身の健康第一の立場に立ち、職員が一体となって地域住民の健康維持（予防、診療、リハビリテーション、介護）に努めると共に、地域の中核医療施設として、社会、経済、文化の発展向上に貢献します。

## 信頼の心

私達は、患者・利用者の皆様の権利を尊重し、信頼される質の高い医療により、地域に貢献します。

## 思いやりの心

私達は、思いやりのある病院・施設づくりに努めます。

## 健全な経営

私達は、収支構造の安定した病院・施設を維持します。

## 職員の健康と幸せ

私達は、董仙会の発展を通じ、職員の健康と幸せを築きます。

# 目次

発行にあたって  
創業精神・基本理念  
目次

## 第1章

### 法人概要・組織図

8	董仙会 概要・施設・沿革
9	董仙会 組織図
10	董仙会 本部会議・委員会・人員の構成
11	董仙会 人員の推移
12	恵寿総合病院 概要・組織図
13	恵寿総合病院 会議・委員会
14	恵寿総合病院 施設基準等・学会認定施設
15	恵寿金沢病院 概要・組織図・会議・委員会
16	恵寿金沢病院 施設基準等・学会認定施設
17	徳充会 概要・施設・沿革
18	徳充会 組織図・会議・委員会
19	徳充会 人員の推移

## 第2章

### 法人方針・事業報告

22	2020年度 けいじゅヘルスケアシステム方針
23	TQM発表大会
24	事例研究大会
25	新聞掲載
26	来訪者一覧
27	董仙会中期計画 2018-2020
35	事業報告

## 第3章

### 医療部門 診療統計・医療の質

90	恵寿総合病院 外来患者数
91	年代別（男女別）外来患者数・救急外来患者数
92	紹介患者数
93	入院患者数
94	年代別（男女別）新入院患者数 平均在院日数・病床稼働率
96	手術件数
97	MDC別
98	疾病分類別患者数・年代別死亡退院患者数
99	疾病分類（中分類）別上位疾病
100	悪性新生物の国際疾病別退院数及び内死亡数
101	48時間以内死亡患者数
102	2020年度死亡要因上位件数（中分類） Quality Indicator

103	恵寿金沢病院 外来患者数・年代別（男女別）外来患者数
104	救急外来患者数・紹介患者数
105	入院患者数・平均在院日数・病床稼働率
106	年代別（男女別）新入院患者数・手術件数
107	疾病分類別患者数・年代別死亡退院患者数
108	疾病分類（中分類）別上位疾病
109	48時間以内死亡患者数
110	2020年度死亡要因上位件数（中分類） Quality Indicator

111	クリニック 田鶴浜診療所・鳥屋診療所
112	恵寿ローレルクリニック・恵寿鳩ヶ丘クリニック

## 第4章

### 介護・福祉部門 利用統計・介護の質

114	利用統計
115	各施設 Quality Indicator

## 第5章

### 研究・業績

134	論文・著書・インタビュー等
139	学会発表
145	講師・座長・パネリスト等
153	資格取得
157	公職
163	メディア出演

## 第6章

### KEIJU MONTHLY LETTER

168	2020年度 KEIJU MONTHLY LETTER
-----	-----------------------------

## 第7章

### トピックス(社会貢献)

182	董仙会トピックス（社会貢献）
184	徳充会トピックス（社会貢献）







第 1 章  
概要  
組織図

## 社会医療法人財団 董仙会 概要

所在地	石川県七尾市富岡町94番地
Tel	0767-52-3211 (代表)
Fax	0767-52-3218 (代表)
理事長	神野 正博
職員数	1,349名
入院ベッド数	515床
入所ベッド数	365床
総ベッド数	880床

## 董仙会 各施設概要

### 七尾地域

- 恵寿総合病院  
〒926-8605 石川県七尾市富岡町94番地
- 田鶴浜診療所  
〒929-2121 石川県七尾市田鶴浜町11番地1
- 恵寿ローレルクリニック  
〒926-8607 石川県七尾市富岡町95番地
- 恵寿総合病院訪問看護ステーション  
〒926-0867 石川県七尾市桜町12番地
- 介護老人保健施設 和光苑  
〒926-0853 石川県七尾市津向町1部107番地
- 介護老人保健施設 鶴友苑  
〒929-2121 石川県七尾市田鶴浜町11番地1
- ケアマネステーション恵寿  
〒926-8605 石川県七尾市富岡町94番地
- 小規模多機能型居宅介護事業所 けいじゅ一本杉  
〒926-0806 石川県七尾市一本杉町37番地
- けいじゅデリカサブライセンター  
〒929-2121 石川県七尾市田鶴浜町5部33
- 医療福祉ショップめぐみ・福祉用具レンタルステーション恵寿  
〒926-8605 石川県七尾市富岡町94番地
- 七尾看護専門学校  
〒926-0854 石川県七尾市なぎの浦156
- ベンリー 七尾店  
〒926-0867 石川県七尾市桜町10番地

### 中能登地域

- 鳥屋診療所 いきいき  
〒929-1704 石川県鹿島郡中能登町末坂2部60番地1
- 在宅複合施設 ほのぼの  
〒929-1704 石川県鹿島郡中能登町末坂2部33番地
- デイサービスセンター いこい  
〒929-1725 石川県鹿島郡中能登町東馬場ほ部18番地1
- 小規模多機能型居宅介護事業所 恵寿みおや  
〒929-1717 石川県鹿島郡中能登町良川か部44番地1

### 穴水地域

- 恵寿鳩ヶ丘クリニック  
〒927-0023 石川県鳳珠郡穴水町字妻ヶ浦15-39-8

### 金沢地域

- 恵寿金沢病院  
〒920-0910 石川県金沢市下新町6番26号

## 董仙会 沿革

- 1934年 神野病院創立 初代病院長 神野 正隣 (まさちか)
- 1964年 第2代病院長に神野 正一就任
- 1967年 第1病棟新築  
恵寿病院と改称。医療法人財団 董仙会を設立 (初代理事長 神野 正一)
- 1980年 第3病棟新築 (454床)
- 1982年 恵寿総合病院と改称
- 1984年 田鶴浜町の依頼で田鶴浜診療所開設  
社会福祉法人 徳充会を開設 (初代理事長 神野 正一)
- 1988年 鳥屋町 (現中能登町) の依頼で鳥屋診療所開設
- 1989年 老人保健施設「和光苑」開設 (新築として県初)
- 1993年 第3代病院長に神野 正博就任  
老人保健施設「鶴友苑」開設
- 1995年 第2代董仙会理事長に神野 正博就任
- 1997年 医療情報システム (オーダリングシステム) 運用開始
- 1998年 (財)日本医療機能評価機構より認定  
(200床以上の一般病院B・北陸初) Ver.3.1
- 1999年 鳥屋町 (現中能登町) 在宅複合施設「ほのぼの」運営受託  
特別医療法人認可
- 2000年 穴水町に恵寿鳩ヶ丘病院開設 (143床)  
第5病棟新築  
全国初の医療・介護コールセンターとして、けいじゅサービスセンター開設  
董仙会・徳充会を総称し「けいじゅヘルスケアシステム」と呼称  
全国初となる院内24時間コンビニエンスストアオープン  
鹿島町 (現中能登町) デイサービスセンター「いこい」運営受託
- 2001年 けいじゅ在宅総合サービスセンター開設
- 2002年 電子カルテシステム運用開始
- 2003年 セントラルキッチン「けいじゅデリカサブライセンター」開設  
厚生労働省臨床研修指定病院 (基幹型) 認定  
病院内に病児保育室「あんず」設置
- 2005年 (財)日本医療機能評価機構のリハビリテーション付加機能認定
- 2007年 けいじゅPET-CTセンター開設
- 2008年 職員宿舎「ピオラ」コニファー」新築  
第4代病院長に山本 達就任  
社会医療法人認可 11/1より改称(全国9番目)
- 2009年 けいじゅファミリークリニック開設  
けいじゅPET-CTセンターにリニアックセンターを併設  
恵寿鳩ヶ丘病院を介護療養型老人保健施設に転換  
(名称: 恵寿鳩ヶ丘)
- 2010年 七尾市内一本杉通り商店街に小規模多機能型居宅介護事業所  
「けいじゅ一本杉」開設
- 2011年 社会福祉法人徳充会・第二代理事長に神野 正博就任  
石川県地域がん診療連携協力病院に指定
- 2013年 恵寿総合病院本館 (223床) 新築  
恵寿総合病院80周年記念式典開催
- 2014年 電子カルテシステム更新  
(MicrosoftVDIによる、同時接続ユーザー世界最大)  
第5代病院長に山本 健就任  
中能登町に小規模多機能型居宅介護事業所「恵寿みおや」開設  
金沢市に「恵寿金沢病院」開設 (89床)
- 2015年 高齢者複合施設「ローレルハイツ恵寿」開設  
恵寿健康管理センター「人間ドック健診施設機能評価」認定  
病院外から電子カルテの閲覧、操作可能なリモートアクセスシステムを開始  
オンデマンド送迎サービス「楽のり君」開始  
本院3病棟6階に「Keiju Innovation Hub」開設  
「けいじゅ一本杉」内に「一本杉Café」を開設
- 2016年 恵寿総合病院「外国人患者受入れ医療機関認証制度」(JMIP)取得  
サービス産業生産性協議会 (SPRING) より「第1回日本サービス大賞  
総務大臣賞」受賞
- 2017年 パーソナルヘルスレコード (PHR) カルテを開始  
「第59回全日本病院学会 in 石川」開催 (学会長 神野正博)  
(公社) 日本デザイン振興会より「2017年度グッドデザインベスト100・  
特別賞[未来づくり]」受賞  
厚生労働省より「グッドキャリア企業アワード2017 イノベーション賞」受賞
- 2018年 介護療養型老人保健施設 恵寿鳩ヶ丘を「介護医療院」に転換  
恵寿総合病院訪問看護ステーションを開設  
国際病院連盟賞最高位賞特別賞を受賞  
ベンリー七尾店オープン
- 2019年 第6代病院長に鎌田 徹就任  
AI問診を導入  
人生100年時代活躍プロジェクト (Foot活、脳活) を始動
- 2020年 QRコード決済を導入  
けいじゅ健康保険組合設立  
新型コロナ対策で発熱外来を開設
- 2021年 インドネシア人実習生受け入れ  
4年連続ホワイト500を受賞  
PET-CT機器をGE社「DISCOVERY MI.e」に更新



## 董仙会 会議・委員会・プロジェクト

### 会議

- ・健康経営対策室
- ・けいじゅヘルスケアシステム給食戦略会議
- ・けいじゅFM会議
- ・けいじゅクリーン会議・委員会

### 委員会

- ・広報委員会
- ・個人情報管理委員会
- ・BCM委員会
- ・福利厚生委員会
- ・TQM委員会
- ・病院・施設委員会
- ・けいじゅFM会議
- ・地球温暖化対策委員会

### プロジェクト

- ・キャリアデザインプロジェクト
- ・リクルートプロジェクト
- ・外国人職員受け入れプロジェクト
- ・診療報酬データ管理プロジェクト

## 董仙会 主な人員の構成



医師

83名

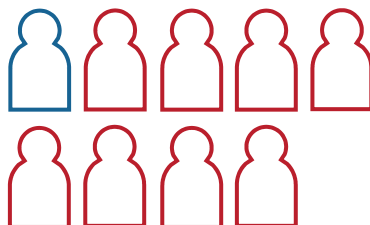
男72 女11



看護師

443名

男46 女397



介護  
福祉士

163名

男27 女136



凡例

約50人

約10人

## 董仙会人員の推移

凡例… 男性の人数 / 女性の人数

職種	2018.4.1			2019.4.1			2020.4.1		
	恵寿総合	他施設	合計	恵寿総合	他施設	合計	恵寿総合	他施設	合計
医師	54 / 11	15 / 1	69 / 12	56 / 15	16 / 2	72 / 17	57 / 8	15 / 3	72 / 11
薬剤師	7 / 5	1 / 4	8 / 9	7 / 6	2 / 4	9 / 10	7 / 7	2 / 4	9 / 11
臨床検査技師	8 / 17	1 / 7	9 / 24	10 / 17	1 / 6	11 / 23	11 / 20	0 / 6	11 / 26
診療放射線技師	12 / 6	0 / 3	12 / 9	13 / 8	2 / 3	15 / 11	12 / 7	2 / 3	14 / 10
理学療法士	32 / 18	12 / 5	44 / 23	34 / 16	11 / 9	45 / 25	33 / 20	12 / 8	45 / 28
作業療法士	8 / 17	2 / 8	10 / 25	9 / 18	2 / 9	11 / 27	9 / 14	1 / 7	10 / 21
言語聴覚士	0 / 6	0 / 1	0 / 7	0 / 7	0 / 0	0 / 7	0 / 6	0 / 0	0 / 6
臨床工学技士	7 / 3	0 / 0	7 / 3	6 / 5	0 / 0	6 / 5	8 / 5	0 / 0	8 / 5
視能訓練士	0 / 2	0 / 0	0 / 2	0 / 1	0 / 0	0 / 1	0 / 2	0 / 0	0 / 2
臨床心理士	1 / 0	0 / 0	1 / 0	1 / 0	0 / 0	1 / 0	1 / 0	0 / 0	1 / 0
栄養管理士	1 / 10	0 / 7	1 / 17	1 / 9	0 / 7	1 / 16	1 / 11	0 / 7	1 / 18
救急救命士	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0 / 0
義肢装具士	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0 / 0
社会福祉士	0 / 11	3 / 3	3 / 14	1 / 8	1 / 5	2 / 13	1 / 9	1 / 5	2 / 14
健康運動指導士	0 / 1	0 / 0	0 / 1	0 / 1	0 / 0	0 / 1	0 / 1	0 / 0	0 / 1
保健師	0 / 5	0 / 0	0 / 5	0 / 5	0 / 0	0 / 5	0 / 5	0 / 0	0 / 5
助産師	0 / 11	0 / 0	0 / 11	0 / 13	0 / 0	0 / 0	0 / 16	0 / 0	0 / 16
看護師	37 / 261	9 / 139	46 / 400	42 / 257	4 / 142	46 / 399	37 / 243	9 / 154	46 / 397
准看護師	3 / 33	2 / 35	5 / 68	5 / 28	0 / 31	5 / 59	4 / 23	0 / 28	4 / 51
介護福祉士	0 / 8	31 / 129	31 / 137	0 / 8	30 / 141	30 / 149	0 / 13	27 / 123	27 / 136
介護職員	0 / 0	9 / 42	9 / 42	0 / 0	10 / 39	10 / 39	1 / 2	15 / 46	16 / 48
介護支援専門員	0 / 0	2 / 18	2 / 18	1 / 12	1 / 6	2 / 18	0 / 9	1 / 9	1 / 18
看護補助者	0 / 48	0 / 6	0 / 54	0 / 45	0 / 9	0 / 54	0 / 39	0 / 9	0 / 48
事務員	31 / 101	10 / 26	41 / 127	27 / 98	9 / 24	36 / 122	24 / 95	11 / 37	35 / 132
運転手	6 / 0	9 / 0	15 / 0	6 / 0	7 / 0	13 / 0	5 / 0	9 / 0	14 / 0
警備員	1 / 0	7 / 0	8 / 0	1 / 0	5 / 0	6 / 0	2 / 0	5 / 0	7 / 0
その他	2 / 8	4 / 6	6 / 14	2 / 6	8 / 0	10 / 6	4 / 11	3 / 5	7 / 16
小計	210 / 582	117 / 440	327 / 1,022	222 / 583	109 / 437	331 / 1,020	217 / 566	113 / 454	330 / 1,020
合計	792	557	1,349	805	546	1,351	783	567	1,350

## 恵寿総合病院 概要

所在地 石川県七尾市富岡町94番地  
開設者 社会医療法人 董仙会  
理事長 神野 正博  
病院長 鎌田 徹  
病床数 426床

副病院長 川北 慎一郎 岡田 由恵  
診療部長 山崎 雅英  
診療副部長(医局長) 西澤 永晃  
診療副部長 森永 敏生  
事務部長 森下 毅  
看護部長 本橋 敏美  
  
名誉病院長 山本 健  
顧問 宮本 正治 斎藤 靖人  
東 壮太郎 上野 恭一  
平井 文彦

恵寿総合病院 ..... 病院長

## 組織図

### 診療部

- ・外科消化器乳腺外科
- ・内科
- ・消化器内科
- ・心臓血管外科
- ・循環器内科
- ・脳神経外科
- ・脳神経内科
- ・整形外科
- ・呼吸器外科
- ・形成外科美容外科
- ・産婦人科
- ・家庭医療科
- ・緩和ケア科
- ・小児科
- ・眼科
- ・耳鼻咽喉科
- ・泌尿器科
- ・麻酔科
- ・皮膚科
- ・リハビリテーション科
- ・放射線科
- ・救急救命科
- ・病棟管理センター

### 健康管理部

- ・健康管理センター

### 看護部

- ・看護管理センター
- ・看護秘書管理センター

### 事務部

- ・けいじゅサービスセンター
- ・医療情報事務センター

### 各種センター

- ・救急センター
- ・手術センター
- ・血液浄化センター
- ・PET・CTリニアックセンター
- ・内視鏡センター
- ・放射線センター
- ・リハビリテーションセンター
- ・リハ教育研修センター
- ・薬剤管理センター
- ・栄養管理センター
- ・検査管理センター
- ・臨床工学センター
- ・医療安全管理センター
- ・臨床研修センター
- ・看護師特定行為研修センター

## 会議

- ・恵寿総合病院管理会議
- ・恵寿総合病院運営会議
- ・病院改善会議
- ・医療事故緊急会議

## 委員会

- ・医療の質向上委員会
- ・放射線安全委員会
- ・病床運営委員会
- ・医療安全管理委員会
- ・感染防止対策委員会
- ・薬事審議委員会
- ・診療材料委員会
- ・電子パス委員会
- ・臨床栄養委員会
- ・診療情報管理委員会
- ・診療情報提供委員会
- ・輸血療法委員会
- ・治験審査委員会
- ・褥瘡予防対策委員会
- ・防災委員会
- ・医療ガス安全管理委員会
- ・図書委員会
- ・集中治療運営委員会
- ・救急部運営委員会
- ・救命救急実行委員会
- ・中央手術部運営委員会
- ・臨床研修管理委員会
- ・臨床研修運営委員会
- ・臨床研修プログラム委員会
- ・安全衛生委員会
- ・リハビリテーション運営委員会
- ・放射線安全委員会
- ・DPC評価委員会
- ・臨床検査適正化委員会
- ・化学療法委員会
- ・脳卒中地域連携パス管理委員会
- ・恵寿総合病院医学雑誌編集委員会
- ・医療技術部門連携連絡委員会
- ・がん診療連携推進委員会
- ・緩和ケア委員会
- ・呼吸療法委員会
- ・透析機器安全管理委員会
- ・糖尿病委員会
- ・認知症対策プロジェクト委員会
- ・外来運営委員会
- ・臓器提供委員会
- ・法的脳死判定委員会
- ・倫理委員会
- ・看護師特定行為研修管理委員会
- ・地域医療支援病院運営委員会

## 恵寿総合病院 施設基準等

### 【健康保険法関係】

オンライン診療料  
急性期一般入院料 1  
障害者施設等入院基本料 10対1  
総合入院体制加算 3  
超急性期脳卒中加算  
診療録管理体制加算 1  
医師事務作業補助体制加算 1 15対1  
急性期看護補助体制加算 3 50対1  
特殊疾患入院施設管理加算  
療養環境加算  
無菌治療室管理加算1  
無菌治療室管理加算2  
栄養サポートチーム加算  
医療安全対策加算1 (医療安全対策地域連携加算1)  
感染防止対策加算1 (感染防止対策地域連携加算, 抗菌薬適正使用支援加算)  
患者サポート体制充実加算  
ハイリスク妊娠管理加算  
ハイリスク分娩管理加算  
呼吸ケアチーム加算  
後発医薬品使用体制加算1  
病棟薬剤業務実施加算1  
データ提出加算2  
入退院支援加算 1 (地域連携診療計画加算, 入院時支援加算)  
認知症ケア加算 1  
せん妄ハイリスク患者ケア加算  
精神疾患診療体制加算  
ハイケアユニット入院医療管理料 2  
回復期リハビリテーション病棟入院料1 (体制強化加算2)  
地域包括ケア病棟入院料2(看護職員配置加算)  
入院食事療法 (I)・入院時生活療養 (I)  
心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算  
がん性疼痛緩和指導管理料  
がん患者指導管理加算 イ  
がん患者指導管理加算 ロ  
がん患者指導管理料 二  
糖尿病透析予防指導管理料  
乳腺炎重症化予防・ケア指導料  
婦人科特定疾患治療管理料  
院内トリアージ実施料  
夜間休日救急搬送医学管理料の注3に掲げる救急搬送看護体制加算

ニコチン依存症管理料  
開放型病院共同指導料  
ハイリスク妊産婦共同管理料 (I)  
がん治療連携計画策定料  
がん治療連携指導料  
肝炎インターフェロン治療計画料  
外来排尿自立指導料  
ハイリスク妊産婦連携指導料 1  
薬剤管理指導料  
検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料  
医療機器安全管理料1  
在宅療養後方支援病院  
在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に掲げる遠隔モニタリング加算  
持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定  
持続血糖測定器加算 (間歇注入シリンジポンと運動しない持続血糖測定器を用いる場合)  
遺伝性腫瘍カウンセリング加算  
BRCA1/2遺伝子検査  
HPV拡散検出  
HPV核酸検出及びHPV核酸検出 (簡易ジェノタイプ判定)  
検体検査管理加算 (II)  
心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算  
時間内歩行試験  
胎児心エコー法  
ヘッドアップティルト試験  
神経学的検査  
コンタクトレンズ検査料 I  
小児食物アレルギー・負荷検査  
ポジトロン断層撮影  
ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影  
CT撮影及びMRI撮影  
抗悪性腫瘍剤処方管理加算  
外来化学療法加算1  
無菌製剤処理料  
心大血管疾患リハビリテーション料 (I)  
脳血管疾患リハビリテーション料 (I)  
運動器リハビリテーション料 (I)  
呼吸器リハビリテーション料 (I)  
がん患者リハビリテーション  
静脈圧処置  
導入期加算1  
下肢末梢動脈疾患指導管理加算  
脳刺激装置植込術 (頭蓋内電極植込術を含む) 及び脳刺激装置交換術

乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検 (単独)  
経皮の中隔心筋焼灼術  
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術  
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術 (リードレスペースメーカー)  
大動脈バルーンパンピング法 (IABP法)  
胃瘻造設術  
体外衝撃波碎石破砕術  
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術  
内視鏡による縫合術・閉鎖術  
体外衝撃波腎・尿管結石破砕術  
輸血管理料 (II)  
輸血適正使用加算 (輸血管理料 II)  
貯血式自己血輸血管理体制加算  
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算  
胃瘻造設時嚥下機能評価加算  
麻酔管理料 (I)  
酸素

### 【施設資格】

健康保険医療機関  
国民健康保険療養取扱機関  
労災保険指定取扱機関  
母体保護法指定医師  
身体障害者福祉法指定医師  
更生医療指定取扱機関  
生活保護法指定取扱機関  
療育医療指定取扱機関  
結核予防法指定取扱機関  
短期人間ドック指定病院  
原子爆弾被爆者一般疾病医療取扱機関  
健康審査機関指定病院  
全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診医療機関  
自動車事故後遺障害認定病院  
労災保険二次健診等給付医療機関  
二次救急指定病院  
日本医療機能評価機構認定証 (3rdG:Ver1.1)  
石川県地域がん診療連携協力病院  
短期入院協力病院  
産科医療補償制度加入機関  
難病法の指定医療機関  
児童福祉法に基づく指定小児慢性特定疾病指定医療機関  
臨床研修指定病院  
特定行為研修指定研修機関 (7区分)  
地域における外国人患者受入れ拠点病院

## 恵寿総合病院 学会認定施設

日本外科学会外科専門医制度修練施設  
日本消化器外科学会専門医修練施設  
日本消化器病学会専門医制度認定施設  
日本消化器内視鏡学会認定指導施設  
日本神経学会専門医制度教育関連施設  
日本内科学会認定内科専門医教育関連施設  
日本糖尿病学会認定教育施設  
日本眼科学会専門医制度研修施設  
日本泌尿器科学会専門医教育施設  
日本皮膚科学会認定専門医研修施設  
日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設  
日本救急医学会認定 救急科専門医指定施設  
日本整形外科学会認定医研修施設  
日本リハビリテーション医学会認定研修施設

日本脳神経外科学会専門研修プログラム連携施設  
日本血液学会認定研修施設  
日本呼吸器内視鏡学会関連施設  
日本がん治療認定医機構認定研修施設  
日本乳癌学会認定関連施設  
日本作業療法士協会の作業療法士臨床実習指導施設  
日本産婦人科学会専門研修連携施設指定  
日本輸血・細胞治療学会輸血機能評価認定制度 (I&A制度) 認定証  
日本呼吸器学会関連施設認定  
日本腎臓学会研修施設認定  
日本プライマリ・ケア連合学会認定新恵寿家庭医療研修プログラム  
日本栄養士会栄養サポートチーム担当者研修認定教育施設  
日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設認定証



## 恵寿金沢病院 概要

所在地 石川県金沢市下新町6番26号  
Tel 076-220-9192  
Fax 076-223-7378  
病院長 上田 幹夫  
病床数 89床

事務部長 森田 均  
看護部長 前大道 綾子

## 組織図

### 診療部

- ・内科
- ・外科・消化器外科
- ・整形外科・リウマチ科
- ・眼科
- ・耳鼻咽喉科
- ・リハビリテーション科  
理学療法課  
作業療法課
- ・放射線科
- ・臨床検査科
- ・薬剤科
- ・臨床栄養科
- ・人間ドックセンター

### 看護部

- ・外来
- ・2階病棟
- ・3階病棟
- ・手術室
- ・訪問看護事業部

### 医療安全部

- ・医療安全
- ・感染対策

### 事務部

- ・管理課
- ・地域連携・医療福祉相談課
- ・医事課  
病歴室

恵寿金沢病院 ..... 病院長

## 恵寿金沢病院 会議・委員会

- ・運営会議
- ・倫理委員会
- ・診療情報管理委員会
- ・院内感染対策委員会
- ・医療安全管理委員会
- ・保険診療委員会
- ・薬事委員会
- ・栄養委員会
- ・医療機器・医材委員会
- ・医療ガス安全管理委員会
- ・臨床検査適正化委員会
- ・輸血療法委員会
- ・放射線管理委員会
- ・治験審査委員会
- ・褥瘡対策委員会
- ・病床運営委員会
- ・防災対策委員会
- ・患者サポート委員会
- ・手術室運営委員会
- ・クリティカルパス委員会
- ・化学療法運営委員会
- ・軽症救急委員会
- ・安全衛生委員会
- ・感染対策（ICTチーム）部会
- ・リスクマネジメント部会

## 恵寿金沢病院 施設基準等

### 【基本診療料】

急性期一般入院料1  
診療録管理体制加算2  
無菌治療室管理加算1・2  
感染防止対策加算2  
病棟薬剤業務実施加算1  
地域包括ケア入院医療管理料2  
データ提出加算2  
患者サポート体制充実加算  
後発医薬品使用体制加算1  
医師事務作業補助体制加算1  
認知症ケア加算2  
入退院支援加算2

### 【特掲診療料】

がん性疼痛緩和指導管理料  
薬剤管理指導料  
検体検査管理加算（Ⅱ）  
時間内歩行試験  
コンタクトレンズ検査料1  
CT撮影及びMRI撮影  
外来化学療法加算1  
無菌製剤処理料  
脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅲ）  
運動器リハビリテーション料（Ⅰ）  
呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）  
がん患者リハビリテーション料  
輸血管理料（Ⅱ）  
輸血適正使用加算

## 恵寿金沢病院 学会認定施設

臨床研修病院指定

日本血液学会認定血液研修施設

日本整形外科学会専門医制度研修施設

日本眼科学会専門医制度研修施設

社会福祉法人

## 徳充会 概要

所在地 石川県七尾市青山3部22番  
Tel 0767-57-3309  
Fax 0767-57-1531  
理事長 神野 正博  
職員数 461名  
総ベッド数 603床

## 徳充会 各施設概要

### 障がい者事業

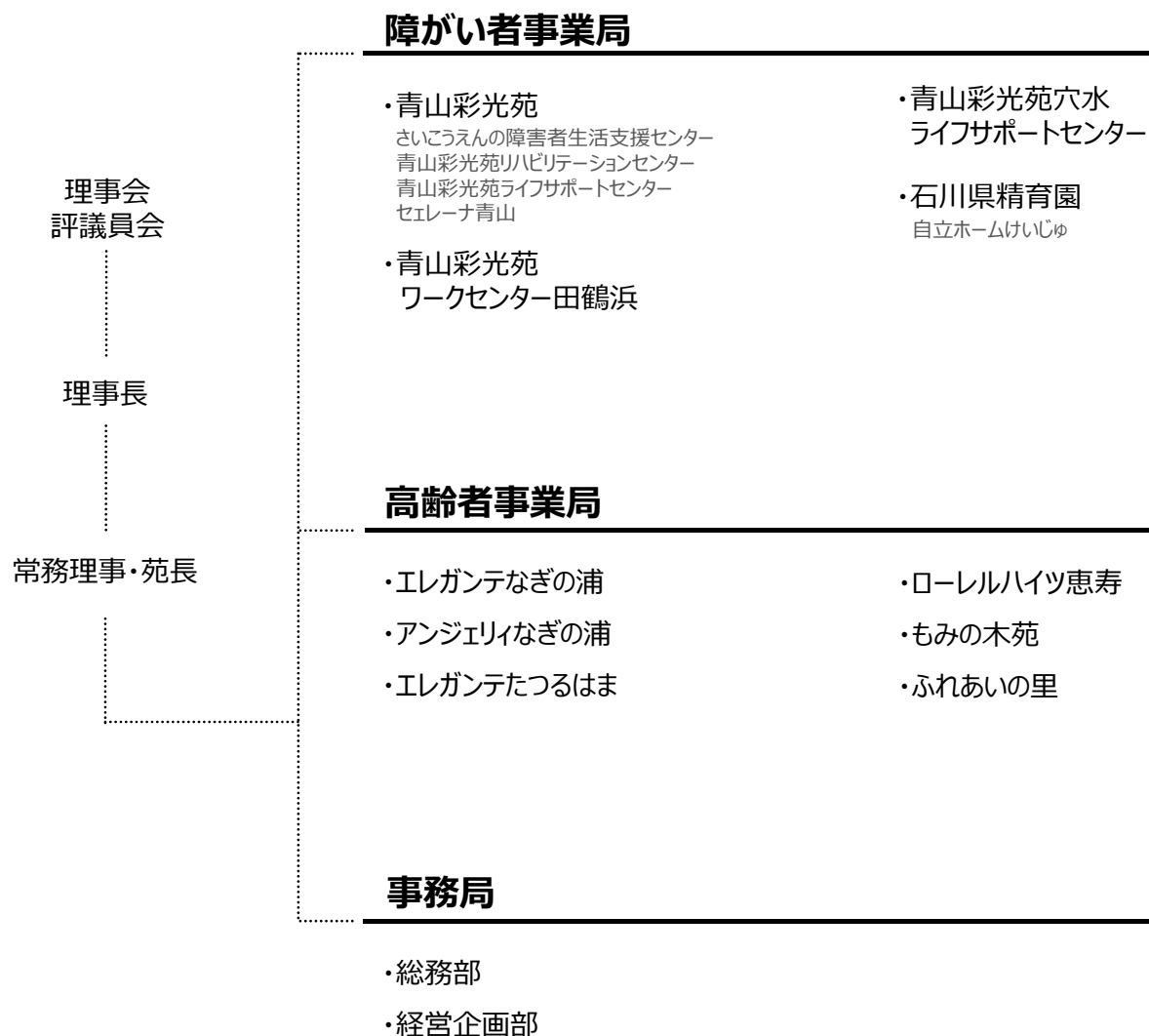
- 青山彩光苑リハビリテーションセンター
- 青山彩光苑ライフサポートセンター、セレナ青山  
〒926-0831 石川県七尾市青山町3部22番
- 青山彩光苑穴水ライフサポートセンター  
〒927-0023 石川県鳳珠郡穴水町字妻ヶ浦15-39番地12
- 青山彩光苑ワークセンター田鶴浜  
〒929-2116 石川県七尾市吉田町昭部6-1
- さいこうえんの障害者生活支援センター  
〒926-0045 石川県七尾市袖ヶ江町14-1
- さいこうえん障害者就業・生活支援センター  
〒926-0045 石川県七尾市袖ヶ江町14-1
- 石川県精育園〈指定管理〉  
〒927-0021 石川県鳳珠郡穴水町七海6-50
- 自立ホームけいじゅ、ヘルパーステーション銀河
- 相談支援キララ  
〒927-0053 石川県鳳珠郡穴水町此木11-24

### 高齢者事業

- 特別養護老人ホーム エレガントなぎの浦
- ケアハウス アンジェリなぎの浦  
〒926-0853 石川県七尾市津向町1部107番地4
- 地域密着型介護老人福祉施設 エレガントなぎの浦  
〒929-2121 石川県七尾市田鶴浜町1部11番地1
- 高齢者複合施設 ローレルハイツ恵寿
- ヘルパーステーション ローレル  
〒926-8607 石川県七尾市富岡町95番地
- デイサービスセンター もみの木苑  
〒929-2121 石川県七尾市田鶴浜町1部27番地
- デイサービスセンター ふれあいの里  
〒926-0841 石川県七尾市松百町2-57-1

## 徳充会 沿革

- 1984年 社会福祉法人「徳充会」設立
- 1985年 重度身体障害者更生援護施設「青山彩光苑」開設
- 1989年 身体障害者療護施設「青山彩光苑」開設  
ショートステイ事業開始
- 1993年 療護施設50床増床
- 1994年 在宅障害者デイサービス事業開始
- 1997年 青山彩光苑ワークセンター田鶴浜開設  
バリアフリーホームセレナ青山開設
- 1999年 特別養護老人ホーム「エレガントなぎの浦」開設  
ケアハウス「アンジェリなぎの浦」開設
- 2003年 「さいこうえんの障害者生活支援センター」開設
- 2004年 青山彩光苑穴水ライフサポートセンター開設
- 2006年 デイサービスセンターもみの木苑開設  
ヘルパーステーションもみの木苑開設
- 2007年 特別養護老人ホーム「エレガントなぎの浦」開設  
デイサービスセンターふれあいの里開設
- 2011年 健康増進センターアスロンを指定管理者として運営開始
- 2012年 障害者生活支援センターを七尾市袖ヶ江町に移転
- 2013年 石川県精育園を指定管理者として運営開始
- 2015年 エレガントなぎの浦 増床  
ローレルハイツ恵寿ケアハウス(一般、特定)開設  
ローレルハイツ恵寿サービス付高齢者住宅 開設  
ヘルパーステーションローレルに名称変更
- 2016年 相談支援キララ 石川県精育園内へ移転し、スマイルSと統合
- 2018年 自立ホーム穴水を自立ホームけいじゅに名称変更し、穴水町此木へ移転  
ヘルパーステーション銀河開設  
相談支援キララを自立ホームけいじゅ内に移転
- 2019年 人生100年時代活躍プロジェクト（Foot活、脳活）を始動



## 徳充会 会議・委員会

- ・部長会議
- ・障がい者部門会議
- ・高齢者部門会議
- ・教育研修委員会
- ・福利厚生委員会
- ・事例研究大会委員会

## 徳充会 人員の推移

凡例… 男性の人数 / 女性の人数

職種	2018.4.1	2019.4.1	2020.4.1 現在
医師	0 / 0	0 / 0	0 / 0
理学療法士	1 / 4	2 / 4	1 / 6
作業療法士	2 / 3	1 / 2	1 / 2
あん摩マッサージ指圧師	2 / 0	2 / 0	1 / 0
栄養管理士	0 / 7	0 / 7	0 / 7
健康運動士	1 / 5	0 / 4	0 / 0
社会福祉士	9 / 14	12 / 14	13 / 14
精神保健福祉士	1 / 0	1 / 0	1 / 0
看護師	0 / 26	0 / 27	1 / 26
准看護師	0 / 16	0 / 15	0 / 13
介護福祉士	61 / 138	62 / 141	65 / 153
介護職員	35 / 73	30 / 73	26 / 70
介護支援専門員	1 / 4	1 / 4	1 / 5
社会福祉主事	1 / 1	1 / 1	1 / 1
事務員	5 / 13	6 / 13	5 / 15
運転手	11 / 0	13 / 0	14 / 0
その他	10 / 9	10 / 10	9 / 10
小計	140 / 313	141 / 315	139 / 322
合計	453	456	461



2020年4月1日 新任式 新入職員代表挨拶



第 2 章  
法人報告  
事業報告

## 継続的基本方針

1. 患者・利用者に信頼される医療機関・介護施設となる
2. 地域社会から必要とされる医療機関・介護施設となる
3. 経営の健全性を維持する
4. 患寿フィロソフィの周知・浸透

## 単年度方針

戦後生まれの団塊の世代が高齢者の主となる。それに伴い価値観の変化と多様性も大きくなる。個別対応・プライバシーを求める時代となっていくだろう。これらに対応するため、これまで通りの画一的な仕事のやり方から洗練された仕事のやり方に変えていかねばならない。われわれはルーチン業務を見直し、さらにサービスに創意工夫を加えねばならない。特に、管理者においてはルーチン業務に長けるだけでなく、創意工夫とその内容の進捗管理をコミットせねばならない。

ここで、3つの視点を提唱する。

- 今行っているサービス（説明、診療内容、手技、お世話（介助・介護）など）は、自分や大切な家族に提供しても納得できるものか？
  - すべての仕事内容を胸を張って説明し公開できるか？
  - 日頃の判断は社会の道義に則るものか？
- …今一度全職員がこれを反芻することで次に取り組むべき点が見えてくるに違いない。そこで、

『一步前へ！』

である。この時代において立ち止まることは悪である。身の回り当たり前から見直そう。

全職員が一步以上前へ出るだけで、われわれの組織は他の追従を許さないほど先に行くことができるのである。

さらに、グループ全体として国連サミットで採択された持続可能な開発目標（SDGs）を宣言し、その内容を前へ進めることで、これまで以上の社会貢献、地域貢献を打ち出していきたい。





# TQM発表大会（董仙会）

## 前期 第20回 2020年9月25日、29日、10月1日 オンライン開催

### 大会1日目 業務の視点、学習と成長の視点「ルーチン業務の再評価、洗練された仕事のやり方」

部署	テーマ
1位 恵寿金沢病院 臨床検査課	臨床検査課における業務効率化の試み ～生化学業務編～
本部 総務部	人事マスターの刷新
本部 生活支援部 めぐみ	新規顧客獲得に向けて、選ばれる事業所になるために
本院 事務部	事務部キャリアプランの作成

### 大会2日目 財務の視点、顧客の視点「生産性増、顧客・職員満足度 100%」

部署	テーマ
本院 薬剤課、4西、5-3、透析、主任、医療安全	持参薬管理のシンプル化
1位 本院 看護部、サービス課、秘書課、医事課	入院時における書類並びに手続の簡略化
本院 手術センター	患者入室方法の変更による上質なサービスの提供 ～手術室への入室スタイルの変更～
本院 リハビリテーションセンター	入院患者の訪問リハ紹介を推進し、より質の高い退院支援を目指す
本院 5-5、5東、3-3、医療福祉相談課	アドバンス・ケア・プランニングへの取り組み

### 大会3日目 業務の視点「質の向上、新サービス創出」

部署	テーマ
本院 内視鏡課	安心・安全な内視鏡検査を提供するために ～培養検査への取り組み～
恵寿金沢病院 2・3階病棟看護師、薬剤師、化学療法認定看護師、管理課	多様化する抗がん剤治療に対応するために ～ケモファイル作成の取り組み～
1位 本院 放射線課	整形外科オーダー代行入力業務の共同運用に向けて (外来看護師とのタスクシェア)
本院 健康管理センター	新検診メニューの導入
本院 臨床検査課	採血室業務における新たな取り組み

## 後期 第21回 2021年3月3日、4日、10日 オンライン開催

### 大会1日目「顧客満足度100%」

部署	テーマ
恵寿鳩ヶ丘	さらなるノーリフティング介護の定着
本院 看護部	PXサーベ이를患者中心の介護サービスにつなげる
1位 けいこー本杉	自分が受けたいサービスの創意工夫（新サービスの創出）
恵寿みおや	自分や家族が受けたいサービスを模索する ～利用者の背景を知ろう～
恵寿金沢病院 看護部、リハビリテーション科、臨床栄養課	栄養サポートチーム発足へ向けた取り組みと効果

### 大会2日目「新サービス創出・ブランディング（信頼の証）」

部署	テーマ
本院 主任チーム、5病棟4階、リハビリ、医療安全管理センター	ADLの低下をきたさない（～入院によってADL低下が引き金にならない～）
恵寿金沢病院 放射線課	鎮痙剤を使わない胃透視検査へ
本院 地域連携課、サービス課、医療秘書課、医事課他	一步前へ！地域住民へ「かかりつけ医」を推奨～納得できる病診連携で紹介率・逆紹介率増！
1位 いこい	「Foot活」と「歩かん会」のマッチングによるモチベーションアップ
和光苑	在宅復帰を目指す施設としてもう一步
鶴友苑	利用者の変化を早期に発見・利用者の個性を理解する

### 大会3日目「生産性増・ルーチン業務の再評価」

部署	テーマ
恵寿金沢病院 2階病棟	化学療法目的の集中入院日の調整
本部 財務部 経理課・資材課	RPA導入と効果
本院 臨床工学課	透析装置システム遠隔監視サービス導入におけるトラブル迅速対応の試み
1位 ほのぼの	信頼される介護技術の提供 ～見える化された介護マニュアルへの改定～
本院 医事課、医療秘書課、地域連携課、サービスセンター	定型業務の作業分解とRPAの活用とデータ分析

## 事例研究大会（徳充会）

### 大会テーマ：一歩前へ ～新たな時代に沿った取り組み～

所属	発表者	テーマ
青山彩光苑 リハビリテーションセンター	佐竹 綾乃	楽しい！この仕事、自分に合っている。 ～訓練プログラムの進化で得たもの～
	宮本 あい	コミュニケーションを通じて ～人との触れ合いの大切さ～
さいこうえん障害者就業・ 生活支援センター	越田 美喜子	家庭と教育と福祉の連携 ～障害児の特性を理解する～
青山彩光苑 ライフサポートセンター	井本 菜智	ニーズの展開 ～歩く事で得た新たな喜び～
	坂下 莉緒	立位能力再獲得を目指して
	山下 恵理	入浴の取り組みについて ～入浴調整に携わり～
	山本 響季	信頼関係の構築
田尻 知佳子	在宅生活から施設入所生活へ 環境の変化に寄り添う	
青山彩光苑 穴水ライフサポートセンター	岡田 理華、坂口 奈保美	口腔ケア委員会での取り組み
	山岸 美由紀	転倒事故を繰り返さない為の取り組み
	新谷 京太	リモートを通じてのスポーツ ～交流が持てるように～
	大道 一夫	一感染症対応下における通所サービス事業の実際～
	竹内 建人	スムーズに伝えたい！～伝わらないのはもう嫌だ～
青山彩光苑 ワークセンター田鶴浜	一花 司、細木 俊逸	障害者週間イベント2020 ～コロナ禍における取り組み～
石川県精育園	垣内 成部、法岡 敬夫、栃木 和美、小泉 利江	利用者の安心への取り組み ～2名の利用者に行ったささやかな支援～
	高城 英隆、栃木 和美、吉川 美穂、村田 和由、鎧 篤志、 馬場 幸子、高島 直大	コロナ禍における支援のあり方について ～行事部会の取り組み～
	黒詰 好美、土場 悦子、山本 徹、小林 禎弥、水端 郁枝	みんなの思いをカルタにのせて
	森本 郁、吉川 美穂、大竹 貴子、中道 菜穂子、 浜谷 ふみ子	コロナ禍における外出支援のあり方
	南方 貴代美、表 晃一、町中 可織、黒詰 好美	オリゴ糖で腸快調！～下剤に頼らない排便を目指して～
表 晃一、佐藤 禎紀、石原 智幸、徳田 透、高島直大	根拠のある支援を目指して ～アセスメント、環境整備、個別課題の提供～	
エレガントなぎの浦	山田 美咲	コロナ禍での看取りを行って～面会制限のある中での家族との関わり～
	順毛 沙弥香、谷口 ひとみ	入浴拒否がある利用者へのアプローチ～GoTo！にゆ～よ～く！～
	赤尾 誠、前澤 小百合、山田 薫、河原 ふさ子、廣瀬 明子	令和2年度グループ支援～変化するレクリエーション方法～
	達元 希、向山 亜友美、西尾 翔、坂口 詩織	ショートステイ荷物チェック～荷物チェックアプリを導入して～
	中田 智美、三野しのぶ、藤井 真紀、堀 雅季、受川 裕則、 山田 紀代子	移乗グループの取り組み2020～一歩前へ～
藤井 恒平、大島 博美、藤井 真紀	デイサービスでのFoot活プロジェクト～積極的な運動の参加を目指して～	
畑 幸恵、柿島 栄美子	心と体にうるおいを！！～脱水予防のススめ～	
エレガントたつるはま	北原 はるみ	夢実現プロジェクト～コロナ禍でできること～
もみの木苑	柿島 善浩、亀井 真巳、小林 美和、水谷 織恵	まんぶく大作戦「つくる」支援～利用者の意欲向上を実現するために～
	吉田 摩紀、井上 清美、赤坂 さおり	まんぶく(万福)大作戦～新たな余暇活動を支援して～
ふれあいの里	出村 陽子、江頭 沙織、甲谷 一美、久保 久美子	石川県ウォークラリー“歩こう会ね”～外出支援を通して～
	曾我 百華、刀祢 千恵、谷口 由美子、西川 繫子、 青葉 幸子	Let's 脳トレ～認知症予防を“楽しみ”に～
ローレルハイツ恵寿	石黒 美咲希、久保 るみ子、山中 麻緒、清水 潤智	秋の大運動会を通して
	竹内 美香子	夫婦で寄り添いながらの生活
	中川 昂也	一歩前へ！取り戻そうみんなの笑顔～イルミネーション設備準備～
本部事務局	川北 良太、松本 美華、小石 佳奈	業務効率化と生産性の向上

## 新聞掲載（董仙会）

日付	内容	掲載媒体
2020.4.2	新入職員 地域貢献へ決意 / 新任の医師ら抱負	北國新聞 / 北陸中日新聞
2020.4.2	職員向け健保組合 七尾・董仙会が設立	北陸中日新聞
2020.4.8	恵寿総合病院 電話診療を開始	北陸中日新聞
2020.4.9	電話での再診察 利用を呼び掛け	北國新聞
2020.4.26	病院にエールの手紙 七尾東部中生が送る / 病院に激励の手紙	北國新聞 / 北陸中日新聞
2020.6.4	初診患者 スマホで問診 / スマホ、PCで事前問診	北國新聞 / 北陸中日新聞
2020.7.2	一本杉カフェ再開 正しい手洗い学ぶ / 感染予防学び 久々の交流	北國新聞 / 北陸中日新聞
2020.7.4	面会 制限を設け再開 / 入館・面会の制限 6日から一部緩和	北國新聞 / 北陸中日新聞
2020.8.22	オンラインで出前授業 / オンラインで知る 医療職	北國新聞 / 北陸中日新聞
2020.8.26	肺がん検診 被ばく量10分の1に	北國新聞
2020.10.10	適正な歩行 点数で評価 七尾・恵寿病院 北陸初の機器導入	北國新聞
2020.10.17	恵寿総合病院に発熱外来 一般患者と分け「安心を」	北國新聞
2020.10.18	歩行分析→ぴったりな治療 システム本格導入	北陸中日新聞
2020.10.24	新採職員がマナー学ぶ	北國新聞
2020.10.31	医療職の魅力をオンラインで紹介	北國新聞
2020.11.14	オンラインでパパマクラス	北國新聞
2020.12.2	青や白癒やしの光	北國新聞
2020.12.3	ツリーや汽車輝く	北陸中日新聞
2020.12.17	わがまちの偉人 高度な医療を能登に 神野正隣	北陸中日新聞
2020.12.19	医療職の魅力紹介	北國新聞
2021.1.6	地域医療に貢献 新年互礼会で誓う	北國新聞
2021.1.8	恵寿総合病院など オンライン互礼会	北陸中日新聞
2021.1.9	初の外国人実習生 / 実習生受け入れ 宗教に配慮	北國新聞 / 北陸中日新聞
2021.1.23	特殊詐欺被害防止 コンビニに感謝状	北國新聞
2021.1.23	インドネシア実習生向けに 施設にイスラム祈祷室	北國新聞
2021.1.24	詐欺防いだ声掛け コンビニに感謝状	北陸中日新聞
2021.2.9	iPadで健康サービス	北國新聞
2021.2.12	ハート型 LED彩る / バレンタイン仕様 イルミ	北國新聞 / 北陸中日新聞
2021.2.13	医療、観光で中国人誘客	北國新聞
2021.2.20	検診付き観光 可能性を探る	北陸中日新聞
2021.2.25	iPadで健康支援 AI問診や講座	日本経済新聞
2021.2.25	iPad通じ 健康後押し	北陸中日新聞
2021.3.5	カルテ閲覧ウェブで完結	北國新聞
2021.3.28	がん診断装置を更新 識別能力2倍に / がん検査装置を更新	北國新聞 / 北陸中日新聞
2021.3.31	採用者最多の75人が研修	北陸中日新聞

## 新聞掲載（徳充会）

日付	内容	掲載媒体
2020.4.25	【ふれあいの里】青柏祭・でか山塗り絵を募集 七尾市の七彩の会	北國新聞
2020.6.2	【ふれあいの里】七色美術展 塗り絵コンクール 展示	北國新聞
2020.9.26	【精育園】新型コロナウイルス対策 穴水で予防指導	北陸中日新聞
2020.10.22	【精育園】精育園祭	北陸中日新聞
2020.12.2	【ローレルハイツ恵寿】イルミネーション①	北國新聞
2020.12.3	【ローレルハイツ恵寿】イルミネーション①	北陸中日新聞
2020.12.27	【青山彩光苑】障害者週間イベント オンライン交流	北陸中日新聞
2021.1.9	【けいじゅヘルスケアシステム】外国人実習生受入れ	北國新聞 / 北陸中日新聞
2021.2.11	【ローレルハイツ恵寿】イルミネーション②	北國新聞
2021.2.11	【徳充会】無事故無違反で表彰	北國新聞
2021.2.12	【ローレルハイツ恵寿】イルミネーション②	北陸中日新聞
2021.2.14	【徳充会】無事故無違反で表彰	北陸中日新聞

## 来訪者一覧（董仙会）

日付	見学者	見学内容
2020.8.21	石川県立七尾高等学校 34名（オンライン）	医療職の紹介
2020.10.13	社会医療法人聖医会 理事長他、4名（オンライン）	給食システム
2020.10.30	石川県立門前高等学校 30名（オンライン）	医療・介護職の紹介
2020.12.17	医療法人社団久英会 理事長他、8名（オンライン）	けいじゅヘルスケアシステム
2020.12.18	石川県立羽咋高等学校 34名（オンライン）	医療職の紹介

## 来訪者一覧（徳充会）

日付	見学者	見学内容
2020.6.4	国際ソロプチスト能登	青山彩光苑 利用者交流

## ■ 継続的基本方針

法人が社会に選ばれ続けるために、「石川県と言えば恵寿である」と全国から評価される法人を創ってきた。しかし、そのことを恵寿の膝下である地域住民に理解されているだろうか？その前に職員は理解しているのだろうか？職員は、恵寿フィロソフィに則り素晴らしい恵寿、一流の恵寿となるために常に創造して欲しい。そして新たな恵寿ブランドを創って行かなければならない。

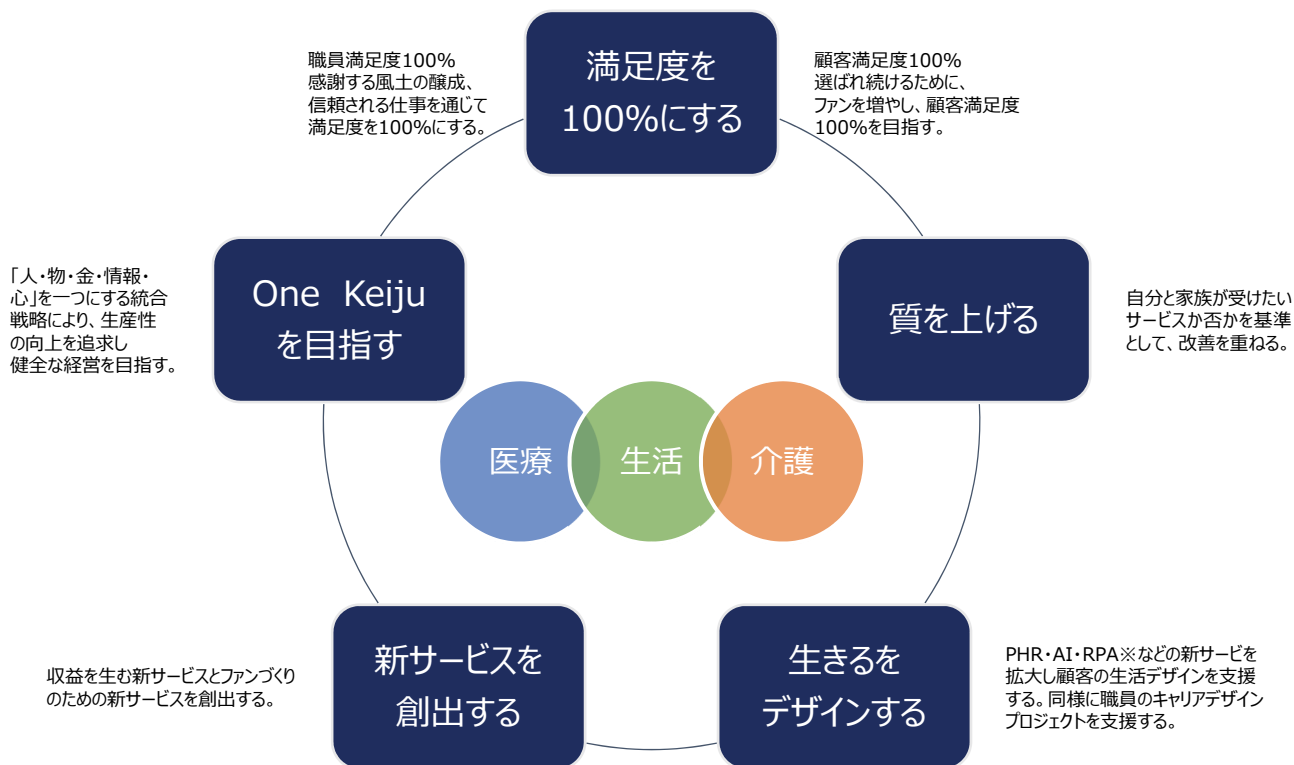
## □ 継続的基本方針を達成するための基本戦略

【チャレンジ精神を持ち常に創造する】

今、顧客の価値観が変わってきている。これに対応して私たちは新しい価値を見出していかなければならない。かかりたい病院、家族を利用させたい施設を創り出すことに邁進しなければならない。今までのサービスを全く新しいものに作り直すくらいの気概が必要である。

【恵寿ブランドの創出】(ブランディング)

法人は、これから ①満足度を100%にする ②One Keijuを目指す ③生きるをデザインする ④質を上げる ⑤新サービスを創出する以上を実現し、新たな恵寿ブランドを創って行く。



PHR\*とは、パーソナルヘルスレコード(Personal Health Record)を示す。個人が、自らの生活の質(QOL)維持や向上を目的として、自らの生涯健康情報を収集・保存・活用する仕組み。董仙会ではMDV社の「カルテコ」を導入。

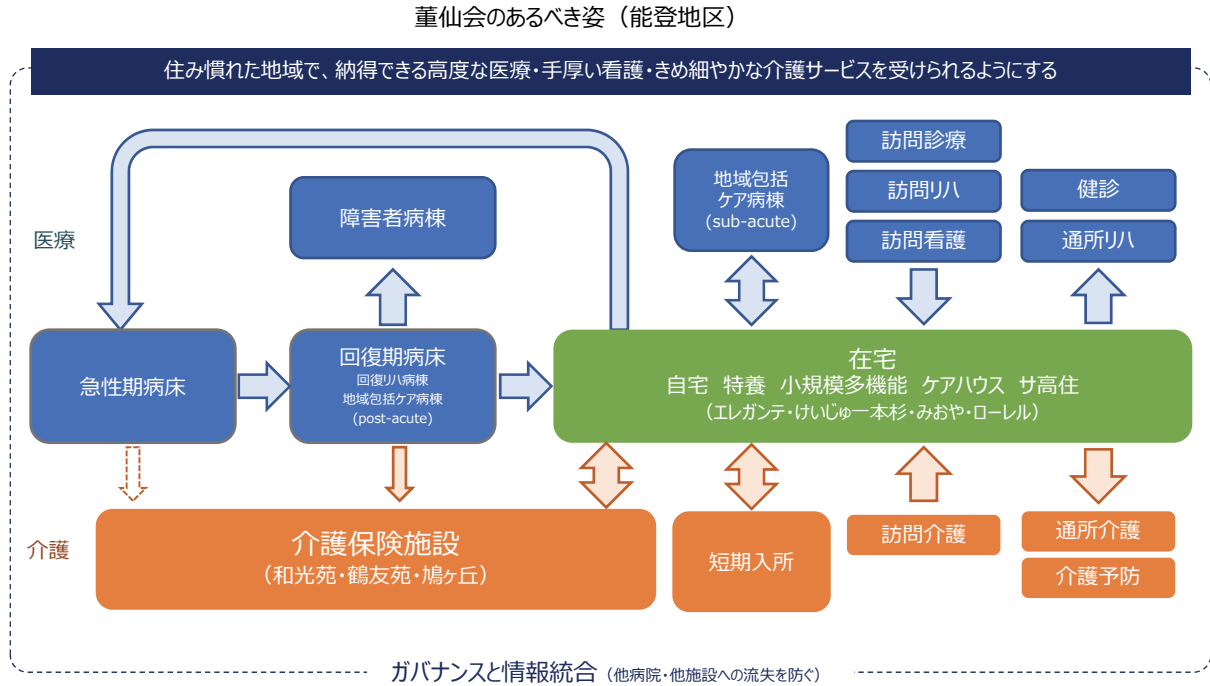
## ■ 法人のあるべき姿・顧客のあるべき流れ

基本戦略、施策を達成する前提として、能登地域・金沢地域の方針・顧客のあるべき流れを図に示す。すべての職員が理解し、業務を遂行しなければならない。

### □ 能登地区方針

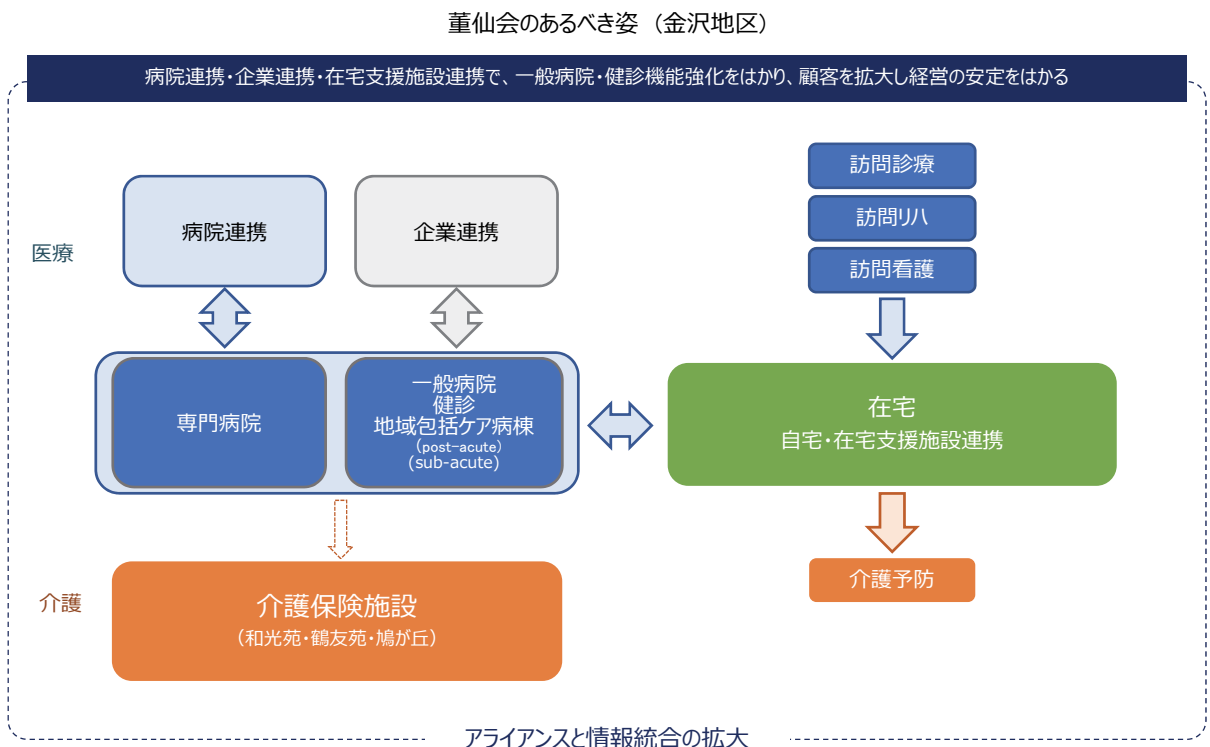
住み慣れた地域で、納得できる高度な医療・手厚い看護・きめ細かな介護サービスを受けられるようにする。

職員は既存の施設・サービスを最大限に活用し顧客の流出を防ぎ、けいじゅヘルスケアシステム内で完結するようにガバナンスと情報統合を強化する。



### □ 金沢地区方針

病院連携・企業連携・在宅支援施設連携で、一般病院・健診機能強化をはかり、顧客を拡大し経営の安定をはかる。



## ■ 継続的基本方針を実現する方法

継続的基本方針と、現状の姿（SWOT分析）のギャップを以下に示す。強みを活かし、弱みを補いながら3か年で目指す将来像に到達することを目標とする。



## ■ 継続的基本方針の実施計画

2020年度までの3カ年実施計画を以下に示す。

初年度は主に改善・克服戦略、次年度は積極・差別化戦略を遂行し、3年後の目指す将来像を完成させる。

### 2018（改善・克服）

#### 「創れ、恵寿バリュー！」

社会構造の変化への対応を見据え、職員と顧客が共有できる価値を創造する

- 恵寿式チーム医療の完成
- 職員満足度100%達成
- データ経営の確立
- 高度医療・専門医療の強化
- PHR事業の拡大
- 顧客に選ばれる仕組みづくり
- 他病院・施設への流出防止
- 競合事業者との戦略的な連携
- 二次医療圏外からの顧客獲得
- 戦略的リクルート
- 病院施設設備計画策定開始
- One Keiju計画開始

### 2020

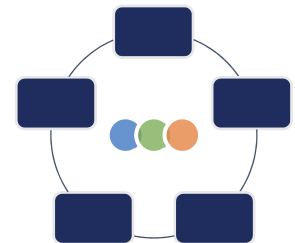
#### 「経営品質の高さ」

×

#### 「顧客による社会的評価」

恵寿ブランド力の向上

- ①満足度を100%にする
  - ②One Keijuをつくる
  - ③生きるをデザインする
  - ④質を上げる
  - ⑤新サービスを創出する
- 上記5施策の完成  
→「石川=恵寿」の完成



### 2019（積極・差別化）

- 病院・施設の設備計画の完成
- 七尾+金沢 One Keiju（統合戦略）による経営資源の最大活用
- 顧客満足度100%達成
- サービスの質の進化によるシェア拡大
- 産学連携コラボレーションによるサービス開発



## ■ 継続的基本方針 戦略目標



2020年度までに継続的基本方針を達成するための5施策

- ①満足度を100%にする
- ②One Keijuを目指す
- ③生きるをデザインする
- ④質を上げる
- ⑤新サービスを創出する に対する具体的な戦略目標例を示す

### 財務の視点

#### 1. 顧客の生涯健康維持をサポート

リテンションマーケティングを行い既存利用者との結びつきを強めるとともに、新規利用者の獲得を行う  
患者、利用者とのつながりを強化するためにPHRを拡充する

#### 2. 将来にわたる事業の発展、地域への貢献

経営の健全性を維持するため、生産性を向上させ、医業収入の黒字化、医業外収入の増加を目指す  
サービスの質で競合を超越し、金沢での拡大、能登での充実を図る。人件費率（医療、介護）の適正化を行う

### 顧客の視点

#### 1. 顧客満足度100%

顧客の価値観の変化に則した魅力ある医療・介護施設群へとゼロからの転換を図り満足度100%を目指す

#### 2. 職員満足度100%

職員の健康と幸せを築くために「健康経営×キャリアデザイン・プロジェクト」を推し進め満足度100%を目指す

#### 3. 患寿ブランドの創出

選ばれ続けるために、「七尾＝患寿」、「石川＝患寿」となるようなコーポレートアイデンティティ＝ブランディングの完成を目指す

#### 4. “患寿式”地域包括ヘルスケアサービスの完成

徹底した顧客満足度向上のためにサービスをいつでも 安心して受けられるようにする  
「どうすれば利用してもらえるのか」「継続的な利用をどうやって実現するか」をデザイン思考で完成させる

#### 5. 専門技術・知識、現場力の蓄積 成長・やりがいの実感

医師・看護師・その他医療技術職の専門性を発揮するためにタスクシフティングやキャリアチェンジを推進する」

### 業務プロセスの視点

#### 1. 顧客参画型患寿式チーム医療の完成

既存サービス＋患者利用者の参画、職員のお互い様意識を醸成（多様性理解）し合う環境作りを行う

## 2. 事業競争力の強化・差別化

急性期機能・高度医療（救急・がん・脳卒中・心臓・呼吸器外科・整形外科・健診）を強化するために医師の招聘を（3年後100名体制）行い患者・利用者の流出を防ぐ

## 3. 経営資源の効果的・効率的な運用

経営資源「人・物・金・情報・心」の効率的な運用を行い、生産性の向上を目指す  
限られた人的資源を最大限に活かす統合戦略を行い遠隔診療・テレワークなどの働き方改革を行う

## 4. Only1、No1領域の確立

患寿の絶対的な強みである「医療介護統合電子カルテ」、「セントラルキッチン」、「コールセンター」、「楽のり君」、「ユニバーサル外来」、「産科」、「家庭医療」、「無痛分娩」、「内視鏡」、「血液内科」、「乳腺外科」、「呼吸器内科」、「心臓血管外科」、「糖尿病内科」、「回復期リハビリテーション」を確立し収益事業化する

## 5. データ経営の確立・PDCA遂行

原価管理、DPCベンチマーキング、Quality Indicatorなどデータに基づく経営を確立する

## 6. 将来への事業基盤の構築

老健施設、金沢病院の改修計画、病床・病棟の再編・医療機器、IT投資計画等BCMとして病院・施設設備計画を完成させる

## 7. 収益を生むイノベーションの創出

企業・大学・研究機関とのAI、IoTを利活用した「既存サービス×医療」コラボレーションによる収益を生む新たなサービス開発を行う

## 学習と成長の視点

### 1. 事業環境の精緻な分析と情報共有

競合環境やマーケットシェアを分析し、既存顧客の流出防止と新規獲得を行う

### 2. BSC目標管理の徹底革新とチャレンジ精神の醸成

全ての職員が、法人のミッション・ビジョン・戦略テーマを納得・理解しBSCの定着とPDCAを推進する  
職員自身が自発的に考え行動することを目指す

### 3. 戦略的リクルート・連携・協働

戦略的なブランディング、広報による優秀な医師・看護師・介護職獲得のためのリクルート活動を行う  
競合事業者との（急性期リハビリ、介護事業者、小児科、婦人科、精神、歯科）Win-Winな連携を行う

### 4. 人材マネジメントの強化

キャリアビジョンの提示、全体最適を図る人材育成を組織を挙げて取り組み次世代リーダーを育成する

## ■ 2018年度 董仙会戦略マップ

<p style="text-align: center;"><b>ミッション</b></p>	<p>いつでも、誰でも、たやすく、安心して、診療を受けられる病院にする [創業精神]          信頼の心 思いやりの心 健全な経営 職員の健康と幸せ [基本理念]          先端医療から福祉まで「生きる」を応援します [ミッション]          恵寿フィロソフィ [価値観・行動規範]</p>
<p style="text-align: center;"><b>継続的基本方針</b></p>	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <ol style="list-style-type: none"> <li>①満足度を100%にする</li> <li>②One Keijuを目指す</li> <li>③生きるをデザインする</li> <li>④質を上げる</li> <li>⑤新サービスを創出する</li> </ol> </div> </div>
<p style="text-align: center;"><b>理事長 単年度方針</b> 【戦略テーマ】</p>	<p><b>2018年度（平成30年度）董仙会・徳充会 理事長方針</b></p> <p>惑星直列と呼ばれる大きな変革の年になる。4月にはトリプル計画といわれる地域医療構想を含む「第7次医療計画」「第3期医療費適正化計画」「第7期介護保険事業計画」の策定、またトリプル改定といわれる「診療報酬」「介護保険報酬」「障害福祉サービス等報酬」の改定、さらには新専門医制度が始まり、働き方改革の議論が佳境を迎える。これらに、慢心することなく丁寧に適応、対応したい。</p> <p>それ以上に、この先の2020年のポストオリンピック・パラリンピックの<b>社会構造の変化</b>への対応を見据えねばならない。29年度方針であったQOL経営を継続しながら、共有できる価値を創り出し、定義していかなければならない。</p> <p>『創れ！ 恵寿バリュー』</p> <p><b>職員間、部署間</b>はもとより、<b>患者・利用者</b>と、そして<b>地域社会</b>と<b>共有できる価値</b>を創ろう。価値観は時代とともに変化する。医療・介護・福祉のあり方、生活、人生（誕生から終末期）、満足度、働き方など、それぞれは過去のを踏襲するだけではない。また、お仕着せの価値観であってはならない。</p> <p>われわれは、われわれが誇りを持つて、われわれの価値を創造し続けなければならない。</p>

## ■ 2018-2020董仙会中期計画 報告

2018年単年度方針「創れ、恵寿バリュー！」を掲げ、改善・克服戦略の年とした。BSCの学習と浸透が図られ、目標に向かって一致団結する気風が定着した。価値観が多様になる社会を見据え、PHR導入など新しい価値の創造を模索した。

2019年単年度方針「生産性を上げよ！」を掲げ、積極・差別化戦略の年とした。BSCによる業務改善が進み、生産性を上げた。一致団結が大幅黒字決算という成果として現れた。

2020年単年度方針「一步前に！」を掲げ、「経営品質の高さ」×「顧客による社会的評価」恵寿ブランド力向上の年とした。コロナ禍により、オンライン会議やTeams活用による業務改善が進み、大きな一步を踏み出した。3年に渡る黒字決算（予測）として経営品質の向上が見られたが、受診控えなどコロナ禍の影響が大きく、慰労金・補助金に支えられた。

### □ 2018-2020主な出来事

2018年	2月	健康経営優良法人-ホワイト500-認定	2019,2020年も認定継続（100位以内/約4,000社）
	5月	介護療養型老人保健施設 恵寿鳩ヶ丘を介護医療院に転換（石川県初）	
	10月	国際病院連盟最高位賞 特別賞を「恵寿式地域包括ヘルスケアサービス」として受賞	
	12月	生活支援の拠点として、ベンリー七尾店開店（フランチャイズ方式）	
2019年	4月	本院第六代病院長 鎌田徹（乳腺外科科長）就任	
	7月	AI問診システムを導入（本院）	
2020年	3月	新型コロナ感染予防として、PPE・機器購入、オンライン会議・面会等開始	
	4月	健康経営のさらなる展開のため「けいじゅ健康保険組合」を設立、電話診療、処方箋発行を開始	
	5月	地域医療支援病院（本院）承認、オンライン採用面接開始	
	6月	けいじゅヘルスケアシステムのウェブサイトを開発[図1]、来院前AI問診を開始（本院）	
	8月	金沢病院の電子カルテバージョンアップ完了、職員共通のポータルサイト構築	
	11月	発熱外来を設置（本館横駐車場）	

戦略		結果
改善・克服戦略	恵寿式チーム医療の完成 高度医療・専門医療の強化 PHR事業の拡大 職員満足度100% データ経営の確立 戦略的リクルート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PET-CT更新</li> <li>・医療介護統合電子カルテの仮想サーバ入替(HCI)、バージョンアップ完了</li> <li>・ " " のBCP（国内3カ所保管 SSI・MDV・千年カルテ）</li> <li>・感染防止、検査等の機器購入、駐車場に発熱外来を設置（コロナ禍対応）</li> <li>・PHR・AI問診の拡大</li> <li>・国際病院連盟 最高位賞特別賞を受賞</li> <li>・永く働ける環境づくりを目指し、定年制廃止・業務手当充実を目指す</li> <li>・健康経営優良法人ホワイト500に上位認定（2018-2020）</li> <li>・けいじゅ健康保険組合を設立</li> <li>・データ経営チーム設立・活動を開始</li> <li>・オンライン採用面接・内定者の集い開始</li> </ul>
積極・差別化戦略	顧客満足度100% One Keijuによる経営資源の最大活用 サービスの質進化によるシェア拡大 産学連携によるサービス開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1患者1IDを活用し、介護・医療の共通情報提供書で情報共有を進化</li> <li>・入院・入所セット導入を拡大、オムツセットも一部導入</li> <li>・Office365によりTeams・オンライン利用が進化</li> <li>・職員共通ポータルサイトを構築</li> <li>・あるべき姿の共有を図り、「恵寿まるわかりブック」・各施設リーフレット作成</li> <li>・生活支援事業の強化 ベンリー七尾店開店</li> <li>・恵寿SDGsの明確化</li> <li>・歩行の質向上「Foot活プロジェクト」を開始</li> <li>・恵寿ブランド商品『Foot活サンダル』（歩行の質改善効果）</li> <li>・恵寿ブランド商品『溶けない脳活アイス』（嚥下機能低下対策）</li> </ul>
「経営品質の高さ」 × 「顧客による社会的評価」	満足度100% One Keiju 新サービスを創出する 生きるをデザインする 質を上げる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改善・克服戦略結果</li> <li>・積極・差別化戦略結果</li> <li>・恵寿ブランドの向上</li> </ul>

## 董仙会本部 事務管理統括部門

## 董仙会本部

- 常務理事      ■ 本部長
- 神野 厚美      進藤 浩美

### ■ 2020年度のトピックス

パンデミック、新型コロナ対応を全部署上げて実施した。

部署・視点	対応
本部	密防止といざというときの体制づくりのため2ヶ所に分かれて業務することを指示。
財務	資金調達（交付金・補助金申請、WAM、銀行） 感染対応備品・物調達、患寿アラート発信で収入確保、職員宿泊場所の備品整備
総務	慰労金等職員支給準備、各種規程・手当整備・申請業務、慰労金・ワクチン接種等委託業者の調整、コロナ病棟勤務者の宿泊場所確保
企画	感染予防対策の広報誌や動画を制作し、情報発信。BCM別冊換気を発刊。
情報	オンライン対応環境整備、デバイス準備
生活支援	コロナ病棟等感染予防ゾーン分け、アクリル板の設置。発熱外来、感染予防備蓄倉庫の設置。機械換気について、実態調査、安全性を確認。

### ■ 事業報告

- ① 職員が感染しても業務が持続できるように、2ヶ所に分かれて業務することを指示し、それが困難な場合には、アクリル板設置など環境を整備した。トピックスに記載したように、本来業務に加えてコロナ対策業務が加わった。
- ② 各病院、施設の収入が減る中、収入確保のため、患寿アラートにて職員喚起し、各種交付金、補助金獲得に努めた。しかし、WAM、銀行などの資金調達も実施。
- ③ 本年の高額医療機器として、PET-CTを更新した。コロナ終息後に備え、医療・観光資源の開発もすすめた。
- ④ 健康経営を目指すために、けいじゅ健康保険組合を設立し、健康経営対策室と協働し、健康経営優良法人ホワイト500に4年連続認定された。
- ⑤ 本部、本院事務部と協働での監査を実施し、ISOを更新し、董仙会のSDGsをまとめた。
- ⑥ 本院ローソンは、朝7:00～夜21:00と継続可能な営業時間とした。外来・入院患者の利便性を高めるために、伸縮性のある病衣セットに見直し、新規にオムツセットを導入し、マチカフェ商品の充実、病棟ワゴンサービスを開始した。
- ⑦ 人生100年時代プロジェクト、全世代型の給与規程退職金規程等の変更準備をすすめた。

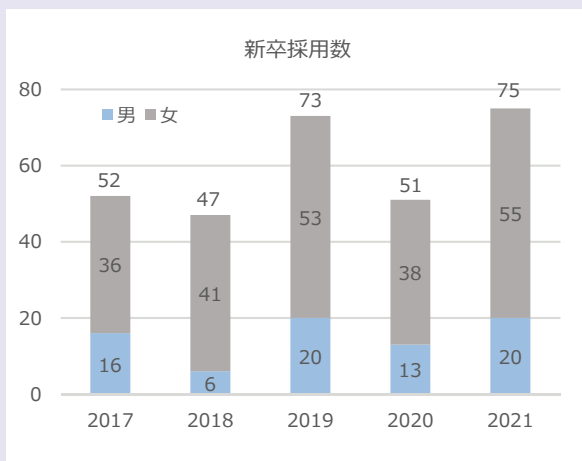
## 総務部

### ■ 部長

松田 久良

### ■ 2020年度のトピックス

2021年度の新卒の採用実績が75名と過去最高となった。本年度はコロナ禍の下、早期かつ積極的に電子DMやオンライン会社説明会に取り組んだことが奏功した。



### ■ 事業報告

- ① 職員のコロナ感染により、総務部機能に問題が生じないように、3病棟1階と6階で、生産性の悪い中で業務した。
- ② コロナ休暇、コロナ危険手当などコロナに対応した規程を整備し、運用した。また、慰労金、コロナワクチン接種手続きなど、委託企業との連携調整業務も実施した。
- ③ 人事ソフトへの移行入力、初めてのオンライン手続きなど生産性を上げるための下準備作業ボリュームが多かった。
- ④ 初めての外国人介護技能実習生を受け入れるための体制を確立した。コロナの影響で入国審査が長引いたが、2021年1月にインドネシア人1名を受け入れできた。
- ⑤ けいじゅ健康保険組合を設立し、その業務を兼務した。
- ⑥ 職員獲得のために、通年採用を行なっているため、毎月中途採用職員研修の実施で業務量が増えている。また、恵寿カムバックパスポートを導入した。その他、支度金も増額、職員紹介料も増額した。
- ⑦ 全世代にやさしい人生100年時代プロジェクトを推進し、昨年来検討していた定年制廃止導入にともなう問題点の対応、就業規則、給与規程、退職金支給規程について整備を継続している。

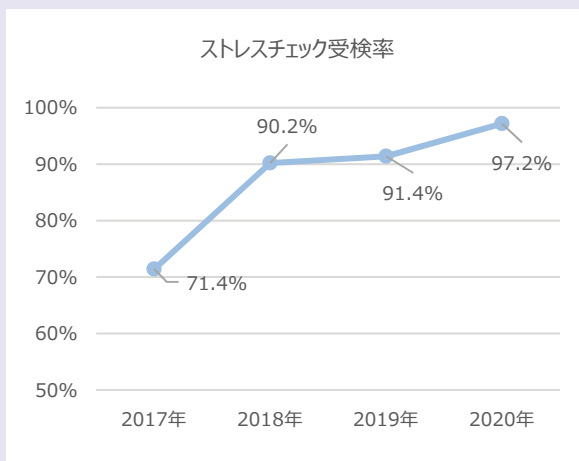
## 健康経営対策室

### ■ 室長

松田 久良

### ■ 2020年度のトピックス

ストレスチェックについては、事前の準備、職員への周知、受検状況の報告など受検率向上に向けた施策を行った結果、受検率は97.2%と昨年の91.4%より改善した。



### ■ 事業報告

- ① けいじゅ健康保険組合の立ち上げにあたり、申請手続、実務遂行両面において、バックアップし、2020年4月の設立にこぎつけた。
- ② けいじゅ健康保険組合と横断的な健康管理事業推進委員会を組織し、特定健康診査等実施計画などの職員の健康増進策について検討した。
- ③ 健康経営優良法人2021（大規模法人部門・ホワイト500）に申請して、4年連続認定を受けた。
- ④ コロナ禍において、スムーズな補助金受給申請や特病休暇（コロナ休暇）や休校休暇などの制度を創出するなど職員の生活面での支援に努めた。
- ⑤ ストレスチェックにおいては、受検率97.18%と過去最高の水準を記録した。また、恵寿こころの相談室の利用人数は延べ人数で13人となり、昨年度実績10人を上回った。
- ⑥ 月間残業時間30時間を超えた職員には、オンラインによる産業医面談を励行し、年間13回の実績があった。
- ⑦ 女性活躍推進法に基づく一般事業主の行動計画満了にともない、次期行動計画を策定し、県への届出を行った。

## 財務部

### ■ 部長

安井 智美

### ■ 2020年度のトピックス

新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業として、医療・介護ともに様々な支援事業が実施された。

事業内容
コロナ患者対応従事者慰労金
コロナ患者等入院医療機関設備整備
帰国者・接触者外来等設備整備
感染症検査機関等設備整備
コロナを疑う患者受入れのための救急・周産期・小児医療体制確保（設備整備等事業）（支援金支給事業）
インフル流行期に備えた発熱患者の外来診療・検査体制確保
インフル流行期におけるコロナ疑い患者を受け入れる救急・周産期・小児医療機関体制確保
コロナ患者等入院受入医療機関緊急支援
石川県新型コロナウイルス感染症患者受入医療機関協力金
医療機関・薬局等における感染拡大防止等支援
新型コロナウイルス感染症緊急包括支援（介護）

### ■ 事業報告

#### ① 感染対策物品

マスクなど感染対策の消耗品が世界中で不足した為、調達は大変困難であったが、代用品や使用方法の検討などにより欠品を防ぐことが出来た。大量の支援物資の受け入れ時は保管場所の確保に苦慮したが、備蓄倉庫を設置し今後に備える事とした。又、消耗品以外の機器なども現場の要望に応えられるよう、情報収集に努めた。

#### ② コロナ交付金

交付金の種類が多く、対象施設（サービス）や対象経費の内容確認が非常に複雑で、なおかつ途中で申請方法や解釈の変更が発生したりと大変であったが、本院担当者と連携を密に取り確実に申請手続きを行った。

#### ③ 分散勤務

感染対策として各課2チームに分かれ別々の場所で勤務を行った。情報共有や必要資料の確認などで生産性の低下は否めなかったが、BCPの実地訓練の側面もあり非常に貴重な体験でもあった。今後の勤務体制を考える上で参考になるものと考えている。

## 財務部 経理課

### ■ 課長

河合 隆志

### ■ 2020年度のトピックス

RPA導入に向け、業務の作業分解を実施した。

#### 作業分解を実施した手順一覧

明細資財エクセルの作成手順
買掛金・未払金仕入帳転記手順
買掛金・未払金集計表繰越手順
買掛金・未払金集計表転記手順
MDC作成手順

### ■ 事業報告

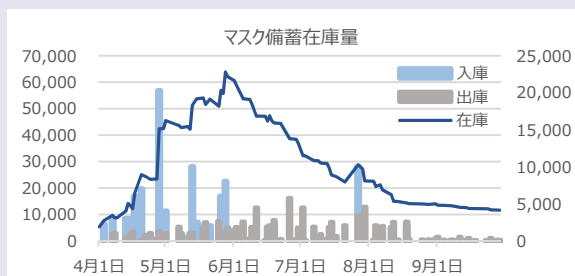
- ① 給与振込・地方税納税を完全オンライン化し、生産性向上を図った。
- ② 第9回全国医療経営士実践研究大会・経営改善アカデミー（宮崎大学病院主催）にオンライン参加し、データ経営に向けて一歩前進した。

## 財務部 資財課

### ■ 課長

池岡 一彦

### ■ 2020年度のトピックス



- ① 新型コロナによるPPE品不足下での、代替品の考案、安定供給を行った。
- ② PPE価格高騰下での購入価低減を図った。
- ③ 新型コロナ助成金申請を行った。
- ④ 備蓄倉庫建設、保管を行った。
- ⑤ 新入院セット導入・新スクラブ導入準備。
- ⑥ HOSPEXにオンラインで参加した。

## 企画部 企画課

### ■ 常務理事

神野 厚美

### ■ 部長

進藤 浩美

### ■ 2020年度のトピックス

新型コロナウイルス流行の影響で、例年通りのイベントや病院見学会の開催ができない中、新しい取り組みとしてオンライン見学会を企画した。2020年8月～2020年12月の期間内に計5件 110名を受け入れた。

日付	見学者
8/21	石川県立七尾高等学校（34名）
10/13	社会医療法人聖医会（4名）
10/30	石川県立門前高等学校（30名）
12/17	医療法人社団久英会（8名）
12/18	石川県立羽咋高等学校（34名）

### ■ 事業報告

- ① 2019年度の業績集を作成し、6月中旬に配布した。
- ② コロナ禍に対応した広報誌「恵寿」を年4回発行した。
- ③ マンスリーレーター能登版、金沢版を毎月発行し、地域の医療機関等に配布した。
- ④ けいじゅヘルスケアシステムのコーポレートサイトを作成し、6月より公開を開始した。
- ⑤ 新型コロナウイルスにより中止していた一本杉Caféの再開にあたり、感染予防に配慮した企画・運営に協力した。
- ⑥ 新型コロナウイルス感染症の法人の取り組みを職員に周知するため、週2回のメール配信を行った。（2020年5月～8月 合計23回）
- ⑦ 地域の方々への案内や健康創出のため、「発熱外来の受診法」、「腰痛予防体操」をYouTubeで公開した。
- ⑧ マスコミ向けのプレスリリースを年間で27回行い、新聞掲載やテレビで取り上げもらった。
- ⑨ ラジオななお「安心マイライフ」の内容企画とパーソナリティへの交渉を行い、44回放送した。
- ⑩ 本院医療情報ラウンジのサイネージで、動画やラジオななおなどのコンテンツを放送した。
- ⑪ 職員向けポータルサイトを最適化し、イベント情報やお知らせを職員に周知した。

## 情報部 情報管理課

### ■ 課長

小澤 竹夫

### ■ 2020年度のトピックス

今年度はコロナ禍対応として、法人内でTeamsやZoomなどのオンライン会議を行うためのインフラ整備を行った。また例年より多くのパソコンを購入し、オンライン用端末として各部署に配布し、オンライン会議の促進を図った。恵寿金沢病院では新版電子カルテ（Newtons'2）への切替を行った。

導入・更新したシステム一覧
新版電子カルテシステム（恵寿金沢病院）
無線アクセスポイント更新（恵寿総合病院）
リモートアクセストークン更新
千年カルテとの連携システム構築
端末の新設及び更新（デスクトップ100台、ノート100台）

### ■ 事業報告

- ① 恵寿金沢病院の電子カルテを旧版（Newton's）から新版（Newton's2）へのバージョンアップを行った。操作性や視認性が向上し、診療の生産性向上に繋がった。
- ② 無線アクセスポイントの更改に伴い、従来よりもパケット処理速度が向上した。それにより無線ノートパソコンのネットワーク遅延が更改前よりも減少した。
- ③ リモートアクセスに用いているトークンを更新した。またトークン本数も今年度は10本増やした。リモートアクセスは安全に院内システムにアクセスできるので、パンデミック対策に有効なシステムである。今後は医師だけでなくその他の職種にも使用できるような環境を整えていきたい。
- ④ 千年カルテに参画し今年度からデータのアップロードを開始した。医療情報の二次利用にも協力し、千年カルテDBによる医療研究の活用に貢献した。
- ⑤ 今年度は法人全体でデスクトップ100台、ノート100台の合わせて200台のパソコンの設置作業を行った。端末性能により生産性が大きく向上した。一部のノートパソコンはTeams、Zoomといったクラウドサービスを使用できるようにし、オンライン会議、打合せに使用可能にした。
- ⑥ 介護改定、オンライン資格認証などDXへの取組みを行った。



## 生活支援部 生活支援課

### ■ 課長

梅田 信一

### ■ 2020年度のトピックス

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大予防業務を実施した。

#### 感染予防対応業務一覧

	感染予防機器、備品備蓄倉庫の設置
本部	機械換気状況の確認、職員教育
全施設	フィルター清掃確認
	アクリル板、車両内ビニールシートでのゾーニング
	消毒清掃状況の確認と指導
	一般発熱外来、産婦人科用発熱外来
本院	コロナ患者受入れ病棟の整備
	①防火扉のセンサー解除
	②換気量設定変更
	③病室の鍵の付け替え
	④陽性患者病室入口カーテンをビニールに変更
	⑤床にゾーニングテープ設置
⑥ロッカー、ソファベッド等備品搬入	
	コロナ病棟の整備
介護施設	コロナ患者発生時のゾーニング確認

### ■ 事業報告

- 2020年は、トピックスに記載する感染予防対応業務を大成有楽不動産、オリックス等のパートナー企業と共に実施した。また、菱機工業様に全施設の機械換気状況の確認と詳細な資料提供をいただいたので、企画部の協力の下、BCM機械換気別冊を刊行し、職員教育につなげることができた。
- FM業務（ファシリティマネジメント業務）は、各部署から申請の上がったものについて、委託企業様と対応した。補助金事業にて、和光苑・鳩ヶ丘の非常用発電機を更新した。本院の露天風呂の故障は課題として残った。
- 清掃、5S業務も委託企業様の協力で実施したが、介護施設の浴室の天井カビについては、運用確認と対策が課題である。
- ベンリー七尾店とめぐみの介護保険での住宅改修コラボができなかった。めぐみでは、初めて「めぐみフェア」を7月より月1回開催し、めぐみニュースも毎月継続的に発行できた。商品も感染予防対策グッズを職員に周知した。福祉用具レンタルステーションは、国より上限値、平均値がでたため、価格を見直した。ケアマネが利用者にすすめやすい、ペット・手すり特別価格セットもつくり、2021年の運用に向けて準備した。

## 広報委員会

### ■ 委員長

進藤 浩美

### ■ 副委員長

神野 厚美

### ■ 2020年度のトピックス

本年は、特にコロナ対応について、広報活動を実行した。

媒体	内容
製作物	広報誌、マンスリーレター、各種パンフレット、HP、サイネージ、フラッグ、動画
メディア	ラジオななお、プレスリリース（発熱外来、備蓄倉庫、ローレルイルミネーション）

### ■ 事業報告

- ホームページに新型コロナウイルス対策についてまとめたページを作成した。目に留まりやすくするためトップページにバナーを作成し、公開した。
- 新しく購入した機器や導入した事柄について、職員にメール・ポータルサイトで周知するとともに、プレスリリースでマスコミにも情報発信した。

## けいじゅヘルスケアシステム給食戦略会議

### ■ 委員長

進藤 浩美

### ■ 副委員長

神野 厚美

### ■ 2020年度のトピックス

・真空包装機器4台購入  
けいじゅデリカサブライセンター機器の故障対応として、今年度、検討に難渋したのが、真空包装機器であった。結果、ホシザキ製の真空包装機器を4台入れることとした。4台使用することにより、1台の負荷を軽減し、故障時のBCP対策としても、複数台対応がベストと考えられた。

### ■ 事業報告

- 6月まで、消毒液やマスク確保に苦慮した。介護施設でうがいと水分摂取コップの使い分けを徹底した。
- 給食職員の働き方改革のため冷凍弁当トライアルを実施し、今後の運用が可能であることを確認した。
- 本院ライト食のロス率が多く、SDGs対策としてメニューを検討。職員へのスマートミールのテイクアウトを開始した。
- アレルギー対応教育と運用変更を実施した。

第2章 法人方針・事業報告（董仙会本部）

## 個人情報管理委員会

### ■委員長・個人情報保護管理者

進藤 浩美

### ■2020年度のトピックス

監査項目① プリンター上、出力後紙の放置	2019		2020	
	2019	2020	2019	2020
監査項目② カウンター、机上、掲示物等 覗き見、盗難への配慮				
	2019	2020	2019	2020
本部	0	0	0	1
本院	1	2	5	1
金沢	0	0	0	1
介護	0	0	2	1

### ■事業報告

- 6/22、11/16に個人情報管理委員会を実施。本部・本院・金沢病院・介護事業部門それぞれの個人情報委員に監査の計画を指示し、実施した結果を報告した。
- 定期的に患者をピックアップし、電子カルテアクセスログより、業務以外の事象があるかチェックしている。不正アクセスと思われるものは、人事委員会案件とした。

## キャリアデザインプロジェクト

### ■リーダー

松田 久良

### ■2020年度のトピックス

e-learningに11項目の新講義をアップした。

- |                |           |
|----------------|-----------|
| ①健康経営          | ⑦恵寿フィロソフィ |
| ②ビジネスマナーの基本    | ⑧SPDの仕組み  |
| ③20代からの資産形成    | ⑨BCP水害対策編 |
| ④BCP停電編        | ⑩SDGs     |
| ⑤年末調整          | ⑪コロナ対策    |
| ⑥Teams・Zoom使い方 |           |

### ■事業報告

- コロナ禍により、オンラインやハイブリッドでの研修会を新規採用5回、正職員転換2回、昇級者8回、中途採用12回、役職者9回実施し、ブルーブック「キャリアデザインプロジェクト」を大幅に見直し、2021年版を刊行した。
- ほくぎんビジバ倶楽部に参加して、外部のアウトソーシングした講座（700講座以上）も導入し、職員の研修体制の充実を図った。

第2章 法人方針・事業報告（董仙会本部）

## BCM委員会

### ■委員長

松田 久良

### ■2020年度のトピックス

BCMVer.4.0発刊 別冊 換気設備発刊

・豪雨水害編から水災編へ

近来、地球温暖化の影響もあり、大規模な自然災害が多発した。その中でも甚大被害をもたらす恐れのある線状降水帯の対策を念頭に水災編を大幅に見直した。

・新たにパンデミック編

新型コロナ対応の中、パンデミック編をまとめた。

### ■事業報告

- 水災編では、2018年の実際の水災で和光苑、鶴友苑、本院で起こった事を検証し、警報レベルに応じた、チェックリストを作成した。また止水板を整備し、使用方法等のe-learningも作成した。
- 停電時のエレベーター使用についてまとめ、e-learningについて着手中である。

## リクルートプロジェクト

### ■リーダー

松田 久良

### ■2020年度のトピックス

・感染防止対策 いち早くオンライン化  
就職説明会、見学会、面接もオンライン化した。

・EメールによるDM  
7,000通以上発信

・新聞折込チラシ  
毎週、同じテイストで作成

### ■事業報告

- 新規採用職員獲得過去最高75名、中途採用職員も過去最高、2021年4月1日付け採用は、100名を超えた。
- 派遣会社、紹介会社、トラベルナースにも各種アプローチを行い、採用に至った。
- 支度金も増額し、職員の紹介料も増額した。

## 外国人職員受け入れプロジェクト

### ■リーダー

松田 久良

### ■ 2020年度のトピックス

初めて技能実習生インドネシア人を採用

・徳充会・受け入れ機関「グローバルネット」と十分に連携

・和光苑内に礼拝用の祈祷室を準備

・技能実習生受け入れ研修受講

・職員教育として、イスラム文化の知識を情宣し、「イスラム教について」を刊行

### ■ 事業報告

- ① 職員教育について、イスラム文化の中でも、ハラール食・HALAL・ラマダン・ヒジャブ・礼拝などのイスラムの禁忌について受入職員の意識啓発に努めた。
- ② IMSプロジェクトとして、継続的に中国人看護師獲得の準備をした。しかし、IMS・瀋陽プロジェクトで獲得した看護師の退職が続いている。

## 福利厚生委員会

### ■委員長

安井 智美

### ■ 2020年度のトピックス

新入職員を主人公にした動画を作成した。董仙会職員が視聴できるようにQRコードを作り、メール・ポータルサイトで周知した。



QRコード



動画の一場面

### ■ 事業報告

新型コロナウイルス感染の影響で数々のイベントが中止となった。例年行われる、けいじゅヘルスケアシステム大忘年会や七尾港まつり総踊りは勿論、新入職員は歓迎会などもなく、社会人としての大切なコミュニケーションの場を奪われてしまった。動画作成が「コロナ禍ならではの思い出」になるのではないかと企画した。（楽曲：NiziU・make you happy）

## TQM委員会

### ■委員長

安井 智美

### ■ 2020年度のトピックス

下期の優秀賞は全て介護部門であった。

2020年9月25日（金）、29日（火）、10月1日（木）

1日目 恵寿金沢病院 臨床検査課

2日目 本院 看護部・サービス課・医療秘書課・医事課

3日目 本院 放射線課

2021年3月3日（水）、4日（木）、10日（水）

1日目 けいじゅ一本杉

2日目 いこい

3日目 ほのぼの

### ■ 事業報告

初めてオンライン（Zoom）にて発表大会を実施した。

上期下期とも平日3日間の分散開催とし、時間帯も変えることで、勤務中に職員が交代で参加できるように工夫した。

Zoomの機能を利用しチャットで質問する事ができたり、発表者も自部署から参加する事ができる為、移動時間が掛からないなどの利点があった。

## 診療報酬データ管理プロジェクト

### ■リーダー

安井 智美

### ■ 2020年度のトピックス

恵寿総合病院事務部と協働し活動。メンバー3名が、経営改善アカデミーWeb開催（宮崎大学 病院IR部 NPO日本医療ネットワーク協会主催）に参加、2ヶ月に渡りグループワークや自院のデータ分析を行い、演習成果発表会にて発表を行った。

### ■ 事業報告

- ① 毎月の医事課速報資料作成後、ディスカッションを行っている。疑問点を出し合い、仮説を組み立て、データを調べた結果を、経営会議にて報告した。
- ② メンバーだけでは同じような着眼点に偏りがちなので、外部講師を交えてオンライン勉強会を5回開催した。

## 病院・施設委員会

### ■委員長

吉田 茂和

### ■ 2020年度のトピックス

#### コロナ対応で情報共有した主な内容

感染多発地域から利用者の家族が帰省した場合の通所者の利用ルール

各施設、入所と通所の利用者のゾーニング

面会対応の方法

食堂の亚克力板など環境整備

抗体検査の方法

### ■ 事業報告

- ① 各施設の感染拡大予防対策などの情報共有  
パーティションの準備や消毒対応、各施設の面会対応など、各種対応の情報共有を行った。また、新型コロナウイルス抗体検査についても職員に情報共有を行った。
- ② 「Foot活プロジェクト」再始動について周知  
「Foot活マイスター」の養成や活動について情報交換・情報共有を行った。

## けいじゅFM会議

### ■委員長

梅田 信一

### ■ 2020年度のトピックス

コロナ対応の設置、改修の主なものは、下記である。

- ① 産科発熱外来、一般発熱外来の設置、それに伴う看板の設置、污水管理、感染防止備品備蓄倉庫の設置
- ② 本院臨床検査課の倉庫を遺伝子検査室に改修
- ③ 本院健康管理センターの呼吸機能検査室に換気扇設置
- ④ 和光苑の通所出入口を変更

### ■ 事業報告

- ① 全施設設備等についてパートナー企業である大成有楽不動産と協議し、メンテナンス業務を行った。特に、コロナ対応として、フィルター清掃、機械換気調整に注力した。補助金事業で、和光苑と鳩ヶ丘の非常用発電機を更新した。
- ② ビオラ・コニファーの全戸の入り口鍵の交換を実施した。
- ③ 鳩ヶ丘職員住宅のエアコンの更新を実施した。

## 第2章 法人方針・事業報告（董仙会本部）

## けいじゅグリーン会議・委員会

### ■委員長

梅田 信一

### ■ 2020年度のトピックス

今年度は、オリックス社とのグリーン会議に加えて、董仙会事業所代表が参加するグリーン委員会を実施した。7月より奇数月に4回開催した。

会議・委員会の内容として、コロナ感染防止対策の情報共有を行った。（例）車いすなどの消毒後は、消毒済みの札を掛けること、利用する消毒液、シートのメリットなど。

### ■ 事業報告

- ① 介護施設の浴室のカビ、浴槽の汚れについて、特別清掃を含め運用を検討した。
- ② 5Sの取り組みとして、粗大ごみ、不用品を廃棄物を回収する日程を事業所毎に設定し実施した。
- ③ 本院の落下針について、2020年度は4件であり、昨年と同じ件数だった。

## 地球温暖化対策推進委員会

### ■委員長

梅田 信一

### ■ 2020年度のトピックス

エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素の温室ガス算定排出量は前年比の94.10%となり、CO2発生を削減できた。

年度	2017年度	2018年度	2019年度
CO2発生量	9,228t-co2	8,542t-co2	8,036t-co2
前年比	—	92.60%	94.10%

### ■ 事業報告

- ① 2019年度に和光苑の西棟にて給湯設備をA重油から電気ボイラに更新および照明設備をLED化を行った結果、CO2の発生が減少している。
- ② 地球温暖化対策推進委員の選定し、チャレンジ目標を設定して取り組んでもらったが、目標の精査と、冬の取り組みが出来なかった。

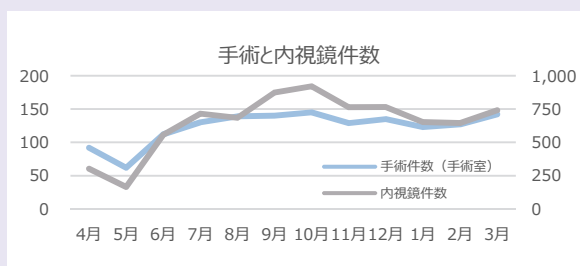
## 恵寿総合病院

### ■ 病院長

鎌田 徹

### ■ 2020年度のトピックス

新型コロナウイルス感染症の影響が様々な場面で認められた。入院外来患者数は減少し、インフルエンザなどの感染症患者が減少するなど疾病構造の変化を認めた。特に4月5月は健診や診療制限を行った影響で手術・内視鏡件数は激減した(図)。また患者・利用者・ご家族には全館面会禁止などの不便を強いてきたが、一方オンライン面会・オンライン勉強会・オンライン会議など能登の地理的不利益を払拭する新たなツールが浸透してきた。



### ■ 事業報告

- ① 感染症協力医療機関、外来診療・検査医療機関、ワクチン接種における基本型医療機関として別棟の発熱外来設置や病棟のゾーニングなどにより厳重な発熱患者・コロナ感染患者・濃厚接触者対応を継続的に行った。また会議・委員会のオンライン化やプライベートの行動自粛などにより入院患者・職員のコロナ感染はゼロであった。
- ② 入院について  
病床稼働率、平均在院日数、看護必要度はそれぞれ81.8%、15.3日、28-31%であった。それ以外に重要な指標である救急車受入台数、入院患者数、手術件数(全身麻酔)は1,359件、5,678人、1,476(795)件であり、ほぼ前年を下回った。また地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、障害者病棟の稼働率はそれぞれ80.9%、87.2%、98.6%であった。
- ③ 外来について  
地域医療支援として能登地域の医療機関で当院の眼科、脳外科、糖尿病、循環器疾患等の専門医が診療を継続した。教育研修として、看護師特定行為研修、救急事例検討会、研修医勉強会などを継続した。

## 診療部

### ■診療部長

山崎 雅英

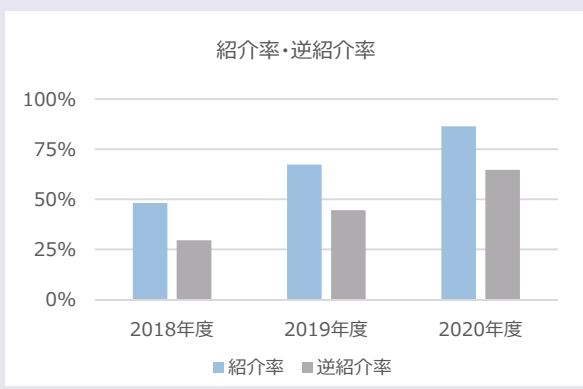
### ■副部長

西澤 永晃（医局長）、森永 敏生

### ■2020年度のトピックス

石川県地域医療支援病院に認定され、能登地区の地域医療の発展に貢献すべく、日々診療に取り組んでいる。

新型コロナウイルス対策として、発熱外来を設置し、PCR法、LAMP法による新型コロナウイルス遺伝子核酸増幅検査を院内で測定する体制を整備した。



### ■事業報告

- ① 新型コロナウイルス感染症流行の影響をうけ、残念ながら、外来・入院患者数は減少した。
- ② 2020年4月に石川県地域医療支援病院に認定され、能登地区の地域医療の発展に貢献すべく、日々診療に取り組んでいる。
- ③ 連携医療機関との連携を密にし、患者紹介率・逆紹介率が順調に増加した。
- ④ Web・ハイブリッド講演会などを通して地域医療に貢献した（診療部 年間12件）。
- ⑤ 新型コロナウイルス感染の流行を受けて、プレハブの発熱外来を設置するとともに、PCR法、LAMP法による新型コロナウイルス遺伝子核酸増幅検査を院内で測定する体制を整備した。これにより、有症状患者は先に新型コロナウイルスPCR検査を実施し、陰性確認後に一般診療を行い、手術患者はLAMP法（予定手術）、PCR法（緊急・準緊急手術）で新型コロナウイルス感染の有無を確認の上、手術を行うことで、院内感染・クラスターの発生なく第3波を乗り切ることができた。
- ⑥ 能登中部保健所の依頼により新型コロナウイルス陽性患者の受け入れも行っている。

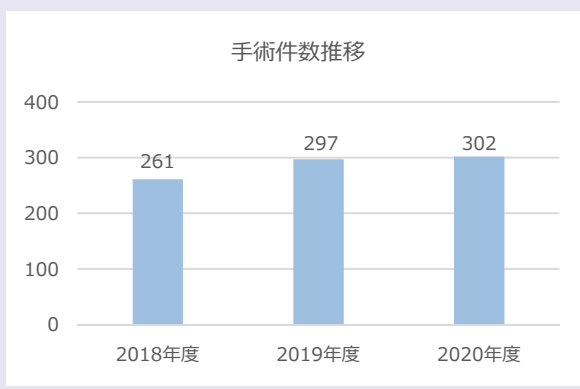
## 消化器外科

### ■所属医師

佐藤 就厚、高井 優輝、久野 貴宏、藤原 優太

### ■2020年度のトピックス

新型コロナウイルス感染症の拡大により、手術件数を抑制した影響で、5月の収入悪化が顕著であったが、目標値には届かなかったものの、年度末には、前年度の水準に近い手術件数、収入があった。防疫体制が整った上で、コロナ禍と変わらずに、診療を行える環境が整備できたことが大きかった。



### ■事業報告

- ① 消化器外科として全麻手術目標230件→223件（96.1%：前年度比、以下同じ）で未達成。
- ② 腹腔鏡手術目標180件→178件（89.9%）で未達成。
- ③ 消化器外科医業総収入（外来・入院）目標の94.2%（98.8%）で未到達。
- ④ ③のうち、入院分目標の93.4%（99.8%）で未到達。
- ⑤ CO2送気装置を用いたCT colonographyは27件
- ⑥ 消化器外科外来売り上げ前年比：95.0%、同単価：93.8%、入院単価：97.4%
- ⑦ 緊急手術件数が130件と、年々増加あり。（2016:97件 / 2017:103件 / 2018:112件 / 2019:124件）
- ⑧ 新型コロナウイルス感染症対策として、飛沫が飛散する可能性が高い手術を受ける患者に対して、術前スクリーニング検査を導入したため、胸部CT、遺伝子検査の件数が増加した。

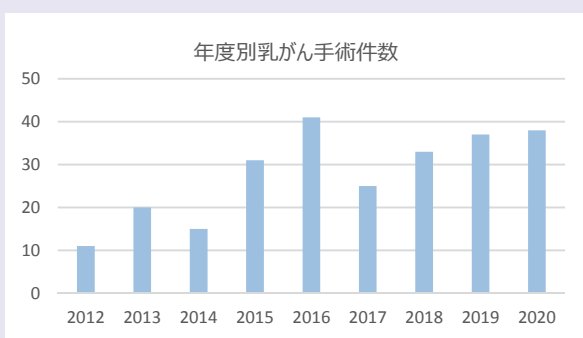
## 乳腺外科

### ■所属医師

鎌田 徹

### ■2020年度のトピックス

2016年度から乳腺外科を専門科として独立し、評判向上と充実を図ってきた。乳がん手術例は昨年度37例、本年度は38例と微増であった（下図）。抗がん剤治療の適応の判断材料としてのオンコタイプDX（遺伝子検査）の導入や種々の抗がん剤適応の有無に必要なコンパニオン診断検査を積極的に導入している。



### ■事業報告

- ① 乳がんの診療の充実  
昨年度に比較し、乳がん手術件数は微増（図）だが、外来化学療法・放射線治療件数ともに増加し、当院乳腺外科が周知されていると考えている。前述の種々の遺伝子検査を行うことで、最新の抗がん剤治療を積極的に導入している。女性放射線技師が実施しているドック乳房超音波検査時の機器が最新となり、ドック超音波の精度が高まった。
- ② 学会参加などにより知識を深めた  
今年度は自身の学会発表は行わなかったが、オンラインによる様々な講演会を七尾でオンライン聴取でき、有用であった。また能登地域での医療従事者向けのオンライン講演会を座長として、2回開催した。
- ③ その他  
再診患者はもちろん初診・紹介患者も予約を行うことで、利便性を図っている。また、紹介患者でなくても、かかりつけ医がいれば、積極的に診療情報を提供している。今後も診療体制を充実し、最新の知見・治療にも対応し、能登の地域で信頼されるように精進していきたい。

## 内科

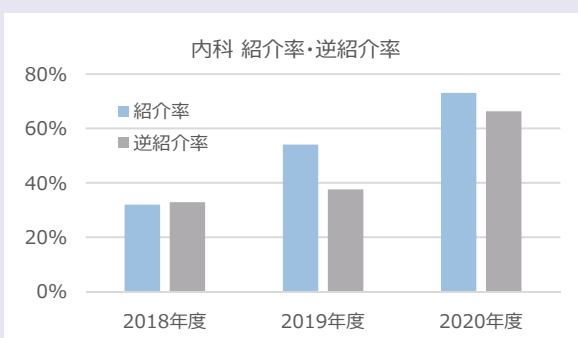
### ■所属医師

宮本 正治、山崎 雅英、山村 健太、向井 清孝、村田 亜香里、宮竹 敦彦、豊田 洋平、近川 由衣、野村 和利、野村 俊一、岩淵 佑

### ■2020年度のトピックス

地域医療支援病院として、

- ① 連携医療機関との連携を密にし、患者紹介率・逆紹介率が順調に増加した。
- ② 発熱外来を設置し、能登中部保健所・連携医療機関から依頼された患者のCOVID-19PCR検査を含め、地域での新型コロナウイルス流行阻止を図った。



### ■事業報告

- ① 新型コロナウイルス感染の影響が大きく、新患・再診外来患者数、入院患者数に関しては残念ながら減少した。
- ② 地域医療支援病院として、連携医療機関との連携を密にし、患者紹介率・逆紹介率は順調に増加した。  
紹介率  
2018:32.0% / 2019:54.1% / 2020:73.1%  
逆紹介率  
2018:32.9% / 2019:37.6% / 2020:66.3%  
また、「二人主治医制」を推進した。
- ③ 新型コロナウイルスPCR法・LAMP法による核酸増幅検査の院内測定導入、発熱外来設置を受け、連携医療機関から依頼された発熱患者、能登中部保健所から依頼された発熱患者・濃厚接触者のCOVID-19PCR検査・診療を内科・消化器内科・循環器内科で協力して実施し、地域での新型コロナウイルス流行阻止の一翼を果たした。
- ④ 新型コロナウイルス流行のため学会が中止・延期・Web開催となる中、学会発表12報、論文1編（依頼原稿）、新たな専門医取得延べ3名の学術活動を行い、各種外部委員としても活動を行った。

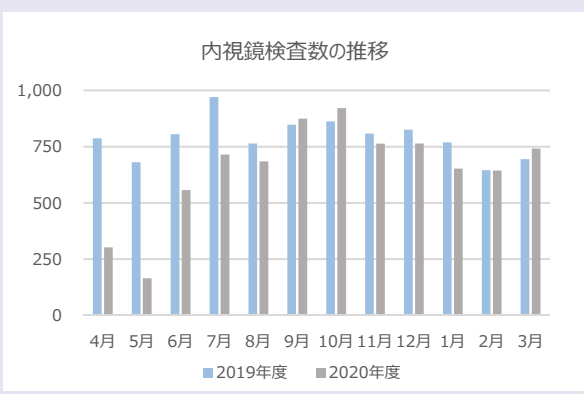
## 消化器内科

### ■所属医師

守護 晴彦、神野 正隆、藤原 秀、中井 亮太郎

### ■2020年度のトピックス

コロナの影響で外来、入院数および検査数の総計は減少したものの、年度途中からは例年並みの検査数の推移となった。特に内視鏡検査はコロナ感染の危険が高い中で、医師、コメディカルともに協力して検査を行った。内視鏡専門医不在の影響で奥能登からの紹介患者が増加した。



### ■事業報告

- 2020年1月からのコロナショックの影響により、患者紹介の減少、受診抑制および人間ドック・住民検診の抑制につながり、外来、入院、内視鏡検査数が年度前半は減少したが、9月以降は増加している。
- 内視鏡検査数は上部消化管7,782件、下部消化管1,774件（大腸ポリープ切除・EMR310件）と目標値並みの件数であった。ERCPは218件と例年よりも多く、今年度からの奥能登の内視鏡熟練者不在による紹介患者の増加が影響したと思われる。
- 2019年度までは待機の内視鏡治療を火曜日（週1日）に行ってきたが、2020年度は火曜日、木曜日（週2日）とすることで火曜日に集中してきた負担を軽減することができた。反面、木曜日の負担が増加したため、全大腸内視鏡を従来の木曜日10件から2021年度は火曜日、木曜日に5件ずつ分散して負担軽減を図る予定。
- 内視鏡検査によるコロナ感染の危険性を指摘されており、可能な限りでの感染防御を行っているが、スタッフの身体的、精神的な負担は非常に大きいと思われ、献身的に診療していることを報告する。

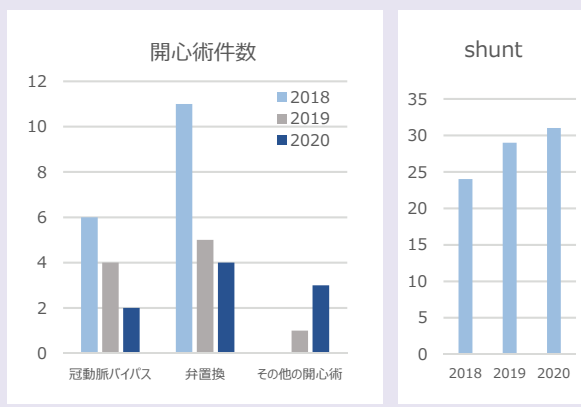
## 心臓血管外科

### ■所属医師

西澤 永晃、中嶋 和恵

### ■2020年度のトピックス

年間手術件数は、新型コロナウイルス感染症による手術制限期間が長期であったために、開心術を含めここ数年で減少傾向であるものの、虚血性心疾患の合併症である心室中隔穿孔・心破裂等の重症例に対しての緊急手術は積極的に施行した。透析関連の手術は増加した。



### ■事業報告

- 2019年度に、産業医との協力による一般事業所への講演会を開始した。2020年度は更に複数の事業所・会社等へ拡大し、病院アピール・患者数獲得に向けた企画を計画していた。またハートセンターとして循環器内科と合同で、中能登・奥能登地域の医療機関と連携を深めるため、継続的に市民公開セミナー及び連携医療機関での講演会を行う計画をしていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、講演会等を行うことができなかった。Web講演等も積極的に参加し、主催していく。
- 学会発表1回・論文掲載 1回を引き続き行う。
- 高齢化率の上昇と人口減少地域であることを考慮すると、開心術は重症例増加、手術件数減少の状態であるが、緊急手術対応にも積極的に行える体制を継続していく。循環器疾患の診療件数の底上げになるように、能登地域で唯一循環器内科との協力体制で心臓血管手術ができる施設であることをアピールする。循環器疾患全般の出張外来の継続及び公立病院への出張外来を拡大し、新患を含めた外来患者数増加、入院患者数増加及び手術件数増加につなげる。



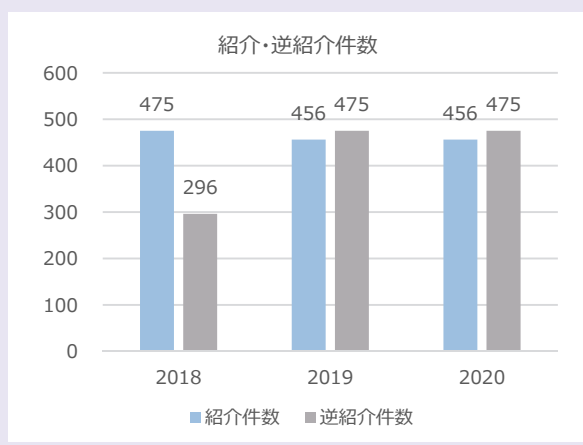
## 循環器内科

### ■所属医師

宝達 明彦、寺田 和始、野口 昌寛

### ■2020年度のトピックス

医師数が3人と増員となり、珠洲市総合病院の診療支援の拡充を図ることができた。冠動脈領域に新規デバイスの導入を行い、治療選択の幅が広がった。紹介件数、逆紹介件数ともに堅調に推移した。



### ■事業報告

- ① 能登地域での講演会は中断となったが、オンライン学会やWeb講演会に参加し、知識のブラッシュアップ、最新の知見を得るなど診療水準の底上げを図る一年となった。
- ② 科内でオンライン症例検討を行うなど、コロナ禍や働き方改革に即した新しい試みを行っている。
- ③ 冠動脈インターベンションに新たなデバイス(Rotablator)を導入し、石灰化の強い病変でも良好な治療結果が得られるようになった。
- ④ カテーテルアブレーション治療も定期的に行っており、スタッフが習熟してきている。
- ⑤ 珠洲市総合病院での循環器専門外来が月3回から毎週に増加となり、能登地域医療にこれまで以上に貢献できるようになった。

## 脳神経外科

### ■所属医師

岡田 由恵、東 壮太郎

### ■2020年度のトピックス

2016年秋に、入院担当医師が2人から1人となり、一時は入院患者数が減少したが、2019年には過去を上回る患者数となり、2020年は新型コロナウイルスの影響で、病院受診控え・手術控え・面会できないことによる入院控えが世間では言われていたものの、入院患者数は前年と同等であった。



### ■事業報告

- ① 2020年度実績  
新入院患者数：205名(転科12名を含む)  
延べ入院患者数：12,865名  
1日平均入院患者数：35名(ピーク時は50名超え)  
tPA投与症例：7例  
手術件数：10件(うち慢性硬膜下血腫9件)
- ② 金沢大学脳外科との、紹介・逆紹介症例が増加傾向。県立中央病院、金沢医科大学病院との紹介・逆紹介もあり。
- ③ 能登総合病院との連携を密に行い、お互いに速やかな受け入れを行っている。
- ④ 脳神経内科との症例検討、ハイケアユニットでのフィルムカンファレンスと多職種回診、脳卒中ユニットでの多職種回診および症例検討会等は、感染対策に注意した上で継続して行っている。

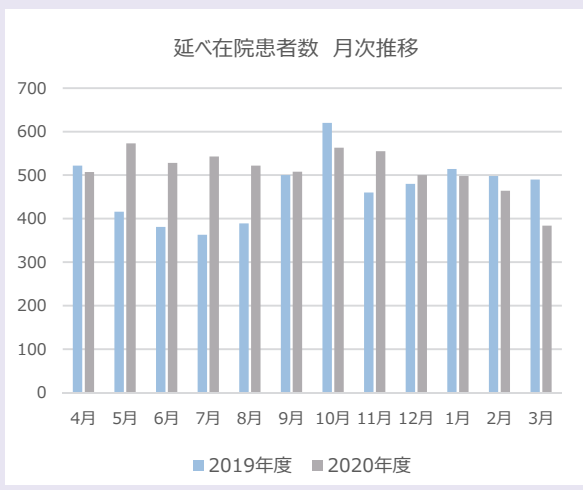
## 脳神経内科

### ■所属医師

木元 一仁

### ■2020年度のトピックス

外来患者数は減少した。紹介数も43%の減少。しかしながら、入院患者数は通年で大幅な減少はみられず、年間合計で9%増加した。



### ■事業報告

- ① 外来、救急医療を継続している。
- ② 入院患者の多くは脳梗塞であり、全体の42%程度を占めている。続いて、脳内出血、前庭機能障害の順に多い。年間を通して大きく減少する月は無かった。
- ③ 多職種でのストロークユニット回診、カンファレンスを定期的に行い、スタッフのレベルアップを図っている。
- ④ 今年度も、金沢大学脳神経内科による能登ロスマリン酸認知症予防プロジェクト健診が、本館1階多目的ホールにて定期開催された。

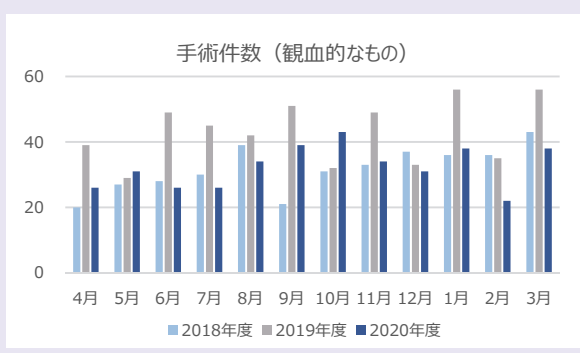
## 整形外科

### ■所属医師

森永 敏生、阿部 健作、有馬 佑

### ■2020年度のトピックス

外来患者数、新入院患者数、手術件数とも、昨年を下回った。コロナ禍で、外傷患者が減少しているように思う。術前PCR検査の徹底など、感染予防対策に努めながら手術を継続し、何とか一昨年の件数をわずかに上回ることができた。手術では、変形性膝関節症に対する人工関節置換術、骨切り術、関節鏡視下手術に力を入れた。



### ■事業報告

- ① 外来売り上げは、昨年比3.5%減、一昨年比3.5%増、入院売り上げは、昨年比4.7%減、一昨年比5.8%増であった。外来、入院とも昨年より患者数が減少する中で、単価を上げることができたため、売り上げの減少は最小限にとどめることができた。
- ② 毎朝医師3人でカンファレンスを実施、また週に1回は看護師、PT、OT、MSWと合同カンファレンスを実施し、患者の情報を共有するとともに、良質で適切な治療を提供できるように努力した。
- ③ 前年度に引き続き、骨粗鬆症リエゾンチームで活動を行った。大腿骨近位部骨折のみならず、橈骨遠位端骨折患者にも対象を拡大し、二次骨折予防に努めたい。

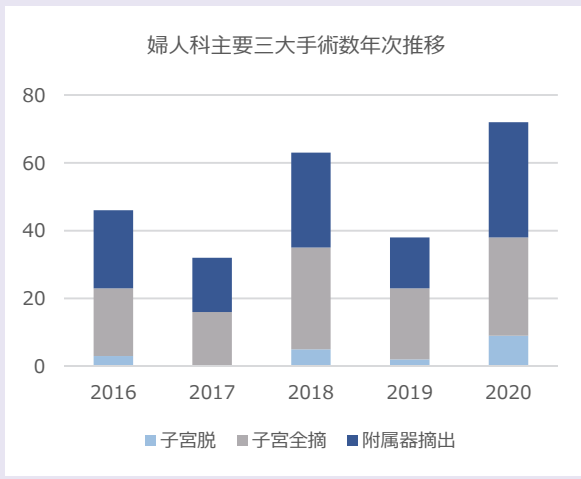
## 産婦人科

### ■所属医師

新井 隆成、安田 豊、高多 佑佳、宮田 康一、  
尾山 量子

### ■2020年度のトピックス

産婦人科収益前年比104%、入院収益前年比109%となった。婦人科主要三手術総数の前年度比較34件増、DPC収益の増加が好結果の主要因である。



### ■事業報告

- ① 入院収益が前年比109%の増収となった主な要因は、婦人科主要三手術である子宮全摘術、子宮付属器腫瘍摘出術、子宮脱手術の総数が前年比34件増加したことである。特に目標とした子宮脱手術数は目標通り7件増加した。これにより、人口減少に伴う分娩数の減少による減収分を補うことにつながった。
- ② 外来収益は前年比90%と減少したが、外来単価は増加した。特にMRI検査数が前年比129%、子宮内膜生検数 前年比123%などの増加があり、これらは、婦人科主要三手術件数の増加につながったものと推察される。また、昨年度の目標であった婦人科健診の要精査受診率が、過去の調査結果25%から50%に上昇（健康管理センター調査）したことは外来検査数の増加につながった可能性がある。
- ③ 産科では、「安心安全なお産を守る」ための患寿産科プロトコルの徹底により、DPCにおいて「胎児及び胎児付属物の異常」件数が60件増加した。この業績増加はDPC収益前年比122%に貢献した。

## 家庭医療科

### ■所属医師

吉岡 哲也、伊達岡 要、二川 真子

### ■2020年度のトピックス

- ・延べ在院患者数：5,918人（前年比：93.3%）
- ・外来患者数：8,713人（前年比：92.7%）
- ・一日当たりの外来患者数：36人（前年比：90%）



### ■事業報告

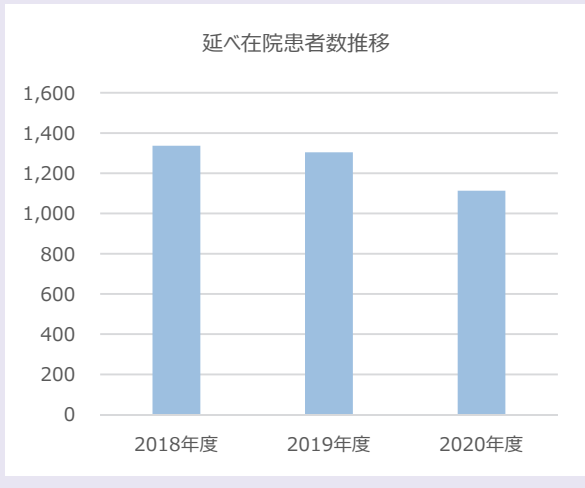
- ① 患者数  
外来患者数は、8,713人で、前年度9,400人より7.3%減少した。一日当たりの外来患者数は、36人で、前年度40人より10%減少した。  
延べ在院患者数は5,918人で、前年度6,344人より6.7%減少した。新入院患者数は151人で、前年度156人より若干減少した。コロナ禍による受診控えが影響していると思われる。
- ② 地域交流  
11月にみそぎ地区コミュニティセンターにて講演会「新型コロナウイルスとインフルエンザを学ぼう」を行った。当日は窓を開けて十分換気を行った会場にて、37名の方にご参加いただいた。

## 小児科

### ■所属医師

柳瀬 卓也、中谷 茂和、清水 陽

### ■2020年度のトピックス



### ■事業報告

- ① 2020年度は一般の小児疾患の診療と金沢医科大学より小児内分泌、および小児神経、金沢大学より小児アレルギーそして小児循環器（中谷）の専門外来と新生児を中心にした入院治療を柱にして小児科の事業を行ってきた。
- ② 外来は専門外来が前年と比較して全体的には堅調に推移したと思われるが、全体としては新型コロナウイルス感染症の影響を受け患者数は減少した。入院も新生児の分娩数の減少もあり前年と比較して減少した。

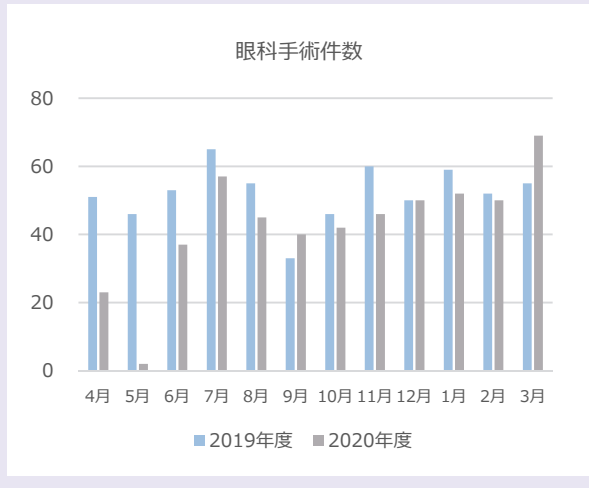
## 眼科

### ■所属医師

馬渡 嘉郎

### ■2020年度のトピックス

4月、5月は手術の制限を行ったため大幅に減少した。6月より待機患者から手術を開始し、年度末にかけて件数は回復してきている。



### ■事業報告

- ① 最新の知見に基づいた治療手段の選択肢をご紹介いただけた患者に提供できるように努力したい。
- ② 白内障を中心に硝子体、眼瞼、緑内障の手術を提供し、低侵襲の最新の手技を心掛けています。
- ③ 外来診療では緑内障の薬物治療の方法論にこだわり、患者の負担にならない投薬、通院の仕方を提供できたらよいと考えている。
- ④ 働き方改革に留意した仕事の進め方をしたい。
- ⑤ 手術希望患者さんを待たせることなくご希望の時期に手術を提供できるように調整していきたいと考えている。
- ⑥ 能登北部の医療機関への出張外来を継続し、地域医療支援に貢献した。

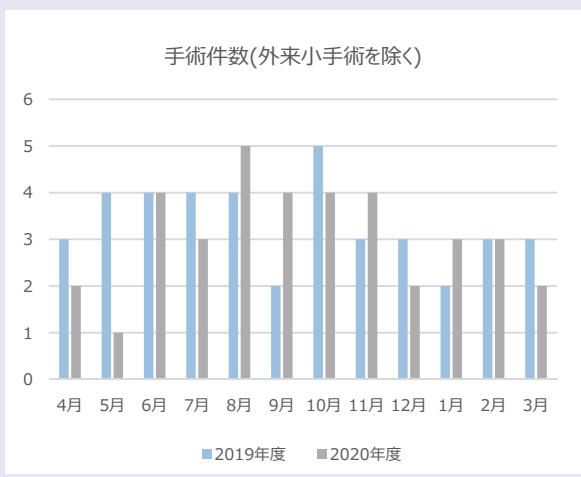
## 耳鼻咽喉科

### ■所属医師

山田 和宏

### ■2020年度のトピックス

手術件数（外来小手術を除く）は4～5月は新型コロナウイルスの影響で減少したが、6月以降は前年度と同等の件数であった。



### ■事業報告

- ① 2020年度  
外来受診数：5,265名  
初診患者数：423名  
新入院患者数：69名  
手術件数：97件
- ② 紹介入院数は例年とほぼ同様であった。  
2018:28名 / 2019:31名 / 2020:29名
- ③ わかりづらい耳鼻咽喉科の疾患について、患者様に十分に理解していただけるよう、耳・鼻・咽喉頭の解剖の図や模型を用いるなどして丁寧な説明を心がけた。
- ④ 引き続き、院内他科や各部署、金沢大学附属病院耳鼻咽喉科などの高次医療機関と連携をはかり、安全で適切な医療を提供するよう努めたい。

## 泌尿器科

### ■所属医師

川村 研二

### ■2020年度のトピックス

経直腸超音波下経尿道的前立腺核出術は前立腺肥大症に対する、新術式であり当院では安全で質の高い手術が行われている。全国の泌尿器科医師に対して、この術式の手術方法について講演を行った。現時点で500例以上の手術を行っており、今後も前立腺肥大症に対する安全な術式を全国にひろめる、トップリーダーとして活動を行っていく予定である。

現在まで12年8ヶ月間に恵寿総合病院泌尿器科で施行された1,836例の手術症例を評価：手術の種類は経尿道的手術が約70%、小切開開腹術(前立腺・腎等)が約14%を占めた。手術関連死亡率は1,836例中0例(0%)であった。

#### 2020年度泌尿器科手術件数

手術の種類	件数
経尿道的膀胱腫瘍切除術	27
経尿道的前立腺核出術	17
その他(手術室)	38
ESWL(結石衝撃波治療)	41
合計	123

### ■事業報告

- ① 体外衝撃波結石破砕術(Extracorporeal Shock Wave Lithotripsy: ESWL)  
ドルニエDelta III Far Sightを2019年に導入し2021年3月までに67例97回の治療を施行。95%の完全碎石率で手術併発症を認めなかった。
- ② 経尿道的前立腺核出術  
お腹を切らない前立腺肥大症の手術方法で、2008年から500例以上の手術を施行し、良好な手術成績を継続している。経直腸超音波併用の術式を考案し手術併発症を認めない安全で質の高い手術を行っている。
- ③ 論文・学会発表等で手術成績開示、医療の質の評価  
感染症・泌尿器科癌・術後回復強化プロトコル(ERAS)・クリニカルパス等について報告している。論文執筆は7編と多数の報告。学会発表は25回で、全てオンラインの発表であった。ERASと急性期期間の短縮-DPCデータによる急性期期間の分析、ESBL産生菌直腸スワブ陽性患者における経直腸的前立腺生検の感染予防効果、病院の言葉を分かりやすくする試み、恵寿総合病院・泌尿器科における手術の質の評価-手術併発症と手術関連死亡について-等を医学雑誌に投稿受理された。

## 麻酔科

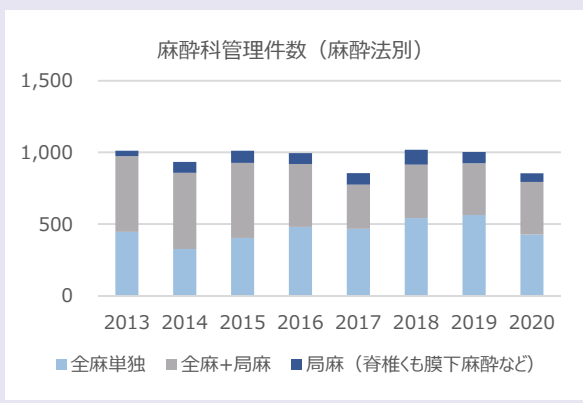
### ■所属医師

長谷川 公一、櫛田 康彦

### ■2020年度のトピックス

本年度は、4/13-6/6において、新型コロナウイルス感染対策のため、手術のトリアージを行った。

- ①麻酔科管理手術件数 854件（前年度1003件）
- ②総麻酔管理時間 3214時間（前年度3318時間）
- ③緊急手術割合 33%（前年度37%）



### ■事業報告

本年度は、4/13-6/6において、新型コロナウイルス感染対策のため、手術のトリアージを行った。そのため、件数で15%程度減少した。

- ① 麻酔科管理件数  
前年度比で15%減少した。しかしながら、後期においては周術期管理システムによる入退室管理やスケジューリングの効率化などにより増加している。
- ② 総麻酔時間  
昨年度とほぼ変化なし(3%減少)。内視鏡手術など高度で長時間な手術に対応できている。
- ③ 緊急手術割合  
33%と高い割合を維持している。2名の麻酔科医を有効に配置し、緊急手術に対応した。また、夜間休日の拘束体制を維持した。
- ④ 無痛分娩数  
全経膈分娩の18%と微増。今後も母体管理体制を整え、安全性と質を高め潜在的ニーズを拾い上げ、当院の分娩数の増加につなげたい。
- ⑤ 緩和ケアチーム対応患者数の維持  
多職種と協議しながら、患者さんが少しでも満足できるよう質の高い対応をしていく。

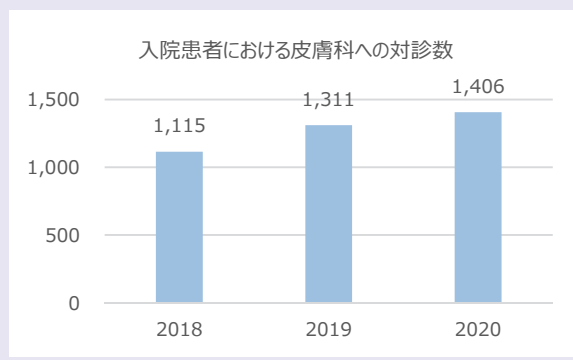
## 皮膚科

### ■所属医師

坂田 祐一

### ■2020年度のトピックス

当科では院内対診にも積極的に可能な限り早めに対応することを目指している。予期せぬ創傷に対する縫合等の処置、褥瘡発生時の初期対応、蕁麻疹や薬疹に対する治療・原因検索、蜂窩織炎・丹毒等の感染症の対応、足白癬・足爪白癬・カンジダ症等の皮膚真菌症に対する治療、爪切り、鶏眼・胼胝腫削り等を今後も行っていきたい。



### ■事業報告

- ① 外来患者数の伸び悩みがあるが、以下の点を重要視して診療を行った。
  - 足爪白癬の内服治療薬（ホスラブコナゾール）を積極的に用いて適切な採血を施行のうえ「諦めていた爪水虫が治る！」という喜びを受診患者に感じてもらった。
  - アトピー性皮膚炎のコントロールに関して患者自己評価のスケールであるPOEMを用いて病勢を患者と共有してきた。
  - 蕁麻疹のコントロールに関して患者自己評価のスケールであるUCT scoreを用いて治療効果を患者と確認してきた。
- ② 蜂窩織炎や带状疱疹など悪化してからでは治療に難渋する疾患に関しては、早めの入院を勧めたことで早期治療となり患者に満足して貰えたことが多かった。

## リハビリテーション科

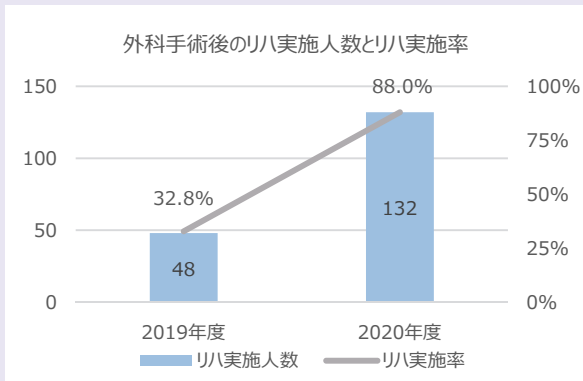
### ■所属医師

川北 慎一郎、平井 文彦、伊達岡 要

### ■2020年度のトピックス

外科の術前リハビリ指導パンフレットを作成し、術前リハビリ開始システムを立ち上げることで、消化器外科の全身麻酔術後患者のリハビリ施行率を大きく増やすことができた。

ちなみに入院患者全体のリハ施行率も63%から67%と増加させることができた。



### ■事業報告

- ① コロナ禍で入院患者の減少がみられたが、入院患者のリハ施行率の増加および回復期リハへの転院患者の維持(66)により、リハ科収入の減少はほとんどみられなかった。
- ② 回復期リハ病棟の質を表す実績指数は昨年より10ポイント増加し、52となり回復期病棟基準1をクリアした。
- ③ 回復期リハ病棟で早期ボツリヌス療法を開始し、麻痺後のボツリヌス治療症例数は北陸でのトップを維持している。(ボツリヌス50単位を年間約400本使用した)
- ④ 外科の術前後のリハ施行率が増加したことにより、HCU入室中患者のリハ施行率も32%から41%と上昇した。
- ⑤ 回復期リハ病棟と訪問スタッフとの連携を高め、訪問リハ開始数を年65例から75例と増加できた。
- ⑥ 認知症ケア回診の継続的实施により、入院患者の抑制数は明らかに減少傾向にある。
- ⑦ 自動車運転評価数は年々増加しており、昨年の61例から64例となった。
- ⑧ コロナ禍ではあったが、Web併用での学会活動も積極的にを行い発表数・論文数・資格数とも昨年並みであった。(28・10・7)

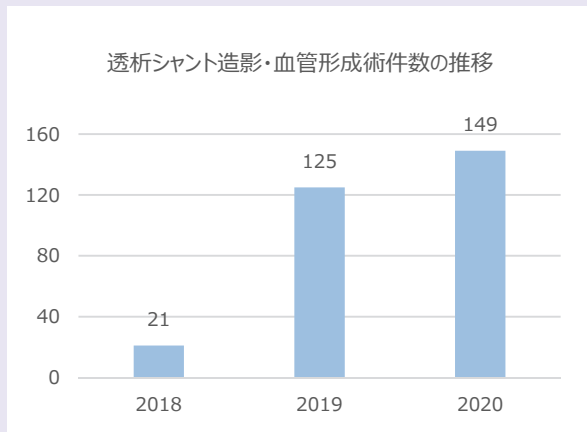
## 放射線科

### ■所属医師

角 弘諭

### ■2020年度のトピックス

透析シャント血管の造影検査、血管狭窄に対してバルーンを用いた血管形成術(シャントPTA)の件数が増加している。大切なシャントを長期間使用するために、閉塞や狭窄の早期発見と治療を行っている。



### ■事業報告

4月から医療法施行規則が一部改正され、診療用放射線に係わる安全管理体制に関する規定が施行された。患者に医療放射線被ばくについて説明をし、同意を得て検査を行う運用としている。分かりやすく説明できるように「医療放射線被ばく説明書」を作成した。一方、職員向けには、医療安全研修の一貫として放射線安全管理についての講習を行った。今後も放射線安全管理責任者として活動していく。

- ① 腹部血管塞栓術件数：26件(前年比66.7%)
- ② CTガイド下生検、CTガイド下ドレナージ件数：21件(前年比233.3%)
- ③ CT件数：15,156件(前年比99.8%)
- ④ MRI件数：4,340件(前年比92.9%)
- ⑤ マンモグラフィ件数：2,594件(前年比96.4%)
- ⑥ 骨塩量測定件数：840件(前年比101.7%)
- ⑦ 健診胃透視件数：1,012件(前年比105%)
- ⑧ 共同利用件数(CT/MRI/PET-CT)：335件(前年比90.8%)

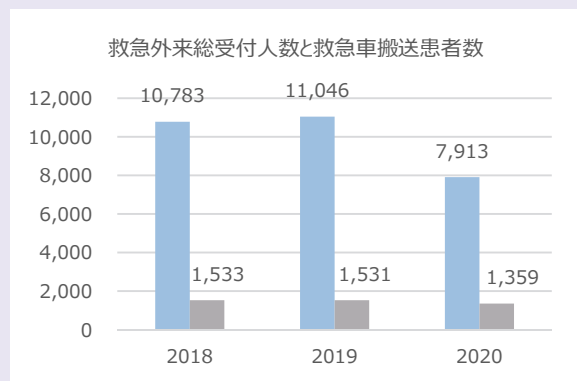
## 救急救命科

### ■所属医師

米田 高宏

### ■2020年度のトピックス

救急車搬入患者数・専門医資格維持のための学会以外の研究会・セミナーの参加や研修医との早朝勉強会の実施数が激減した。医療秘書課と協力している逆紹介の件数が伸びている。後日専門外来受診のために患者に渡している再診案内用紙の回収数が79.8%と高値を示している。



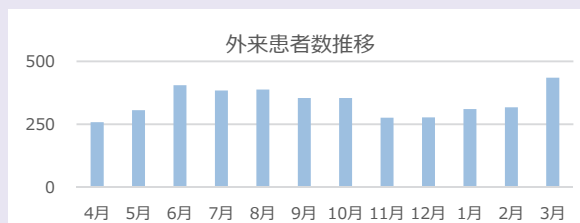
### ■事業報告

- ① 救急搬送患者数は1,300人代と激減した。
- ② 救急外来受診数は7,913人と激減した。
- ③ 年間入院数は865人と激減した。
- ④ 救急部査定：41件、アンモニア12件  
上記のうち査定復活件：0件
- ⑤ 救急医学会専門医、麻酔科学会専門医を更新できている。
- ⑥ 救急車受け入れ不能件数は年間3件と優秀である。
- ⑦ CT・MRIの読影レポート結果確認率100%であり、さらに必要に応じて患者に報告し受診を促したり、入院・外来主治医に直接届くような仕組みを継続できている。
- ⑧ 研修医のER研修は継続して力を入れている。
- ⑨ 救急外来での紹介患者は528例
- ⑩ 逆紹介件数は医療秘書課と連携して順調に数を伸ばして322件となった。
- ⑪ 返書作成日数は1.1日と平均を上回っている。
- ⑫ 連携医療機関満足度調査では救急部への不満は見当たらない。
- ⑬ 「普段かかりつけ医、時々恵寿総合病院」というイメージで各医療機関との連携を勧めている。

## 形成・美容形成外科

### ■2020年度のトピックス

非常勤医師の協力により毎日の外来診療を継続している。



### ■事業報告

- ① 手術のほとんどは日帰りであり、年間件数は573件であった。前年度比96%でほぼ同数である。
- ② 皮膚・皮下腫瘍摘出が多く、全体の36%程度を占めている。

## 緩和ケア科

### ■所属医師

榎田 康彦

### ■2020年度のトピックス

第3を除く金曜日に症例検討会、第3金曜日に委員会を開催した。下記は2020年度の主な活動内容である。

日付	活動内容
10/18	医療従事者のための緩和ケア研修会 (金沢医科大学附属病院) 講師として参加
11/27	緩和ケア研究会の事例検討会を主催 委員会より5症例を報告

### ■事業報告

- ① 緩和ケア委員会よりアドバンス・ケア・プランニングを作成した。
- ② 研修医を月ごとに2名ずつ、症例検討会・委員会に参加させ、討論に加えた。

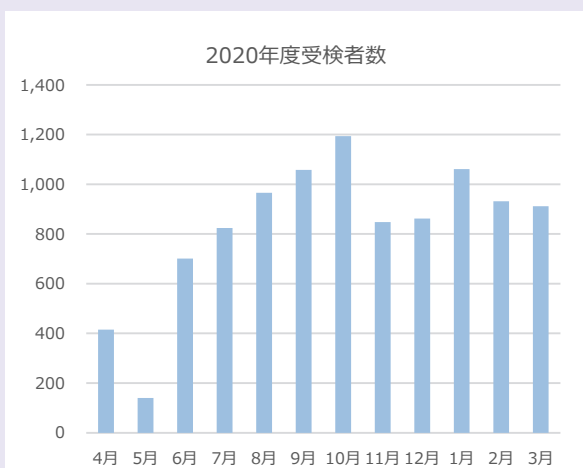


## 健康管理部

- センター長  
上野 恭一

### ■2020年度のトピックス

新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、人間ドック・健康診断を一時中止し、6月1日より再開した。そのため、検診受入が年度後半に集中した。



### ■事業報告

- ・ 総受検者数：9,913名
- ・ 1日当たりの受検者数：41名
- ・ 1泊2日人間ドック受検者数：466名

#### 新たな取り組み

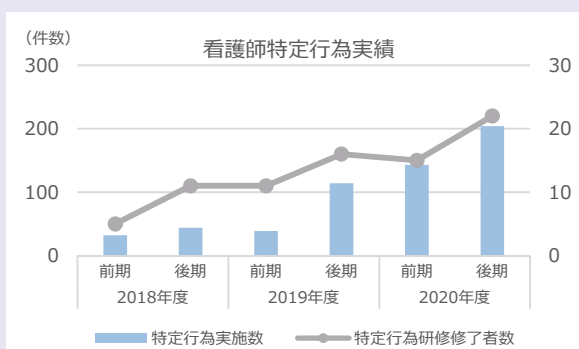
- ① 肺がん検診リニューアル  
8月1日より、低線量胸部CT検査による肺がん検診をスタートした。1cm以下の肺がんを早期発見することができ、被ばく量を気にする方にも気軽に検査を受けていただけるようになった。
- ② すい臓がん検診導入  
腹部MRI検査、MRI胆すい管撮影の2種類の検査を実施し、進行スピードが速く、発見された時には治療が難しい場合も少なくないすい臓がんを早期発見するための体制を構築した。
- ③ 健康運動指導士による指導開始  
健康運動指導士による個別の運動レシピを作成・提供し、完全個室にて実践をまじえた個別指導を実施している。また、腰痛予防のストレッチや座ってできる10のストレッチなどを紹介した「Exercise Note」を作成し、受検者さんや職員の健康増進のため活用している。

## 看護部

- 看護部長  
本橋 敏美

### ■2020年度のトピックス

- ① 看護師特定行為研修修了者7名（総人数22名）  
特定行為実施件数：347件/年
- ② 抗がん剤投与実践研修修了5名(在籍者総数46名)
- ③ コロナ禍において、面会の在り方を変更  
オンライン面会を有効に活用した
- ④ コロナ感染症患者4名を本館4階西病棟で受け入れた



### ■事業報告

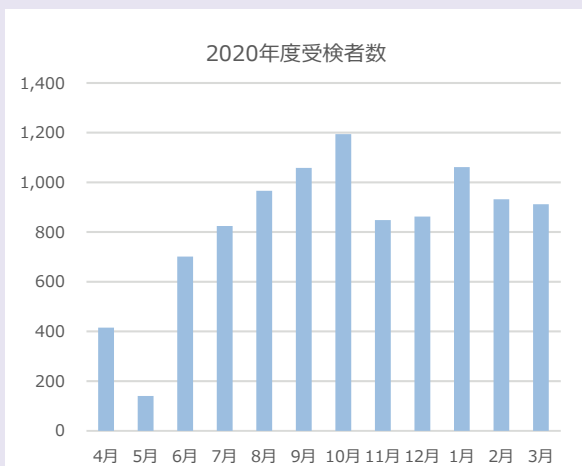
- ① 2020年度診療報酬改定の対応
  - ・ せん妄ハイリスク患者ケア加算（4月～）、新・入院時管理加算（5月～）算定開始
  - ・ 看護必要度Ⅱの評価開始
  - ・ 「人生の最終段階における適切な意思決定支援に関する指針」の作成と活用
- ② 看護部摂食嚥下ケアプロジェクトチーム発足（10月）
  - ・ 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師が中心となり活動開始。病棟看護師、訪問看護ST看護師で構成。摂食嚥下ケアナースとして活動。口腔ケアマニュアルの見直し、技術指導、病棟ラウンドを実施。
- ③ 生産性の向上、ルーチンワークをシンプルに
  - ・ スポットチェックモニターの適正配置と使用頻度向上
  - ・ 文書管理にある入院時書類を一つのファイルにまとめ、Excel起動時間の短縮を図るなど計31項目を実施。
- ④ コロナウイルス感染流行への対応
  - ・ 感染防止対策の再学習、PPE着脱訓練、患者ケア時のフェイスシールドまたはアイシールドの着用
  - ・ 感染症患者対応ユニットの整備と稼働
  - ・ 発熱マップファイルの作成と活用

## 健康管理部

- センター長  
上野 恭一

### ■ 2020年度のトピックス

新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、人間ドック・健康診断を一時中止し、6月1日より再開した。そのため、検診受入が年度後半に集中した。



### ■ 事業報告

- ・ 総受検者数：9,913名
- ・ 1日当たりの受検者数：41名
- ・ 1泊2日人間ドック受検者数：466名

#### 新たな取り組み

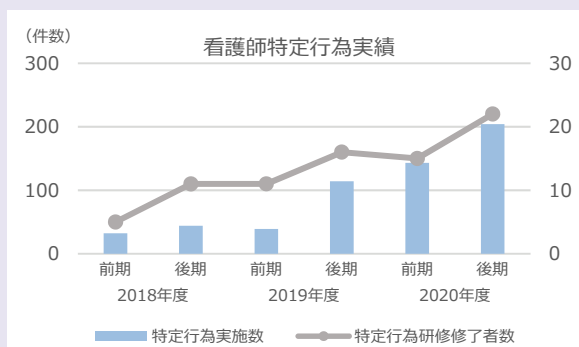
- ① 肺がん検診リニューアル  
8月1日より、低線量胸部CT検査による肺がん検診をスタートした。1cm以下の肺がんを早期発見することができ、被ばく量を気にする方にも気軽に検査を受けていただけるようになった。
- ② すい臓がん検診導入  
腹部MRI検査、MRI胆すい管撮影の2種類の検査を実施し、進行スピードが速く、発見された時には治療が難しい場合も少なくないすい臓がんを早期発見するための体制を構築した。
- ③ 健康運動指導士による指導開始  
健康運動指導士による個別の運動レシピを作成・提供し、完全個室にて実践をまじえた個別指導を実施している。また、腰痛予防のストレッチや座ってできる10のストレッチなどを紹介した「Exercise Note」を作成し、受検者さんや職員の健康増進のため活用している。

## 看護部

- 看護部長  
本橋 敏美

### ■ 2020年度のトピックス

- ① 看護師特定行為研修修了者7名（総人数22名）  
特定行為実施件数：347件/年
- ② 抗がん剤投与実践研修修了5名(在籍者総数46名)
- ③ コロナ禍において、面会の在り方を変更  
オンライン面会を有効に活用した
- ④ コロナ感染症患者4名を本館4階西病棟で受け入れた



### ■ 事業報告

- ① 2020年度診療報酬改定の対応
  - ・ せん妄ハイリスク患者ケア加算（4月～）、新・入院時管理加算（5月～）算定開始
  - ・ 看護必要度Ⅱの評価開始
  - ・ 「人生の最終段階における適切な意思決定支援に関する指針」の作成と活用
- ② 看護部摂食嚥下ケアプロジェクトチーム発足（10月）
  - ・ 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師が中心となり活動開始。病棟看護師、訪問看護ST看護師で構成。摂食嚥下ケアナースとして活動。口腔ケアマニュアルの見直し、技術指導、病棟ラウンドを実施。
- ③ 生産性の向上、ルーチンワークをシンプルに
  - ・ スポットチェックモニターの適正配置と使用頻度向上
  - ・ 文書管理にある入院時書類を一つのファイルにまとめ、Excel起動時間の短縮を図るなど計31項目を実施。
- ④ コロナウイルス感染流行への対応
  - ・ 感染防止対策の再学習、PPE着脱訓練、患者ケア時のフェイスシールドまたはアイシールドの着用
  - ・ 感染症患者対応ユニットの整備と稼働
  - ・ 発熱マップファイルの作成と活用

## 事務部

### ■ 部長

森下 毅

### ■ 2020年度のトピックス

生産性および業務の効率性向上を目指し、業務処理時間短縮を意識して改善を進めてきた。定型業務におけるRPAを導入開始した。RPAに移行した業務の数はまだ少しではあるが、自動化による時間削減効果を着実に得ている。

業務名	作業内容	削減時間（月）
看護必要度集計関連業務（週次）	・EFファイル、Dファイル作成 ・必要度集計アプリ起動 ・アプリから結果をダウンロード、編集 ・カルテ記事より診療行為抽出 ・医事データと突合	4時間40分
医事課異形データ作成（日次）	・「オーダーから医事返還」を起動 ・処理条件の入力 ・処理開始	30時間
実績データ集計（月次）	・レセプト処理開始 ・統計データ作成 ・会計データ作成 ・集計データをCSV出力し、ピボットテーブル作成	4時間30分
発熱マップ表示（日次）	・SSIスコア起動 ・体温データをCSV出力 ・マップ表示アプリヘインポート	8時間15分

### ■ 事業報告

- ① 紹介患者数は4,876人で、目標の94%となった。例年行っている「医療連携の集い」は開催できず、パンフレットやビデオレター配布による診療体制の紹介となった。地域医療支援病院の事務局として、認定要件のチェックおよび外部委員への情報提供業務を担当した。
- ② 入院手続きに係る書類の簡素化を行った。書類記載箇所50%減を達成した。
- ③ 患者満足度を図る手法の1つであるPX（Patient Experience）を外来患者にも取り入れた。
- ④ コロナ禍において、オンラインや非接触サービスの必要性が高まった。オンライン面会のセッティング、さらには次年度稼働に向けたオンライン資格認証システムのプレ運用など新しいサービスを開始した。
- ⑤ タスクシフトが推進される中、事務職からRPAへタスクシフトを引き続き拡張する。
- ⑥ スキルラダーの作成に取り組んだ。スタッフのキャリアアップ、昇級のための具体的目安とする。ノンテクニカルスキルについても引き続き整備する。

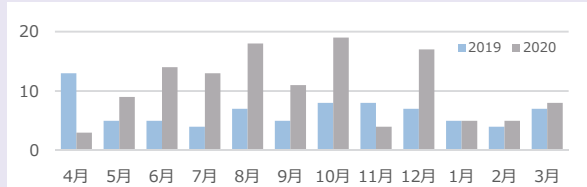
## けいじゅサービスセンター 医療福祉相談課

### ■ 部門代表者

中川 一美

### ■ 2020年度のトピックス

病棟、外来と連携し入院前支援の体制充実を図った。入院時支援加算126件算定した。（昨年度比153%）



### ■ 事業報告

- ① 退院支援カンファレンスなど他部門連携の仕方を見直した。入退院支援加算は1,256件算定。（昨年比118%）
- ② 地域や施設のケアマネジャーへオンラインの活用を提案し、途切れない情報共有を図った。今後も推進していく。

## けいじゅサービスセンター 地域連携課

### ■ 部門代表者名

宮田 琴江

### ■ 2020年度のトピックス

「かかりつけ医」を推奨するチラシを事務部全体で、各課の配布対象者および年間の配布目標に沿って取り組んだ結果、地域医療支援病院承認要件（紹介・逆紹介率）をクリアした。

	サービス課	医療秘書課	医事課	地域連携課	合計
配布目標	4,500	6,000	1,800	28,700	41,000
配布数	5,004	4,826	1,117	28,700	39,647

### ■ 事業報告

- ① キャッチコピーを「かかりつけ医と、ときどきけいじゅ」としたチラシを、外来患者及び七尾市・中能登町・志賀町の協力のもと町村配布物と共に各世帯へ直接配布した。
- ② 紹介率は86.3%（前年比+19%）、逆紹介率64.7%（前年比+20.1%）となり、前年度を上回った。  
紹介率 2019:67.3%→2020:86.3%  
逆紹介率 2019:44.6%→2020:64.7%

## けいじゅサービスセンター サービス課

■部門代表者  
寺尾 美樹

### ■ 2020年度のトピックス

入院申込書類の署名箇所を4ヶ所→2ヶ所に減らした。

書類名	2020年9月まで	署名	2020年10月より	署名
入院申込書（兼監約書）	申込者署名	●	患者名（患者情報より引用）	●
	患者名または申込者名		申込者署名	●
	緊急連絡先		緊急連絡先→（新）へ	
	連帯保証人		連帯保証人	
実費徴収に関する同意書	患者名または代筆者氏名	●	患者名または代筆者氏名	●
①情報記入	患者名、連絡先、既往歴等	●	一部を連絡先記入用紙へ移行し、廃止	
②情報記入	患者名、ADL等	●		
（新）連絡先記入用紙			患者名、情報記入①②の一部等	
署名回数		4		2

### ■ 事業報告

- ① 入院申込書類や手続きの簡略化  
連絡先記入用紙を新たに作成し、書類を集約した。ワンクリックで全ての書類が印刷され、患者IDと氏名が印字される。
- ② 連帯保証人代行制度の利用促進  
予約入院患者の利用率 13%→85%  
患者・家族・職員の負担軽減に取り組んだ。

## 医療情報事務センター 管理課

■部門代表者  
松木 尊紀法

### ■ 2020年度のトピックス

院内におけるコロナ対応について

項目	
入館許可証の発行	4,000枚
入館禁止・制限の掲示ポスター設置	院内 8ヶ所
面会に関する制限の案内チラシ	100枚/週
コロナ病棟のフィルター交換	1回

### ■ 事業報告

- ① 院内PHS修理・交換 29件（前年比+6件）  
PHSに代わる新規導入を検討
- ② プリンター修理・交換 53件（前年比+20件）
- ③ 荒天時の駐車場・玄関間の送迎 5件（前年比±0）

## 医療情報事務センター 医事課

■部門代表者  
松本 伸恵

### ■ 2020年度のトピックス



### ■ 事業報告

- ① 主に救急医療管理加算に力を入れ、医師との連携を強化した。2019年度より多く算定することができた。
- ② RPA導入に向け、業務分解を行い医事課として2つの業務をRPAで行い、業務負担軽減できた。
- ③ 発熱外来の運用に携わり、予約、受付、精算の流れを構築することができた。

## 医療情報事務センター 医療秘書課

■部門代表者名  
三浦 有紀

### ■ 2020年度のトピックス



### ■ 事業報告

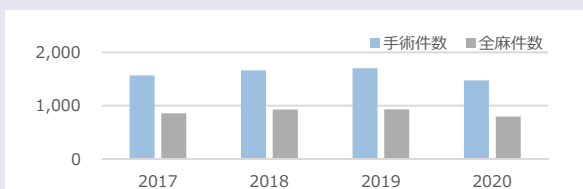
- ① 主治医意見書代行は前年度より72件増、代行入力のみならず調整や問合せ対応まで業務拡大
- ② 救急センターにおける診療情報提供書代行を開始、前年度30件から338件と大幅に件数UP
- ③ 診療情報管理士によるがん登録件数599件

## 手術センター

- 部門代表者  
長谷川 公一、金森 敦志

### ■ 2020年度のトピックス

4-6月に予定手術のトリアージを行い、手術件数、全身麻酔件数が減少した。



### ■ 事業報告

本年度は、4/13-6/6において、新型コロナウイルス感染予防のため、手術のトリアージを行い、手術件数の減少が余儀なくされたが、後期においては術前検査にPCR検査を行い安全を担保したうえで、手術室の稼働率を上げるよう努力した。そのため、手術件数13%減、全身麻酔14%減にとどめることができた。

## PET・CTリニアックセンター

- 部門代表者  
角 弘諭、坂下 純司

### ■ 2020年度のトピックス

PET-CT装置を3月に更新した。

#### 新PET-CTの特徴

- ・デジタル（半導体）検出器を搭載し、検出感度向上
- ・デバイスレス呼吸同期機能を搭載し、呼吸性移動のブレを抑える

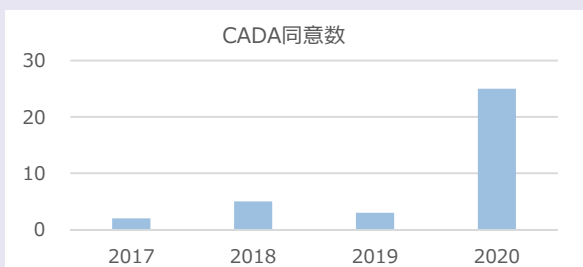
### ■ 事業報告

- ① 放射線治療照射回数は、1,453回（前年比110.3%）であった。
- ② PET-CT件数は、668件（前年比89.3%）であった。
- ③ 核医学検査件数は、369件（前年比97.6%）であった。

## 血液浄化センター

- 部門代表者  
向井 清孝、菅野 則之

### ■ 2020年度のトピックス



### ■ 事業報告

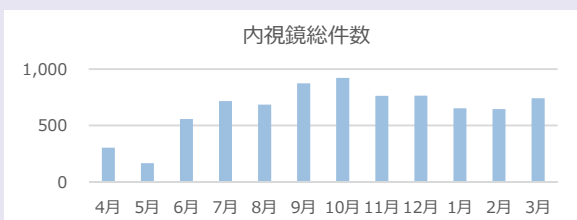
カルテコに透析記録を閲覧できる新機能が追加され、CADA BOXもローレルクリニックに配置された。2020年度の同意数は、透析で25件、ローレルクリニック総数62件であった。透析カルテコの活用方法としては、患者の自己管理の活用だけでなく、服用している薬や最近の治療経過、透析方法やダイアライザ名など、必要な透析条件が提示できる災害管理として活用する。

## 内視鏡センター 内視鏡課

- 部門代表者  
守護 晴彦、水口 賢

### ■ 2020年度のトピックス

・内視鏡総件数 7,782件実施



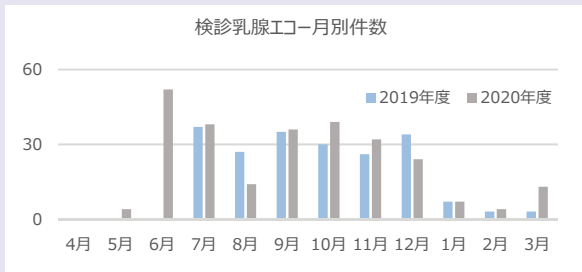
### ■ 事業報告

- ① 期首の目標件数は8,000件だったが、コロナによる検査制限があり途中で7,000件に見直しをした。期末では7,782件施行した。
- ② 残業時間が2019年度754.5時間から2020年度453.0時間に減少した。

## 放射線センター 放射線課

■部門代表者  
角 弘諭、坂下 純司

### ■ 2020年度のトピックス



### ■ 事業報告

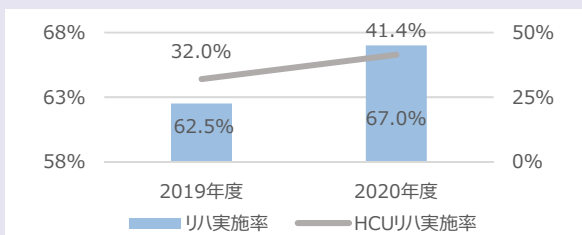
- ① 健診乳腺エコーに用いる超音波装置が更新され、検査効率と精度が向上した。
- ② 画像所見の既読管理システムが稼動し、検査依頼医師の電子カルテにレポートの確認を促す通知がされ、画像所見未確認率は0%となっている。

## リハビリテーションセンター 理学療法課

■部門代表者名  
川北 慎一郎、田中 秀明

### ■ 2020年度のトピックス

リハ実施率：5%、HCUリハ実施率：10%向上した。



### ■ 事業報告

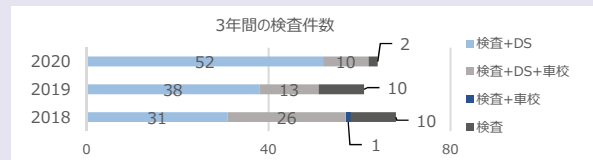
- ① 消化器外科予定手術患者への、術前リハ実施システムを立ち上げた。リハ実施数が、2019年度：30%から、2020年度：88%と大幅に増加した。
- ② 回復期リハ病棟実績指数が、2019年度：40から、2020年度：52.3に増加した（基準：40以上）。
- ③ 訪問リハ新規利用者数が、2019年度：60人/年から、2020年度：75人/年に増加した。

## リハビリテーションセンター 作業療法課

■部門代表者名  
川北 慎一郎、川上 直子

### ■ 2020年度のトピックス

脳損傷者への自動車運転再開支援で神経心理学検査（検査）、ドライビングシミュレーター（DS）、自動車学校での実車評価（車校）を行っている。



### ■ 事業報告

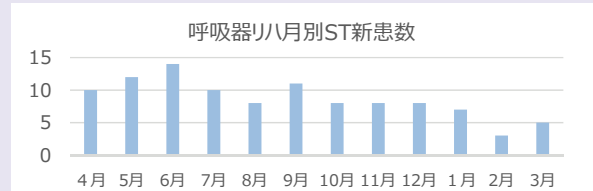
- ① 急性期・回復期・生活期の連携として訪問適応を検討するチェックリストを使用開始し紹介システムが充実した。
- ② キャリアアップ・スキルアップ  
新たに認定作業療法士を2名が取得した。
- ③ コロナ対策下での自動車運転再開支援  
感染対策として退院後に外来で支援することとし、院内ではドライビングシミュレーターの活用が増加した。

## リハビリテーションセンター 言語療法課

■部門代表者名  
川北 慎一郎、諏訪 美幸

### ■ 2020年度のトピックス

4月より、新規で呼吸器リハ算定可能となり、104名に対し介入した。



### ■ 事業報告

- ① 言語聴覚療法における、療法士一人当たりの月平均単位数は376単位（達成度：104%）であった。
- ② 研究会で7演題（オンライン4含む）発表した。研修会平均参加数は、14回/療法士数であった。
- ③ 吸痰手技の技術習得後の実践を継続していく。

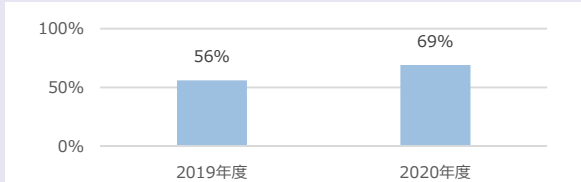
## リハビリテーション教育研修センター

### ■部門代表者

川北 慎一郎、井舟 正秀

### ■2020年度のトピックス

リハ職員教育研修満足度調査の結果、昨年度より13%向上した。



### ■事業報告

- リハスタッフの成長度合いを見るためリハ共通評価シートを用い、評価した。その結果を分析し、個々の強みや弱みが明確となり、指導ポイントがわかりやすくなった。教育研修満足度は56%から69%へと13%向上した。
- 臨床データの蓄積（約11,000件）、主にエクセルを用いた各種集計表などを15件作成し、業務効率化を図った。

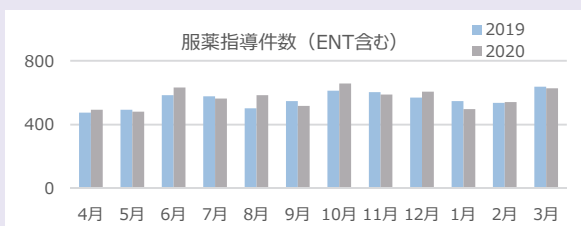
## 薬剤管理センター 薬剤課

### ■部門代表者

川村 研二、藤田 昌雄

### ■2020年度のトピックス

コロナ禍において、入院患者が少ない中、昨年以上指導した。



### ■事業報告

- 服薬指導件数（ENT含む）：  
目標550件/月平均⇒566件/月平均 達成率103%  
新規診療報酬加算：退院時薬剤情報連携加算  
目標50件/年⇒52件/年 達成率104%
- 日病薬病院薬学認定薬剤師1名、日本糖尿病療養指導士(更新)1名、学会発表2名、論文執筆1名
- 課題：指導可能な患者すべての服薬指導及び指導対象外の患者の薬学的管理の徹底。各種認定の取得。

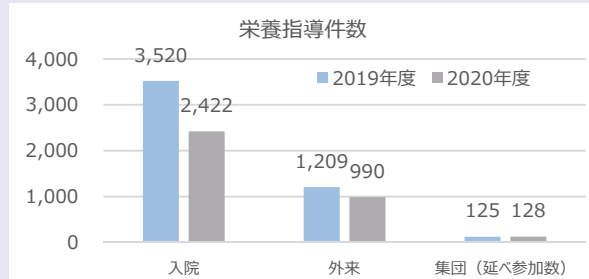
第2章 法人方針・事業報告（恵寿総合病院）

## 栄養管理センター 臨床栄養課

### ■部門代表者

木元 一仁、前田 美穂

### ■2020年度のトピックス



### ■事業報告

- 栄養指導の件数は、入院および外来とも前年度と比較し減少した。集団（糖尿病教室の参加人数）は前年度と同程度であった。
- 新点数「栄養情報提供加算」は19件/年、通信機器を用いた外来栄養指導は12件/年、実施した。

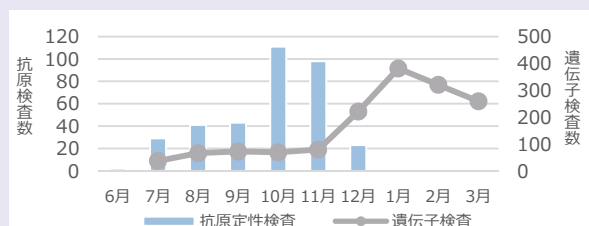
## 検査管理センター 臨床検査課

### ■部門代表者

西澤 永晃、尾田 真一

### ■2020年度のトピックス

新型コロナウイルス検査（抗原定性・遺伝子）の実績



### ■事業報告

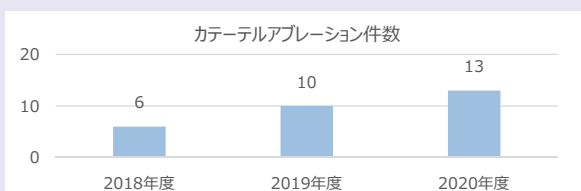
- 検体検査総件数 257,146件 前年比 -6.6%  
生体検査総件数 30,391件 前年比 -13.8%
- 新型コロナウイルスの院内検査体制を構築し、現在、24時間体制で遺伝子検査を実施している。
- 日本臨床衛生検査技師会主催のタスクシフティング業務啓発事業における事前講習（オンライン）を、課員全員受講した。

## 臨床工学センター 臨床工学課

- 部門代表者  
長谷川 公一、栃原 康則

### ■2020年度のトピックス

不整脈の代表的な治療方法であるカテーテルアブレーションは、年々増加してスタッフの技術も向上している。



### ■事業報告

- ① 透析装置システム遠隔監視を導入してトラブル迅速対応に取り組み、部署として医療安全および患者サービス向上に大きく貢献した。
- ② 日本臨床工学技士会の認定臨床実習指導者を取得し、長年担ってきた養成校の臨床実習に対してより一層の自信と使命感を持ち、職業意識の向上や学術研鑽への意欲増進を図った。

## 医療安全管理センター 医療安全管理課

- 部門代表者  
岡田 由恵、小谷 薫

### ■2020年度のトピックス

- ① 新規マニュアル作成（自殺防止マニュアルなど）
- ② 放射線課「診療用放射線の安全利用のための指針」施行と研修の実施。相互評価実施
- ③ 栄養課 食物アレルギーの対応マニュアル作成研修実施
- ④ 薬剤課 糖尿病治療薬（ビッグナイド系）とヨード造影剤使用時の注意啓発、自己注射等患者へ使用後の針の管理と指導

### ■事業報告

- ① リスクマネジャーとの協働によるマニュアルの作成実施。（新規3 見直し1）
- ② 全部署への重要警鐘事例、Goodjob報告が定着した。
- ③ 各部署からのGoodjobを機関紙「医の用心」に掲載。
- ④ 病棟リスクマネジャー、主任の「タイムアウト」現状調査、延べ220回の調査実施。
- ⑤ 新入職者のレポート提出を定着させた。（2020:70件）

## 医療安全管理センター 感染制御課

- 部門代表者  
山崎 雅英、谷田部 美千代

### ■2020年度のトピックス

- ① 新型コロナウイルス感染症の院内クラスター発生による病床使用停止がなかった。
- ② 新型コロナウイルス感染症患者の受け入れによる、職員や患者の院内感染の発症がなかった。
- ③ 新設したプレハブによる発熱外来棟の運用を開始できた。

### ■事業報告

- ① 新型コロナウイルス感染防止対策のマニュアルを電子カルテに掲載し、最新情報が閲覧できるように整備した。
- ② 石川県の新型コロナウイルス感染症に係る病床の確保について、フェーズ2（感染拡大時）の時点で、10床の病床確保、陽性者受け入れを精力的にサポートした。
- ③ プレハブ発熱外来運用について、精力的にサポートした。

## 臨床研修センター

- 部門代表者  
新井 隆成、松木 尊紀法

### ■2020年度のトピックス

臨床研修医の推移

	2016	2017	2018	2019	2020
1年次基幹型	4	1	6	5	5
1年次協力型	2	2	1	2	2
2年次基幹型	3	4	1	6	5

### ■事業報告

- ① 対面での病院説明会（レジナビフェア等）はすべて中止となった。代わりにオンラインでの病院説明会に出展し、医学生へ当院の紹介、研修プログラムのアピールをした。
- ② 2021年4月採用の研修医は5名/募集定員5名のフルマッチとなった。
- ③ 2年次5名が修了。



## 看護師特定行為研修センター

### ■部門代表者

鎌田 徹、本橋 敏美、松木 尊紀法

### ■2020年度のトピックス

特定行為研修受講生の推移

	第1期生	第2期生	第3期生	第4期生	第5期生
開始年月	2016年 10月	2017年 10月	2018年 10月	2019年 10月	2020年 10月
院内	5	6	5	7	5
院外	0	1	1	2	0

### ■部門代表者

- ① 9月30日 第4期生9名が修了した。うち外部から2名を受け入れた。4期修了時点で当院から合計23名が修了した。
- ② 10月1日 第5期生5名の受講を開始した。2020年10月1日から2021年3月31日までは共通科目、2021年4月1日からは区分別科目を実施予定。

医療事業統括部門  
恵寿金沢病院

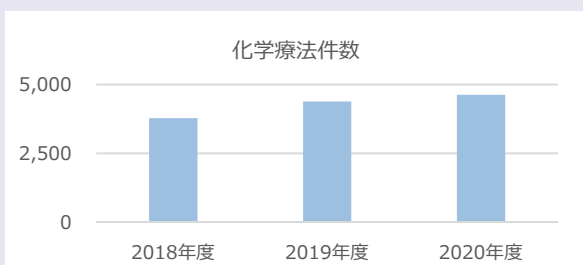
## 恵寿金沢病院

### ■ 病院長

上田 幹夫

### ■ 2020年度のトピックス

新型コロナウイルスの感染拡大に翻弄された1年だった。当院は血液癌患者が多い小さな規模の病院でコロナ診療は不向きなため、コロナ診療をする大病院のバックアップ病院として機能した。当院は従来癌化学療法が得意な病院である。今年度は、乳癌専門医の道輪先生が外科に着任され乳癌化学療法が開始されたこと、治療薬が多く開発された骨髄腫患者の治療介入が増えたことにより、癌化学療法は大幅に増加した。



### ■ 事業報告

- ① 夏から冬にかけて血液癌患者の紹介増加により病床がひっ迫し、二次救急の受け入れ困難が続くこともあった。1月以降は病院のマンパワーが低下したこともあるが、紹介患者は激減し空床が目立った。コロナ禍で一般市民が受診や健診を控えた事により癌の診断遅れが指摘されているが、その表れの可能性がある。
- ② 入院患者数：23,892人（前年比：96.2%）
- ③ 外来患者数：26,239人（前年比：82.3%）
- ④ 人間ドック受験者数：2,078件（前年比：92.9%）
- ⑤ 全身麻酔手術件数：61件（前年比：70.1%）
- ⑥ 化学療法実施件数：4,629件（前年比：105.6%）
- ⑦ 無菌室利用件数：4,061件（前年比：103.5%）
- ⑧ 紹介件数：685件（前年比：87.4%）
- ⑨ 救急車受入件数：69件（前年比：77.5%）
- ⑩ 巡回インフルエンザ予防接種件数：1,315件（前年比：69.8%）

## 内科

### ■ 所属医師

村田 了一、山下 剛史、宗本 早織、水牧 祐希

### ■ 2020年度のトピックス

新型コロナウイルス感染症の診療に伴い病床数の削減を余儀なくされた他院の受け入れ先となることで入院患者数が増加した。これらの病院への紹介が困難となったことで、開業医や血液内科併設のない病院から当院への直接紹介が増えた。これを速やかに受け入れることで今後も血液疾患が発生したときに当院を第1選択として紹介いただける案件が出てきている。

### ■ 事業報告

- ① 入院患者数：20,103人（前年比：138人増加、100.7%）
- ② 外来患者数：10,735人（前年比：609人減少、94.6%）

## 血液疾患センター

### ■ 所属医師

村田 了一、山下 剛史、宗本 早織、水牧 祐希

### ■ 2020年度のトピックス

センターの名にふさわしい、常に最新のエビデンスに基づいた治療を提供し続けている。大学との連携により臨床試験への参加も増加しつつある。北陸地区造血幹細胞移植医療体制事業に参加し、同種移植が円滑に進められるよう他院との連携を構築中である。

### ■ 事業報告

- ① 骨髄腫センター立ち上げの準備を進め、金沢大学融合研究域融合科学系教室との協力関係を結んだ。これにより微小残存病変の解析など、骨髄腫領域の共同研究が可能となった。
  - ② 入院化学療法 3,600件（前年比：40件減少、98.9%）
  - ③ 外来化学療法 878件（前年比：133件増加、117.9%）
- 第2章 法人方針・事業報告（恵寿金沢病院）

## 整形外科・リウマチ科

### ■所属医師

沼田 優平

### ■2020年度のトピックス

病診連携により力を入れており、金沢市内に限らず、他の地区からでも手術適応の方を紹介いただければ、対応できる体制を整えている。

紹介いただいた患者さんに対しては、早期に手術・処置を行い、速やかに紹介元に逆紹介させていただくことを当科の特徴として、今後も病診連携を進めていきたい。

### ■事業報告

- ① 入院患者数：2,562人（前年比：55.5%）
- ② 外来患者数：8,485人（前年比：64.9%）
- ③ 手術件数：73件（前年比：46.8%）

※7月に常勤医師2名→1名に減少

## 外科

### ■所属医師

道輪 良男

### ■2020年度のトピックス

本年度より常勤医1名の状態で本格的に外科診療再開となった。一般外科（消化器）、乳腺外科を中心に治療を行い、当院で対応可能な症例に対しては積極的に手術を行い、対応困難な場合には近隣病院と連携した。薬物療法も主に外来化学療法として行い、緩和治療目的の症例に対しても迅速に対応した。

### ■事業報告

- ① 入院患者数：959人（前年比：－）
- ② 外来患者数：1,298人（前年比：157.7%）
- ③ 手術件数：69件（前年比：181.6%）
- ④ 化学療法件数：140件（前年比：－）

※（前年度 非常勤医師のみ）

## 眼科

### ■所属医師

繰納 勉

### ■2020年度のトピックス

新型コロナウイルスに関する全国的な緊急事態宣言があり、手術が制約される期間があったが、従来からの涙道手術を中心に、白内障手術、角膜前眼部手術を積極的に行い、手術件数を維持した。

	2019年度	2020年度
手術件数	202件	178件

### ■事業報告

- ① 入院患者数：268人（前年比：102.3%）
- ② 外来患者数：2,105人（前年比：80.1%）
- ③ 手術件数：178件（前年比：88.1%）

## 理学療法課

### ■部門代表者

柴田 真行

### ■2020年度のトピックス

訪問リハ対象者の増加を目指し院外宣伝、院内との連携を図り、対象者が増加した。

	2019年度	2020年度
訪問リハ利用人数	16人	19人
訪問リハ実施延べ件数	68件	78件
訪問リハ実施延べ回数	127回	146回
訪問リハスタッフ数	2人	2人

※数値は月平均値

### ■事業報告

- ① 訪問リハ対象者を増加できるよう、ケアマネジャーへの宣伝や院内スタッフと連携し、カンファレンス等での訪問リハ対象者の抽出などを行った。
- ② 運動器疾患患者へ、超音波画像装置を用いて身体機能の問題点や治療の効果を可視化し実施した。

## 作業療法課

- 部門代表者  
米山 千尋

### ■ 2020年度のトピックス

がんリハ対象者の新規獲得を図り、取得単位数が増加した。

	2019年度	2020年度
がんリハ算定総単位数	4,663	5,172
OTスタッフ数	2.5	2.25

### ■ 事業報告

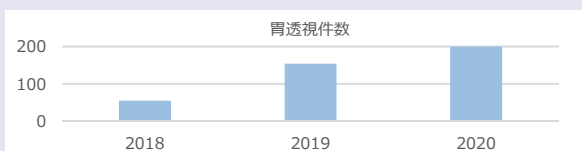
- ① 各病棟カンファレンス、NSTカンファレンスに参加し、新規リハ対象者の獲得に繋げ、がんリハ算定単位数が増加した。
- ② 訪問リハ対象者の検討を行い、当院退院後の訪問リハビリ新規利用者数が増加した。(2019年度4人→2020年度9人)
- ③ タブレットで動画撮影を行い、家族への状況説明や介護指導に利用した。

## 放射線課

- 部門代表者  
武村 真弓

### ■ 2020年度のトピックス

TQM活動で鎮痙剤を使用しない胃透視検査をテーマに活動した。結果として検査時間・待ち時間の短縮、経費削減につながった。



### ■ 事業報告

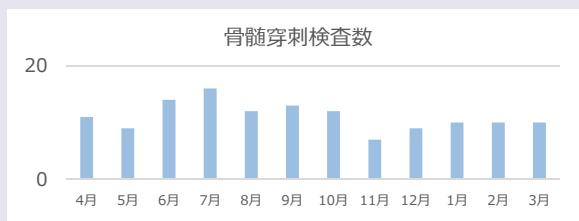
- ① マンモグラフィ検診 施設・画像認定 更新
- ② マンモグラフィ件数：911件（前年比112%）
- ③ CT 件数：2,671件（前年比102%）
- ④ 超音波件数：2,510件（前年比 97%）
- ⑤ 胃透視検査件数：211件（前年比139%）

## 臨床検査課

- 部門代表者  
長面 佳央理

### ■ 2020年度のトピックス

臨床検査技師による骨髓像カウントを開始した。



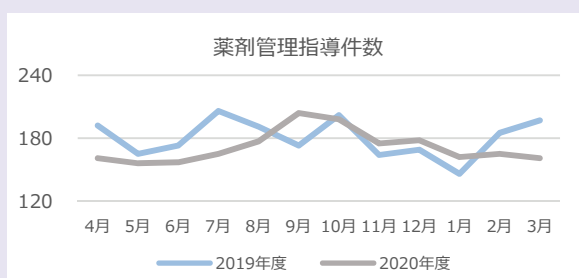
### ■ 事業報告

- ① 今まで内科医師が行っていた骨髓像カウント業務をタスクシフトし、検査技師で行うようになった。
- ② TQM活動において、生化学業務の効率化を目指した取り組みを行い、採血から結果報告までの所要時間を約15分短縮することができた。

## 薬剤課

- 部門代表者  
宮森 久志

### ■ 2020年度のトピックス



### ■ 事業報告

- ① 薬学部実習生1名の受け入れ
- ② 外科化学療法を抗癌剤プロトコルシステムに組み込み、運用を開始
- ③ 院内向けにCOVID-19に関わる特設ページを開設
- ④ 無菌製剤処理料（抗癌剤）3,687件/年
- ⑤ 病棟薬剤業務実施加算 4,199件/年

## 臨床栄養課

### ■部門代表者

羽根 由子

### ■2020年度のトピックス

NSTカンファレンス実施件数



### ■事業報告

#### ① NST発足へ向けた取り組み

週1回各病棟でのカンファレンスを開催した。

2020年12月～2021年3月までに81件実施した。

資料配布による勉強会を実施し、多職種への栄養管理への関心を高めるアプローチをした。

## 人間ドックセンター

### ■所属医師

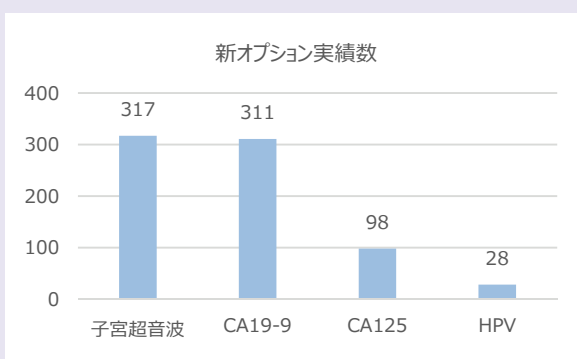
佐賀 務、森 清男、豊田 絵子

### ■2020年度のトピックス

人間ドック受検者数 2,078人（前年度 2,217人）

男女比率 男性58.5% 女性41.5%

新たにオプションメニューを4項目追加。子宮超音波検査、CA19-9検査は、全20項目メニューの上位の申し込み数となった。



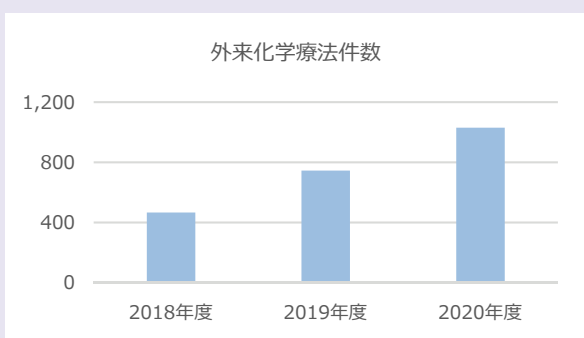
- ① 2020年度は、人間ドックでも新型コロナウイルス感染症の影響を受け、内視鏡検査の感染予防対策の厳格化などで、開始が7月にずれ込んだ。2ヶ月のブランクはもともと余裕のない定員枠をフルに拡大しても吸収しきれず、受検者数は2217人から2078人と-6.3%減少した。とはいえ2019年度は2018年度より+43%も増加しており、よく踏みとどまったともいえる。
- ② 受検者数減少は男性が主体で、女性は横ばい～軽度増加した。婦人科検診を当院でも実施できるようにしたことが理由と考えられる。子宮超音波など婦人科検診を補強、同オプション4項目を追加でき、コロナの逆風にもかかわらず女性の受検者が増加した。
- ③ ドック担当医として豊田先生が就任された。質の高いフィードバック診察は好評でドック診療の質は確実に向上しているといえる。
- ④ 引き続きNTT西日本北陸健康管理センターの産業医も受託、継続している。検診、ドック精査として当院外来初診患者数増加に貢献している。また、人間ドックセンターの業務拡大を目指す場合、産業医業務は有望な分野であることを強調しておきたい。

## 看護部

- 部門代表者  
前大道 綾子

### ■ 2020年度のトピックス

外科医師が常勤となり、外来化学療法も昨年度よりさらに件数が増加した。入退院支援グループ、認知症看護グループを立ち上げ活動を開始した。外来フットケアスクリーニング開始し、フットケアに取り組んだ。診療報酬改定に伴い重症度、医療・看護必要度の要件を満たす割合が、昨年度より増加した。



### ■ 事業報告

- ① 新型コロナウイルス感染症対策として発熱外来を設置し、日中、夜間とも必要時対応した。
- ② 外科手術の再開  
病棟での疾患・看護勉強会の開催  
手術室看護師の恵寿総合病院での研修
- ③ 重症度、医療・看護必要度  
診療報酬の改定で、該当割合が減少すると予想したが、医師の協力や監査の精度を上げ35%～45.3%平均40.9% となった。
- ④ 新グループの立ち上げ  
入退院支援グループ：患者の入院前からの情報を病棟へつなぎ早期退院へ向けての取り組み、退院時の不安解消、退院後の状況観察とつながる看護を目指し取り組み開始。  
認知症看護グループ：認知症の理解、せん妄への対応、認知症ケア加算への取り組みを目的に立ち上げ。知識向上のためグループ内の勉強会実施中。
- ⑤ 看護部署内、他部署の応援体制の取り組み  
人員の不足した部署へ、看護部内から日々の業務応援、夜勤応援をはじめ他部署からは、シーツ交換、電話対応などの応援を構築した。

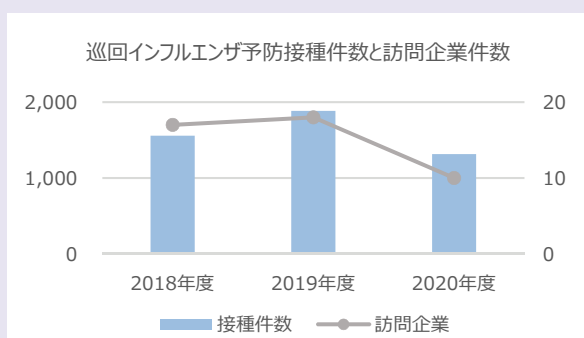
## 事務部

- 部門代表者  
森田 均

### ■ 2020年度のトピックス

コロナ禍において、患者・職員が安心して受診・診療できるように様々な感染予防対策を実施した。

11月には金沢市を中心に事業展開している通信事業者の要望に応え、企業のコールセンターを巡回し、インフルエンザ予防接種を実施。（例年、金沢市外でも実施していたが、コロナの影響で金沢市内のみ限定実施）



### ■ 事業報告

- ① 地域連携課では、地域のコロナ患者受け入れ病院の病床を緩和する為の窓口として、当院の対象となる血液がん疾患、乳がん疾患、整形外科疾患、眼科疾患の患者を積極的に受け入れ、地域医療構想における機能分化としての受け皿機能を果たした。
- ② 医事課では、受付・会計において、来院された全ての方に手指消毒・非接触体温測定・マスク着用を徹底、手押し車、車椅子や待合椅子などの小まめな除菌も行うなど、患者・職員・地域の感染予防に努めた。また昨年度より導入したQRコード決済を積極的にアピールし、患者の利便性向上を図った。
- ③ 管理課では「食の力で元気を」というテーマで地域の飲食店と連携した職員向けの限定ランチやパンなど手配し、職員の活力アップに繋げるとともに、人間ドックセンターとの連携で、ドック受検者向けに、昼食時の外食プラン店舗を拡大・提供し、好評を得た。コロナ禍の中で地域飲食店の活性化・社会貢献にも繋げた。

## 医療事業統括部門 クリニック

### 田鶴浜診療所

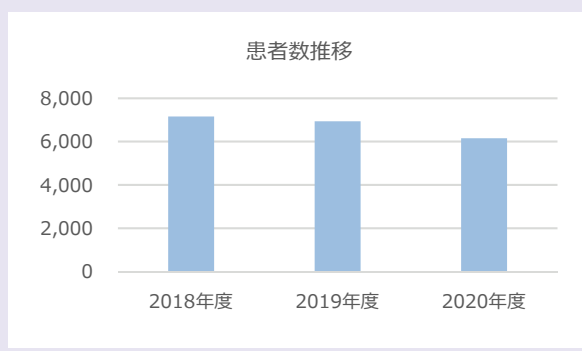
#### ■所属医師

廣正 修一

#### ■2020年度のトピックス

コロナ禍での受診控え、長期処方希望により、診察患者数は大幅に減少した。その中で、患者の訴えを多面的に聞き評価し、相談に乗るように努めた。

- ・患者数：6,151人（前年比：87.0%）
- ・一日あたり患者数：26人（前年比：89.7%）
- ・売上 目標比：100%



#### ■事業報告

- ① コロナ禍の中で患者さんが何を求めているのかを最も重要な点と考え診察に当たった。具体的には患者さんと話し合い、検査の予定などを決め、患者さんの全身的な疾患に対する相談や精神的な悩みの相談等、多面的な相談に乗るように努めている。
- ② また、一人ひとりの話に耳を傾け、検査結果上、改善した点や良い点は積極的に褒め、問題点に対しては改善するために何ができるのかを話し合い、今後の改善すべき点などに関し、共に頑張っていこうと励みながら、問題に取り組んでいる。その結果、患者数は減少したが、売り上げは目標比を達成できた。
- ③ 検査件数  
定期的に検査を実施し、疾病管理を確実にしている。
  - ・レントゲン：1,129件（前年比：115.8%）
  - ・心電図：914件（前年比：103.5%）
  - ・採血：2,023件（前年比：96.6%）
  - ・骨密度：618件（前年比：92.9%）
  - ・ABI：639件（前年比：88.6%）

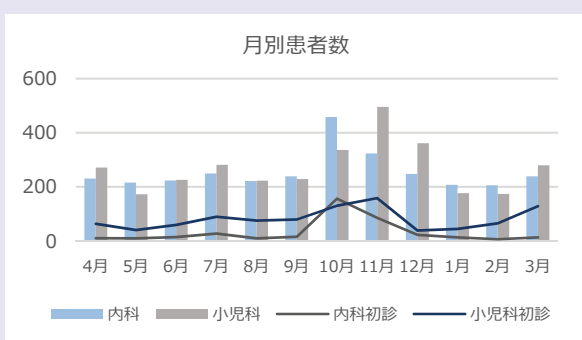
## 鳥屋診療所いきいき

### ■所属医師

斎藤 靖人、中谷 茂和

### ■2020年度のトピックス

- ① 鳥屋診療所  
患者に寄り添った診療を行い、定期検査を抜けなく行い疾病管理を強化した。発熱外来を開始した。
- ② いきいき  
新しいエアロバイクを導入し、乗降がしやすいタイプのため利用可能な利用者が増加した。



### ■事業報告

- ① 鳥屋診療所  
総患者数は、6,273人で、前年7,986人より減少したが、予防接種・検診数が前年度比28.8%増加した。地域唯一の小児科があるため新患、再来ともに患者数を増やしていきたい。今後も継続して、診察のみ患者者に対して、定期的な検査等を行い、疾病管理を確実に行っていく。
- ② いきいき  
延利用者数は、2,184人で、前年度比2%減、稼働率も前年より9.2%低下し、目標を下回った。その人らしさを取り戻し、より自立に日常生活を送れることを目標としたリハビリを行っていることで、卒業できた利用者からは好評価を得ているので、強みとしてアピールして利用者増につなげていきたい。また、コロナ禍で開催回数は減ったが高齢者サロンでの講師を2回行っており、董仙会のアピールも行って。

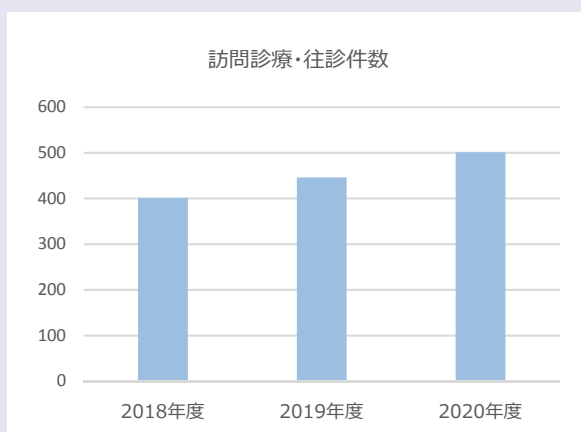
## 恵寿ローレルクリニック

### ■所属医師

吉岡 哲也

### ■2020年度のトピックス

新型コロナウイルス感染症により患者数が減少する中、通院することが困難な患者の自宅に訪問し、健康管理のため診療や指導を行った。



### ■事業報告

- ① 総患者数：8,713人（前年比：92.7%）
- ② 訪問診療・往診件数：501件（前年比：112.3%）
- ③ 地域交流  
11月にみそぎ地区コミュニティセンターにて講演会「新型コロナウイルスとインフルエンザを学ぼう」を行った。当日は窓を開けて十分換気を行った会場にて、37名の方にご参加いただいた。
- ④ 新型コロナウイルス感染症対策  
受付にアクリル板を設置、フェイスシールドやマスクの着用、手指消毒、自動体温測定器を設置するなど、安心して診療を受けていただけるように対策を講じている。



## 恵寿鳩ヶ丘クリニック

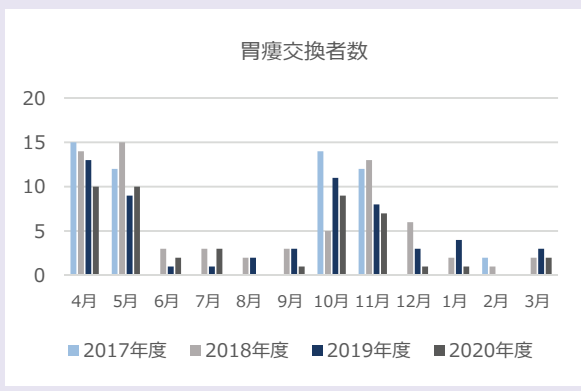
### ■所属医師

宮本 正俊

### ■ 2020年度のトピックス

患者数630人（2019年度689人、2018年度750人）  
内、胃瘻交換者数が2020年度46人、2019年度58人、  
2018年度69人となっている。

診察時には新型コロナ等感染予防対策として、フェイスシールドやゴーグル、マスクの着用、手指消毒の徹底を行った。



### ■ 事業報告

- ① 2018年より介護療養型老人保健施設から転換した「介護医療院恵寿鳩ヶ丘」の併設医療機関として、主に入所者のレントゲン一般・CT撮影を行い、病気の早期発見・治療に努めた。
- ② 入所者の胃瘻交換及び経鼻経管栄養患者の胃管カテーテル交換後の造影撮影等を行った。
- ③ 徳充会穴水ライフサポートセンターの入所者の嘱託医として診察・検査・処方を行い、健康管理に努めた。診察・検査の結果、専門医療機関への受診が必要と判断された方については、恵寿総合病院はじめ地域の医療機関と連携を図った。
- ④ 穴水町の特設健診事業及び近隣市町のインフルエンザワクチン・肺炎球菌ワクチン等の予防接種事業に参加し地域住民への予防医療に努めた。

## 介護事業統括部門

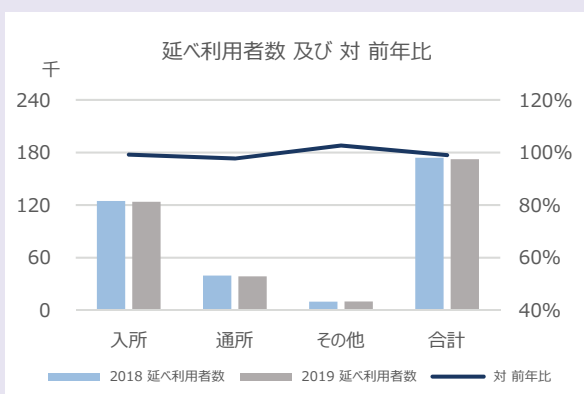
## 介護事業統括部門

### ■部門代表者

吉田 茂和

### ■2020年度のトピックス

本年度は新型コロナウイルスの感染防止対策に終始した。特に春先、全国的な不安感から在宅サービスの利用控えが広がり利用者数が大きく落ち込んだが、その後、精力的に対策に取り組んだ結果、下期には基本的な対応が定着し、年度末にはほぼ前年度並みまで回復させることができた。



### ■事業報告

- ① 新型コロナウイルス対応（オンライン環境の充実）  
新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念される中、感染予防対策として職員教育に併せ、オンラインを活用した。面会やカンファレンス・会議・委員会の開催など、Wi-Fiを活用したオンライン環境の整備を進めた。
- ② 介護課長の誕生  
介護職員が担う責任や役割の重要性から、これまでその社会的地位向上や処遇改善に取り組んできたが、今年度和光苑に初めて介護課長が誕生し、介護職の未来を拓く第一歩を踏み出した。
- ③ 「Foot活プロジェクト」セカンドステージ  
昨年度からスタートした「Foot活プロジェクト」をさらに推し進めるため、今年度は「Foot活マイスター研修」を実施し「Foot活マイスター」の養成を行った。
- ④ 外国人技能実習生の受け入れ  
新型コロナウイルスの影響などもあり、受け入れが遅れていた技能実習生について、和光苑での受け入れを開始した。コロナ禍ではあるが、今後の第二陣も予定している。
- ⑤ 情報誌『かいGO!』の発行  
けいごヘルスケアシステム内の情報共有及び職員に広く介護の活動を知って頂くため情報誌の発行を開始した。

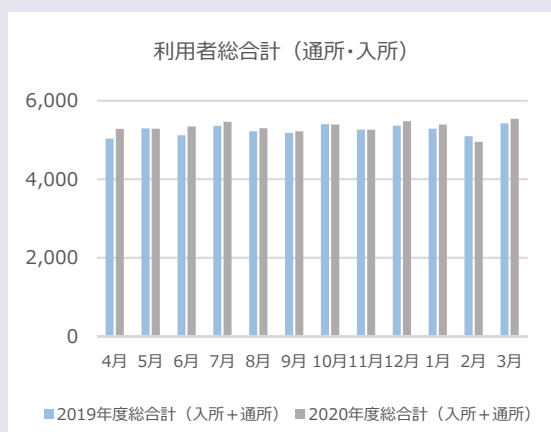
## 介護老人保健施設 和光苑

### ■部門代表者

渡邊 博之、奥本 健司

### ■2020年度のトピックス

新型コロナウイルスが全国的に蔓延する中、通所リハビリテーションにおいては4月、5月と利用者数が減少したが、その後回復すると共に入所については、ベットコントロールが上手く回せたおかげで、高稼働率を維持できた。



### ■事業報告

- ① 今期目標と達成度  
入所稼働率98.2%（前年比 +1.6%）  
通所稼働率82.2%（前年比 +1.5%）  
短期集中リハビリ加算 5,155件（昨年比+160）  
認知症 " 1,826件（昨年比+45）  
所定疾患療養費 589件（昨年比+89）  
療養食加算 99,874件（昨年比+2,019）
- ② 新たな取り組み  
オンライン面会（LINE・Teams利用）  
産総研とのコラボ（ケアディグニティーの開発）  
施設内リーダー研修（役職者）  
技能実習生受け入れ（インドネシア）介護補助者2名  
ランチョンセミナー（褥瘡について）  
リハビリ機器の導入（エアロバイク、トレッドミル等）
- ③ 今後の課題  
今年度の入所稼働率は1年を通じて高稼働率を維持することが出来た。在宅復帰に関しても6名の方が在宅に戻られており、今後この成功体験を生かし、もっと増やしていくと共に地域貢献に向けて、「介護何でも相談室」を開設し、地域住民に寄り添った、開かれた施設を目指していく。また、外国からの技能実習生の受け入れを増やせるよう体制を整える。

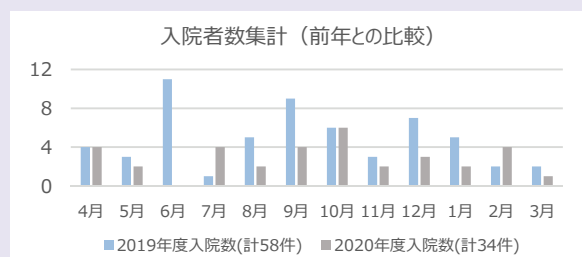
## 介護老人保健施設 鶴友苑

### ■部門代表者

廣正 修一、古木 恵実子

### ■2020年度のトピックス

新しい施設長に変わって3年目の2020年度は、①「本質を大切にしておしよさを提供し、相手の良い面を見よう」という点を継続し、②「利用者の変化を早めに気づき、対処してあげよう」という新しいポイントに取り組んだ。利用者の良い点を積極的に褒めてあげるように努め、何か変化が有りそうに感じる時にはためらわず、施設に隣接する診療所で早めにスクリーニング検査をした。その結果、入所者の入院が減少した（昨年比24件減）。



### ■事業報告

- ① 利用者数（入所+通所）  
 総利用延人数：23,396名（前年比1.8%減）  
 短期集中リハビリ加算：1,715件（前年比+116）  
 認知症 “ ”：559件（前年比+94）  
 ターミナル加算：60件（前年比+60）  
 褥瘡ケア加算：197件（前年比+43）
- ② コロナ禍による無料アプリLINEでの面会通話：32件
- ③ 「Foot活プロジェクト」 歩き方の測定や体操実施  
 Foot活マスター研修修了 1名  
 「活動プロジェクト」 タブレットを使ったレクリエーション、  
 「ノーリフト介護」の取り組み
- ④ 行事関係、クラブ活動  
 大スクリーンで演芸会、梅ジュース作り、縁日(ゲーム大会)、かき氷、暑中見舞いはがき作り、ペットボトル風鈴制作、秋祭り、レクリエーション大会、クリスマスケーキ作り、書初め大会、初詣、正月遊び、節分大会、お茶会
- ⑤ 実習関係  
 田鶴浜高校（看護・介護学科）
- ⑥ ボランティア関係  
 紙芝居

## 介護医療院 恵寿鳩ヶ丘

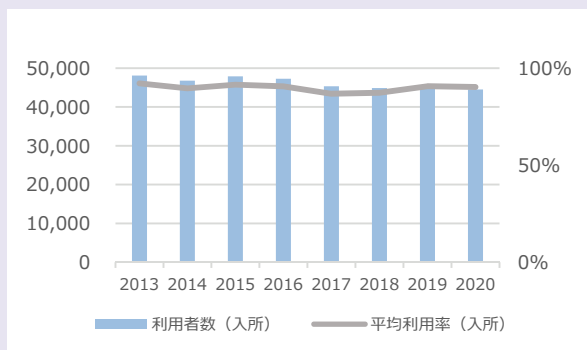
### ■部門代表者

宮本 正俊、岡田 亮一

### ■2020年度のトピックス

新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図り、安心安全を追求した1年だった。

また職員自らの意欲を高めるため、自分たちでしてみたいことのアンケートを行い、関心の集まったテーマのもとグループワークを重ね、特に介護医療院の強みでもあるACPのとりくみについて議論した。



### ■事業報告

- ① 年間延べ利用者数：44,498名（前年比99.3%）
- ② 新型コロナ感染症対策の徹底  
 ・本院感染制御課医師と認定看護師の施設内巡視  
 ・上記を踏まえた全職員研修（防護具のつけ方など）  
 ・ゾーニングの検討と実施（入所・通所エリア区分け）
- ③ ご利用者・ご家族の会えないことのストレスへの対応  
 ・オンライン面会の導入（1日平均4-5件）
- ④ 「鳩ヶ丘の良いところ、伸ばしたいところ、してみたいこと」の意見交換会の実施。アンケートから特に多かった「アドバンスドケアプランニング」について議論を重ねた。人生の最期にしたいこと（お食い締め）の取り組み等
- ⑤ ノーリフト介護（持ち上げない介護）のさらなる推進  
 車イス型個浴槽導入定着・・・利用者職員双方に笑顔  
 マスターガイド・フレックスボードなどの移乗用具増  
 ストレッチャーを増設 平行移乗の実践定着
- ⑥ 理学療法・作業療法リハビリ体制強化加算継続  
 リハビリ機器（トレッドミル等）の追加導入  
 「Foot活マスター」研修修了 1名
- ⑦ シルバー世代の方の積極的採用で多様な働き方定着  
 介護専門職との役割分担の見直し

## 在宅複合施設 ほのぼの

### ■部門代表者

諏訪 勝志

### ■2020年度のトピックス

見える化された介護技術マニュアル作成およびノーリフティング移乗方法の統一のために動画マニュアルを作成し、より質の高い介護の提供に努力した。(TQM大会 優秀賞)  
また、1名がFoot活マイスター研修を修了し、Foot活体操を毎日取り入れている。

介護技術動画マニュアル作成リスト	作成数
リフト車リフトの使用方法、注意点	1
おむつ交換	1
食事介助	1
一般的ノーリフティング移乗方法 (居室・浴室)	2
利用者ごとのノーリフティング移乗方法	5

### ■事業報告

- ① 今期目標と達成度  
稼働率90%を目標（通所介護・短期入所）  
通所介護：77.4% 達成率86.0%  
短期入所：74.5% 達成率82.8%  
新型コロナによる自粛と冬期の大雪の影響で稼働率が伸び悩み目標達成できなかった。
- ② 教育研修  
1名がFoot活マイスター研修を修了し、Foot活を積極的に取り入れている。介護キャリア段位制度、認知症などのオンライン研修など、スキルアップのために個々で研修に参加している。また、介護技術向上のため介護マニュアルの見える化（ビデオ制作）も行い、日々の介護技術見直しを図っている。
- ③ 今後の課題  
介護技術の全体的向上と施設の強みをアピールし、利用したい施設を目指し、稼働率向上に努める。通所介護では、在宅生活が継続でき、より元気になってもらうためにFoot活プロジェクトを積極的に行っていく。短期入所では、喀痰・吸引など医療依存度の高い利用者、退院後で病状などの不安定な利用者の受入も検討し、職員教育を行っていく必要がある。

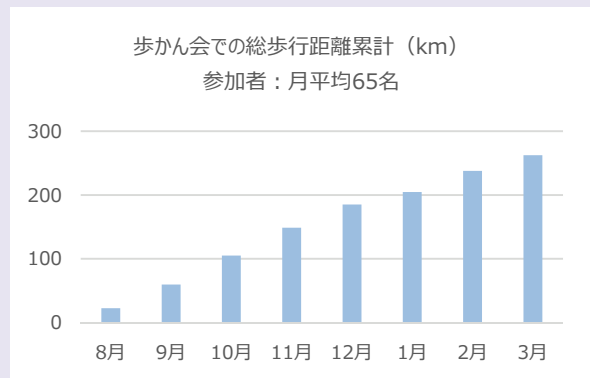
## デイサービスセンター いこい

### ■部門代表者

愛徳 亜矢

### ■2020年度のトピックス

Foot活、歩かん会の取り組み（TQM大会 優秀賞）を実施しスタンプラリーと認定証によりモチベーションアップに成功。  
12月にお楽しみ会を開催し利用者による「ハーモニカショー」「レクダンス」「紙芝居」を実現した。



### ■事業報告

- ① 目標稼働率：85%  
実績：平均76.6%  
達成度：90.1%  
年度当初のコロナによる自粛と、1月の大雪により稼働率が大きく低下したが、数年ぶりに80%を超える月もあり、なんとか前年を若干上回る程度まで回復できた。
- ② Foot活マイスター 1名 研修終了  
Foot活マイスターが中心となり、Foot活体操やラダー歩行練習に力を入れ、毎日行っている。  
合わせて、歩かん会の活動や、健康運動指導士による体操が、利用者のモチベーションとなっており、利用回数の増加にもつながった。
- ③ 今後の課題  
・新規利用者の獲得、加算の取得  
・コロナ禍により、参加できなかった研修への参加  
・ITの活用、学習

## けいじゅ一本杉

### ■部門代表者

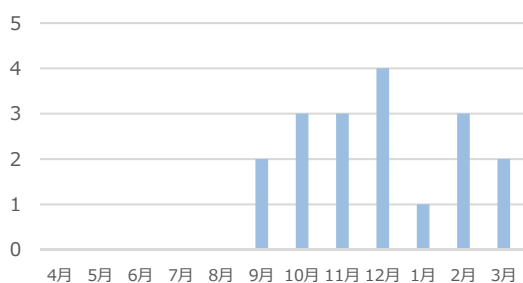
高木 ひとみ

### ■2020年度のトピックス

小規模らしさを見直し、一歩前に！

ポイント制でご利用者の幸福度アップを目指し、8月より取り組みを開始した。50ポイントで商品と交換できるようにしたところ、ドライブや手作りマスクが人気だった。ご利用者のモチベーションアップに繋がった。

50ポイント獲得者数



### ■事業報告

- ① 目標登録者数 26名 実績 月平均20.9名  
達成度 84.2%
- ② 「一本杉Café」  
感染対策を徹底し再開  
交流スペースは目隠しシートを外しロールカーテンに  
玄関先にお花を設え、明るくイメージチェンジ！  
5月 卓球大会  
6月 フラワーアレンジメント  
一本杉町公園草むしりに参加  
7月 一本杉カフェ再開  
8月 ポイント制開始  
9月 マスク制作/お茶会/書道教室  
10月 誕生日ドライブ  
12月 柚子みそ・ふりかけ作り  
1月 みそ作り
- ③ ベッドコントロールで、泊まり中心の利用者が入所された。  
今後も病院・施設と連携し、調整していきたい。
- ④ 登録者数を増やすことが優先課題。

## 恵寿みおや

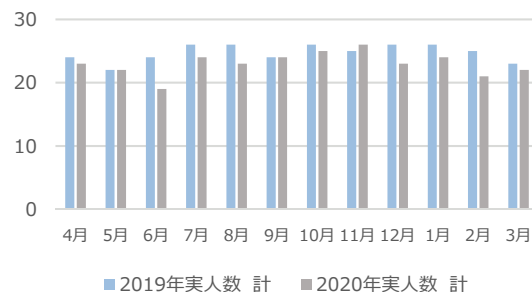
### ■部門代表者

筒井 静恵

### ■2020年度のトピックス

前期に新規の受け入れが少なく登録者数も伸び悩んでいた。後期にむかひ新規も受け入れていくが、入院や入所などでの登録解除が続き、前年度に及ばない状況となったが、年度末に向けて新規の相談も増えて登録者の増加も見込まれている。

登録者比較表



### ■事業報告

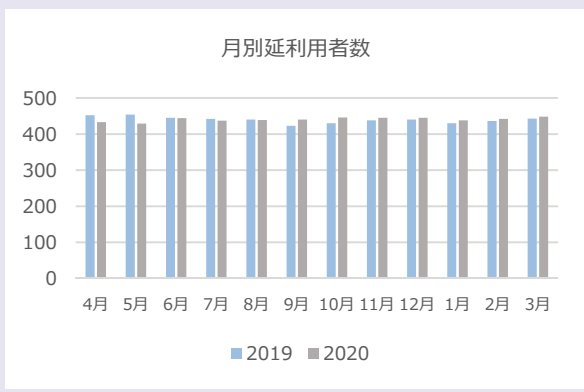
- ① 登録者数  
目標登録者数 29名  
実績 月平均 23名  
達成度 79.3%
- ② 認知症みらいカフェ  
職員講師によるカフェの開催（5回）  
7月「フラワーアレンジメント」  
10月「可愛いリース作りをしよう」  
11月「水引で箸置き作り」  
1月「腸活ミニレクチャー」  
2月「アクリルたわしを作りましょう」
- ③ 資格取得  
健康予防管理専門士 1名

## ケアマネステーション恵寿

- 部門代表者  
高松 由紀子

### ■2020年度のトピックス

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大による影響で、4月・5月は利用者のサービス利用控えや新規利用者数が減少したが、6月以降は回復してきた。また、感染予防のため利用者・家族やサービス事業所担当者との接触の機会を減らし、オンラインによるサービス担当者会議を開始した。



### ■事業報告

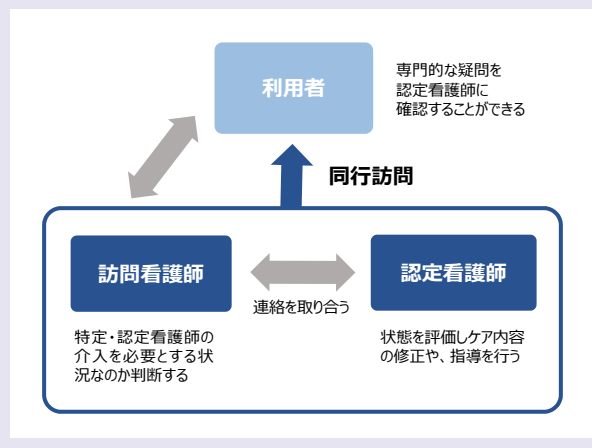
- ① 年間延べ利用者数 5,286名  
(予防751名、介護4,535名)  
前年比100.2%  
全体としては前年度と比較して利用者数は変化なかったが、予防の利用者数が114名増加し、介護は101名減少した。
- ② 加算の取得状況  
・初回加算 163件 (前年度 154件)  
・入院時情報連携加算 211件 (前年度 229件)  
・退院、退所加算 204件 (前年度 196件)
- ③ 『恵寿まるわかりブック』を活用した在宅サービスの紹介  
恵寿ヘルスケアシステムにおける各サービス事業所のリーフレットを使用して、利用者・家族にサービス内容の紹介・説明を行ったことで、具体的にわかりやすく内容を伝えることができ、サービスの利用に繋げることができた。

## 恵寿総合病院訪問看護ステーション

- 部門代表者  
久能 恵美

### ■2020年度のトピックス

当訪問看護ステーションの強みである【特定・認定看護師に相談しやすい】との面を生かし、それらを必要とした利用者宅へ認定看護師と同行した。そして助言・指導をうけてその後の看護に活かす取り組みを実施した。



### ■事業報告

- ① 2020年度延べ利用者数：498人  
2019年度は414人であり、前年度比20%増となった。
- ② コロナ禍での感染対策基準の設定  
コロナ禍の現状でも利用者は訪問看護を必要としている為、実施する処置別に感染対策基準を作成し、実施している。
- ③ 能登地区訪問看護ステーション連絡会研修会の実施  
当院の糖尿病療養指導士を有する看護師からの依頼によりオンラインで研修会を開催した。
- ④ 認定看護師との連携  
4名の利用者を実施。慢性呼吸器疾患看護認定看護師に2名、脳卒中リハビリテーション看護認定看護師に2名を依頼し評価していただいた。NIPPVのチェックポイントの周知や呼吸状態の評価や、嚥下状態の評価をしたうえで口腔体操の立案、実施までできた。

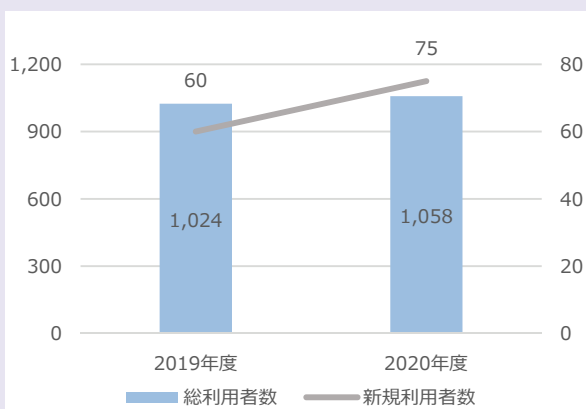
## 訪問リハビリテーション恵寿

### ■部門代表者

川北 慎一郎、小川 正人、藤井 麗子

### ■2020年度のトピックス

訪問リハビリテーション（リハ）新規利用者が、2019年度60件から、2020年度75件へと増加した。恵寿総合病院回復期リハ病棟からの紹介者数を増やしたことにより、訪問リハビリテーション適応者が増加した。



### ■事業報告

- ① 訪問リハ紹介チェックリストを作成し、回復期リハ病棟および地域包括ケア病棟で導入した。院内リハスタッフからの紹介相談件数が2019年度55件、2020年度138件と増加し、新規利用者の増加につながった。
- ② 訪問リハ紹介チェックリストを活用することで、病院と訪問リハスタッフ間の情報共有が促進、退院支援の選択肢が増加した。在宅支援を考える上で、スタッフ教育に有益であった。
- ③ 新規利用者増に伴い、短期集中リハ加算は2019年度302件、2020年度369件と増加した。退院直後の集中的リハビリテーションを提供できた。
- ④ 訪問リハ終了者数は2019年度49件、2020年度77件であった。その内、通所系サービス移行者、生活目標達成者は16件：32%（2019年度）から39件：50%（2020年度）と増加し、シームレスなサービスが提供できた。

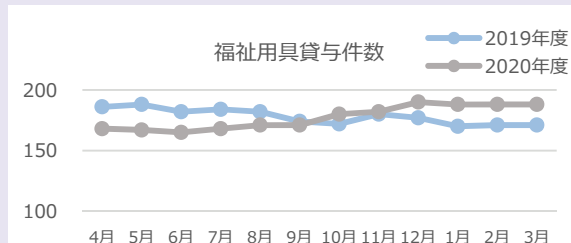
## 福祉用具レンタルステーション恵寿

### ■部門代表者

梅田 信一

### ■2020年度のトピックス

後期の件数を伸ばすことができた。



### ■事業報告

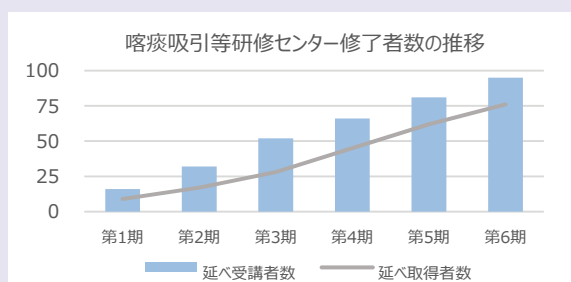
- ① 2020年度の貸与件数は、前期は2019年より落ち込んだが後期は増加した。紹介されるケアマネ事業所数も、昨年10件から12件に増加し、症例数も昨年7例から14例に増えた。
- ② 2020年度国から出された上限価格、平均価格を見直し、2021年度より価格変更することとし、ベッド、手すり、マットのセット価格も設定した。

## 喀痰吸引等研修センター

### ■部門代表者

吉田 茂和

### ■2020年度のトピックス



### ■事業報告

- ① 2017年度に開講してから、今年度で第6期を迎えこれまでに延べ95名の基本研修修了生を輩出した。
- ② 内2020年度までに実地研修を含むすべての研修を修了し、修了証を発行した受講生は76名にのぼった。

## 社会事業統括部門

### ■部門長

進藤 浩美

### ■2020年度のトピックス

今年度より、『めぐみフェア』を開始した。

#### めぐみフェア メイン商品

回数	月日	
1	7月22日	Foot活サンダル、小松マテレーマスク、脳活アイス
2	8月27日	折りたたみ杖、杖おき、脳活アイス
3	9月30日	杖、4点杖、あゆみシューズ
4	10月27日	シャワーキャリー、滑り止めマット、入浴剤
5	11月26日	ポータブルトイレ、入浴剤、保湿ローション
6	12月24日	車椅子、リハビリシューズ、入浴剤、保湿ローション
7	2月17日	メガブライトサングラス、折りたたみ杖、杖ゴム
8	3月25日	シルバーカー、あゆみシューズ、Foot活サンダル

### ■事業報告

- ① 医師会立七尾看護専門学校との経営協力のため、事務長、教員2名の出向を行っている。また、本院の医師、看護部、医療技術部門から、講師を派遣している。（講師派遣費用は支援している。）看護師確保のために修学資金制度を創っている。
- ② けいじゅデリカサプライセンターは、当法人と社会福祉法人徳充会の給食を1日5,000食作っている。これにより、各施設の非常時の食事の確保と生産性を上げることに貢献している。
- ③ 地域の人々の生活支援を行うために、オープンしたベンリー七尾店は3年目に入った。介護保険での住宅改修、ケアマネステーション恵寿とのコラボがまだ不十分である。
- ④ 医療福祉ショップめぐみもオープンから20年が経った。オープン当初より、法人にIDがある場合は3%引きを行っていたが、総額表示にあわせ、3%以上割引となるように価格を見直し、2021年度スタートの予定である。また、SDGsの取り組みとして、グルメプラザけいじゅの食品ロスを減らし、一人でも多くの職員に健康な食事として認定されたスマートミールを食べていただくために、テイクアウト販売に協力した。



## 七尾看護専門学校

### ■事務長

山崎 茂弥

### ■2020年度のトピックス

2019年度と同人数37名が卒業生し、36名が国家試験に合格した。卒業生の就業先は能登地域の病院が23名（内 恵寿総合病院11名）、加賀地域の病院が6名（内 恵寿金沢病院1名）だった。

#### 入学生生の状況

	能登	加賀	富山県	福井県	他県	合計
2019	31	9	1	0	1	42
2020	21	10	5	0	7	42

#### 卒業生の就業先

	能登	加賀	富山県	福井県	他県	病院 以外	進学、 その他	合計
2019	21 (11)	9 (3)	2	0	2	0	3	37
2020	23 (11)	6 (1)	0	1	3	1	3	37

### ■事業報告

- ① 出願者数は61名、受験者数は48名で、実際の新入生は37名と昨年より6名増やすことが出来た。出身別では、能登北部8、能登中部13、石川中央9、南加賀1と県内は31名だった。県外は6で、うち富山県が5だった。新入生のうち能登中部は35%だった。
- ② 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月14日～5月31日まで休校し、オンライン準備等、感染予防環境づくりなど、安心、安全な学校づくりに労力が必要だった。
- ③ 学生募集のため、7月、8月に感染を配慮した形でのオープンキャンパスを実施した。高校訪問は、断られることもあったが、実施した。また、進路ガイダンスに参加し、入試説明会も開催した。
- ④ 入学生確保のため、11月21日推薦入学試験を実施し、1月21日に一般・社会人ともに1回目の入学試験を行い、2月18日も入学試験を実施した。

## ベンリー七尾店

### ■部門代表者

梅田 信一

### ■2020年度のトピックス

ベンリー七尾店は12月で開設から2年経過した。作業件数は437件であり、前年比14%の増加となった。

	一般 作業	ハウス メンテ ナンス	クリー ン グ	エアコン	水廻り	害虫 駆除	ファニ チャ	その他	総計
2019 年度	157	76	34	32	15	18	40	2	374
2020 年度	199	75	36	34	33	25	24	11	437

### ■事業報告

- ① 外注割合は、2018年度12%、2019年度45%、2020年度は、51%と作業件数増に伴い増加している。外注割合の削減、ご利用者の利便性を図るために七尾市の一般廃棄物収集運搬業の申請を行い、許可を得た。
- ② リピート客が増加した。

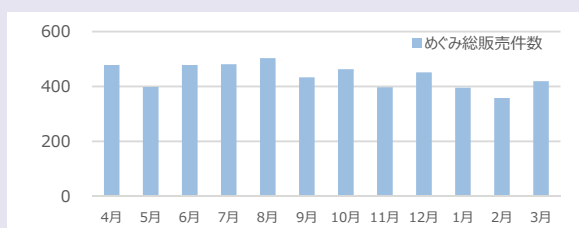
## 医療福祉ショップめぐみ

### ■部門代表者

梅田 信一

### ■2020年度のトピックス

#### めぐみの販売実績



### ■事業報告

- ① コロナ禍でマスクの販売が出来なくなったが、本館のマスク自動販売機は、6月25日より販売を再開できた。また、感染防止グッズも販売した。
- ② 2020年7月よりめぐみフェアを毎月本院のシーサイドホールにて開催し、告知用のチラシ1,000部を配布した。
- ③ ローソン側に倉庫を改修し、5Sをはかった。

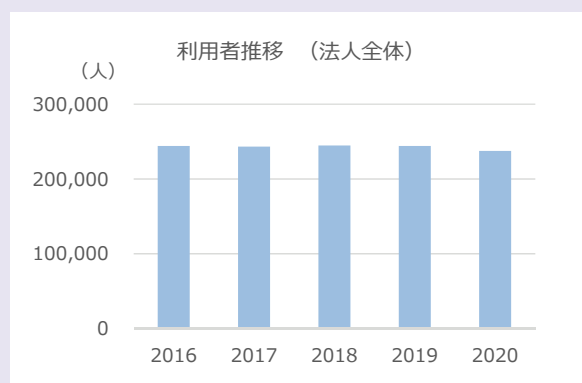
## 徳充会

## ■部門代表者

今寺 忠造

## ■2020年度のトピックス

全体の延べ利用者件数は、約23万7,300件で、コロナの影響で平年並みの維持が困難であった。障がい者・高齢者の利用者件数についても、通所系・短期入所系の自粛・大雪等の自然災害も大きく影響した。外国人技能実習生2名、正規16名・非正規27名を採用。



## ■事業報告

- ① コロナ禍で「一歩前へ！」をテーマに、各事業所がそれぞれの目標を掲げ、強みを活かし一致結束して取り組んだ。
- ② 障害者事業局：入所利用者は年々高齢化・重度化が進み、医療的ケアのニーズが高い。身体・知的・精神の3障がいに加え、発達障害、高次脳機能障害等に取り組んだ。通所利用者は日中活動・働くニーズが高く、機能訓練利用者は介護保険より、現サービスの継続を望んでいる。
- ③ 高齢者事業局：新しい価値観・ニーズに対応するため、Wi-Fi・タブレットの導入（面会・支援他）、Foot活の強化、脳トレ・ゲーム・DAMの有効活用、カルチャー教室、コロナ禍の看取り対応、イルミネーションの点灯等、時代の流れとニーズに対応する新しいチャレンジを行った。
- ④ 事務局：働き方改革（給与分析・待遇・外国人雇用）、職員教育の推進（資格習得支援・Web研修の開催等）、積極的な求人活動（外国人2名、正規16名・非正規25名採用）、コロナ対策の補助金申請（環境整備・衛生用品等）、徳充会BCMの策定を行った。
- ⑤ 地域貢献：コロナの影響で、従来の交流を中心としたものは、中止・自粛した。
- ⑥ コロナ：感染・クラスター予防に取り組み、継続中。

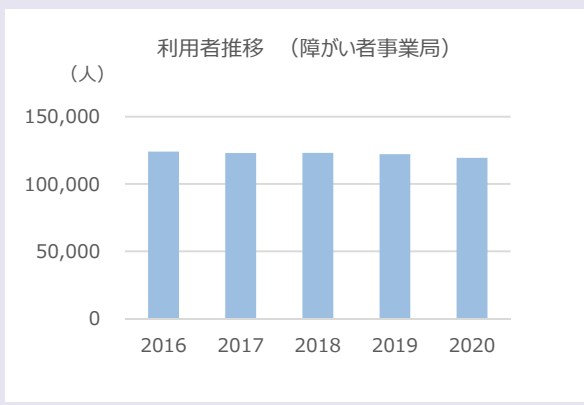
## 障がい者事業局

### ■部門代表者

今寺 忠造

### ■2020年度のトピックス

新型コロナウイルス感染拡大・大雪等の自然災害の影響もあり、通所・短期入所の利用者数は若干減少した。一方入所系は外泊等の自粛により、利用者稼働率は現状維持・増加。コロナ禍で、3密を回避した新しい取り組みを推進・実行した。各事業所、高齢化・障がいの重度化が進んでいる。



### ■事業報告

- ① 「一歩前へ！」を意識し、全事業所、コロナ禍での新しい日常への支援と感染予防に努めた。
- ② さいこうえんの障害者生活支援センター：地域活動支援センター、相談支援、障害者就業・生活支援センターの3事業はコロナの影響で件数低下。交流の自粛、3密対応。
- ③ セレナー青山：現状維持。
- ④ 青山彩光苑リハビリテーションセンター：機能訓練は現状維持、就労移行支援定着率は全国トップレベル（2年連続）。
- ⑤ ワークセンター田鶴浜：洗濯事業は順調、ご利用者の高齢化。コロナの影響で作業量減少した（土産物の箱・食材等）。
- ⑥ 青山彩光苑ライフサポートセンター：コロナ対策（機械浴増設・オンライン面会の早期導入等）。環境工夫でご利用者個々人の活動を尊重する支援を実施した。
- ⑦ 青山彩光苑穴水ライフサポートセンター：「一歩前へ」を意識したQOLを高める体制づくりを目指した。3密回避のスポーツ活動、作業活動や創作活動に力を入れて支援した。
- ⑧ 石川県精育園：地域行事への参加は自粛・中止となったが、全部貸切の旅行（フェリー・汽車）の企画、新しい生活様式への対応を考案した。自立ホームけいじゅでは、短期入所、相談支援キララ、居宅支援は現状維持をめざした。

## 第2章 法人方針・事業報告（徳充会）

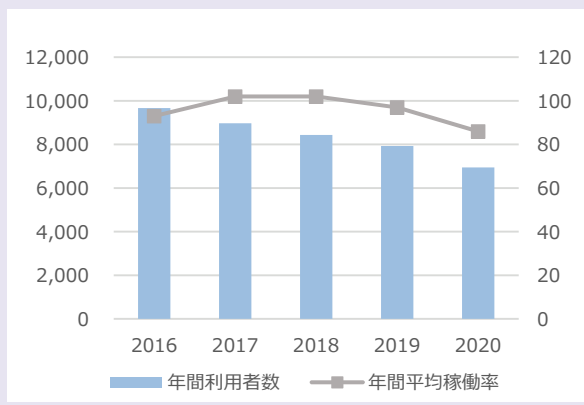
## 障がい者事業局 青山彩光苑 青山彩光苑リハビリテーションセンター

### ■部門代表者

久保 奈保

### ■2020年度のトピックス

就業事業において、全国で2割の事業所しか達成していない一般就労への移行率（就職後6ヶ月以上定着）を2年連続達成できた。一般企業への就職を目指す障がいの資源として存在意義を発揮できた。



### ■事業報告

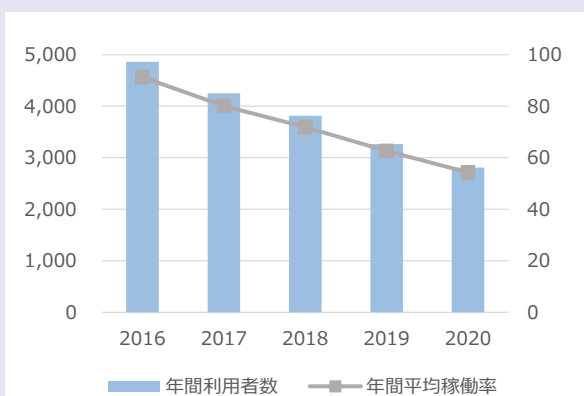
- ① 目標と達成度  
入所稼働率（短期入所を含む）を70%以上とする  
→56.8%であったため、達成度としては81.14%  
機能訓練稼働率を105%以上とする  
→85.6%であったため、達成度としては81.52%  
就労移行支援稼働率を100%以上とする  
→71.9%であったため、達成度としては71.9%
- ② 前年度に引き続き通所・入所を問わず機能訓練利用者の高齢化に伴う利用終了やサービス変更が目立った。また利用相談についても通所利用希望者に比べ入所希望が少なく、希望があったとしても終の棲家としての要望が多く、利用者の希望と事業の目的にギャップが生じ、修正の必要性が高まっている。
- ③ 就労移行支援事業については、6月から新たな施設外就労先を確保し支援に取り組んでいる。また順調に一般就労への移行を進め6名の利用者が就職した。その結果一時的に8名定員のところ、登録者5名までに落ち込んだが、1月には登録者7名まで持ち直し現在は、8名登録となった。また4月就職内定者も3名いるが、新規利用相談もあり、4月以降も定員を割らずに開始できる予定である。

障がい者事業局 青山彩光苑  
さいこうえんの障害者生活支援センター

■部門代表者  
前田 奈津子

■2020年度のトピックス

新型コロナウイルス感染拡大予防に徹した1年であり、従来の活動の見直しを実施。外出や交流、飲食を伴う行事活動のほとんどを自粛した。また、3密対策のため環境を整備し、新たな作業場を創設した。



■事業報告

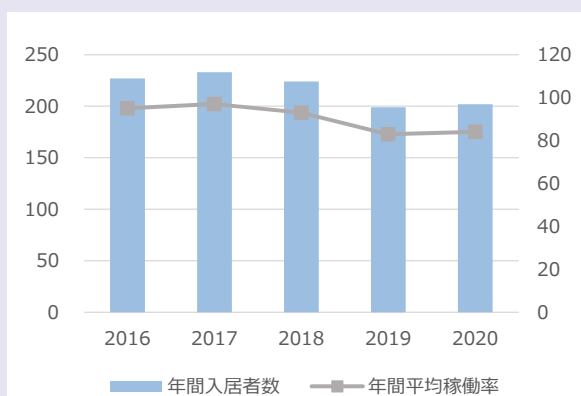
- ① 七尾市・中能登町からの委託を受け、地域活動支援センター I 型事業を実施している。地域で生活している障がい者が通所し日中活動を行っている。生活支援員3名を配置し主に生産（作業）活動や創作活動、レクスポなどを行った。例年実施していた季節行事や余暇活動などの外出企画は今年度は感染予防のため自粛した。また、同様に地域住民との交流も自粛している。4月・5月は緊急事態宣言発令に伴い、利用自粛するご利用者がいた。
- ② 相談支援事業（指定特定・指定一般・指定障害児）は、障がいのある人の様々な課題についての相談に応じ必要な情報提供、障害福祉サービス利用等の支援を行った（年間相談件数 4,146件）。また、七尾市・中能登町における地域生活支援拠点等整備事業に取り組んだ。
- ③ 障害者就業・生活支援センター事業は障がい者・企業からの就職に係る相談・職場定着に係る相談、これらに伴う生活の相談を受け、その課題解決に向けて必要な情報提供、助言等の支援を実施した（年間相談件数 3,292件、就職件数30件、職場実習研修12件）。

障がい者事業局 青山彩光苑  
バリアフリーホーム セレーナ青山

■部門代表者  
久保 奈保

■2020年度のトピックス

2020年4月は16床から開始し、2021年3月には18床の稼働となった。多少の入退居はみられたが、年間通じて定員20名に対し、16～18名で推移し、大きな変化はみられていない。



■事業報告

- ① 退居1名、新規入居者は3名であった。年間平均稼働率は前年比2%の上昇となった。
- ② 入居者の法人内サービス利用の内訳  
※重複利用を含む  
【障害者活動系】  
リハビリテーションセンター：5名  
ワークセンター田鶴浜：7名  
障害者生活支援センター：1名  
【生活支援系】  
ローレイルハイツ恵寿（ホームヘルプ）：3名

## 障がい者事業局 青山彩光苑ライフサポートセンター

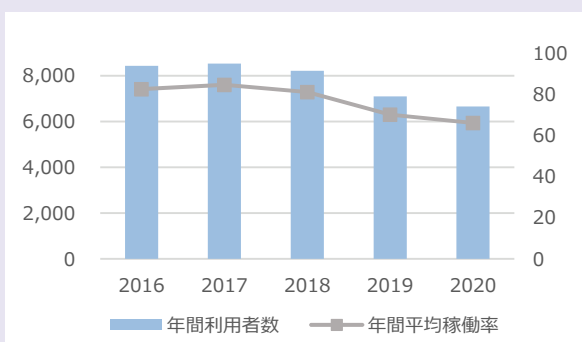
### ■部門代表者

瀧野 利徳

### ■2020年度のトピックス

コロナ対策として、4月に東館浴室に機械浴を導入し、東西利用者の行き来を完全に分断した。また、5月にはオンライン面会を導入し、利用者と家族の交流機会を維持するとともに、面会や外出泊の制限とその解除をこまめに行った。

活動では、カラオケや太鼓など通常の活動に少しでも近づけるよう環境の工夫に努めてきた。



### ■事業報告

- 生活介護事業は、目標稼働率110%に対し114%で達成率は104%であった。施設入所支援事業の実績は、目標稼働率100%を同数値で達成した。短期入所事業は、目標稼働率70%に対し58.6%の実績で前年比83.7%の結果であった。短期入所事業については、実利用者数の減少は見られないものの長期利用者がなく、かつ緊急受け入れ事業での実績を期待したが、相談支援事業所からの依頼までには結びつかなかった。
- 施設の方向性として、入所対象を身体障がい者に限定し、地域における当施設の役割をより鮮明化した。また、入所利用者の入れ替えにより、入院者を減らし稼働率の向上を実現した。(98.9%⇒100.3%)
- 業務の効率化として、①支援計画書の様式変更とこれに関する会議の見直し、②受診(精神疾患)方法の変更と記録の廃止、③機械浴導入による移動距離の短縮、④形骸化していた利用者朝礼の廃止などを実行した。
- 利用者サービスとして、①個室料金の徴収を廃止、②必要とする全利用者への無償でのオムツ提供、③生活施設としての喫煙室の設置などコンプライアンスに基づく改善に取り組んだ。

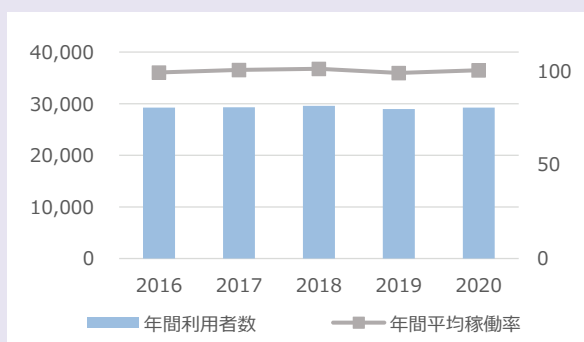
## 障がい者事業局 青山彩光苑ワークセンター田鶴浜

### ■部門代表者

細木 俊逸

### ■2020年度のトピックス

利用実績は、稼働率目標68%に対し、66%昨年対比4%減、延べ利用者数は6,659名で昨年より444名減となった。総事業活動収入は、ほぼ横ばいであり、授産事業に関しては順調に推移している。施設事業活動収入を増やすことが課題である。



### ■事業報告

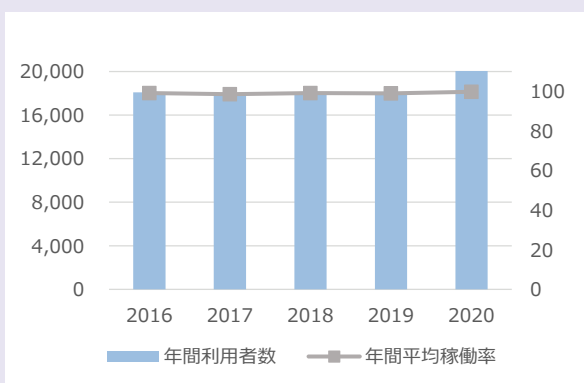
- 2020年度について新規利用者は1名であった。退所者は2名であった。年明けの大雪の影響もあり稼働率は減少した。利用者の高齢化はすすんでいるが、新規利用者の獲得も目指していく。また、次年度は施設稼働日を増やすなどの工夫をして事業収入増を目指す。利用登録者は30名。今後も利用者確保について継続し取り組んでいく。
- 授産事業においては、行政からの委託業務も継続委託をうけており、安定収入となっている。洗濯事業においては順調に推移している。他事業においても予定通り進行し、授産事業の安定化に結び付いている。今後はコロナ禍においても安定して事業継続できるよう業務の見直しや創意工夫を行い進めていく。

## 障がい者事業局 青山彩光苑穴水ライフサポートセンター

■部門代表者  
今寺 忠造

### ■2020年度のトピックス

- ①コロナ禍でご利用者の安全・安心を第一に、集団から個別プログラム等に変更し感染予防とクラスター防止に努めた。
- ②穴水総合病院と協力して終末期までの施設ケアを行った。
- ③継続してノーリフトを推進した。④のと里山空港に東京オリンピック・パラリンピック聖火トーチを見学に行った。



### ■事業報告

- ①生活介護入所稼働率は99.7%、目標稼働率は99.0%であり、目標達成率は100.7%であった。
- ②生活介護通所稼働率は88.0%、目標稼働率は98.0%であり、目標達成率は89.8%であった。
- ③施設入所稼働率は99.7%、目標稼働率は99.0%であり、目標達成率は100.7%であった。
- ④短期入所稼働率は67.7%、目標稼働率は90.0%であり、目標達成率は75.2%であった。
- ⑤まとめ

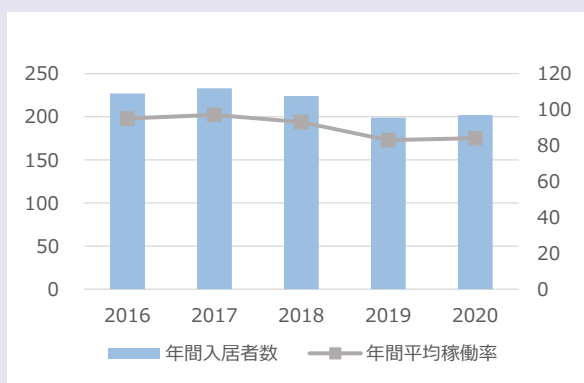
今年度は周到な準備と実行をテーマに、利用者の生活の質(QOL)を高めるために、「一歩前へ」を意識した体制づくりをめざした。訓練場面でできることを生活の場面でできるようにすることやスポーツ活動、作業活動や創作活動に力を入れて支援を行った。コロナ禍、三密を避けた安全・安心をサービスを展開した。通所系は、能登北部のコロナの感染拡大・大雪等の影響もあり、利用者自身の利用自粛が見られた。今後も、感染症対応を行いながら、利用者一人ひとりに見合ったQOL向上のための支援を行っていく。

## 障がい者事業局 石川精育園・自立ホームけいじゅ

■部門代表者  
今寺 忠造

### ■2020年度のトピックス

コロナ禍において感染対策会議を週1回開催し、その都度フェーズごとに対応を徹底し予防に努めた。面会等の制限、地域交流の機会も中止となり、ご利用者の生活は一変した。行事は、船・電車を全部貸切の新しい旅行を実施した。新生活様式に則り楽しみある支援を考案し実施した。



### ■事業報告

- ①利用者状況  
精育園本体は4名が退所、3名が入所、計123名。グループホームは女性1名が退所、計19名。
- ②事業報告  
日中活動の活性化を目指しプログラムの充実を図ることを目標としていたが、コロナ禍により予定通りにいかなかった。小集団での支援を用い、継続して行える日中活動の目標は達成することができた。創意工夫で利用者ニーズを反映できるメニューも増やし、活動の活性化につながった。  
地域との交流の行事は中止したが、利用者・職員共に楽しめる行事を新生活様式を保ちながら実施することができ、利用者の満足度も高かった。  
面会・外泊等は、能登北部で感染拡大もあり、状況をみながら自粛・制限をお願いしたが、オンライン等を用い家族との連絡等を密に取ることによりご理解をいただいた。従来の買い物等の外出も制限したが、3月より移動販売車を利用することで、園でおやつ等を自分で選択し購入することができるようになった。  
研修等はWeb配信での講義が主になり、移動時間短縮等のメリットもあり、多くの研修に参加できた。

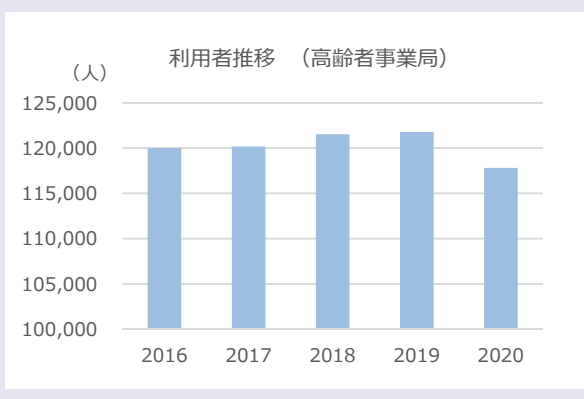
## 高齢者事業局

### ■部門代表者

吉田 茂和

### ■2020年度のトピックス

本年度は、年度当初から新型コロナウイルスの感染拡大に対する不安感が急増し、在宅サービスを中心にキャンセルの連絡が相次いだ。その後、徐々に冷静さを取り戻してきたものの、通所事業・訪問事業などを中心に利用率が低下し、年間を通しての介護事業全体の利用者数減少につながった。



### ■事業報告

- ① エレガントなぎの浦・アンジェリィなぎの浦：特養では「利用者ニーズに応じたサービス提供」として、昨年度一部導入したフリーWi-Fiを全館に導入した。くしくもコロナ禍と重なりオンラインでの面会や会議、個別支援などにもタブレットの活用が進んだ。また人材育成としては、法人内で初めて外国人技能実習生の受け入れを行った。
- ② エレガントたつるはま・もみの木苑：特養では入院が少なく高稼働を維持することができた。利用者の夢をかなえる「夢プロジェクト」を実施。腰痛予防対策にも取り組んだ。通所事業は新型コロナの影響があり苦戦。活動に対するポイント表彰制度「まんぶく大作戦」などを実施した。
- ③ ふれあいの里：独自のサービスメニュー「ふれあいの里モデル」の構築に向けた取り組みが評価され、月刊専門誌に取り上げられた。活動と参加を活性化させるため事業所内通貨フーレの取り組みなども続けているが、新型コロナの影響などを受け、利用者獲得に苦しんだ。
- ④ ローレルハイツ恵寿：常におもてなしの気持ちで対応し、サ高住・ケアハウスともに高い入居率を維持した。冬季に実施したイルミネーションイベントは、コロナ禍の地域の心を癒し、多くのメディアにも取り上げられ喜ばれた。

## 高齢者事業局

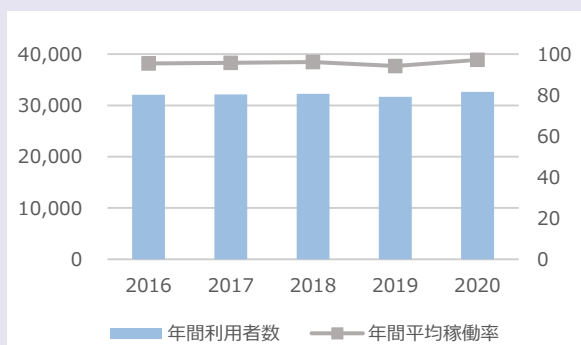
## エレガントなぎの浦・アンジェリィなぎの浦

### ■部門代表者

江沢 恵太

### ■2020年度のトピックス

特養の今年度入院延べ日数が昨年度の約半数（1,470から730）に減少。退所から入所までの空床日数も昨年度の約半数（平均7.8から4.2）で稼働率が前年比103%であった。ケアハウスの年間稼働率目標（1日付）100%を達成。デイサービス、ショートステイは、新型コロナウイルスや大雪の影響で利用控え等があり、稼働率目標を大きく下回った。



### ■事業報告

- ① 「利用者ニーズに応じたサービス提供」として、昨年度一部導入したフリーWi-Fiを全館完備。全事業でタブレットを活用し、個別支援やリモート面会、娯楽等を楽しんでいただく取り組みを行った。食への楽しみでは、看取り期の食事のワンスプーン提供を実施。寿司や有料メニューの提供にて日頃と違うメニューにご利用者も大変喜ばれ、食も進んでいた。Foot活プロジェクトでは、AYUMIEYEを活用することで、Foot活体操や自主訓練をするご利用者もおり、機能維持につながる取り組みとなっている。
- ② 「質の高いサービスの追求」として、タブレットを活用し、体位変換やポジショニング、食事介助方法や姿勢等について写真や動画にてサービスの標準化に取り組んだ。
- ③ 「人財のスキルアップと育成」では、インドネシアより外国人技能実習生の受け入れを行い、介護技術の継承に取り組むことで、指導者のスキルアップにもつながっている。
- ④ 「サービスの革新」については、新型コロナウイルスの影響により、密を避けるため、勉強会や研修会が当初の予定通りに実施できなかった。今後は新しい方法で勉強会や研修等を行い、業務改善に取り組んでいく。
- ⑤ 「稼働実績」については、ベッドコントロールが順調に実施でき、空床期間の短縮につながっている。

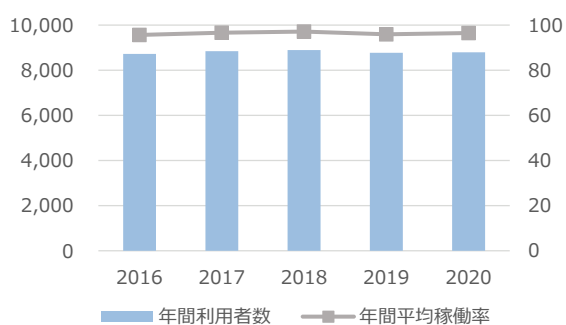
## 高齢者事業局 エレガントつるはま・もみの木苑

### ■部門代表者

畑中 浩樹

### ■2020年度のトピックス

入所事業において、高稼働率を維持することができた。平均稼働率96.5%(前年度比+0.6%)。通所事業において、稼働率の落ち込みも見られたが、新規利用者は前年度と同数近くの29名が利用開始に至った。



### ■事業報告

#### 【エレガントつるはま】

- ① 新型コロナウイルス感染症対策が講じて、風邪等も流行することもなく入所者は健康的に生活することができた。結果、高稼働率を維持することができた。
- ② 利用者の夢をかなえる『夢プロジェクト』を7ケース実施。
- ③ 業務の見える化をはかる『ドキドキレポート』による報告は延べ35件。内容は、解除方法、問題提起、職員間の気づきがあり、委員会、担当者間で検討を実施し、見える化の目的を達成できた。
- ④ 介護チーム（移乗）では移乗用ベルトの新たな活用方法の導入に取り組んだ。介護チーム（排せつ）では、尿取りの当て方の見直しに取り組み、結果尿漏れが減少しご利用者の満足度が向上した。

#### 【デイサービスセンターもみの木苑】

- ① Foot活プロジェクトの参加利用者13名。
- ② 活動（Foot活も含）や参加に応じてポイントを付与する表彰制度『まんぶく大作戦』を開始、50名のご利用者が参加。最多ポイント賞も含めて、16名のご利用者を表彰。
- ③ 施設内活動の充実。密を避けての足湯（温泉の無料宅配サービス）を実施。

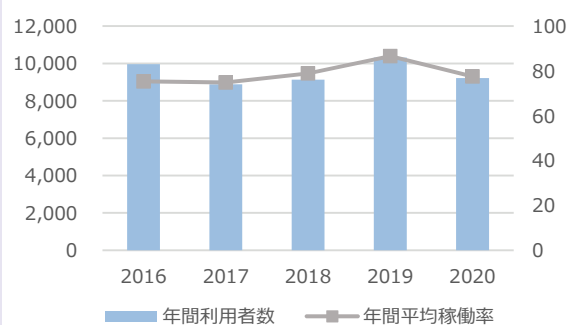
## 高齢者事業局 ふれあいの里

### ■部門代表者

芳原 哲弥

### ■2020年度のトピックス

活動と参加を活性化させるために事業所内通貨フーレを発行し様々な特典を設けることで多くの方々に楽しんでいただけた。カルチャー教室やイベントを毎日開催すると共に、社会参加活動にも積極的に取り組むことで、利用者や家族にも好評を得ることができた



### ■事業報告

#### ① 目標と達成度

通所介護の年間稼働率目標は87%→実績77.5%で達成度は89%であった。

コロナウイルスの蔓延による影響も大きく、年間通して70%台の稼働率に終始した。新規利用者の紹介率は前年度実績と同等の数字を維持できている。

ふれあいの里独自のサービスメニュー「ふれあいの里モデル」の構築に向け全職員一丸で取り組んでおり、その取り組みが評価され通所事業を取り上げる月刊誌に掲載された。

#### ② 訪問入浴は72件/月以上の提供を目標とする→実績67.3件で達成度は93.4%。

新規受け入れは14名で前年度より2名減少したが、延べ利用人数は22件増加した。

新規利用者の半数近くがターミナルケアの対象となる方々で、終末期の在宅生活を支援するべく、全てのケースを受け入れサービスを提供した。

#### ③ 配食サービスは配達エリアを縮小した。延べ利用人数は9,107名であった。



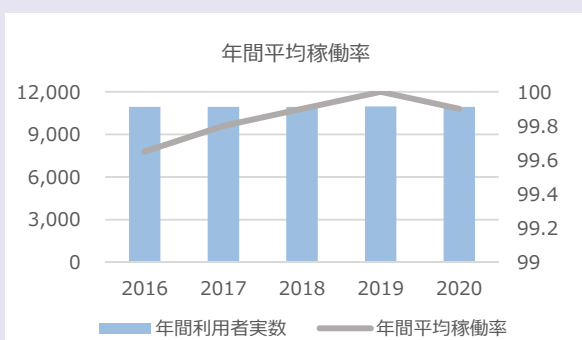
## 高齢者事業局 ローレルハイツ恵寿

### ■部門代表者

内田 かおり

### ■2020年度のトピックス

『さすが恵寿！さすがローレル！』を目指し、誰にでも、どこにでも、どんな場面でも、おもてなしすることを意識した。家族目線になる事で、職員は自然とおもてなしが身についた。特に、イルミネーションイベントでは、職員一丸となり、地域の皆さんや医療従事者、入居者の皆さんに一瞬でも笑顔になって頂きたく最大のおもてなしを行った。



### ■事業報告

- ① 接遇・待遇でのさすポイント  
コロナで家族面会が制限された中で、家族に少しでも寄り添えるよう対応を徹底した。また、イルミネーションイベントではおもてなしの気持ちを持って実施し、大盛況だった。
- ② 安心のさすポイント  
看取り加算の取得にクリニックと連携し、3名取得した他、継続した加算はもれなく取得。コロナの状況に合わせて、家族に代わっての支援活動を行った。4月初旬には、一早くマスクの配布、手洗いの徹底、外出自粛対応を行い、入居者・家族には安心していただけるようにした。
- ③ 安全のさすポイント  
「介護事故0に」の目標を「コロナ感染0に」に変更し、できることは素早く対応し、やれることはもれなく行っている。現時点では職員・入居者の感染は0名である。
- ④ 安定のさすポイント  
体験イベントやキャンペーンは開催できなかったが、大雨・大風・大雪の際、空室を地域の方・職員の一時避難用にご利用した。
- ⑤ 職員のさすポイント  
コロナ禍において職員は、「どうしたらできるだろうか」を考えるようになり、新しい生活スタイルを構築している。

## 第2章 法人方針・事業報告（徳充会）

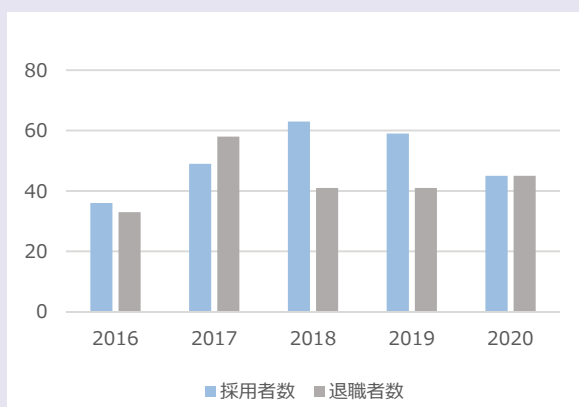
## 事務局

### ■部門代表者

山下 賢

### ■2020年度のトピックス

2020年度における採用者数は45名、また退職者数は45名で差し引き+0名であった。期首の職員総数は464名。



### ■事業報告

- ① 同一労働同一賃金に向けた対応
- ② 給与改定に向けた賃金分析の実施
- ③ 外国人労働者受け入れ（インドネシア人2名）
- ④ 従来の処遇改善交付金に加え、特別処遇改善交付金を介護職員等に手当金を支給。
- ⑤ 青山彩光苑ライフサポートセンター個室化への取り組み
- ⑥ 補助金
  - a) 社会福祉施設等施設整備費補助金（青山彩光苑ライフサポートセンター）
  - b) 介護施設ICT・IoT導入促進事業費補助金
  - c) 自動車事故対策費補助金「在宅生活支援環境整備事業」
  - d) 石川県新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業
    - ・慰労金支給事業
    - ・感染対策支援事業

## 事務局 徳充会 総務部

- 部門代表者  
畑中 浩樹

### ■ 2020年度のトピックス

- ① 給与規定の見直しのため、給与分析を実施。
- ② 徳充会BCMの策定。
- ③ 外国人技能実習生2名の採用。
- ④ 登録ボランティアである74の団体、個人に日ごろの感謝の気持ちを込めて、ワークセンター田鶴浜産のシクラメンを贈呈。
- ⑤ オンラインを活用した求人活動。

### ■ 事業報告

- ① 給与規定の見直しに向けて、2ヶ年計画の1年目として、給与分析を実施。また、働き方改革に向けた正規職員と非正規職員の待遇見直しを実施した。
- ② 外国人技能実習生の採用にあたり、実習事業所であるエレガテナぎの浦への後方支援（入職時オリエンテーションおよび安心した生活を送るための家庭指導、日本語教育）を実施した。

## 事務局 徳充会 経営企画部

- 部門代表者  
松下 清寛

### ■ 2020年度のトピックス

- ① 新たな事業・取組みへの提案  
老朽化施設の基盤整備の提案（青山彩光苑ライフ個室化計画）
- ② 新型コロナウイルス感染症への対策：感染症予防の為の環境整備や衛生用品の備蓄等（補助事業活用）

### ■ 事業報告

- ① 会計・請求業務
- ② 補助金申請
- ③ コスト増への対応（省電化、委託料等見直し）
- ④ 新規事業・取組みの提案
- ⑤ 理事会・評議員会開催（6月、3月）
- ⑥ 法人登記手続き
- ⑦ 指導監査の対応（石川県実地監査及び、書面監査）

## 教育研修委員会

- 部門代表者  
畑中 浩樹

### ■ 2020年度のトピックス

日程	内容
4月1日	新人（上期）職員研修
5-6月	接遇研修（動画配信）
8月7日	フォローアップ研修
10月7、28日	アンガーマネジメント研修（聴講+動画配信）
10月	ハラスメント研修（動画配信）
11月6日	新人（下期）職員研修
11-1月	介護福祉士受験対策講座
1月22日	リスクマネジメント研修（動画配信）

### ■ 事業報告

- ① 2019年度より体系化した役職者研修（2年間の必須科目）が修了
- ② 新人職員研修を年2回（上期、下期）への実施に変更
- ③ 福利厚生委員会と共同で「徳充会確定拠出年金制度運用商品セミナー」の動画配信実施

## 福利厚生委員会

- 委員長  
三山 薫

### ■ 2020年度のトピックス

2020年度は感染予防のためメールにて委員会を2回開催した。新型コロナウイルス感染の影響もあり、例年実施していた旅行、イベントなどは中止となる。委員会での集まりも感染拡大予防の為中止とし、メールでのやり取りを行った。第1回の議題ではコロナ禍でも【福利厚生委員会としてできる事はなにか、また、仮に終息した際の企画】を委員から意見を募った。

### ■ 事業報告

- ① 新型コロナウイルス終息に目処が立たず、全ての活動を見合わせる事となる。
- ② 例年、行事費として運用していた助成金1,500円の支給はなしとし、職員が安心して働けるようにマスクなどの感染対応の物品を購入。
- ③ 課題として、助成金の扱いを早めに決め、旅行など難しい場合は、代替案を早い段階から提案し、新たな方法で活動を実施していく必要がある。

## 事例研究大会

### ■委員長

武田 京介

### ■ 2020年度のトピックス

大会テーマは「一歩前へ！」とし社会全体の情勢を考慮し現状に合わせてサブテーマを「新たな時代に沿った取り組み」とした。発表大会は2021年2月27日(土)に開催を予定設定していたが、新型コロナウイルス発生、感染及び拡大防止等により大会開催は中止とし、紙面発表の形式で実施した。

### ■ 事業報告

- ① 提出事例は36事例としテーマに沿った事例作成を行うことで新型コロナウイルス発生の中、自粛中でも社会全体の情勢を考慮し現状に合わせた支援が行われたことが分かり、各施設で今後の活動や支援の参考になったと思われる。
- ② 紙面発表を行うと質疑応答ができないため、紙面発表の場合での事例発表の方法について課題が残る。



第 3 章

医療部門

診療統計・医療の質

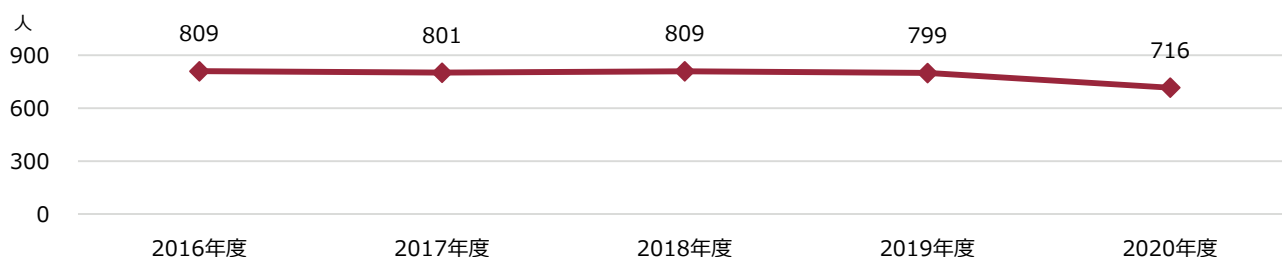
## 外来患者数（恵寿総合病院）

### 外来患者数の推移

※上段：患者延数 下段：1日当たりの平均患者数 単位：人

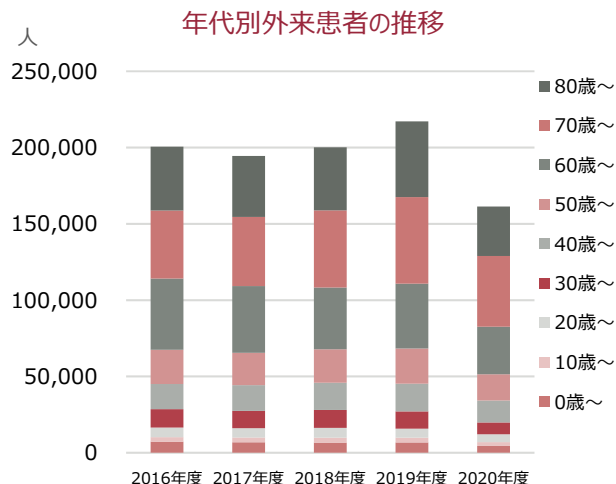
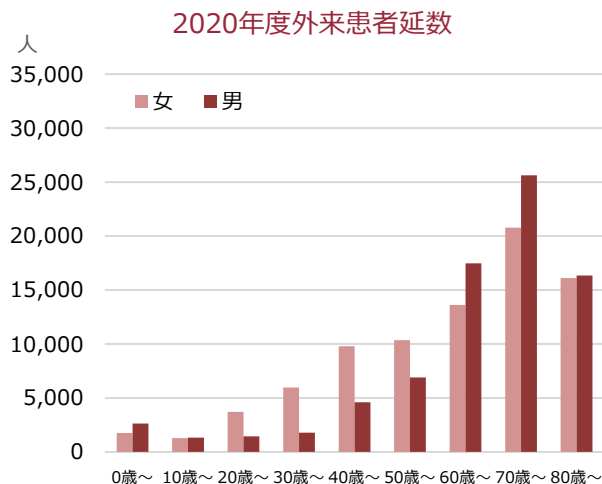
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
形成外科	4,885	4,443	4,392	4,322	4,064
	20	18	18	18	17
脳神経外科	6,145	4,738	4,892	4,467	3,976
	25	19	20	19	16
心血管外科	2,855	2,773	2,850	2,880	2,547
	12	11	12	12	10
消化器外科	8,017	7,584	8,194	8,079	8,443
	33	31	34	34	34
整形外科	13,292	13,763	14,971	15,712	14,175
	55	57	62	66	58
内科	33,219	33,748	35,364	34,630	29,924
	137	139	146	145	123
産婦人科	13,375	13,420	14,221	13,287	10,773
	55	55	59	56	44
耳鼻咽喉科	7,125	7,422	7,124	6,395	5,265
	29	31	29	27	22
眼科	12,792	13,325	12,765	12,634	11,831
	53	55	53	53	49
泌尿器科	9,664	9,707	9,712	8,850	8,765
	40	40	40	37	36
小児科	5,577	6,030	5,951	5,976	4,109
	23	25	24	25	17
麻酔科	2,215	1,887	2,288	2,187	1,942
	9	8	9	9	8
透析科	18,170	18,207	18,672	19,114	18,686
	75	75	77	80	77
脳神経内科	4,770	5,024	5,061	5,059	4,272
	20	21	21	21	17
皮膚科	10,550	8,511	7,420	8,053	8,041
	43	35	31	34	33
循環器内科	8,275	9,645	8,816	7,799	7,303
	34	40	36	33	30
リハビリテーション科	13,790	13,460	12,064	11,222	9,062
	57	55	50	47	37
家庭医療科	10,071	9,585	9,593	8,801	8,821
	41	39	39	37	36
放射線科	440	396	419	383	359
	2	2	2	2	1
胸部呼吸器外科	439	437	1,462	590	771
	2	2	6	2	3
緩和医療科	1,174	971	0	0	0
	5	4	0	0	0
消化器内科	9,039	9,530	10,254	10,590	10,918
	37	39	42	44	45
合計	195,879	194,606	196,485	191,030	174,047
日当たり合計	809	801	809	799	716
稼働日	242	243	243	239	243

### 外来患者数1日あたり平均



### 第3章 医療部門：診療統計・医療の質（恵寿総合病院）

## 年代別（男女別）外来患者数



## 救急外来患者数（恵寿総合病院）

### 救急外来患者数の推移

単位：人

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
形成外科	483	503	439	474	349
脳神経外科	596	645	479	432	392
心血管外科	29	46	41	44	17
消化器外科	110	250	152	162	144
整形外科	918	1,202	920	1,079	834
内科	2,707	3,432	3,376	3,369	1,854
産婦人科	106	196	155	176	115
耳鼻咽喉科	239	302	255	303	188
眼科	33	51	49	49	37
泌尿器科	201	242	181	188	157
小児科	854	1,187	984	971	488
麻酔科	4	2	2	14	1
透析科	0	0	0	0	0
脳神経内科	82	169	154	170	153
皮膚科	291	327	231	317	267
循環器内科	320	451	365	394	327
リハビリテーション科	0	0	1	0	2
家庭医療科	121	99	63	61	60
胸部呼吸器外科	0	1	0	0	3
緩和医療科	25	23	0	0	0
消化器内科	696	889	836	800	691
合計	7,815	10,017	8,683	9,003	6,079

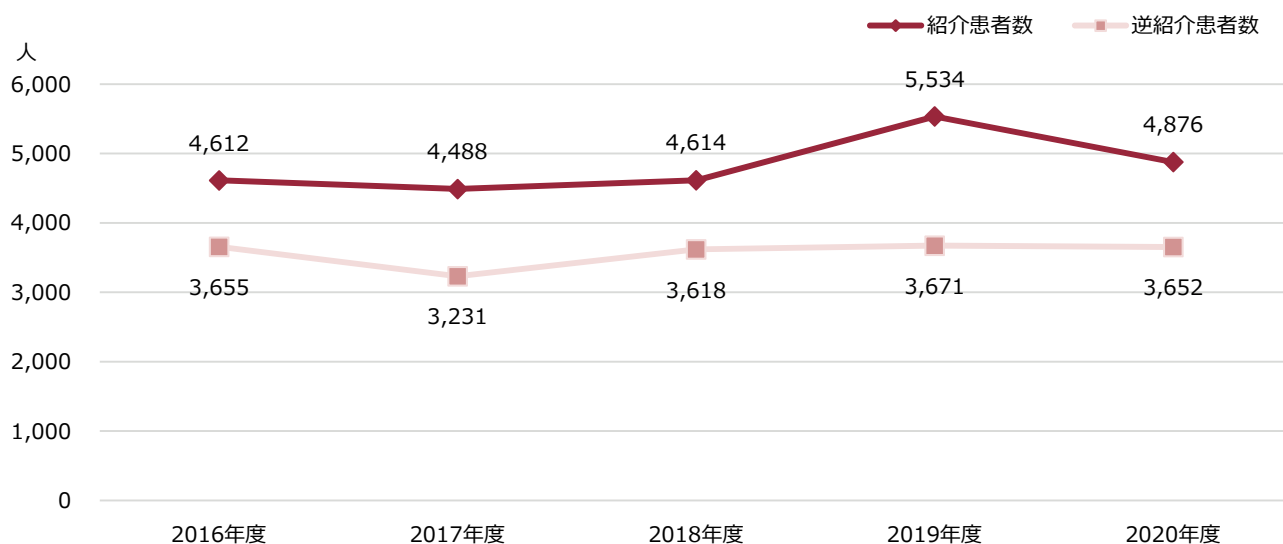
### 救急車受け入れ台数の推移

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
救急搬送件数（件）	1,521	1,569	1,533	1,527	1,359
入院率（％）	59%	60%	58%	59%	64%

## 紹介患者数（恵寿総合病院）

### 紹介患者数・逆紹介患者数の推移

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
紹介率	53.84%	55.77%	56.02%	67.30%	86.40%
逆紹介率	28.23%	25.73%	29.38%	44.64%	64.7%

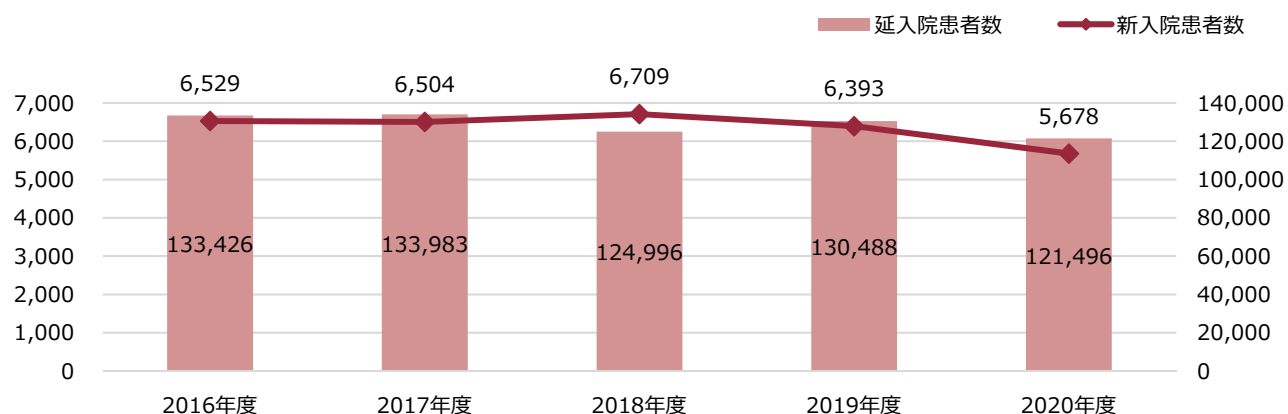


## 入院患者数（恵寿総合病院）

### 新入院患者数・延入院患者数の推移

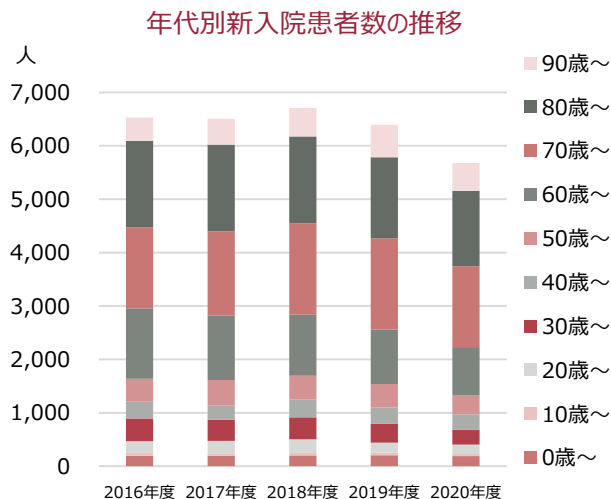
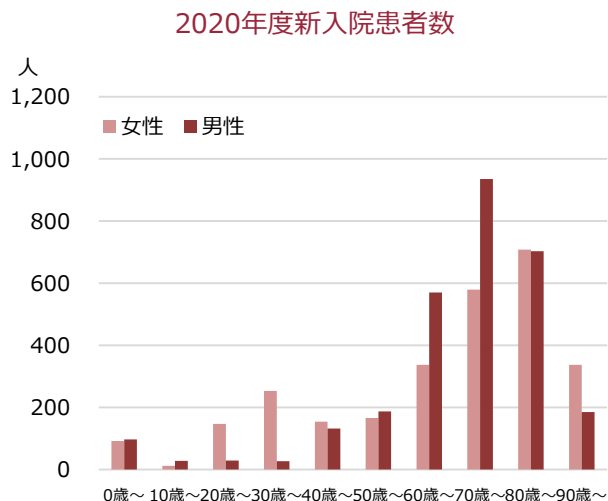
単位：人

	2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
	新入院	延入院	新入院	延入院	新入院	延入院	新入院	延入院	新入院	延入院
形成外科	53	435	60	392	63	619	37	423	1	1
脳神経外科	223	11,166	209	8,886	192	9,470	183	12,679	193	12,692
心臓血管外科	176	2,047	162	2,335	172	2,026	168	2,392	143	1,818
消化器外科	414	6,361	440	6,397	487	7,786	500	8,726	488	8,881
整形外科	550	22,526	503	21,861	576	19,188	575	20,201	556	19,014
内科	1,520	39,091	1,684	44,227	1,634	36,227	1,706	39,467	1,423	33,575
産婦人科	599	6,415	570	5,708	658	5,687	552	4,307	493	4,702
耳鼻咽喉科	128	1,076	109	747	101	829	94	607	69	484
眼科	560	1,335	521	1,266	473	1,194	460	1,128	382	933
泌尿器科	228	1,190	253	1,271	249	1,245	150	904	134	891
小児科	184	1,237	189	1,063	194	1,144	197	1,106	181	933
麻酔科	0	0	0	0	5	52	4	42	2	13
脳神経内科	116	5,492	101	5,983	115	6,120	105	5,516	82	6,056
皮膚科	15	276	28	252	30	388	43	597	62	1,924
循環器内科	617	6,406	544	8,041	592	7,913	495	7,089	453	7,424
リハビリテーション科	55	4,841	51	6,135	64	6,193	67	6,563	64	7,370
家庭医療科	225	9,249	173	6,580	168	6,795	156	6,168	151	5,755
緩和医療科	61	3,586	38	2,604	0	0	0	0	0	0
消化器内科	805	10,697	869	10,235	936	12,120	901	12,573	801	9,030
合計	6,529	133,426	6,504	133,983	6,709	124,996	6,393	130,488	5,678	121,496
月当たり平均/日当たり平均	544 / 366		542 / 367		559 / 342		533 / 357		473 / 333	





## 年代別（男女別）新入院患者数

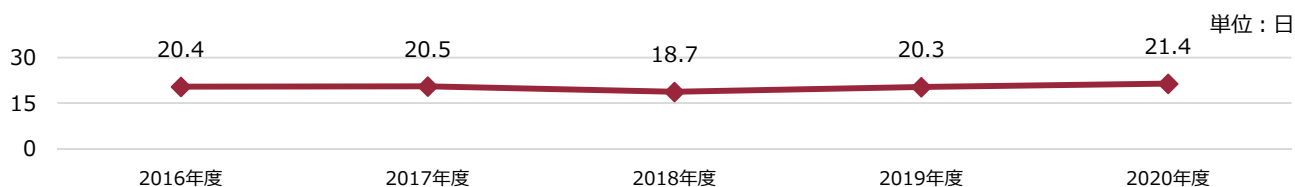


## 平均在院日数・病床稼働率

### 平均在院日数（全病棟）

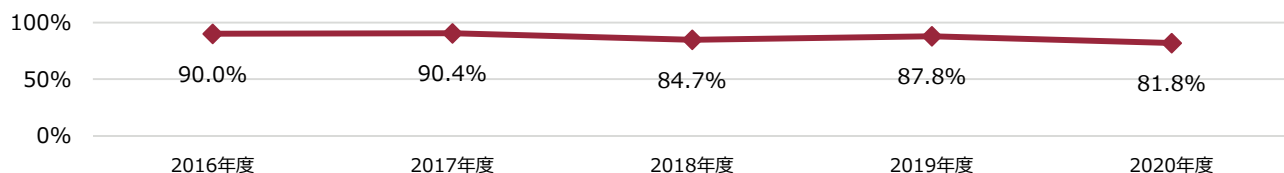
単位：日

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
形成外科	8.2	6.6	9.9	11	1
脳神経外科	51.3	44.1	49.3	70.1	69.4
心臓血管外科	11.6	14	11.9	14.3	12.8
消化器外科	15.4	14.2	15.9	17.2	17.7
整形外科	42.3	42.6	34.3	34.7	34.1
内科	26.3	26.8	22.5	23.5	24.3
産婦人科	10.7	9.9	8.6	7.8	9.5
耳鼻咽喉科	8.4	6.9	8.2	6.5	6.9
眼科	2.4	2.4	2.5	2.5	2.5
泌尿器科	5.1	5	5	5.9	6.5
小児科	6.7	5.6	5.9	5.6	5.2
麻酔科	-	-	10.4	10.5	8.7
脳神経内科	46.3	56.7	53	49.9	70.8
皮膚科	16.7	9.5	12.7	14.4	32.1
循環器内科	10.4	14.8	13.5	14.3	16.3
リハビリテーション科	82.1	110.5	90.4	94.4	103.8
家庭医療科	37	36.8	37.4	37.3	36.7
緩和医療科	47.2	45.7	-	-	-
消化器内科	13.2	11.7	12.9	13.6	11.1
月当たり平均	20.4	20.5	18.7	20.3	21.4



### 病床稼働率（全病棟）

単位：日



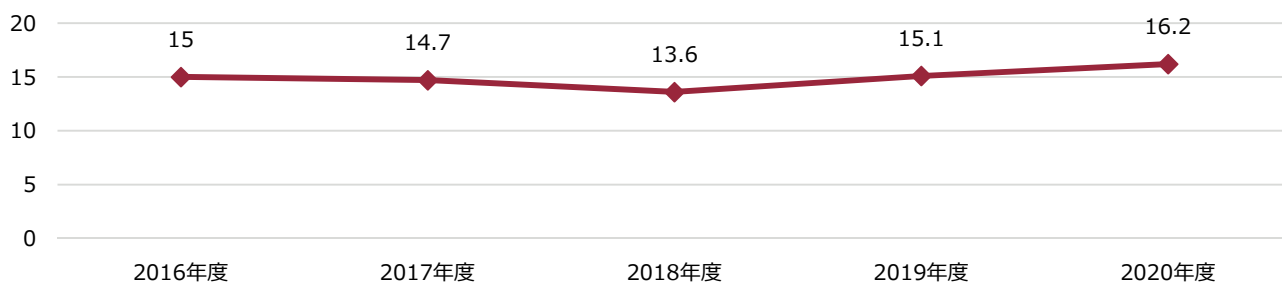
## 第3章 医療部門：診療統計・医療の質（恵寿総合病院）

## 病床機能別在院日数

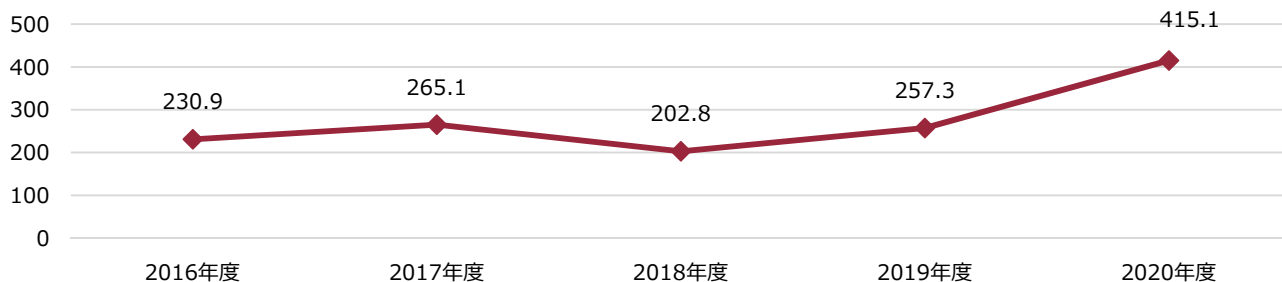
単位：日

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
一般（7：1）	15.0	14.7	13.6	15.1	16.2
障害者	230.9	265.1	202.8	257.3	415.1
地域包括ケア	36.0	41.3	33.6	31.3	25.4
回復期リハビリテーション	99.5	104.6	101.8	105.0	99.6

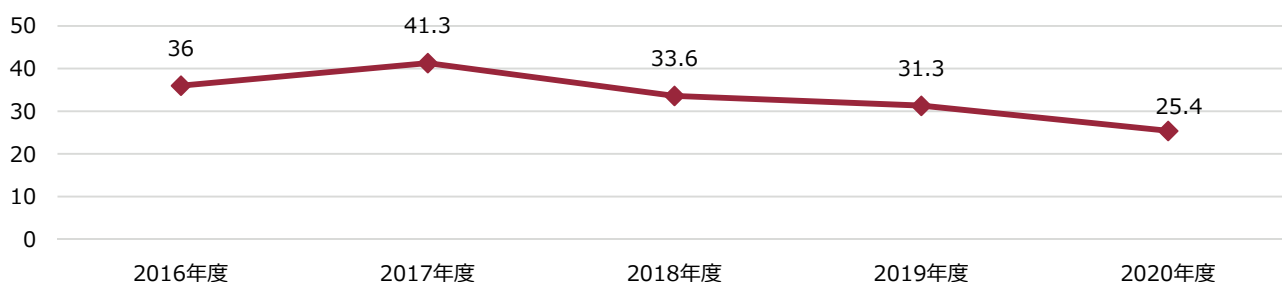
### ■ 平均在院日数（一般）



### ■ 平均在院日数（障害者）



### ■ 平均在院日数（地域包括ケア）



### ■ 平均在院日数（回復期リハビリテーション）



## 手術件数（恵寿総合病院）

### 手術件数・麻酔件数の推移

#### ■手術件数

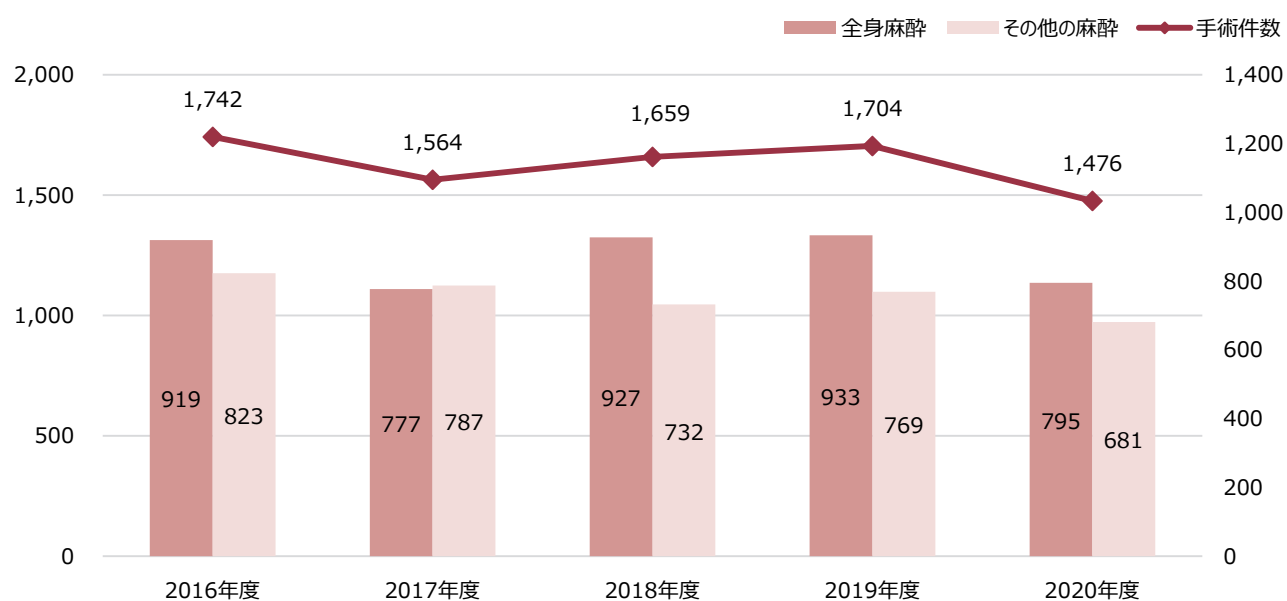
※手術室での件数 単位：件

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
消化器外科	275	274	279	317	325
整形外科	283	235	330	406	319
形成外科	72	77	54	52	35
眼科	573	531	478	476	387
胸部呼吸器外科	0	0	0	0	0
産婦人科	145	127	180	146	146
耳鼻咽喉科	41	26	41	34	31
脳神経外科	33	18	13	19	10
泌尿器科	164	137	126	92	81
心臓血管外科	156	138	157	161	142
麻酔科	0	0	0	0	0
その他	0	1	1	1	0
合計	1,742	1,564	1,659	1,704	1,476

#### ■麻酔件数

単位：件

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
全身麻酔	919	777	927	933	795
その他麻酔	823	787	732	769	681

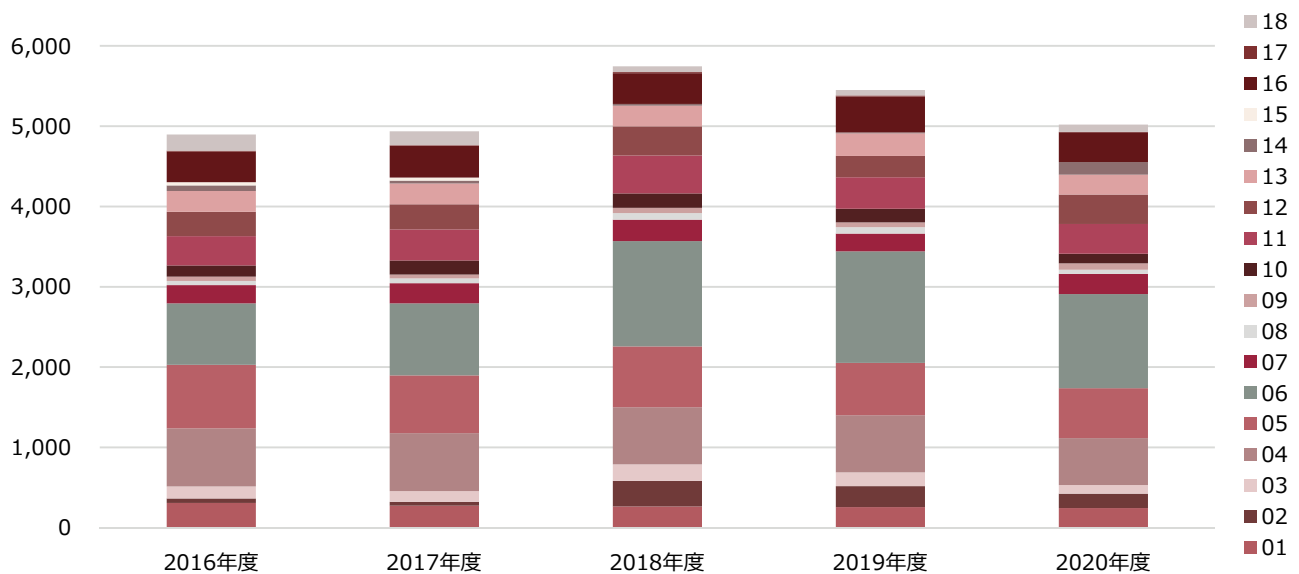


## MDC別（恵寿総合病院）

### MDC別件数

単位：件

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
01 神経系疾患	308	275	266	257	245
02 眼科系疾患	57	48	317	261	179
03 耳鼻咽喉科系疾患	149	133	206	171	108
04 呼吸器系疾患	724	721	711	712	584
05 循環器系疾患	790	720	757	651	622
06 消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患	766	897	1,313	1,389	1,172
07 筋骨格系疾患	228	252	266	222	251
08 皮膚・皮下組織の疾患	51	59	81	79	52
09 乳房の疾患	54	47	67	60	80
10 内分泌・栄養・代謝に関する疾患	140	177	179	170	118
11 腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患	364	385	473	392	371
12 女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩	303	313	362	266	367
13 血液・造血器・免疫臓器の疾患	259	260	257	281	247
14 新生児疾患、先天性奇形	70	36	22	12	158
15 小児疾患	39	38	1	0	0
16 外傷・熱傷・中毒	384	394	381	446	370
17 精神疾患	10	8	14	14	6
18 その他	201	174	72	67	91
合計	4,897	4,937	5,745	5,450	5,021



## 疾病分類別患者数（恵寿総合病院）

単位：人

コード	大分類（基本体系）項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
I	感染症および寄生虫	183	136	132	171	131
II	新生物	1,164	1,206	1,162	1,165	1,098
III	血液、造血器の疾患並びに免疫	36	32	27	36	43
IV	内分泌・栄養および代謝疾患	125	128	154	128	101
V	精神および行動の障害	19	29	21	23	13
VI	神経系の疾患	131	148	172	140	121
VII	眼および付属器の疾患	558	520	482	469	383
VIII	耳および乳様突起の疾患	75	92	83	73	52
IX	循環器系の疾患	971	884	921	865	880
X	呼吸器系の疾患	574	551	594	571	419
XI	消化器系の疾患	819	928	914	778	789
XII	皮膚および皮膚組織の疾患	40	46	58	43	52
XIII	筋骨格系及び結合組織の疾患	168	187	183	150	191
XIV	尿路性器系の疾患	432	440	445	431	346
XV	妊娠、分娩および産褥	435	439	458	363	364
XVI	周産期に発生した病態	181	174	177	172	161
XVII	先天奇形・変形および染色体異常	9	12	10	8	7
XVIII	症状・症候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	22	9	11	14	0
XIX	損傷・中毒およびその他の外因の影響	551	579	531	529	527
XXI	健康状態に影響を及ぼす要因および保健サービスの利用	358	361	391	313	250
XXII	特殊目的用コード	0	0	0	0	4
	合計	6,851	6,901	6,926	6,442	5,932

## 年代別死亡退院患者数（恵寿総合病院）

2020年度

単位：人

国際分類	性別 年齢階層（歳）	男性							女性							計		
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代		80代以上	計
I	感染症および寄生虫					1		3	4					1			2	3
II	新生物			1	1	9	18	18	47				3	23	35	37	98	
III	血液、造血器の疾患並びに免疫								0				1	1	1		3	
IV	内分泌・栄養および代謝疾患								0						1		1	
V	精神及び行動の障害								0								0	
VI	神経系の疾患						1		1						1	1	2	
IX	循環器系の疾患						1	28	29				3	6	13		22	
X	呼吸器系の疾患						3	16	19				3	8	27		38	
XI	消化器系の疾患				1	3		5	9			1	1	4	5		11	
XII	皮膚及び皮膚組織の疾患								0								0	
XIII	筋骨格系及び結合組織の疾患					1			1						2	1	3	
XIV	尿路性器系の疾患							9	9						1	8	9	
XVI	周産期に発生した病態								0								0	
XVII	先天奇形・変形及び染色体異常								0								0	
XVIII	症状・症候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの							21	21				1	2	8		11	
XIX	損傷・中毒およびその他の外因の影響							1	1						2	1	3	
XX	傷病および死亡の外因								0									
	合計			1	2	14	23	101	141				4	33	62	105	204	

### 第3章 医療部門：診療統計・医療の質（恵寿総合病院）

## 疾病分類（中分類）別上位疾病（恵寿総合病院）

### 2020年度

コード	病名	患者数（人）	構成比（%）
H25	老人性白内障	344	5.8%
I50	心不全	188	3.2%
C34	気管支および肺の悪性新生物	183	3.1%
I63	脳梗塞	169	2.8%
K63	腸のその他の疾患	157	2.6%
J69	固形物および液状物による肺臓炎	138	2.3%
K80	胆石症	135	2.3%
C18	結腸の悪性新生物	119	2.0%
S32	腰椎及び骨盤の骨折	111	1.9%
I20	狭心症	101	1.7%
	その他	4,287	72.3%
合計		5,932	100.0%

### 2019年度

コード	病名	患者数（人）	構成比（%）
H25	老人性白内障	420	6.5%
K63	腸のその他の疾患	180	2.8%
I50	心不全	179	2.8%
C34	気管支および肺の悪性新生物	175	2.7%
J69	固形物および液状物による肺臓炎	170	2.6%
J63	脳梗塞	159	2.5%
J18	肺炎、病原体不詳	152	2.4%
C16	胃の悪性新生物	136	2.1%
Z12	新生物（腫瘍）の特殊スクリーニング検査	136	2.1%
C18	結腸の悪性新生物	110	1.7%
	その他	4,635	71.8%
合計		6,452	100.0%

### 2018年度

コード	病名	患者数（人）	構成比（%）
H25	老人性白内障	425	6.1%
K63	腸のその他の疾患	247	3.6%
I50	心不全	190	2.7%
J69	固形物および液状物による肺臓炎	172	2.5%
I63	脳梗塞	167	2.4%
C16	胃の悪性新生物	152	2.2%
C34	気管支および肺の悪性新生物	144	2.1%
J18	肺炎、病原体不詳	141	2.0%
Z13	その他の疾患および障害の特殊スクリーニング検査	138	2.0%
I20	狭心症	111	1.6%
	その他	5,039	72.8%
合計		6,926	100.0%

### 2017年度

コード	病名	患者数（人）	構成比（%）
H25	老人性白内障	479	6.1%
K63	腸のその他の疾患	251	3.6%
C34	気管支および肺の悪性新生物	220	3.2%
I50	心不全	182	2.6%
I63	脳梗塞	163	2.4%
J69	固形物および液状物による肺臓炎	147	2.1%
Z13	その他の疾患および障害の特殊スクリーニング検査	144	2.1%
C16	胃の悪性新生物	142	2.1%
J18	肺炎、病原体不詳	138	2.0%
K80	胆石症	118	1.7%
	その他	4,917	71.3%
合計		6,901	100.0%

### 2016年度

コード	病名	患者数（人）	構成比（%）
H25	老人性白内障	503	7.3%
K63	腸のその他の疾患	243	3.5%
C34	気管支および肺の悪性新生物	203	3.0%
I63	脳梗塞	180	2.6%
Z13	その他の疾患および障害の特殊スクリーニング検査	172	2.5%
J69	固形物および液状物による肺臓炎	166	2.4%
I50	心不全	159	2.3%
I20	狭心症	154	2.2%
C16	胃の悪性新生物	140	2.0%
O70	分娩における会陰裂傷<laceration>	108	1.6%
	その他	4,823	70.4%
合計		6,851	100.0%

# 悪性新生物の国際疾病別 退院数及び内死亡数 (恵寿総合病院)

単位：人

コード	中分類項目	2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
		退院	死亡	退院	死亡	退院	死亡	退院	死亡	退院	死亡
C02	その他及び部位不明の舌	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
C03	歯肉の悪性新生物	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
C05	口蓋の悪性新生物	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-
C06	その他及び部位不明の口腔	1	-	-	-	-	1	-	-	1	1
C11	鼻<上>咽頭	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C13	下咽頭の悪性新生物	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C15	食道	10	3	19	5	26	5	33	3	7	-
C16	胃	140	21	142	17	152	13	136	13	99	19
C17	小腸	6	1	4	1	9	1	7	1	7	-
C18	結腸	85	13	115	11	73	7	110	12	119	15
C19	直腸S状結腸移行部	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-
C20	直腸	38	8	26	5	41	6	62	3	63	9
C21	肛門および肛門管の悪性新生物	-	-	-	-	2	-	-	-	1	1
C22	肝および肝内胆管	39	5	41	4	40	4	35	4	37	4
C23	胆のう<嚢>	4	1	7	4	10	2	7	3	5	2
C24	その他及び部位不明の胆道	10	3	23	3	29	4	23	6	39	6
C25	膵	58	18	48	12	40	10	49	16	40	15
C31	副鼻腔	2	-	2	-	-	-	1	-	-	-
C32	喉頭	4	1	1	1	2	-	-	-	-	-
C34	気管支および肺	203	34	220	39	144	30	175	25	183	34
C38	心臓、縦隔及び胸膜	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
C41	骨及び関節軟骨	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
C43	皮膚の悪性黒色腫	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
C44	皮膚	1	-	2	-	4	-	6	-	2	-
C45	中皮腫	5	1	-	-	1	-	2	-	2	1
C48	後腹膜および腹膜	-	-	3	1	-	-	-	-	1	-
C49	その他の結合組織及び軟部組織	3	-	5	1	7	-	2	1	-	-
C50	乳房	67	1	59	4	71	3	65	5	78	4
C51	外陰	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
C52	陰	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-
C53	子宮頸(部)	8	-	7	4	7	-	2	-	1	-
C54	子宮体部	14	2	6	-	7	-	2	-	14	1
C55	子宮の悪性新生物、部位不明	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-
C56	卵巣	3	2	12	5	5	2	9	3	4	2
C60	陰茎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C61	前立腺	42	3	63	4	47	-	35	1	28	-
C62	精巣<睪丸>	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-
C64	腎盂を除く腎	3	-	3	2	4	1	1	-	4	2
C65	腎盂	4	1	2	1	1	-	3	-	1	1
C66	尿管	7	4	7	-	3	1	1	2	1	-
C67	膀胱	52	2	62	2	67	1	45	4	36	3
C68	その他及び部位不明の泌尿器	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
C71	脳	1	-	2	-	1	1	2	1	-	-
C73	甲状腺	2	-	5	1	-	-	-	-	3	-
C75	その他の内分泌腺および関連組織の悪性新生物	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
C77	リンパ節の続発性及び部位不明	3	-	-	-	1	-	1	-	1	-
C78	呼吸器及び消化器の続発性	5	-	10	1	18	2	4	-	7	1
C79	その他の部位の続発性	16	1	5	1	9	-	7	-	20	-
C80	原発不明	2	1	3	-	4	2	1	1	4	-
C81	ホジキン病	11	-	10	-	1	1	6	-	3	-
C82	濾胞性[結節性]非ホジキンリンパ腫	15	-	29	-	10	-	21	-	6	-
C83	びまん性非ホジキンリンパ腫	107	-	112	-	74	4	60	3	78	-
C84	末梢性及び皮膚T細胞リンパ腫	5	-	6	-	11	1	15	2	23	1
C85	非ホジキンリンパ腫のその他	15	9	6	6	7	3	8	3	12	5
C86	T/NK細胞リンパ腫のその他	-	-	-	-	12	1	11	-	4	-
C88	悪性免疫増殖性疾患	-	-	-	-	1	-	3	-	2	-
C90	多発性骨髄腫	16	2	29	3	26	6	35	8	23	3
C91	リンパ性白血病	3	1	3	-	6	-	3	1	4	-
C92	骨髄性白血病	35	7	15	1	28	3	30	4	19	5
C93	単球性白血病	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-
C94	その他の細胞型の明示された白血病	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
C95	細胞型不明の白血病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
C96	リンパ組織、造血組織及び関連組織	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-
D04	上皮内：皮膚	2	-	4	-	2	-	-	-	-	-
D06	上皮内：子宮頸(部)	1	-	1	-	2	-	1	-	-	-
	合計	1,052	146	1,127	142	1,010	115	1,021	127	989	136

※5年間件数なしの項目は省略

## 第3章 医療部門：診療統計・医療の質 (恵寿総合病院)

## 48時間以内死亡患者数（恵寿総合病院）

単位：人

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
退院患者数	6,537	6,572	6,660	6,723	5,671
死亡患者数	359	370	337	368	363
入院後48時間以内死亡患者数	54	45	40	31	29

## 2020年度死亡要因上位件数（中分類）（恵寿総合病院）

### 全体

コード	病名	死亡患者数 (人)	構成比 (%)
C34	気管支および肺の悪性新生物	34	9.4%
R54	老衰	33	9.1%
J69	固形物および液状物による肺臓炎	28	7.7%
J18	肺炎、病原体不詳	20	5.5%
C16	胃の悪性新生物	19	5.2%
C18	結腸の悪性新生物	15	4.1%
C25	膵の悪性新生物	15	4.1%
I50	心不全	13	3.6%
C20	直腸の悪性新生物	9	2.5%
I63	脳梗塞	8	2.2%
	その他	169	46.6%
	合計	363	100.0%

### 男性

コード	病名	患者数 (人)	構成比 (%)
C34	気管支および肺の悪性新生物	24	11.2%
J69	固形物および液状物による肺臓炎	21	9.8%
C16	胃の悪性新生物	15	7.0%
J18	肺炎、病原体不詳	13	6.1%
R54	老衰	11	5.1%
C18	結腸の悪性新生物	8	3.7%
C25	膵の悪性新生物	8	3.7%
C20	直腸の悪性新生物	7	3.3%
I71	大動脈瘤及び解離	5	2.3%
D46	骨髄異形成症候群	5	2.3%
	その他	97	45.3%
	合計	214	100.0%

### 女性

コード	病名	患者数 (人)	構成比 (%)
R54	老衰	22	14.8%
C34	気管支および肺の悪性新生物	10	6.7%
I50	心不全	9	6.0%
J69	固形物および液状物による肺臓炎	7	4.7%
J18	肺炎、病原体不詳	7	4.7%
C18	結腸の悪性新生物	7	4.7%
C25	膵の悪性新生物	7	4.7%
I63	脳梗塞	5	3.4%
C50	乳房の悪性新生物	5	3.4%
C16	胃の悪性新生物	4	2.7%
	その他	66	44.3%
	合計	149	100.0%



# 医療Quality Indicator (恵寿総合病院)

区分	項目	2018年度		2019年度		2020年度		計算式
		件数	母数	件数	母数	件数	母数	
		率		率		率		
基本情報	新入院患者数	6,709		6,393		5,678		
	述べ入院患者数	124,996		130,488		121,496		
	退院患者数	6,660		6,442		5,671		
	①死亡退院患者率	6,660	5.0%	342	5.3%	345	6.1%	死亡退院患者数/月間退院患者
	②退院後2週間以内の入院サマリ完成率	6,636	95.8%	6,181	91.9%	5,654	95.3%	退院後2週間以内の入院サマリ完成件数/退院患者件数(転科含む)
	③パス適用率	3,241	48.3%	2,798	43.8%	2,556	45.0%	電子パス適用件数/新入院患者数
	④入院24時間以内の死亡	27	0.4%	23	0.4%	18	0.3%	24時間以内の死亡数/新入院患者数
	⑤紹介率	6,897	56.0%	5,534	67.3%	4,876	86.4%	紹介患者数+救急患者数+二次健診数/初診患者数
	⑥逆紹介率	3,617	29.4%	3,671	44.6%	3,652	64.7%	逆紹介患者数/初診患者数
	⑦職員の健診受診率(全職員)	697	100.0%	704	100.0%	732	100%	全職員健診受診件数/全職員数(休職者を除く)
(1) 病院全体	(医師)	66	100.0%	68	100.0%	71	100.0%	医師健診受診件数/常勤医師数
	⑧苦情件数率(全体)	115	49.6%	85	38.8%	63	47.0%	苦情件数/相談件数(アドボカシー相談件数) ※内容によっては複数職種の場合
	アドボカシー室							
	(診療部)	21	41.2%	16	35.6%	7	29.2%	
	(看護部)	39	54.9%	27	38.6%	25	48.1%	
	(事務部)	7	63.6%	9	50.0%	7	70.0%	
	(医療技術部)	7	63.6%	1	14.3%	1	16.7%	
	(その他)	41	46.6%	32	40.5%	23	54.8%	
	⑨医師返書3日以内作成達成率			3,562	85.3%	2,957	86.2%	返書が必要とされる紹介状件数/紹介日を1日として3日以内に返書が作成された数
	⑩救急車受け入れ不能件数(月平均)率	7(0.6)	0.5%	8(0.7)	0.5%	3(0.25)	0.2%	救急車受け入れ不能件数(月平均)/救急車受け入れ要請件数
(2) 医療安全	⑪入院患者のリハビリ実施率	75,970	60.8%	82,991	63.6%	81,823	67.3%	リハビリ実施延べ人数/延べ入院患者数
	①転倒転落件数、転倒転落率	411(6)	0.33%(0.004%)	469(11)	0.36%(0.008%)	414(12)	0.34%(0.01%)	延べ転倒転落数(リスクレベル3b以上)/延べ入院患者
	②アクシデントレポート提出件数、提出率	923	0.74%	1,183	0.91%	1,075	0.88%	アクシデントレポート提出件数/延べ入院患者数
	③24時間以内の再手術率	2	0.12%	2	0.12%	1	0.07%	24時間以内の再手術患者数/手術実施患者数
	④手術後24時間以内の死亡率	2	0.12%	0	0%	5	0.34%	手術24時間以内の死亡患者数/手術実施患者数
	⑤褥瘡推定発生率	28	0.7%	33	0.8%	32	0.8%	褥瘡保有者数-新規自宅発生件数/患者数(月末)
	⑥血液・体液曝露(針刺し)件数		13		16		32	
	①中心ライン関連血流感染(CLABSI)発生率	1	0.2	6	1.2	6	1.1	(中心静脈カテーテル関連血流感染患者数/カテーテル延べ使用日数)×1000
	②血液培養2セット率	2,162	94.0%	2,004	93.0%	1,842	92.5%	2セット数/入院・外来患者を含む全血液培養提出数
	(3) 感染対策	③モニタリング抗菌薬投与前検体提出率					587	91.1%
④血液培養陽性率		247	10.7%	231	10.7%	276	13.7%	血液培養陽性数/入院・外来患者を含む全血液培養提出数
⑤擦式アルコール手指消毒剤使用量		855.9ℓ	6.8ml	1,200.8ℓ	9.2ml	1,505.8ℓ	12.4ml	擦式アルコール手指消毒剤使用量/延べ入院患者数
⑥特定抗菌薬届出率		287	99.0%	376	100.0%	411	100.0%	特定抗菌薬届出数/特定抗菌薬処方患者数
(4) 安全衛生	①落下針件数		15		3		4	

## 第3章 医療部門：診療統計・医療の質 (恵寿総合病院)

## 外来患者数（恵寿金沢病院）

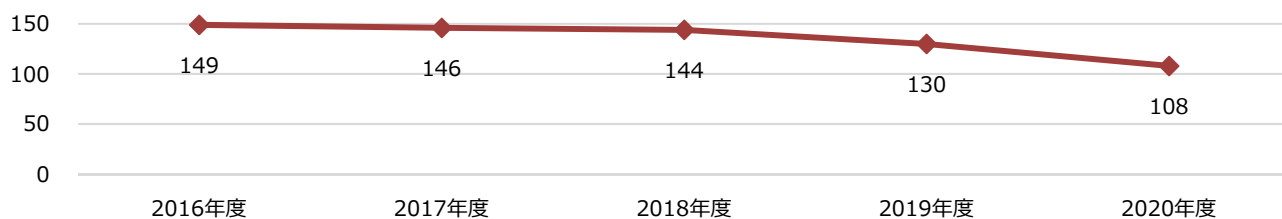
### 外来患者数の推移

※上段：患者延数 下段：1日当たりの平均患者数 単位：人

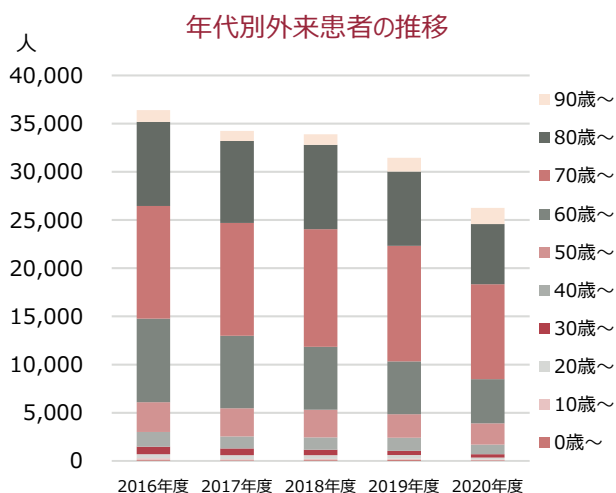
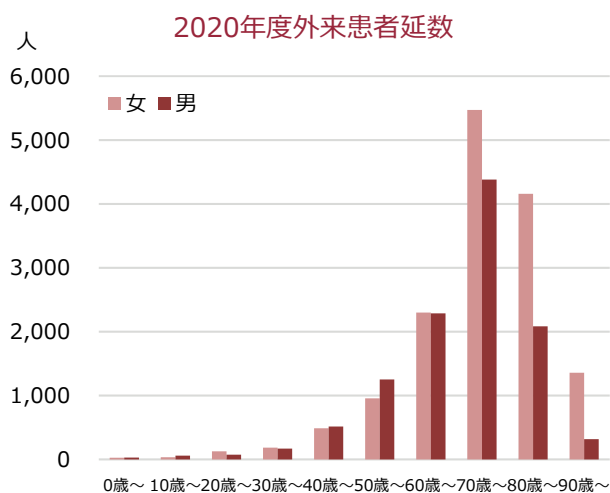
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
内科	12,662 52	12,584 52	12,430 51	11,925 49	11,256 46
外科	2,334 10	1,019 4	1,209 5	1,036 4	2,490 10
整形外科	17,694 73	17,767 73	17,385 72	14,703 61	9,273 38
眼科	3,152 13	3,167 13	3,468 14	3,428 14	2,977 12
耳鼻咽喉科	405 4	456 5	395 2	352 2	239 2
合計	36,247	34,993	34,887	31,444	26,235
日当たり合計	149	146	144	130	108
稼働日	244	243	242	242	243

2018年4月より、耳鼻咽喉科外来診療体制は週1日（火曜日午後のみ）に変更した。

### 外来患者数1日あたり平均



### 年代別（男女別）外来患者数

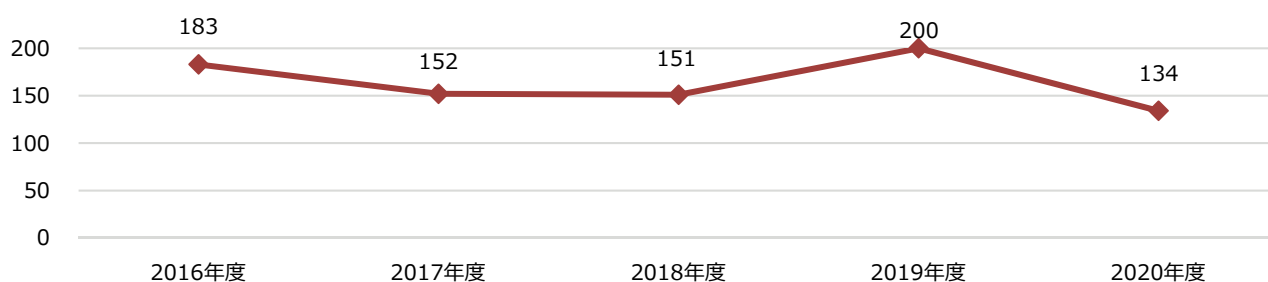


## 救急外来患者数（恵寿金沢病院）

### 救急外来患者数の推移

単位：人

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
内科	110	82	83	96	78
外科	24	12	6	18	7
整形外科	45	58	53	84	48
眼科	4	0	9	2	1
総計	183	152	151	200	134



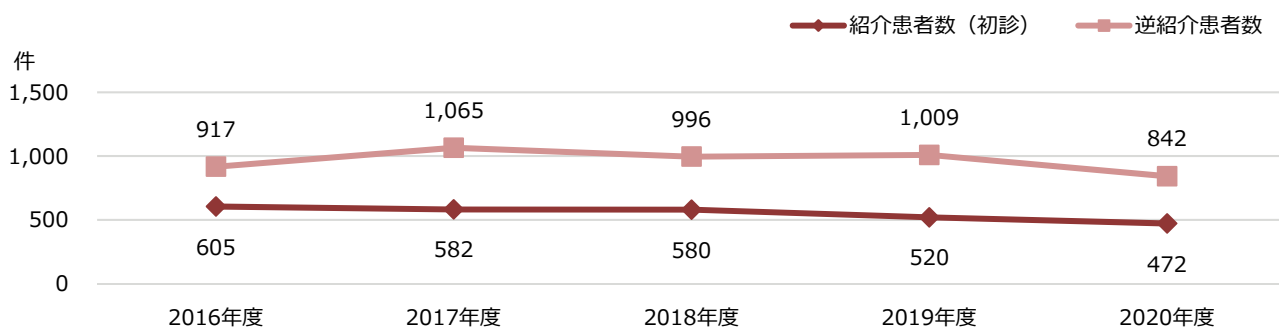
### 救急車受け入れ台数の推移

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
救急搬送件（件）	118	102	100	89	70
入院率（%）	61.0%	58.8%	61.0%	63.0%	53.6%

## 紹介患者数（恵寿金沢病院）

### 紹介患者数・逆紹介患者数の推移

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
紹介率	32.2%	32.9%	32.7%	33.2%	38.8%
逆紹介率	40.8%	50.9%	47.8%	55%	60.4%

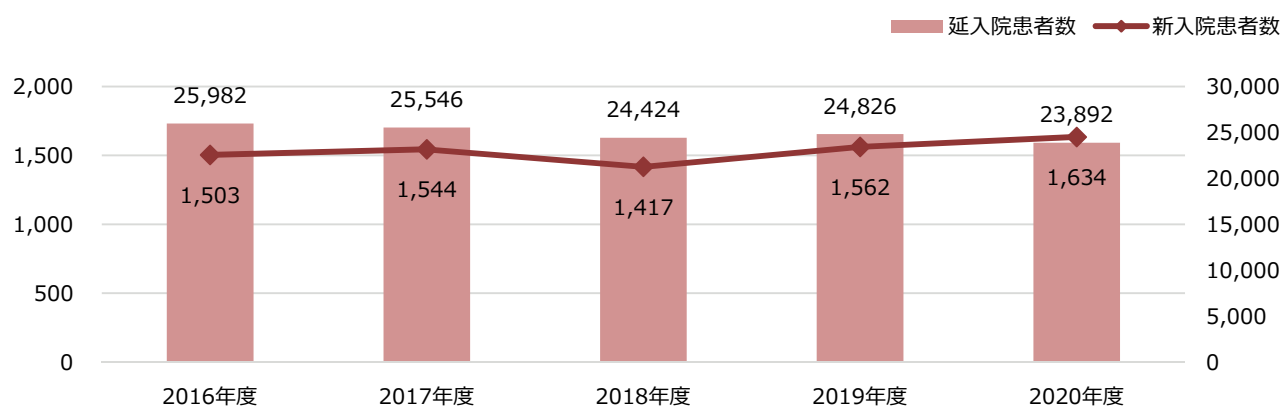


## 入院患者数（恵寿金沢病院）

### 新入院患者数・延入院患者数の推移

単位：人

	2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
	新入院	延入院	新入院	延入院	新入院	延入院	新入院	延入院	新入院	延入院
内科	1,005	20,090	1,108	19,574	1,019	18,926	1,231	19,965	1,299	20,103
外科	97	1,047	-	-	-	-	-	-	125	959
整形外科	276	4,561	313	5,706	267	5,222	207	4,619	105	2,562
眼科	125	284	123	266	131	276	125	262	105	268
合計	1,503	25,982	1,544	25,546	1,417	24,424	1,563	24,846	1,634	23,892
月当たり平均／日当たり平均	125 / 71		129 / 70		118 / 67		130 / 67		136 / 66	

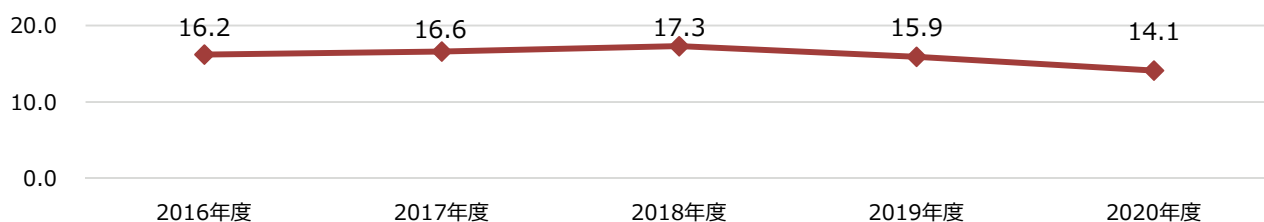


### 平均在院日数・病床稼働率

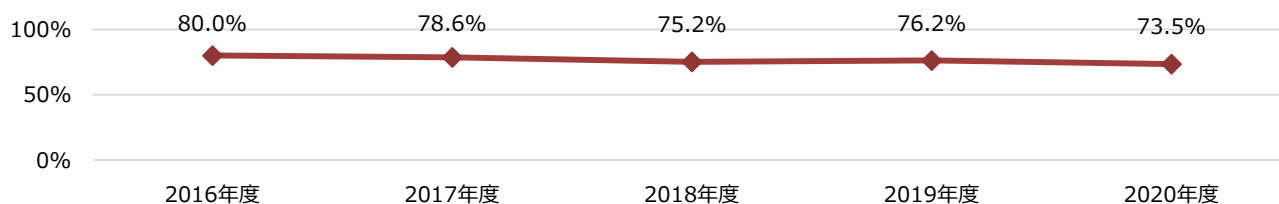
#### ■ 平均在院日数（全病棟）

単位：日

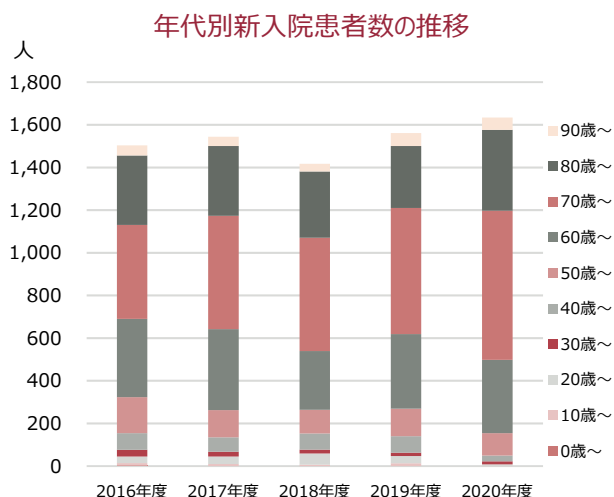
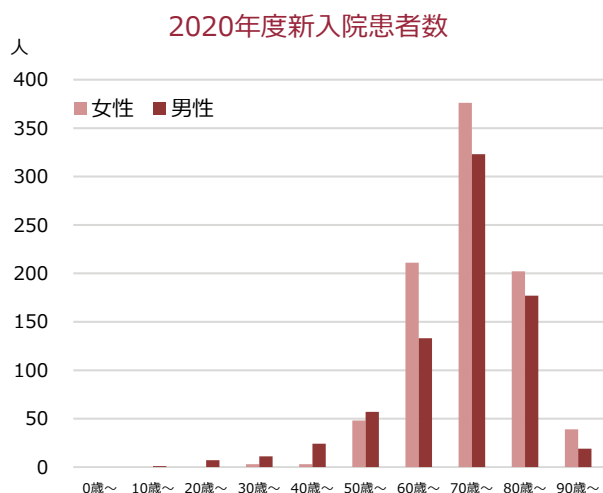
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
内科	19.0	17.6	18.7	16.1	14.9
外科	9.6	-	-	-	6.4
整形外科	15.2	18.6	19.3	22.6	22.2
眼科	1.2	2.2	2.1	2.0	1.5
月当たり平均	16.2	16.6	17.3	15.9	14.1



#### ■ 病床稼働率（全病棟）



## 年代別（男女別）新入院患者数



## 手術件数（恵寿金沢病院）

### 手術件数・麻酔件数の推移

#### ■手術件数

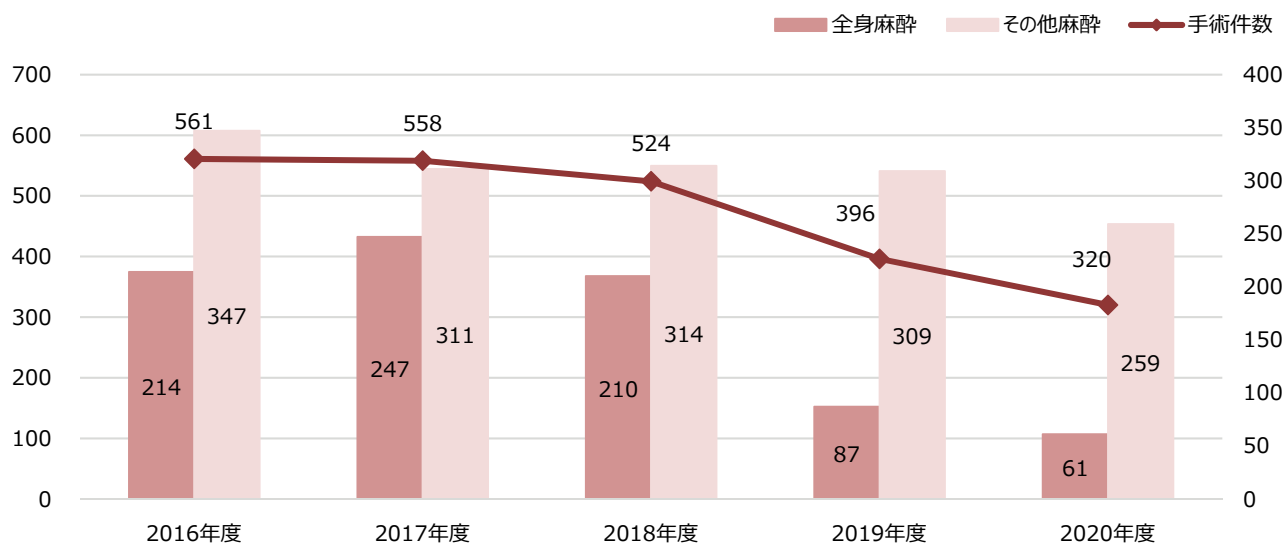
※手術室での件数 単位：件

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
外科	101	35	42	38	69
整形外科	312	354	312	156	73
眼科	148	169	170	202	178
合計	561	558	524	396	320

#### ■麻酔件数

単位：件

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
全身麻酔	214	247	210	87	61
その他麻酔	347	311	314	309	259



## 第3章 医療部門：診療統計・医療の質（恵寿金沢病院）

## 疾病分類別患者数（恵寿金沢病院）

単位：人

コード	大分類（基本体系）項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
I	感染症および寄生虫	35	17	19	14	33
II	新生物	891	984	888	1,063	1,180
III	血液、造血器の疾患並びに免疫	16	17	18	41	30
IV	内分泌・栄養および代謝疾患	16	10	6	10	26
V	精神および行動の障害	10	4	5	4	4
VI	神経系の疾患	9	6	6	4	3
VII	眼および付属器の疾患	125	121	131	122	108
VIII	耳および乳様突起の疾患	3	6	1	5	4
IX	循環器系の疾患	20	12	13	16	30
X	呼吸器系の疾患	61	42	47	50	34
X I	消化器系の疾患	50	9	10	11	51
X II	皮膚および皮膚組織の疾患	4	9	7	13	19
X III	筋骨格系及び結合組織の疾患	87	104	108	48	45
X IV	尿路性器系の疾患	7	14	6	6	14
X V	妊娠、分娩および産褥	0	0	0	0	0
X VI	周産期に発生した病態	0	0	0	0	0
X VII	先天奇形・変形および染色体異常	0	0	0	0	0
X VIII	症状・症候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4	9	5	7	5
X IX	損傷・中毒およびその他の外因の影響	189	196	166	135	75
X X I	健康状態に影響を及ぼす要因および保健サービスの利用	0	1	0	1	0
合計		1,527	1,561	1,436	1,550	1,661

## 年代別死亡退院患者数（恵寿金沢病院）

単位：人

2020年度

国際分類	性別	男性							女性								
		年齢階層（歳）								年齢階層（歳）							
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計
C16	胃の悪性新生物							2	2								0
C20	直腸の悪性新生物								0						1		1
C34	気管支及び肺の悪性新生物								0						1		1
C50	乳房の悪性新生物								0					1	1		2
C83	びまん性非ホジキンリンパ腫								0		1					2	3
C84	末梢性および皮膚T細胞リンパ腫							1	1							1	1
C85	非ホジキンリンパ腫のその他および詳細不明の型			1		2	1	5	9					1	1	3	5
C90	多発性骨髄腫および悪性形質細胞性新生物				1	1	1	1	4							1	1
C92	骨髄性白血病						2	1	3				1		1	1	3
D46	骨髄異形成症候群						2	2	4								0
D47	リンパ組織、造血組織及び関連組織の性状不詳又は不明のその他の新生物								0						1		1
D61	その他の無形成性貧血								0						1		1
E85	アミロイドーシス						1		1								0
I61	脳内出血								0						1		1
J18	肺炎							3	3						1		1
J20	急性気管支炎						1		1								0
合計		0	0	1	1	3	8	15	28	0	0	1	1	2	9	8	21

## 疾病分類（中分類）別上位疾病（恵寿金沢病院）

### 2020年度

コード	病名	患者数（人）	構成比（%）
C85	非ホジキンリンパ腫	409	24.6%
C90	多発性骨髄腫	386	23.2%
D46	骨髄異形成症候群	103	6.2%
C83	びまん性非ホジキンリンパ腫	82	4.9%
H25	老人性白内障	60	3.6%
H04	涙器の障害	44	2.6%
D37	口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物	44	2.6%
C82	濾胞性非ホジキンリンパ腫	29	1.7%
C92	骨髄腫白血病	29	1.7%
J18	肺炎	19	1.1%
	その他	456	27.5%
		1,661	100.0%

### 2019年度

コード	病名	患者数（人）	構成比（%）
C85	非ホジキンリンパ腫	461	29.8%
C90	多発性骨髄腫	265	17.1%
D46	骨髄異形成症候群	79	5.1%
C83	びまん性非ホジキンリンパ腫	71	4.6%
H25	老人性白内障	63	4.1%
H04	涙器の障害	56	3.6%
C82	濾胞性非ホジキンリンパ腫	48	3.1%
C92	骨髄腫白血病	46	3.0%
C81	ホジキン病	38	2.5%
C91	リンパ性白血病	33	2.1%
	その他	389	25.1%
合計		1,549	100.0%

### 2018年度

コード	病名	患者数（人）	構成比（%）
C85	非ホジキンリンパ腫	428	29.8%
C90	多発性骨髄腫	180	12.5%
H25	老人性白内障	78	5.4%
C92	骨髄性白血病	66	4.6%
C82	濾胞性リンパ腫	63	4.4%
D46	骨髄異形成症候群	54	3.8%
H04	涙器の障害	50	3.5%
C91	リンパ性白血病	39	2.7%
S52	前腕の骨折	31	2.2%
M48	その他の脊椎障害	29	2.0%
	その他	418	29.1%
合計		1,436	100.0%

### 2017年度

コード	病名	患者数（人）	構成比（%）
C85	非ホジキンリンパ腫	478	30.6%
C90	多発性骨髄腫	162	10.4%
D46	骨髄異形成症候群	96	6.1%
C82	濾胞性非ホジキンリンパ腫	71	4.5%
H25	老人性白内障	67	4.3%
C92	骨髄性白血病	50	3.2%
H04	涙器の障害	47	3.0%
S52	前腕の骨折	44	2.8%
C83	びまん性非ホジキンリンパ腫	37	2.4%
C81	ホジキン病	30	1.9%
	その他	479	30.7%
合計		1,561	100.0%

### 2016年度

コード	病名	患者数（人）	構成比（%）
C85	非ホジキンリンパ腫	430	28.2%
D46	骨髄異形成症候群	95	6.2%
H25	老人性白内障	69	4.5%
C83	びまん性非ホジキンリンパ腫	69	4.5%
C92	骨髄性白血病	69	4.5%
C90	多発性骨髄腫	67	4.4%
H04	涙器の障害	53	3.5%
C82	濾胞性リンパ腫	53	3.5%
J18	肺炎	39	2.6%
K63	大腸ポリープ	33	2.2%
	その他	550	36.0%
合計		1,527	100.0%

## 第3章 医療部門：診療統計・医療の質(恵寿金沢病院)

## 48時間以内死亡患者数（恵寿金沢病院）

単位：人

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
退院患者数	1,514	1,542	1,415	1,554	1,649
死亡患者数	44	36	47	44	49
入院後48時間以内死亡患者数	0	0	0	0	0

## 2020年度死亡要因上位件数（中分類）（恵寿金沢病院）

全体

コード	病名	死亡患者数 (人)	構成比 (%)
C85	非ホジキンリンパ腫	14	28.6%
C92	骨髄性白血病	6	12.2%
C90	多発性骨髄腫	5	10.2%
D46	骨髄異形成症候群	4	8.2%
J18	肺炎	4	8.2%
C83	濾胞性非ホジキンリンパ腫	3	6.1%
	その他	13	26.5%
合計		49	100.0%

男性

コード	病名	患者数 (人)	構成比 (%)
C85	非ホジキンリンパ腫	9	32.1%
C90	多発性骨髄腫	4	14.3%
D46	骨髄異形成症候群	4	14.3%
	その他	11	39.3%
合計		28	100.0%

女性

コード	病名	患者数 (人)	構成比 (%)
C85	非ホジキンリンパ腫	5	23.8%
C83	濾胞性非ホジキンリンパ腫	3	14.3%
C92	骨髄性白血病	3	14.3%
	その他	10	47.6%
合計		21	100.0%



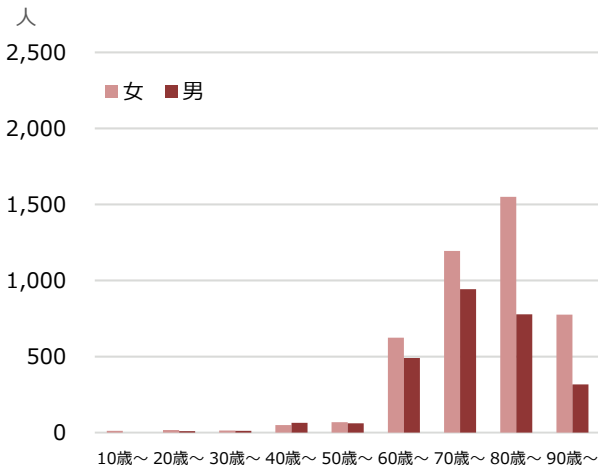
## 医療Quality Indicator (恵寿金沢病院)

区分	項目	2018年度		2019年度		2020年度		計算式
		件数	母数	件数	母数	件数	母数	
		率		率		率		
基本情報	新入院患者数(ドック除く)		1,417		1,562		1,634	
	述べ入院患者数		24,425		24,826		23,892	
	退院患者数(ドック除く)		1,415		1,554		1,649	
	①死亡退院患者率	47	1,415	44	1,554	49	1,649	死亡退院患者数/月間退院患者(ドック除く)
			3.3%		2.8%		3.0%	
	②退院後2週間以内の入院サマリ完成率	1,352	1,436	1,463	1,568	1,502	1,661	退院後2週間以内の入院サマリ完成件数/退院患者件数(転科含む)
			94.2%		93.3%		90.4%	
	③バス適用率	-	-	-	-	-	-	電子バス適用件数/新入院患者数(ドック除く)
			-		-		-	
	④入院24時間以内の死亡	0	1,417	0	1,562	0	1,634	24時間以内の死亡数/新入院患者数(ドック除く)
			0.0%		0.0%		0.0%	
(1) 病院全体	⑤紹介率	681	2,085	610	1,836	541	1,393	紹介患者数+救急患者数+二次健診数/初診患者数
			32.7%		33.2%		38.8%	
	⑥逆紹介率	996	2,085	1,009	1,836	842	1,393	逆紹介患者数/初診患者数
			47.8%		55.0%		60.4%	
	⑦職員の健診受診率(全職員)	134	134	135	135	144	144	全職員健診受診件数/全職員数(休職者を除く)
			100.0%		100.0%		100.0%	
	(医師)	9	9	10	10	11	11	医師健診受診件数/常勤医師数
			100.0%		100.0%		100.0%	
	⑧苦情件数率(全体)	-	-	-	-	-	-	
	アドボカシー室		-		-		-	
	⑨医師返書作成日数		3.0日		2.3日		3.4日	返書作成平均日数
(2) 医療安全	⑩救急車受け入れ不能件数(月平均)率	-	-	-	-	-	-	救急車受け入れ不能件数(月平均)/救急車受け入れ要請件数
			-		-		-	
	⑪入院患者のリハビリ実施率	13,970	24,425	17,858	24,826	14,212	23,892	リハビリ実施延べ人数/延べ入院患者数
			57.2%		71.9%		59.5%	
	①転倒転落件数、転倒転落率	0	24,425	2	24,826	0	23,892	延べ転倒転落数(リスクレベル3b以上)/延べ入院患者
			0.00%		0.00%		0.00%	
	②アクシデントレポート提出件数、提出率	224	24,425	216	24,826	255	23,892	アクシデントレポート提出件数/延べ入院患者数
			0.9%		0.9%		1.1%	
	③24時間以内の再手術率	0	524	0	513	0	320	24時間以内の再手術患者数/手術実施患者数
			0.2%		0%		0%	
	④手術後24時間以内の死亡率	0	524	0	513	0	320	手術24時間以内の死亡患者数/手術実施患者数
		0%		0%		0%		
⑤褥瘡推定発生率	17	735	10	722	3	710	褥瘡保有者数-新規自宅発生件数/患者数(月末)	
		2.3%		1.4%		0.4%		
(3) 感染対策	①MRSA感染症新規発生率	3	1,417	7	1,562	9	1,634	MRSA感染症新規発生患者数/新入院患者(ドック除く)
			0.2%		0.4%		0.6%	
	②中心静脈カテーテル関連血流感染(CLABSI)発生率	6	4,807	6	2,868	9	4,176	(中心静脈カテーテル関連血流感染患者数/カテーテル延べ使用日数)×1000
			1.2%		2.1%		2.2%	
	③緑膿菌の薬剤耐性率(MDRP)	0	15	0	17	0	4	緑膿菌の各種薬剤に対する耐性株数/緑膿菌検出件数
			0%		0%		0%	
	④擦式アルコール手指消毒剤使用量	-	-	-	-	-	-	擦式アルコール手指消毒剤使用量/延べ入院患者数
			-		-		-	
	⑤血液・体液暴露(針刺し)件数		1		4		0	
	⑥特定抗生剤届出率	312	312	222	222	220	220	特定抗生剤届出数/特定抗生剤処方患者数
			100%		100%		100%	
(4) 栄養	①特別食比率	28,283	62,801	34,909	64,341	31,348	63,114	特別食提供件数/食事提供件数
			45.0%		54.3%		49.7%	

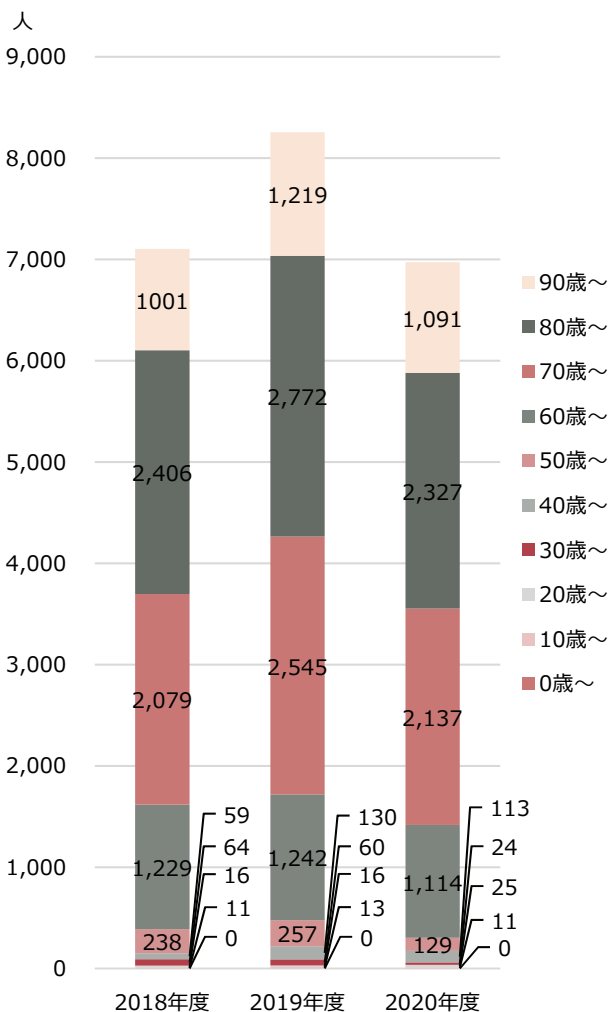
### 第3章 医療部門：診療統計・医療の質(恵寿金沢病院)

## 田鶴浜診療所

年代別（男女別）外来患者数

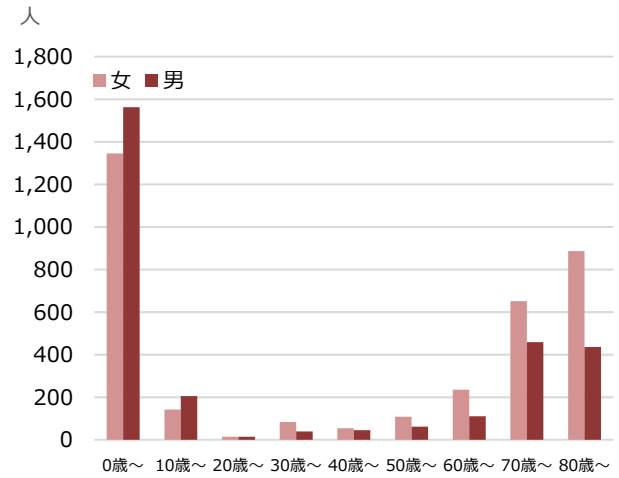


年代別外来患者数の推移

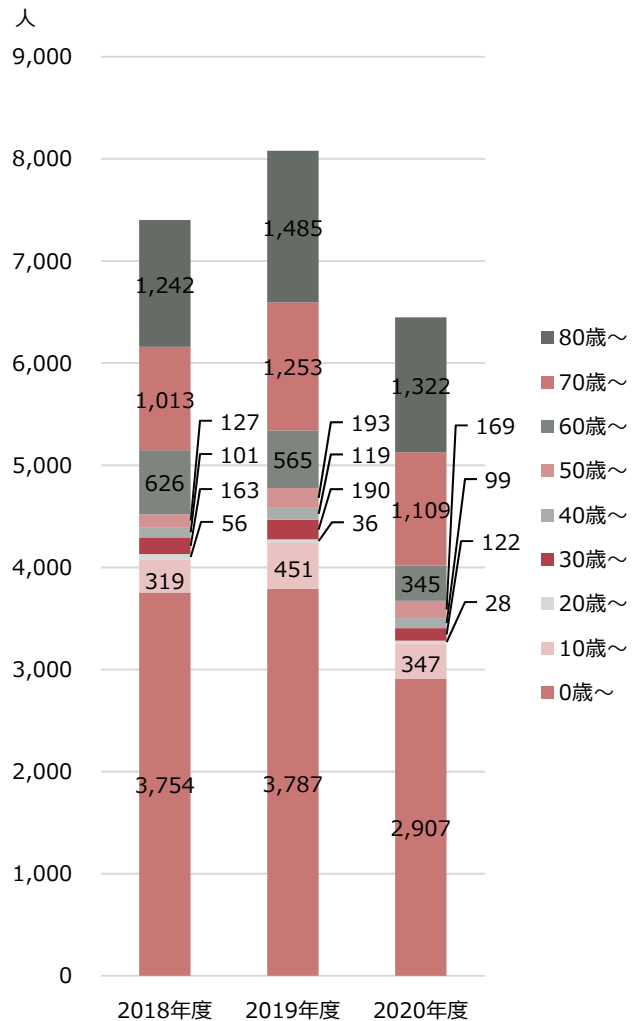


## 鳥屋診療所 いきいき

年代別（男女別）外来患者数

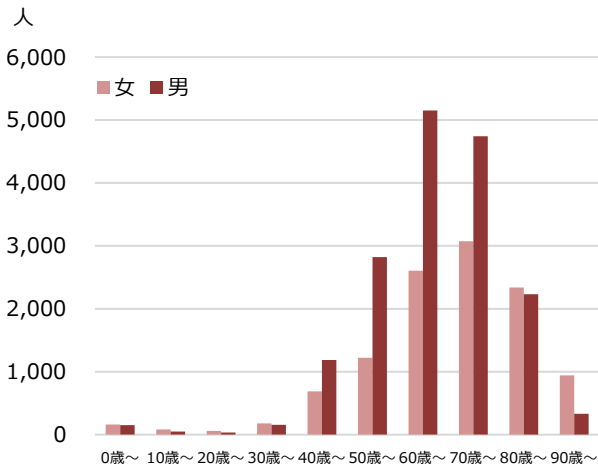


年代別外来患者数の推移



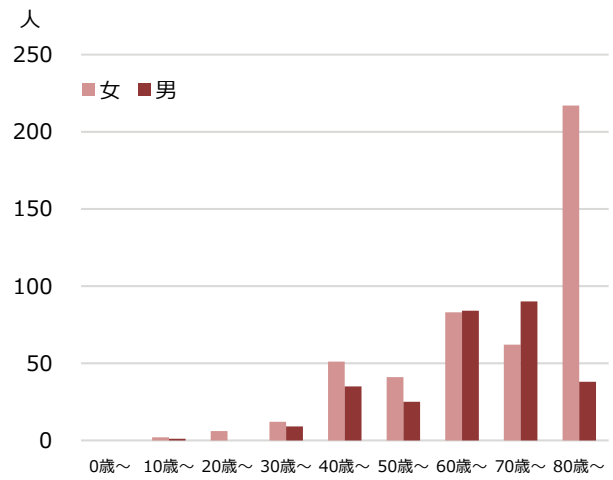
## 恵寿ローレルクリニック

年代別（男女別）外来患者数

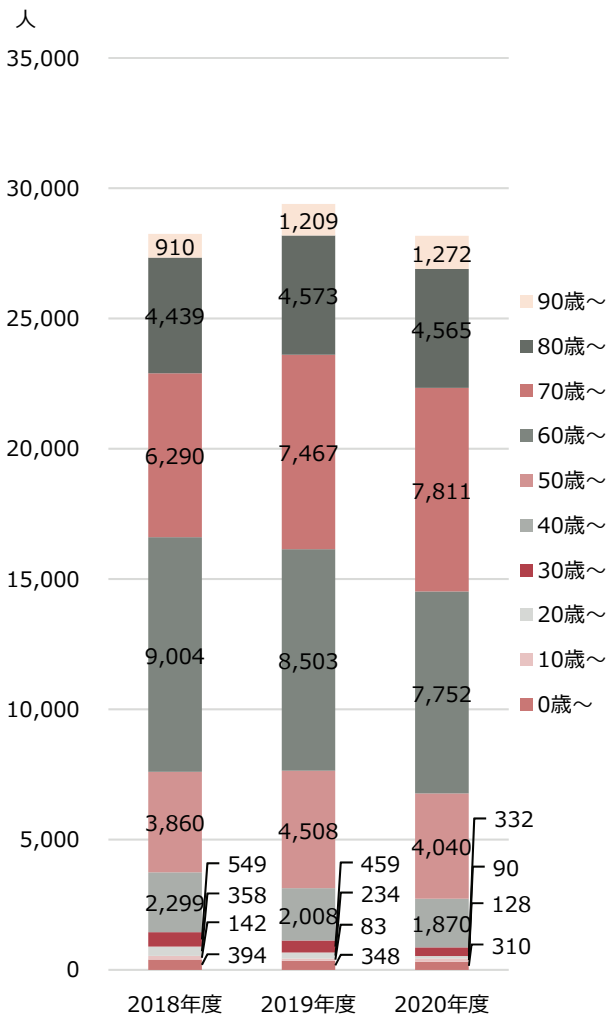


## 恵寿鳩ヶ丘クリニック

年代別（男女別）外来患者数




年代別外来患者数の推移



年代別外来患者数の推移





第 4 章  
介護部門  
利用統計・介護の質

## 利用統計

### 入所の推移

単位：人

	2018年度	2019年度	2020年度
恵寿鳩ヶ丘（135床）	44,780	44,601	44,367
鶴友苑（50床）	15,930	15,782	16,154
和光苑（150床）	51,401	53,037	53,690
エレガントなぎの浦	32,254	31,665	32,636
アンジェリイなぎの浦	10,190	10,219	10,908
エレガントたつるはま	8,862	8,772	8,797
ローレルハイツ恵寿（ケアハウス）	7,300	7,290	7,231
ローレルハイツ恵寿（特定ケアハウス）	10,941	10,969	10,935
ローレルハイツ恵寿（サ高住）	16,365	16,426	17,451
総計	198,023	198,761	202,169

### 短期入所の推移

単位：人

	2018年度	2019年度	2020年度
ほのぼの	9,187	9,404	8,148
恵寿鳩ヶ丘	188	217	131
鶴友苑	1,576	1,484	1,142
和光苑	26	25	59
エレガントなぎの浦	4,035	4,018	3,751
エレガントたつるはま	30	0	3
総計	15,042	15,148	13,234

### 通所リハビリテーションの推移

単位：人

	2018年度	2019年度	2020年度
恵寿鳩ヶ丘	3,832	3,513	3,579
鶴友苑	6,535	6,577	6,100
和光苑	9,944	9,976	10,158
いきいき	3,272	2,225	2,184
総計	23,583	22,291	22,021

### 通所介護の推移

単位：人

	2018年度	2019年度	2020年度
ほのぼの	10,060	9,088	8,323
いこい	8,098	8,141	8,235
エレガントなぎの浦	9,858	9,494	8,904
もみの木苑	7,455	7,695	6,644
ふれあいの里	9,134	10,316	9,216
総計	44,605	44,734	41,322

### 小規模多機能型居宅介護（延べ登録人数）の推移

単位：人

	2018年度	2019年度	2020年度
恵寿みおや	8,881	8,560	7,995
けいじゅ一本杉	7,352	7,810	7,722
総計	16,233	16,370	15,717

## 介護Quality Indicator (恵寿鳩ヶ丘)

区分	項目	2018	2019	2020	計算式
(1) 施設 全体	①在宅復帰率	4.2% (3/72)	4.6% (3/65)	7.5% (6/80)	在宅退所者数/退所者数
	②短期集中リハビリ率 (認知症短期集中リハビリ含)	10.7% (4,797/44,701)	9.8% (4,373/44,624)	12.5% (5,539/44,138)	リハ実施延べ人数/ 延べ入所者数
	③重度者(介護4・5)割合率	74.3% (1,139/1,532)	66.6% (1,011/1,519)	59.0% (899/1,523)	要介護4・5の人数/ 実利用者数
	④認知症Ⅲa以上の割合率	82.3% (1,261/1,532)	67.5% (1,025/1,519)	62.8% (956/1,523)	認知症Ⅲ以上延べ人数/ 実利用者数
	⑤ターミナルケア率	0.7% (11/1,532)	1.9% (29/1,519)	3.0% (45/1,523)	ターミナル実人数/ 実利用者数
	⑥介護福祉士率	81.4% (403/495)	84.6% (435/514)	82.9% (403/486)	介護福祉士資格者数/ 介護職員数
	⑦介護実習指導者率	19.4% (96/495)	16.3% (84/514)	19.8% (96/486)	介護実習指導者数/ 介護職員数
	⑧介護プロフェッショナルキャリア段位 (アセッサー)取得者率	-	-	14.8% (72/486)	キャリア段位認定者数/ 介護職員数
(2) 安全・ 安心 対策	①入所者の転倒・転落発生率	0.2% (96/44,701)	0.2% (96/44,624)	0.3% (125/44,138)	転倒転落件数/ 延べ入所者数
	②入所者の転倒・転落による 損傷発生率(レベル3以上)	0.0% (3/44,701)	0.0% (0/44,624)	0.0% (3/44,138)	転倒転落件数(リスクレベル3 以上)/延べ入所者
	③ひやりはっと発生率	0.5% (211/44,701)	0.4% (191/44,624)	0.5% (228/44,138)	ひやりはっと件数/延べ入所者
	④褥瘡推定発生率	1.5% (22/1,467)	2.5% (36/1,462)	1.9% (27/1,458)	褥瘡保有者数/入所者数 (月末)
	⑤特定行為従事者認定者率 (喀痰吸引)	-	-	2.9% (14/486)	特定行為認定者数/ 介護職員数
(3) 感染 対策	①インフルエンザ罹患率(職員)	1.1% (11/973)	0.6% (6/1,023)	0.0% (0/1,045)	インフルエンザ罹患職員数/ 全職員数
	②新型コロナウイルス罹患率 (職員)	-	-	0.0% (0/1,045)	新型コロナウイルス 罹患職員数/全職員数
	③血液・体液暴露(針刺し)件数	0	0	0	発生件数
(4) 栄養	①経口維持Ⅰ・Ⅱ比率	26.8% (410/1,532)	25.9% (394/1,519)	25.9% (395/1,523)	経口維持Ⅰ・Ⅱ対象者数/ 実利用者数
	②療養食比率	49.0% (751/1,532)	57.0% (866/1,519)	57.3% (872/1,523)	特食回数/食事回数

## 介護Quality Indicator (鶴友苑)

区分	項目	2018	2019	2020	計算式
(1) 施設 全体	①在宅復帰率	64.1% (59/92)	49.6% (56/113)	45.2% (33/73)	在宅退所者数/退所者数
	②短期集中リハビリ率 (認知症短期集中リハビリ含)	8.9% (1,406/15,884)	13.1% (2,064/15,782)	17.0% (2,936/17,238)	リハ実施延べ人数/ 延べ入所者数
	③重度者(介護4・5)割合率	27.3% (165/604)	36.9% (225/609)	31.8% (189/594)	要介護4・5の人数/ 実利用者数
	④認知症Ⅲa以上の割合率	39.4% (238/604)	33.7% (205/609)	31.0% (184/594)	認知症Ⅲ以上延べ人数/ 実利用者数
	⑤ターミナルケア率	0.0% (0/604)	0.0% (0/609)	0.5% (3/594)	ターミナル実人数/ 実利用者数
	⑥介護福祉士率	84.6% (198/234)	90.0% (207/230)	97.1% (234/241)	介護福祉士資格者数/ 介護職員数
	⑦介護実習指導者率	48.3% (113/234)	33.0% (76/230)	39.8% (96/241)	介護実習指導者数/ 介護職員数
	⑧介護プロフェッショナルキャリア段位 (アセッサー)取得者率	-	-	10.0% (24/241)	キャリア段位認定者数/ 介護職員数
(2) 安全・ 安心 対策	①入所者の転倒・転落発生率	0.1% (78/15,884)	0.4% (66/15,782)	0.3% (44/17,238)	転倒転落件数/ 延べ入所者数
	②入所者の転倒・転落による 損傷発生率(レベル3以上)	0.1% (10/15,884)	0.0% (1/15,782)	0.0% (7/17,238)	転倒転落件数(リスクレベル3 以上)/延べ入所者
	③ひやりはっと発生率	0.3% (47/15,884)	0.2% (32/15,782)	0.1% (20/17,238)	ひやりはっと件数/延べ入所者
	④褥瘡推定発生率	0.2% (1/604)	0.8% (5/609)	0.7% (4/594)	褥瘡保有者数/入所者数 (月末)
	⑤特定行為従事者認定者率 (喀痰吸引)	-	-	4.4% (10/228)	特定行為認定者数/ 介護職員数
(3) 感染 対策	①インフルエンザ罹患率(職員)	0.3% (1/354)	0.0% (0/576)	0.0% (0/454)	インフルエンザ罹患職員数/ 全職員数
	②新型コロナウイルス罹患率 (職員)	-	-	0.0% (0/454)	新型コロナウイルス 罹患職員数/全職員数
	③血液・体液暴露(針刺し)件数	0	0	0	発生件数
(4) 栄養	①経口維持Ⅰ・Ⅱ比率	45.7% (276/604)	53.7% (327/609)	61.1% (363/594)	経口維持Ⅰ・Ⅱ対象者数/ 実利用者数
	②療養食比率	79.5% (480/604)	94.3% (574/609)	93.0% (44,796/48,178)	特食回数/食事回数

## 介護Quality Indicator (和光苑)

区分	項目	2018	2019	2020	計算式
(1) 施設 全体	①在宅復帰率	5.4% (8/147)	1.7% (2/117)	6.8% (5/74)	在宅退所者数/退所者数
	②短期集中リハビリ率 (認知症短期集中リハビリ含)	8.8% (4,543/51,396)	12.1% (6,469/53,007)	12.4% (6,657/53,690)	リハ実施延べ人数/ 延べ入所者数
	③重度者(介護4・5)割合率	74.3% (1,334/1,795)	73.1% (1,350/1,847)	68.6% (1,261/1,839)	要介護4・5の人数/ 実利用者数
	④認知症Ⅲa以上の割合率	77.0% (1,383/1,795)	77.4% (1,429/1,847)	75.4% (1,386/1,839)	認知症Ⅲ以上延べ人数/ 実利用者数
	⑤ターミナルケア率	0.4% (8/1,795)	0.9% (17/1,847)	1.0% (18/1,839)	ターミナル実人数/ 実利用者数
	⑥介護福祉士率	73.1% (512/700)	70.3% (484/688)	81.0% (506/625)	介護福祉士資格者数/ 介護職員数
	⑦介護実習指導者率	21.4% (150/700)	30.5% (210/688)	32.6% (204/625)	介護実習指導者数/ 介護職員数
	⑧介護プロフェッショナルキャリア段位 (アセッサー)取得者率	-	-	19.2% (120/625)	キャリア段位認定者数/ 介護職員数
(2) 安全・ 安心 対策	①入所者の転倒・転落発生率	0.2% (121/51,396)	0.2% (132/53,007)	0.2% (118/53,690)	転倒転落件数/ 延べ入所者数
	②入所者の転倒・転落による 損傷発生率(レベル3以上)	0.0% (9/51,396)	0.0% (8/53,007)	0.0% (3/53,690)	転倒転落件数(リスクレベル3 以上)/延べ入所者
	③ひやりはっと発生率	0.3% (168/51,396)	0.7% (362/53,007)	0.3% (145/53,690)	ひやりはっと件数/延べ入所者
	④褥瘡推定発生率	2.9% (49/1,693)	1.9% (36/1,847)	4.7% (86/1,839)	褥瘡保有者数/入所者数 (月末)
	⑤特定行為従事者認定者率 (喀痰吸引)	-	-	3.4% (21/625)	特定行為認定者数/ 介護職員数
(3) 感染 対策	①インフルエンザ罹患率(職員)	0.9% (9/976)	0.0% (1/1,424)	0.0% (0/1,222)	インフルエンザ罹患職員数/ 全職員数
	②新型コロナウイルス罹患率 (職員)	-	-	0.0% (0/1,222)	新型コロナウイルス 罹患職員数/全職員数
	③血液・体液暴露(針刺し)件数	0	0	0	発生件数
(4) 栄養	①経口維持Ⅰ・Ⅱ比率	64.5% (1,158/1,795)	55.3% (1,022/1,847)	52.4% (963/1,839)	経口維持Ⅰ・Ⅱ対象者数/ 実利用者数
	②療養食比率	63.6% (1,142/1,795)	58.5% (1,081/1,847)	62.6% (1,152/1,839)	特食回数/食事回数



## 介護Quality Indicator (エレガントなぎの浦)

区分	項目	2018	2019	2020	計算式
(1) 施設全体	①重度者（介護4・5）割合率	85.5% (952/1,114)	87.6% (983/1,122)	91.0% (1,020/1,121)	要介護4・5の人数/ 実利用者数
	②認知症Ⅲa以上の割合率	71.7% (799/1,114)	68.3% (766/1,122)	69.0% (773/1,121)	認知症Ⅲ以上延べ人数/ 実利用者数
	③介護福祉士率	72.1% (360/499)	79.2% (408/515)	84.0% (435/518)	介護福祉士資格者数/ 介護職員数
	④介護実習指導者率	7.2% (36/499)	7.0% (36/515)	4.6% (24/518)	介護実習指導者数/ 介護職員数
	⑤介護プロフェッショナルキャリア段位 （アセッサー）取得者率	—	—	2.3% (12/518)	キャリア段位認定者数/ 介護職員数
(2) 安全・安心対策	①入所者の転倒・転落発生率	0.1% (47/32,264)	0.1% (31/31,681)	0.2% (65/32,684)	転倒転落件数/ 延べ入所者数
	②入所者の転倒・転落による 損傷発生率（レベル3以上）	0.0% (2/32,264)	0.0% (8/31,681)	0.0% (5/32,684)	転倒転落件数（リスクレベル3 以上）/延べ入所者
	③ひやりはっと発生率	0.5% (165/32,264)	0.5% (167/31,681)	0.7% (223/32,684)	ひやりはっと件数/延べ入所者
	④褥瘡推定発生率	0% (0/1,114)	2.2% (25/1,122)	1.8% (20/1,104)	褥瘡保有者数/入所者数 （月末）
	⑤特定行為従事者認定者率 （喀痰吸引）	—	—	3.9% (20/518)	特定行為認定者数/ 介護職員数
(3) 感染対策	①インフルエンザ罹患率（職員）	0.7% (5/716)	0.0% (0/694)	0.0% (0/736)	インフルエンザ罹患職員数/ 全職員数
	②新型コロナウイルス罹患率 （職員）	—	—	0.0% (0/736)	新型コロナウイルス 罹患職員数/全職員数
(4) 栄養	①経口維持Ⅰ・Ⅱ比率	47.0% (524/1,114)	50.8% (570/1,122)	60.7% (680/1,121)	経口維持Ⅰ・Ⅱ対象者数/ 実利用者数
	②療養食比率	47.0% (524/1,114)	61.9% (52,163/84,319)	56.6% (634/1,121)	特食回数/食事回数

## 介護Quality Indicator（エレガントたつるはま）

区分	項目	2018	2019	2020	計算式
(1) 施設全体	①重度者（介護4・5）割合率	91.1% (278/305)	82.3% (251/305)	87.8% (266/303)	要介護4・5の人数/ 実利用者数
	②認知症Ⅲa以上の割合率	79.7% (243/305)	76.4% (233/305)	86.1% (261/303)	認知症Ⅲ以上延べ人数/ 実利用者数
	③介護福祉士率	91.3% (158/173)	93.3% (168/180)	92.9% (156/168)	介護福祉士資格者数/ 介護職員数
	④介護実習指導者率	20.8% (36/173)	20.0% (36/180)	21.4% (36/168)	介護実習指導者数/ 介護職員数
	⑤介護プロフェッショナルキャリア段位 （アセッサー）取得者率	—	—	7.1% (12/168)	キャリア段位認定者数/ 介護職員数
(2) 安全・安心対策	①入所者の転倒・転落発生率	0.1% (13/8,862)	1.1% (95/8,772)	0.2% (19/8,797)	転倒転落件数/ 延べ入所者数
	②入所者の転倒・転落による 損傷発生率（レベル3以上）	0.0% (3/8,862)	0.0% (2/8,772)	0.0% (3/8,797)	転倒転落件数（リスクレベル3 以上）/延べ入所者
	③ひやりはっと発生率	1.7% (151/8,862)	1.1% (95/8,772)	0.6% (49/8,797)	ひやりはっと件数/延べ入所者
	④褥瘡推定発生率	0.0% (0/305)	0.0% (0/306)	0.0% (0/303)	褥瘡保有者数/入所者数 （月末）
	⑤特定行為従事者認定者率 （喀痰吸引）	—	—	6.5% (11/168)	特定行為認定者数/ 介護職員数
(3) 感染対策	①インフルエンザ罹患率（職員）	0.0% (0/240)	0.0% (0/180)	0.0% (0/228)	インフルエンザ罹患職員数/ 全職員数
	②新型コロナウイルス罹患率 （職員）	—	—	0.0% (0/228)	新型コロナウイルス 罹患職員数/全職員数
(4) 栄養	①経口維持Ⅰ・Ⅱ比率	50.8% (155/305)	48.5% (148/305)	54.8% (166/303)	経口維持Ⅰ・Ⅱ対象者数/ 実利用者数
	②療養食比率	49.3% (13,110/26,586)	65.2% (18,194/27,903)	59.7% (181/303)	特食回数/食事回数

## 介護Quality Indicator（恵寿鳩ヶ丘通所リハ）

区分	項目	2018	2019	2020	計算式
(1) 施設 全体	①介護改善率	21.6% (8/37)	0.0% (0/10)	18.2% (6/33)	認定改善者数/ 認定更新者数
	②リハビリマネジメント加算Ⅰ	84.7% (460/543)	89.9% (373/415)	89.6% (406/453)	算定者数/要介護者数
	③リハビリマネジメント加算Ⅱ	0.0% (0/543)	0.0% (0/415)	0.0% (0/453)	算定者数/要介護者数
	④リハビリマネジメント加算Ⅲ	—	10.4% (43/415)	9.1% (41/453)	算定者数/要介護者数
	⑤リハビリマネジメント加算Ⅳ	—	0.0% (0/415)	0.0% (0/453)	算定者数/要介護者数
	⑥短期集中リハビリテーション実施 加算（認知症短期集中リハビリ合）	5.3% (29/543)	12.8% (53/415)	10.8% (49/453)	算定者数（加算Ⅰ・Ⅱ）/ 要介護者数
	⑦中重度者比率（介護度3以上）	26.0% (141/543)	26.3% (109/415)	27.4% (124/453)	要介護度3・4・5の人数/ 要介護者数
	⑧認知症自立度Ⅲa以上の割合	12.9% (70/543)	6.3% (33/526)	2.1% (12/567)	認知症自立度Ⅲa以上の数/ 実利用者数
	⑨生活行為向上リハビリテーション 実施加算Ⅰ・Ⅱ	5.5% (30/543)	2.5% (13/526)	2.1% (12/567)	算定者数（加算Ⅰ・Ⅱ）/ 実利用者数
	⑩介護福祉士率	62.1% (54/87)	62.5% (60/96)	65.7% (46/70)	介護福祉士数/ 介護職員数
	⑪介護プロフェッショナルキャリア段位 （アセッサー）取得者率	—	—	0.0% (0/70)	キャリア段位認定者数/ 介護職員数
(2) 安全・ 安心 対策	①通所者の転倒・転落発生率	0.2% (8/3,822)	0.2% (6/3,514)	0.3% (11/3,579)	転倒転落件数/ 延べ通所者数
	②通所者の事故発生による 損傷発生率（レベル3以上）	0.0% (1/3,822)	0.0% (0/3,514)	0.0% (0/3,579)	転倒転落件数（リスクレベル 3以上）/延べ通所者数
	③ひやりはっと発生率	0.4% (15/3,832)	0.3% (12/3,514)	0.6% (22/3,579)	ひやりはっと件数/ 延べ通所者数
	④特定行為従事者認定者率 （喀痰吸引）	—	—	14.3% (10/70)	特定行為認定者数/ 介護職員数
(3) 感染	①インフルエンザ罹患率（職員）	3.5% (3/86)	0.0% (0/96)	0.0% (0/70)	インフルエンザ罹患職員数/ 全職員数
	②新型コロナウイルス罹患率 （職員）	—	—	0.0% (0/70)	新型コロナウイルス罹患 職員数/全職員数
(4) 栄養	①栄養改善取組率	4.1% (22/543)	0.0% (0/526)	2.8% (16/567)	改善取組者数/実利用者数
	②口腔機能向上取組率	0.4% (2/543)	0.0% (0/526)	0.0% (0/567)	向上取組者数/実利用者数

### 第4章 介護・福祉部門：利用統計・介護の質

## 介護Quality Indicator（鶴友苑通所八）

区分	項目	2018	2019	2020	計算式
(1) 施設全体	①介護改善率	17.5% (11/63)	22.0% (13/59)	13.0% (7/54)	認定改善者数/ 認定更新者数
	②リハビリマネジメント加算Ⅰ	92.7% (712/768)	81.1% (605/746)	93.5% (795/850)	算定者数/要介護者数
	③リハビリマネジメント加算Ⅱ	22.3% (171/768)	9.5% (71/746)	6.6% (43/654)	算定者数/要介護者数
	④リハビリマネジメント加算Ⅲ	—	9.0% (67/746)	7.0% (46/654)	算定者数/要介護者数
	⑤リハビリマネジメント加算Ⅳ	—	0.0% (0/746)	0.0% (0/654)	算定者数/要介護者数
	⑥短期集中リハビリテーション実施加算（認知症短期集中リハビリ合）	36.3% (279/768)	3.8% (28/746)	2.8% (18/654)	算定者数（加算Ⅰ・Ⅱ）/ 要介護者数
	⑦中重度者比率（介護度3以上）	36.3% (279/768)	32.3% (241/746)	29.5% (193/654)	要介護度3・4・5の人数/ 要介護者数
	⑧認知症自立度Ⅲa以上の割合	15.8% (142/899)	11.5% (107/931)	29.3% (196/668)	認知症自立度Ⅲa以上の数/ 実利用者数
	⑨生活行為向上リハビリテーション実施加算Ⅰ・Ⅱ	0.7% (6/899)	0.0% (0/931)	0.0% (0/654)	算定者数（加算Ⅰ・Ⅱ）/ 実利用者数
	⑩介護福祉士率	85.7% (72/84)	100.0% (84/84)	100.0% (72/72)	介護福祉士数/ 介護職員数
	⑪介護プロフェッショナルキャリア段位（アセッサー）取得者率	—	—	16.7% (12/72)	キャリア段位認定者数/ 介護職員数
(2) 安全・安心対策	①通所者の転倒・転落発生率	0.0% (2/6,535)	0.1% (7/6,577)	0.2% (12/6,099)	転倒転落件数/ 延べ通所者数
	②通所者の事故発生による損傷発生率（レベル3以上）	0.0% (0/6,535)	0.0% (0/6,577)	0.0% (1/6,099)	転倒転落件数（リスクレベル3以上）/ 延べ通所者数
	③ひやりはっと発生率	0.0% (0/6,535)	0.0% (1/6,577)	0.2% (10/6,099)	ひやりはっと件数/ 延べ通所者数
	④特定行為従事者認定者率（喀痰吸引）	—	—	50.0% (36/72)	特定行為認定者数/ 介護職員数
(3) 感染	①インフルエンザ罹患率（職員）	0.8% (1/120)	0.8% (1/120)	0.0% (0/108)	インフルエンザ罹患職員数/ 全職員数
	②新型コロナウイルス罹患率（職員）	—	—	0.9% (1/108)	新型コロナウイルス罹患職員数/ 全職員数
(4) 栄養	①栄養改善取組率	20.6% (185/899)	13.5% (126/931)	14.5% (125/864)	改善取組者数/実利用者数
	②口腔機能向上取組率	10.0% (90/899)	2.1% (20/931)	2.4% (21/864)	向上取組者数/実利用者数

## 介護Quality Indicator（和光苑通所八）

区分	項目	2018	2019	2020	計算式
(1) 施設 全体	①介護改善率	25.8% (23/89)	15.3% (15/98)	13.7% (13/95)	認定改善者数/ 認定更新者数
	②リハビリマネジメント加算Ⅰ	80.9% (784/969)	77.2% (806/1,044)	95.1% (1,038/1,091)	算定者数/要介護者数
	③リハビリマネジメント加算Ⅱ	14.9% (144/969)	4.9% (51/1,044)	2.7% (30/1,091)	算定者数/要介護者数
	④リハビリマネジメント加算Ⅲ	—	7.9% (82/1,044)	2.0% (22/1,091)	算定者数/要介護者数
	⑤リハビリマネジメント加算Ⅳ	—	0.0% (0/1,044)	0.0% (0/1,091)	算定者数/要介護者数
	⑥短期集中リハビリテーション実施 加算（認知症短期集中リハビリ合）	3.2% (31/969)	1.5% (16/1,044)	29.7% (324/1,091)	算定者数（加算Ⅰ・Ⅱ）/ 要介護者数
	⑦中重度者比率（介護度3以上）	28.4% (275/969)	21.7% (227/1,044)	23.3% (254/1,091)	要介護度3・4・5の人数/ 要介護者数
	⑧認知症自立度Ⅲa以上の割合	11.2% (147/1,309)	16.3% (218/1,336)	13.4% (181/1,348)	認知症自立度Ⅲa以上の数/ 実利用者数
	⑨生活行為向上リハビリテーション 実施加算Ⅰ・Ⅱ	1.8% (24/1,309)	0.4% (6/1,336)	0.0% (0/1,348)	算定者数（加算Ⅰ・Ⅱ）/ 実利用者数
	⑩介護福祉士率	66.2% (92/139)	60.3% (73/121)	70.0% (84/120)	介護福祉士数/ 介護職員数
	⑪介護プロフェッショナルキャリア段位 （アセッサー）取得者率	0.0% (0/139)	0.0% (0/121)	10.0% (12/120)	キャリア段位認定者数/ 介護職員数
(2) 安全・ 安心 対策	①通所者の転倒・転落発生率	0.2% (20/9,944)	0.1% (12/9,853)	0.2% (18/10,158)	転倒転落件数/ 延べ通所者数
	②通所者の事故発生による 損傷発生率（レベル3以上）	0.0% (1/9,944)	0.0% (0/9,853)	0.0% (1/10,158)	転倒転落件数（リスクレベル 3以上）/延べ通所者数
	③ひやりはっと発生率	0.1% (8/9,944)	0.3% (32/9,853)	0.1% (9/10,158)	ひやりはっと件数/ 延べ通所者数
	④特定行為従事者認定者率 （喀痰吸引）	—	—	10.0% (12/120)	特定行為認定者数/ 介護職員数
(3) 感染	①インフルエンザ罹患率（職員）	0.7% (1/139)	0.6% (1/159)	0.0% (0/156)	インフルエンザ罹患職員数/ 全職員数
	②新型コロナウイルス罹患率 （職員）	—	—	0.0% (0/156)	新型コロナウイルス罹患 職員数/全職員数
(4) 栄養	①栄養改善取組率	15.9% (208/1,309)	5.6% (75/1,336)	5.9% (79/1,348)	改善取組者数/実利用者数
	②口腔機能向上取組率	20.8% (272/1,309)	8.8% (118/1,336)	6.8% (91/1,348)	向上取組者数/実利用者数

### 第4章 介護・福祉部門：利用統計・介護の質

## 介護Quality Indicator（鳥屋診療所いきいき通所リハ）

区分	項目	2018	2019	2020	計算式
(1) 施設 全体	①介護改善率	17.5% (7/40)	6.1% (2/33)	0.0% (0/35)	認定改善者数/ 認定更新者数
	②リハビリマネジメント加算Ⅰ	91.6% (328/358)	90.3% (223/247)	90.6% (230/254)	算定者数/要介護者数
	③リハビリマネジメント加算Ⅱ	1.4% (5/358)	0.0% (0/247)	0.0% (0/254)	算定者数/要介護者数
	④リハビリマネジメント加算Ⅲ	—	9.7% (24/247)	9.4% (24/254)	算定者数/要介護者数
	⑤リハビリマネジメント加算Ⅳ	—	0.0% (0/247)	0.0% (0/254)	算定者数/要介護者数
	⑥短期集中リハビリテーション実施 加算（認知症短期集中リハビリ合）	5.6% (20/358)	0.8% (2/247)	3.1% (8/254)	算定者数（加算Ⅰ・Ⅱ）/ 要介護者数
	⑦中重度者比率（介護度3以上）	22.9% (82/358)	19.8% (49/247)	15.7% (40/254)	要介護度3・4・5の人数/ 要介護者数
	⑧認知症自立度Ⅲa以上の割合	0.0% (0/569)	0.0% (0/396)	4.7% (18/380)	認知症自立度Ⅲa以上の数/ 実利用者数
	⑨生活行為向上リハビリテーション 実施加算Ⅰ・Ⅱ	3.9% (22/569)	0.8% (3/396)	0.0% (0/380)	算定者数（加算Ⅰ・Ⅱ）/ 実利用者数
	⑩介護福祉士率	75.0% (36/48)	100.0% (36/36)	100.0% (36/36)	介護福祉士数/ 介護職員数
	⑪介護プロフェッショナルキャリア段位 （アセッサー）取得者率	0.0% (0/48)	0.0% (0/36)	0.0% (0/36)	キャリア段位認定者数/ 介護職員数
(2) 安全・ 安心 対策	①通所者の転倒・転落発生率	0.0% (1/3,272)	0.0% (1/2,225)	0.0% (0/2,184)	転倒転落件数/ 延べ通所者数
	②通所者の事故発生による 損傷発生率（レベル3以上）	0.0% (0/3,272)	0.0% (1/2,225)	0.0% (0/2,184)	転倒転落件数（リスクレベル 3以上）/延べ通所者数
	③ひやりはっと発生率	0.0% (0/3,272)	0.0% (1/2,225)	0.0% (0/2,184)	ひやりはっと件数/ 延べ通所者数
	④特定行為従事者認定者率 （喀痰吸引）	—	—	0.0% (0/36)	特定行為認定者数/ 介護職員数
(3) 感染	①インフルエンザ罹患率（職員）	0.1% (2/3,272)	0.0% (0/84)	0.0% (0/84)	インフルエンザ罹患職員数/ 全職員数
	②新型コロナウイルス罹患率 （職員）	—	—	0.0% (0/84)	新型コロナウイルス罹患 職員数/全職員数
(4) 栄養	①栄養改善取組率	0.0% (0/569)	0.0% (0/396)	0.0% (0/380)	改善取組者数/実利用者数
	②口腔機能向上取組率	0.0% (0/569)	0.0% (0/396)	0.0% (0/380)	向上取組者数/実利用者数

## 介護Quality Indicator (ほのぼの通所介護)

区分	項目	2018	2019	2020	計算式
(1) 施設 全体	①通所介護利用率	93.3% (10,060/10,780)	84.0% (9,089/10,815)	77.5% (8,323/10,745)	月間利用延べ人数/ (通所定員×営業日数)
	②要支援者比率	16.2% (191/1,177)	20.6% (240/1,163)	23.7% (237/1,000)	要支援者数/ 月間利用実人数
	③要介護者比率	83.6% (984/1,177)	79.4% (923/1,163)	76.3% (763/1,000)	要介護者数/ 月間利用実人数
	④中重症者比率 (介護度3以上)	35.8% (352/984)	32.6% (301/923)	42.5% (324/763)	要介護度3・4・5の人数/ 月間要介護者数
	⑤認知症自立度Ⅲa以上の割合	15.5% (182/1,177)	15.0% (175/1,163)	18.7% (187/1,000)	認知症自立度Ⅲa以上の数/ 月間利用実人数
	⑥介護度改善率	13.4% (13/97)	12.6% (11/87)	2.6% (2/77)	認定改善者数/ 月間認定更新者数
	⑦介護福祉士率	62.7% (111/177)	68.8% (121/176)	78.6% (132/168)	介護福祉士数/ 全介護職員数
	⑧介護プロフェッショナルキャリア 段位(アセッサー含む)取得者率	—	—	7.7% (13/168)	キャリア段位認定者数/ 全介護職員数
(2) 安全・ 安心 対策	①通所者の転倒・転落発生率	0.1% (9/10,060)	0.1% (7/9,089)	0.1% (9/8,323)	転倒転落件数/延べ通所者数
	②通所者の事故発生による 損傷発生率(レベル3以上)	0.0% (4/10,060)	0.0% (2/9,089)	0.0% (0/8,323)	事故件数(リスクレベル3 以上)/月間利用延べ人数
	③ひやりはっと発生件数	0.3% (27/10,060)	0.1% (10/9,089)	0.3% (27/8,323)	ひやりはっと件数/ 延べ通所者数
(3) 感染	①インフルエンザ罹患率(職員)	0.0% (0/257)	0.8% (2/257)	0.0% (0/228)	インフルエンザ罹患患者数/ 通所職員数
	②新型コロナウイルス罹患率(職員)	—	—	0.0% (0/228)	新型コロナウイルス罹患患者数/ 通所職員数
(4) 栄養	①栄養改善取組率	11.2% (132/1,177)	7.1% (83/1,163)	5.4% (54/1,000)	改善取組者数/ 月間利用実人数
	②口腔機能向上取組率	6.9% (81/1,177)	8.2% (95/1,163)	9.4% (94/1,000)	向上取組者数/ 月間利用実人数

## 介護Quality Indicator (デイサービスセンターいこい通所介護)

区分	項目	2018	2019	2020	計算式
(1) 施設 全体	①通所介護利用率	69.3% (7,498/10,815)	75.5% (8,141/10,780)	76.7% (8,238/10,745)	月間利用延べ人数/ (通所定員×営業日数)
	②要支援者比率	20.7% (176/852)	24.3% (203/834)	28.7% (240/837)	要支援者数/ 月間利用実人数
	③要介護者比率	78.6% (670/852)	75.7% (631/834)	71.3% (597/837)	要介護者数/ 月間利用実人数
	④中重症者比率 (介護度3以上)	26.8% (179/669)	32.0% (202/631)	26.8% (160/597)	要介護度3・4・5の人数/ 月間要介護者数
	⑤認知症自立度Ⅲa以上の割合	14.4% (123/852)	19.5% (163/834)	22.8% (191/837)	認知症自立度Ⅲa以上の数/ 月間利用実人数
	⑥介護度改善率	6.7% (4/60)	21.9% (14/64)	5.6% (4/72)	認定改善者数/ 月間認定更新者数
	⑦介護福祉士率	65.4% (85/130)	66.7% (96/144)	62.5% (90/144)	介護福祉士数/ 全介護職員数
	⑧介護プロフェッショナルキャリア 段位 (アセッサー含む) 取得者率	—	—	0.0% (0/144)	キャリア段位認定者数/ 全介護職員数
(2) 安全・ 安心 対策	①通所者の転倒・転落発生率	0.0% (1/7,498)	0.0% (3/8,141)	0.0% (3/8,238)	転倒転落件数/延べ通所者数
	②通所者の事故発生による 損傷発生率 (レベル3以上)	0.0% (0/7,498)	0.0% (1/8,141)	0.0% (1/8,238)	事故件数 (リスクレベル3 以上) /月間利用延べ人数
	③ひやりはっと発生件数	0.1% (4/7,498)	0.1% (8/8,141)	0.0% (4/8,238)	ひやりはっと件数/ 延べ通所者数
(3) 感染	①インフルエンザ罹患率(職員)	1.3% (2/153)	0.0% (0/215)	0.0% (0/207)	インフルエンザ罹患患者数/ 通所職員数
	②新型コロナウイルス罹患率(職員)	—	—	0.0% (0/207)	新型コロナウイルス罹患患者数/ 通所職員数
(4) 栄養	①栄養改善取組率	0.0% (0/852)	0.0% (0/834)	0.0% (0/837)	改善取組者数/ 月間利用実人数
	②口腔機能向上取組率	8.5% (72/852)	15.6% (130/834)	6.8% (57/837)	向上取組者数/ 月間利用実人数



## 介護Quality Indicator（エレガントなぎの浦通所介護）

区分	項目	2018	2019	2020	計算式
(1) 施設 全体	①通所介護利用率	85.1% (9,847/11,565)	81.7% (9,495/11,620)	76.8% (8,903/11,595)	月間利用延べ人数/ (通所定員×営業日数)
	②要支援者比率	27.3% (353,1,293)	25.7% (319/1,240)	21.9% (268/1,226)	要支援者数/ 月間利用実人数
	③要介護者比率	72.7% (940/1,293)	74.7% (926/1,240)	73.7% (903/1,226)	要介護者数/ 月間利用実人数
	④中重症者比率 (介護度3以上)	15.1% (195/1,293)	18.7% (232/1,240)	25.1% (227/903)	要介護度3・4・5の人数/ 月間要介護者数
	⑤認知症自立度Ⅲa以上の割合	17.7% (229/1,293)	17.4% (216/1,240)	16.3% (200/1,226)	認知症自立度Ⅲa以上の数/ 月間利用実人数
	⑥介護度改善率	16.9% (14/83)	9.0% (8/89)	12.7% (7/55)	認定改善者数/ 月間認定更新者数
	⑦介護福祉士率	91.9% (123/135)	99.2% (132/133)	88.9% (96/108)	介護福祉士数/ 全介護職員数
	⑧介護プロフェッショナルキャリア 段位（アセッサー含む）取得者率	—	—	0.0% (0/108)	キャリア段位認定者数/ 全介護職員数
(2) 安全・ 安心 対策	①通所者の転倒・転落発生率	0.6% (55/9,847)	0.1% (6/9,495)	0.1% (5/8,903)	転倒転落件数/延べ通所者数
	②通所者の事故発生による 損傷発生率（レベル3以上）	0.0% (2/9,847)	0.0% (1/9,495)	0.0% (1/8,903)	事故件数（リスクレベル3 以上）/月間利用延べ人数
	③ひやりはっと発生件数	0.5% (45/9,847)	0.6% (59/9,495)	0.3% (27/8,903)	ひやりはっと件数/ 延べ通所者数
(3) 感染	①インフルエンザ罹患率(職員)	0.0% (0/172)	0.0% (0/191)	0.0% (0/181)	インフルエンザ罹患患者数/ 通所職員数
	②新型コロナウイルス罹患率(職員)	—	—	0.0% (0/181)	新型コロナウイルス罹患患者数/ 通所職員数
(4) 栄養	①栄養改善取組率	3.5% (45/1,293)	5.5% (68/1,240)	0.0% (0/1,226)	改善取組者数/ 月間利用実人数
	②口腔機能向上取組率	5.4% (70/1,293)	6.7% (83/1,240)	3.9% (48/1,226)	向上取組者数/ 月間利用実人数

## 介護Quality Indicator (もみの木苑通所介護)

区分	項目	2018	2019	2020	計算式
(1) 施設 全体	①通所介護利用率	85.4% (7,455/8,730)	86.7% (7,586/8,750)	75.6% (6,644/8,790)	月間利用延べ人数/ (通所定員×営業日数)
	②要支援者比率	9.7% (85/873)	9.2% (81/879)	11.7% (93/797)	要支援者数/ 月間利用実人数
	③要介護者比率	90.3% (788/873)	90.8% (798/879)	88.3% (704/794)	要介護者数/ 月間利用実人数
	④中重症者比率 (介護度3以上)	33.2% (262/788)	30.1% (240/798)	29.1% (205/704)	要介護度3・4・5の人数/ 月間要介護者数
	⑤認知症自立度Ⅲa以上の割合	31.3% (273/873)	28.9% (254/879)	19.7% (157/797)	認知症自立度Ⅲa以上の数/ 月間利用実人数
	⑥介護度改善率	10.0% (6/60)	13.0% (7/54)	18.8% (9/48)	認定改善者数/ 月間認定更新者数
	⑦介護福祉士率	78.4% (87/111)	75.7% (84/111)	70.0% (84/120)	介護福祉士数/ 全介護職員数
	⑧介護プロフェッショナルキャリア 段位(アセッサー含む)取得者率	—	—	10.0% (12/120)	キャリア段位認定者数/ 全介護職員数
(2) 安全・ 安心 対策	①通所者の転倒・転落発生率	0.8% (56/7,455)	0.7% (51/7,586)	0.1% (5/6,644)	転倒転落件数/延べ通所者数
	②通所者の事故発生による 損傷発生率(レベル3以上)	0.0% (0/7,455)	0.0% (0/7,586)	0.0% (1/6,644)	事故件数(リスクレベル3 以上)/月間利用延べ人数
	③ひやりはっと発生件数	0.7% (49/7,455)	0.6% (46/7,586)	0.6% (37/6,644)	ひやりはっと件数/ 延べ通所者数
(3) 感染	①インフルエンザ罹患率(職員)	2.6% (4/153)	0.0% (0/172)	0.0% (0/192)	インフルエンザ罹患患者数/ 通所職員数
	②新型コロナウイルス罹患率(職員)	—	—	0.0% (0/192)	新型コロナウイルス罹患患者数/ 通所職員数
(4) 栄養	①栄養改善取組率	0.0% (0/873)	0.0% (0/879)	7.7% (61/797)	改善取組者数/ 月間利用実人数
	②口腔機能向上取組率	0.0% (0/873)	0.0% (0/879)	0.0% (0/797)	向上取組者数/ 月間利用実人数

## 介護Quality Indicator (ふれあいの里通所介護)

区分	項目	2018	2019	2020	計算式
(1) 施設 全体	①通所介護利用率	78.9% (9,134/11,570)	86.8% (10,317/11,880)	77.5% (9,216/11,890)	月間利用延べ人数/ (通所定員×営業日数)
	②要支援者比率	16.6% (171/1,032)	17.3% (204/1,180)	18.4% (194/1,057)	要支援者数/ 月間利用実人数
	③要介護者比率	83.4% (861/1,032)	82.7% (976/1,180)	81.6% (863/1,057)	要介護者数/ 月間利用実人数
	④中重症者比率 (介護度3以上)	26.8% (231/861)	28.1% (273/973)	25.4% (219/863)	要介護度3・4・5の人数/ 月間要介護者数
	⑤認知症自立度Ⅲa以上の割合	23.0% (237/1,032)	18.2% (215/1,180)	14.4% (152/1,057)	認知症自立度Ⅲa以上の数/ 月間利用実人数
	⑥介護度改善率	9.2% (6/65)	10.3% (8/78)	10.5% (6/57)	認定改善者数/ 月間認定更新者数
	⑦介護福祉士率	80.7% (96/119)	78.8% (104/132)	47.6% (69/145)	介護福祉士数/ 全介護職員数
	⑧介護プロフェッショナルキャリア 段位(アセッサー含む)取得者率	—	—	0.0% (0/145)	キャリア段位認定者数/ 全介護職員数
(2) 安全・ 安心 対策	①通所者の転倒・転落発生率	0.8% (71/9,134)	1.2% (121/10,316)	0.2% (23/9,216)	転倒転落件数/延べ通所者数
	②通所者の事故発生による 損傷発生率(レベル3以上)	0.0% (3/9,134)	0.0% (2/10,316)	0.0% (4/9,216)	事故件数(リスクレベル3 以上)/月間利用延べ人数
	③ひやりはっと発生件数	0.6% (56/9,134)	0.9% (97/10,316)	0.7% (62/9,216)	ひやりはっと件数/ 延べ通所者数
(3) 感染	①インフルエンザ罹患率(職員)	1.1% (2/180)	0.0% (0/265)	0.0% (0/181)	インフルエンザ罹患患者数/ 通所職員数
	②新型コロナウイルス罹患率(職員)	—	—	0.0% (0/181)	新型コロナウイルス罹患患者数/ 通所職員数
(4) 栄養	①栄養改善取組率	0.0% (0/1,032)	0.0% (0/1,180)	0.0% (0/1,057)	改善取組者数/ 月間利用実人数
	②口腔機能向上取組率	9.0% (93/1,032)	13.1% (155/1,180)	3.7% (39/1,057)	向上取組者数/ 月間利用実人数

## 福祉Quality Indicator（青山彩光苑ライフサポートセンター）

区分	項目	2018	2019	2020	計算式
(1) 施設 全体	①重症者（支援区分5・6）割合率	96.4% (973/1,009)	95.0% (934/983)	92.1% (904/982)	支援区分5・6の人数/ 実利用者数
	②介護福祉士率	72.3% (413/571)	69.3% (379/547)	70.0% (408/583)	介護福祉士数/ 全介護職員数
	③特定行為従事者認定者率 （喀痰吸引）	41.7% (238/571)	44.8% (245/547)	51.8% (302/583)	特定行為認定者数/ 全介護職員数
(2) 安全 ・ 安心 対策	①入所者の転倒・転落発生率	0.2% (54/29,608)	0.2% (70/29,980)	0.2% (62/29,254)	転倒転落件数/延べ入所者数
	②入所者の事故発生による 損傷発生率（レベル3以上）	0.0% (0/29,608)	0.0% (3/29,980)	0.0% (1/29,254)	転倒転落件数（リスクレベル3 以上）/延べ入所者
	③褥瘡推定発生率	0.2% (2/1,009)	0.0% (0/983)	0.9% (9/982)	褥瘡保有者数/ 入所者数（月末）
(3) 感 染	①インフルエンザ罹患率（職員）	0.2% (2/804)	0.1% (1/720)	0.0% (0/754)	インフルエンザ罹患職員数/ 全職員数
	②新型コロナウイルス罹患率（職員）	—	—	0.0% (0/754)	新型コロナウイルス 罹患職員数/全職員数
(4) 栄 養	①経口維持 I 比率	3.6% (36/1,009)	3.7% (36/983)	4.5% (44/982)	経口維持 I 数/実利用者数
	②療養食比率	60.8% (613/1,009)	60.1% (591/983)	62.4% (613/982)	特食人数/実利用者数

## 福祉Quality Indicator（穴水ライフサポートセンター）

区分	項目	2018	2019	2020	計算式
(1) 施設 全体	①重症者（支援区分5・6）割合率	65.4% (400/612)	66.7% (408/612)	70.9% (433/611)	支援区分5・6の人数/ 実利用者数
	②介護福祉士率	70.2% (268/382)	62.6% (228/364)	58.5% (217/371)	介護福祉士数/ 全介護職員数
	③特定行為従事者認定者率 （喀痰吸引）	44.5% (170/382)	44.0% (160/364)	33.4% (124/371)	特定行為認定者数/ 全介護職員数
(2) 安全 ・ 安心 対策	①入所者の転倒・転落発生率	0.3% (60/18,075)	0.3% (58/18,088)	0.4% (73/18,202)	転倒転落件数/延べ入所者数
	②入所者の事故発生による 損傷発生率（レベル3以上）	0.0% (4/18,075)	0.0% (1/18,088)	0.0% (5/18,202)	転倒転落件数（リスクレベル3 以上）/延べ入所者
	③褥瘡推定発生率	0.3% (2/612)	3.9% (24/612)	3.4% (21/609)	褥瘡保有者数/ 入所者数（月末）
(3) 感 染	①インフルエンザ罹患率（職員）	0.9% (4/468)	0.8% (4/492)	0.0% (0/539)	インフルエンザ罹患職員数/ 全職員数
	②新型コロナウイルス罹患率（職員）	—	—	0.0% (0/539)	新型コロナウイルス 罹患職員数/全職員数
(4) 栄 養	①経口維持 I 比率	7.7% (47/612)	7% (43/612)	0.0% (0/612)	経口維持 I 数/実利用者数
	②療養食比率	40.8% (250/612)	39.9% (244/612)	38.0% (232/611)	特食人数/実利用者数

## 福祉Quality Indicator (精育園)

区分	項目	2018	2019	2020	計算式
(1) 施設 全体	①重症者(支援区分5・6)割合率	51.2% (768/1,499)	53.4% (793/1,486)	53.4% (794/1,486)	支援区分5・6の人数/ 実利用者数
	②介護福祉士率	36.4% (306/840)	48.4% (402/830)	58.9% (507/861)	介護福祉士数/ 全介護職員数
	③特定行為従事者認定者率 (喀痰吸引)	—	—	4.2% (36/861)	特定行為認定者数/ 全介護職員数
(2) 安全 ・ 安心 対策	①入所者の転倒・転落発生率	0.1% (44/42,851)	0.1% (30/43,893)	0.0% (21/44,195)	転倒転落件数/延べ入所者数
	②入所者の事故発生による 損傷発生率(レベル3以上)	0.0% (2/42,851)	0.0% (8/43,893)	0.0% (7/44,195)	転倒転落件数(リスクレベル3 以上)/延べ入所者
	③褥瘡推定発生率	0.0% (0/1,499)	0.0% (0/1,486)	0.0% (0/1,486)	褥瘡保有者数/ 入所者数(月末)
(3) 感染	①インフルエンザ罹患率(職員)	0.7% (8/1,172)	0.3% (3/1,200)	0.0% (0/993)	インフルエンザ罹患職員数/ 全職員数
	②新型コロナウイルス罹患率(職員)	—	—	0.0% (0/993)	新型コロナウイルス 罹患職員数/全職員数
(4) 栄養	①経口維持I比率	3.7% (55/1,499)	5.5% (81/1,486)	5.7% (84/1,486)	経口維持I数/実利用者数
	②療養食比率	23.6% (354/1,499)	26.1% (388/1,486)	26.9% (399/1,486)	特食人数/実利用者数



2020年9月11日 創立記念日オンラインイベント



第 5 章  
研究・業績



【理事長 神野 正博】

論文

- グレー・リノが暴れだした  
週刊 日本医事新報 No.5007:61,2020.
- 生産性向上は仕組みの改革  
週刊 日本医事新報 No.5011:34,2020.
- どこでもドアポストコロナの時代  
週刊 日本医事新報 No.5013:64,2020.
- ICT・AIを用いた医療の効率化  
全国済生会病院長会 会報誌:6-12,2020.
- 病院事業は「ライフ産業」医療外の支え方も追及してこそ  
新時代を迎えられる  
最新 医療経営Vol.432:18-21,2020.
- 微分の医療・積分の医療  
週刊 日本医事新報 No.5022:55,2020.
- 病院総合医への期待  
病院 Vol.79 No.8:585-589,2020.
- ソニーの車とトヨタの街  
週刊 日本医事新報 No.5026:57-58,2020.
- 地域医療を考える 地域のために病院はいかに変態すべきか-病院を中心とした街づくりに向かって-  
消化器 クリニカルアップデート Vol.2 No.1:148-152,2020.
- 2つの三密とイノベーション  
週刊 日本医事新報 No.5029:62-63,2020.
- Go To健診キャンペーンは三方よし  
週刊 日本医事新報 No.5033:57-58,2020.
- 鬼滅の刃と桃太郎  
週刊 日本医事新報 No.5038:56-57,2020.
- Withコロナの時代にイノベーションを加速せよ  
病院羅針盤 第11巻 No.179:17-22,2020.
- 大きな荷物を抱えて、大きな嵐からのレジリエンス  
週刊 日本医事新報 No.5044:60-61,2020.
- すずめDX！ オンライン診療のあり方を問う  
週刊 日本医事新報 No.5046:60-61,2020.
- 道草ドクター  
週刊 日本医事新報 No.5050:56-57,2021.
- 日本の医療の三つ巴  
週刊 日本医事新報 No.5056:76-77,2021.
- 看護師特定行為研修修了者をいかに活かすか  
週刊 医学のあゆみ Vol.276 No.13:1169-

1173,2021.

寄稿

- ガバナーエレクトご挨拶  
Governor's Monthly Letter 2020.7  
Vol.1:2,2020.
- この経験を活かして次のリスクに備えよ！  
「医療経営士」情報誌 理論と実践 No.37:16,2020.
- With-,after コロナの課題  
週刊 病院新聞 第2613号:2020.
- 新執行部からのご挨拶  
日本社会医療法人協議会ニュース 第22号:3,2020.

イベントレポート

- 超党派議連がコロナ禍で苦しい病院経営の状況を  
ヒアリング  
全日病ニュース No.968:1,2020.
- トヨタから学ぶ経営“イズム”医療経営士の奮起に期待  
「医療経営士」情報誌 理論と実践 No.38:24,2020.
- 第二次補正による病院への支援の主旨の徹底求める  
全日病ニュース No.969:4,2020.
- 三位一体の議論を着実に進めることを確認  
全日病ニュース No.970:1,2020.

インタビュー

- 今回の経験を活かして「次に備えよ」それが医療経営士の  
役割だ  
月刊 医療経営士 No.71:26-28,2020.
- 困ったことは先駆者に聞くべし  
経営者のための相談支援センター 魅力ある職場づくり  
Polar Vol.4:2020.
- データをどう解釈して、どこを掘り下げていかに気付く  
きっかけに  
病院経営レポート Vision Vol.2:2020.
- 医療、福祉、介護、保健サービスを同一IDで利用可能な  
システム構築。医療の質の向上や業務改善に効果  
RECRUIT DOCTOR'S CAREER 12月号:8-9,2020.
- 医療や介護の枠を超えて地域住民の生活にかかわる事業  
展開を図っていく  
月刊 医療経営士 No.78:16-18,2021.
- 未来は既に始まっている  
ななお会議所 1月号:7,2021.

## 対談・鼎談・座談会・シンポジウム

- 新型コロナと医療制度改革の行方（松田 晋哉 産業医科大学医学部公衆衛生学教室教授×村上 正泰 山形大学大学院医学系研究科医療政策学講座教授×神野 正博）  
月間 保険診療 Vol.75 No.10:8-19,2020.
- 今後の医療・看護・介護を考える（武田 俊彦 厚生労働省元医政局長・元制作参与×福井 トシ子 日本看護協会会長×猪熊 律子 読売新聞東京本社編集委員・コミュニティ誌編集委員×神野 正博）  
The Community No.165:12-61,2020.
- 2020年診療報酬改定が意味するもの（松本 吉郎 公益社団法人日本医師会常任理事×神野 正博）  
病院 Vol.79 No.12:883-888,896,2020.
- よい病院はどうあるべきか2021（松田 晋哉 産業医科大学医学部公衆衛生学教室教授×松原 由美 早稲田大学 人間科学学術院 准教授×今村 英仁 公益財団法人慈愛会 理事長×神野 正博）  
週刊 医学会新聞 第3408号:8,2021.

## 講演録

- 未来の病院をデザインする～病院での働き方改革を含めた病院の生き残り方を考える～（2019.7.13 講演）  
栃木県病院協会会報誌 第34号:16-40,2020.
- 病院における新型コロナの影響と今後の対策（2020.8.23 講演）  
医療マネジメントセミナー2020 Summer  
日経ヘルスケア No.372:89,2020.
- さまざまな社会情勢の変革に対応する病院経営の立て直しとは（2020.9.11 講演）  
日本経済新聞 日経健康セミナー21スペシャル～医療・介護マネジメント最前線 Vol.15～:30,2020.
- 新たな日常における長期的展望を考えた病院経営（2021.2.10-11 講演）  
日本経済新聞 日経健康セミナー21スペシャル～医療・介護マネジメント最前線 Vol.16～:30,2020.

## 【本部 本部長 進藤 浩美】

### 共著

- 進藤 浩美  
プラスチック製キーホルダー  
レクリエーション～活動と参加を促すレクリエーション～：  
三輪書店,東京都,374-375,2021.

## 【本部 情報管理課】

## インタビュー

- 小澤 竹夫  
患者、利用者の満足度向上を第一に考えた積極的なIT投資を実施  
WinMagic Secure Doc Case Study:1-2,2021.

## 【恵寿総合病院 病院長 鎌田 徹】

### 寄稿

- 新しい仲間 ①  
メディカルサロンななお 第78号:3,2020.

## 【恵寿総合病院 消化器外科】

### 論文

- 中山 啓、佐藤 就厚、高井 優輝、鎌田 徹、神野 正博  
待機的腹腔鏡手術が有効であった両側閉鎖孔ヘルニアの一例 日本ヘルニア学会誌 Vol.6 No.3:19-24,2020.
- 久野 貴宏 他  
線溶更新型優位なDICを認めたKasabach-Merritt症候群合併肝血管腫の1例  
日本臨床外科学会雑誌 82（3）：623-628,2021.

## 【恵寿総合病院 内科】

### 論文

- 山崎 雅英  
診断メモ 後天性血友病  
「内科」内科疾患の診断基準・病型分類・重症度  
Vol.127 No.4:934,2021.

## 【恵寿総合病院 産婦人科】

### 論文

- Katsuhiko Naruse, Daisuke Shigemi, Mikio Hashiguchi, Masatoshi Imamura, Hideo Yasunaga, Takanari Arai, for the Advanced Life Support in Obstetrics (ALSO)-Japan Research Group  
Placental abruption in each hypertensive disorders of pregnancy phenotype: a retrospective cohort study using a national inpatient database in Japan  
Hypertens Res. 2021 Feb;44(2):232-238. doi: 10.1038/s41440-020-00537-6. Epub 2020.
- 東 恭子、新井 隆成、高多 佑佳、尾山 量子、安田 豊、井上 大  
子宮動脈に加え片側の卵巣動脈塞栓術を要した胎盤

ポリープが疑われた1例

石川産科婦人科学会雑誌 第9号:5-10,2020.

- 尾山 量子、安田 豊、東 恭子、宮田 康一、高多 佑佳、新井 隆成  
大量出血を来したAB型RhD陰性異所性妊娠破裂の一例  
石川産科婦人科学会雑誌 第9号:11-15,2020.

#### 【恵寿総合病院 家庭医療科】

##### 論文

- 宮田 潤、二川 真子、伊達岡 要、吉岡 哲也  
介護老人保健施設の投薬コストに関する実態調査  
恵寿総合病院医学雑誌 Vol.9:1-5,2021.

##### 寄稿

- 吉岡 哲也  
総合診療専門研修 I 第5章研修方略  
「研修現場の設定」  
総合診療専門研修 公式テキストブック:日本専門医機構  
(総合診療専門医検討委員会 編) .  
日経BP,408,2020.
- 伊達岡 要、西村 真子、宮田 潤、他  
月経異常 鑑別! 1st impression電子版(第3版):  
メディックメディア.2020.

#### 【恵寿総合病院 泌尿器科】

##### 論文

- 川村 研二  
ERAS(R)と急性期期間の短縮 - DPCデータによる急性期期間の分析 -  
日本クリニカルパス学会誌 22(3):187-191,2020.
- 酒井 順、川村 研二  
恵寿総合病院における2019年度の尿路感染分離菌頻度と大腸菌の薬剤耐性について  
恵寿総合病院医学雑誌 Vol.9:6-11,2021.
- 山根 希望、酒井 順、川村 研二  
尿道狭窄に対するリアルタイム経直腸超音波を用いた尿道狭窄拡張術の経験  
恵寿総合病院医学雑誌 Vol.9:12-16,2021.
- 谷口 真裕美、川村 研二、他  
DPCデータを用いたERAS®前立腺全摘除術におけるバリエーション分析と急性期期間の判定  
恵寿総合病院医学雑誌 Vol.9:17-22,2021.
- 扇 菜美、川村 研二、他  
泌尿器科手術における術後回復力強化プロトコル  
(Enhanced Recovery After Surgery : ERAS®)

の評価 - アウトカム達成阻害因子について -

恵寿総合病院医学雑誌 Vol.9:23-28,2021.

辻口 美奈子、川村 研二、他

Dornier DeltaIII Far Sightを用いた上部尿管結石に対する腹側からの超音波焦点による

対外衝撃波結石破砕術

恵寿総合病院医学雑誌 Vol.9:29-33,2021.

- 永草 大輔、川村 研二、他  
低線量CTを用いた尿管結石診断のための最適パラメーターの検討  
恵寿総合病院医学雑誌 Vol.9:34-39,2021.
- 宮城 歩、川村 研二、他  
回復の質スコア (The Japanese version of the Quality of Recovery score : QoR-40J) を用いた術後回復強化プロトコル泌尿器手術の評価  
恵寿総合病院医学雑誌 Vol.9:40-45,2021.
- 春田 侑亮、川村 研二、他  
憩室穿刺ミノサイクリン注入により13年間縮小した女性尿道憩室  
恵寿総合病院医学雑誌 Vol.9:46-51,2021.

#### 【恵寿総合病院 看護部】

##### 論文

- 杉原 健太  
能登地区における腹膜透析 (PD) の拠点病院となるために  
全日本病院協会雑誌 第31巻1号:2020.
- 扇 菜美、川村 研二 他  
泌尿器科手術における術後回復力強化プロトコル (Enhanced Recovery After Surgery : ERAS®) の評価 - アウトカム達成阻害因子について -  
恵寿総合病院医学雑誌 Vol.9:23-28,2021.
- 宮城 歩、川村 研二 他  
回復の質スコア (The Japanese version of the Quality of Recovery score : QoR-40J) を用いた術後回復強化プロトコル泌尿器手術の評価  
恵寿総合病院医学雑誌 Vol.9:40-45,2021.

#### 【恵寿総合病院 事務部 森下 毅】

##### インタビュー

- データをどう解釈して、どこを掘り下げていかに気付くきっかけに 病院経営レポート Vision Vol.2:2020.

#### 【恵寿総合病院 医事課】

## 論文

- 谷口 真裕美  
DPCデータを用いたERAS®前立腺全摘除術における  
バリエーション分析と急性期期間の判定  
患寿総合病院医学雑誌 Vol.9:17-22,2021.

## 【患寿総合病院 放射線課】

### 論文

- 辻口 美奈子  
Dornier DeltaIII Far Sightを用いた上部尿管結石に  
対する腹側からの超音波焦点による  
対外衝撃波結石破碎術  
患寿総合病院医学雑誌 Vol.9:29-33,2021.
- 永草 大輔  
低線量CTを用いた尿管結石診断のための  
最適パラメーターの検討  
患寿総合病院医学雑誌 Vol.9:34-39,2021.

## 【患寿総合病院 理学療法課】

### 論文

- 水口 光  
在宅呼吸リハビリテーション介入を行った筋萎縮性側索硬  
化症の一例  
患寿総合病院医学雑誌 vol.9:52-55,2021.

## 【患寿総合病院 作業療法課】

### 論文

- 五十嵐 満哉  
高齢下肢切断者の回復期リハビリテーション病棟における作  
業療法士の役割～在宅復帰に向けた大腿切断事例より～  
石川県作業療法学会雑誌29:1-7,2020.
- 北谷 渉  
橋出血後の下オリーブ核仮性肥大により異常眼球運動を  
認めた事例への仕事再開に向けた取り組み  
石川県作業療法学会雑誌29:13-17,2020.
- 永井 亜希子  
強制把握のある利き手で食事摂取を可能とした1例  
-強制把握低減訓練と患者の意思を汲んだかわり  
月刊 作業療法ジャーナル55 (3) 313-317,  
2021.
- 白山 真由子、川上 直子  
針金ハンガーと毛糸を使用した「モップ」と「子犬」づくり  
レクリエーション～活動と参加を促すレクリエーション～:  
三輪書店,東京都,357-358,2021.

- 川上 直子  
おはな紙アート  
レクリエーション～活動と参加を促すレクリエーション～:  
三輪書店,東京都,361,2021.
- 宮田 真由美、川上 直子  
ネット手芸での作品づくりと姿勢保持補助具カバー  
レクリエーション～活動と参加を促すレクリエーション～:  
三輪書店,東京都,362-363,2021.

## 【患寿総合病院 言語療法課】

### 共著

- 能登谷 晶子  
リハビリナース 2020年秋季増刊 ナース・PT・OT・ST  
必携！ 高次脳機能障害ビジュアル大事典  
株式会社メディカ出版,大阪市,110-111,266,2020.

## 【患寿総合病院 臨床栄養課】

### 論文

- Aayano Nagano, Hidetaka Wakabayashi,  
Keisuke Maeda, Yoji Kokura, Shinjiro Miyazaki,  
Takashi Mori, Dai Fujiwara  
Respiratory Sarcopenia and Sarcopenic  
Respiratory Disability: Concepts, Diagnosis, and  
Treatment  
The journal of nutrition, health & aging 2021.
- Yoji Kokura, Wakabayashi Hidetaka, Nakahara  
Saori, Miyazaki Shinjiro, Nishioka Shinta  
Implementation of rehabilitation nutrition care  
process, evaluation of muscle mass and  
proposal of oral nutrition supplementation : A  
cross-sectional survey among health workers  
Journal of Japanese Association of  
Rehabilitation Nutrition 4 (2) :197-205,2020.
- Yoji Kokura, Chieko Suzuki, Hidetaka  
Wakabayashi, Keisuke Maeda, Kotomi Sakai,  
Ryo Momosaki  
Semi-Solid Nutrients for Prevention of Enteral  
Tube Feeding-Related Complications in  
Japanese Population: A Systematic Review and  
Meta-Analysis. Nutrients 12 (6) :2020.
- Yoji Kokura, Kazuhito Kimoto, Yoshie Okada,  
Shinichiro Kawakita  
The Controlling Nutritional Status score as a  
functional prognostic marker in patients with

acute stroke: A multicenter retrospective cohort study. Nutrition:79-80,110889-110889,2020.

#### 寄稿

- 小蔵 要司  
きめ細かな回復期リハビリのかかわりで  
Body mass indexが増加 回復期リハビリテーション 19  
(2) :2020.

#### 【恵寿金沢病院 内科】

##### 論文

- 水牧 祐希  
再生不良性貧血患者において高頻度に認めるHLAクラス  
I アレル exon1における機能喪失型変異  
臨床血液 Vol.62 No.4:270-277,2021.

#### 【恵寿金沢病院 理学療法課】

##### 論文

- 浅野 慶祐  
投球動作中の投球側肘関節の高さと胸郭角度の運動学的  
関連性-学童期野球選手における検討-  
日本臨床スポーツ医学会誌 Vol.29 No2:1-5,2021.

#### 【恵寿金沢病院 薬剤課】

##### イベントレポート

- 高倉 美穂  
がん治療委員会報告  
石川県病院薬剤師会会報No.176:32-33,2021.

#### 【介護老人保健施設 鶴友苑】

##### 寄稿

- 廣正 修一  
金沢大学医学部第一内科 同窓会誌:2020.
- 廣正 修一  
新しい仲間 ②  
メディカルサロンななお第78号:5,2020.

#### 【在宅複合施設 ほのぼの】

##### 論文

- 諏訪 勝志  
利用者・家族、多職種との信頼関係を高める  
コミュニケーション  
達人ケアマネ 2020 4・5月号:81-85,2020.

#### 【苑長 今寺 忠造】

#### 共著

- 「一致団結フライングキャッチ」「万歩計ゲーム」「フロアゴルフ」「身体障害者用生活体力測定」「格闘押しくらまんじゅう」「屋内ペタンク」  
レクリエーション〜活動と参加を促すレクリエーション〜:  
三輪書店,東京都,290,291,293-295,295-  
296,297-299,2021.

## 学会発表

### 【本部 本部長 進藤 浩美】

- 石川県協議会 介護職員の業務支援のための見守り・声かけロボット～操作が簡単、対象者選択不要、安価で普及を目指す～  
厚生労働省 介護ロボットのニーズ・シーズ連携協調協議会進捗管理発表  
2020.8.17,11.19,2021.1.19 オンライン

### 【恵寿総合病院 消化器外科】

- 藤原 優太 他  
当科における肝内胆管癌症例の検討  
第120回日本外科学会定期学術集会  
2020.8.13-15 オンライン
- 藤原 優太 他  
当院における食道胃管吻合の問題点とその対策  
第74回日本食道学会学術集会  
2020.12.10-11 徳島市

### 【恵寿総合病院 内科】

- 山崎 雅英、左近 みゆき、坂下 一美、大湯 静、櫻 栄一郎、竹中 和美、山口 拓也、谷内 正人  
自己血輸血適正化に向けて：自己血貯血・輸血パスの作成  
第68回日本輸血・細胞治療学会学術集会  
2020.5.28-30 紙上発表
- 山崎 雅英  
高齢者びまん性大細胞性B細胞性リンパ腫（DLBCL）の臨床的特徴  
第62回日本老年医学会学術集会  
2020.8.4-6 紙上発表
- 長岡 理沙、山崎 雅英、山村 健太、伊達岡 要  
当院における新型コロナウイルス（COVID-19）抗体検査実施の実態と陽性例の検討  
第242回日本内科学会北陸地方会  
2020.9.6 福井市
- 豊田 洋平、宮本 正治  
SGLT2阻害剤中止後、急速な腎機能低下が起こり慢性透析導入となったCDKの2症例  
第63回日本糖尿病学会年次集会  
2020.10.5 デジタルPoster
- 貫井 友貴

強力な前処置後の臍帯血移植後によっても肋骨に病変が残存した二次性急性赤白血病

第82回日本血液学会 学術集会  
2020.10.9-11 デジタルPoster

- 近川 由衣  
腫瘍病変と伴わないEBV陽性B細胞性リンパ腫による重症血球貪食性リンパ組織球症  
第82回日本血液学会 学術集会  
2020.10.9-11 デジタルPoster
- 村田 亜香里、岩淵 佑、山村 健太、加瀬 一政、笠原 寿郎  
気管支喘息の治療中に発症した再発性多発軟骨炎の1例  
第85回呼吸器合同北陸地方会  
2020.10.25 オンライン
- 山崎 雅英  
脊髄横断症状で発症したリンパ形質細胞性リンパ腫から形質転換したびまん性大細胞性B細胞性リンパ腫  
第67回日本臨床検査医学会 学術集会  
2020.11.19-21 デジタルPoster
- 山崎 雅英  
当院における新型コロナウイルス（COVID-19）抗体検査実施の実態と陽性例の検討  
第67回日本臨床検査医学会 学術集会  
2020.11.19-21 デジタルPoster
- 西村 健太、山村 健太、野村 俊一、村田 亜香里、阿部 健作、上田 善道、正木 康史、山崎 雅英  
関節リウマチの治療中に発症した、メトレキサート関連リンパ腫様肉芽腫症の1例  
第242回日本内科学会北陸地方会  
2021.3.7 オンライン

### 【恵寿総合病院 消化器内科】

- 神野 正隆  
当院における高齢者総胆管結石症患者の臨床的背景の検討  
第106回日本消化器病学会総会  
2020.8.11 広島市

### 【恵寿総合病院 循環器内科】

- 野口 昌寛、寺田 和始、宝達 明彦

特発性血小板減少性紫斑病の治療中に冠動脈血栓を認め、急性心筋梗塞の1例  
第140回日本循環器学会北陸地方会  
2021.1.24 オンライン

#### 【恵寿総合病院 整形外科】

- 森永 敏生、山本 大樹、下川 寛右  
低エネルギー外傷による高齢者頸椎骨折の検討  
第22回日本骨粗鬆症学会  
2020.10.9-11 オンライン

#### 【恵寿総合病院 産婦人科】

- 東 恭子、新井 隆成、尾山 量子、宮田 康一、高多 佑佳、安田 豊  
2次周産期施設における新生児搬送ゼロを目指した取り組み  
第72回 日本産科婦人科学会学術講演会  
2020.4.23-28 オンライン
- 酒井 順、高多 佑佳、安田 豊、宮田 康一、東 恭子、尾山 量子、新井 隆成  
子宮動脈塞栓術後に塞栓物質による有害事象が疑われた2症例:直腸潰瘍及び子宮壊死  
第72回 日本産科婦人科学会学術講演会  
2020.4.23-28 オンライン
- 酒井 順、川村 研二  
尿道結石陥頓に対するリアルタイム経直腸超音波下経尿道的碎石術の経験  
第70回日本泌尿器科学会中部総会・金沢  
2020.11.12 金沢市
- 酒井 順、川村 研二  
尿道結石陥頓に対するリアルタイム経直腸超音波下経尿道的碎石術の経験  
第34回日本泌尿器内視鏡学会総会・岡山  
2020.11.19 オンライン

#### 【恵寿総合病院 家庭医療科】

- 伊達岡 要、宮田 潤、二川 真子、吉岡 哲也  
卒前医学教育にOPPAシートを活用した活動報告  
第11回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会  
2020.7.23-8.31 オンライン

#### 【恵寿総合病院 泌尿器科】

- 川村 研二  
ERASと急性期期間の短縮 -DPCデータによる急性期期

間の分析-

第22回日本医療マネジメント学会学術総会・京都  
2020.10.6 オンライン

- 川村 研二  
恵寿総合病院・泌尿器科における手術の質の評価—手術併発症と手術関連死亡について—  
第22回日本医療マネジメント学会学術総会・京都  
2020.10.6 オンライン
- 川村 研二  
能登半島における泌尿器科外来患者の高齢化—多死社会から少死社会への推移—  
第22回日本医療マネジメント学会学術総会・京都  
2020.10.6 オンライン
- 川村 研二  
恵寿総合病院・泌尿器科における手術の質の評価—手術併発症と手術関連死亡について—  
第58回日本癌治療学会学術集会・京都  
2020.10.22 京都市
- 川村 研二  
基質特異性拡張型β-ラクタマーゼ (ESBL) 産生菌直腸スワブ陽性患者におけるcefmetazoleとamikacin sulfate併用投与による経直腸的前立腺生検の感染予防  
第58回日本癌治療学会学術集会・京都  
2020.10.23 京都市
- 川村 研二  
経直腸超音波ガイド下経尿道的手術の経験  
第70回日本泌尿器科学会中部総会・金沢  
2020.11.12 金沢市
- 長浦 智里、川村 研二  
恵寿総合病院・泌尿器科における手術の質の評価—手術併発症と手術関連死亡について—  
第70回日本泌尿器科学会中部総会・金沢  
2020.11.12 金沢市
- 扇 菜美、川村 研二  
泌尿器科手術におけるERAS®1000例の評価  
第70回日本泌尿器科学会中部総会・金沢  
2020.11.12 金沢市
- 窪 亜紀、川村 研二  
男性外来患者における基質特異性拡張型β-ラクタマーゼ (ESBL) 産生菌の直腸内長期間保菌について  
第70回日本泌尿器科学会中部総会・金沢  
2020.11.12 金沢市
- 谷口 真裕美、川村 研二

- DPCデータを用いた前立腺全摘除術における  
バリエーション分析  
第70回日本泌尿器科学会中部総会・金沢  
2020.11.12 金沢市
- 田中 瑞栄、川村 研二  
多死社会における泌尿器科患者の高齢化  
第70回日本泌尿器科学会中部総会・金沢  
2020.11.12 金沢市
  - 室宮 智彦、川村 研二  
経尿道的膀胱腫瘍切除術の周術期感染予防  
－抗菌薬無投与の妥当性－  
第70回日本泌尿器科学会中部総会・金沢  
2020.11.12 金沢市
  - 辻口 美奈子、川村 研二  
Dornier DeltaIIIを用いた上部尿管結石に対する腹側  
からの超音波焦点によるESWL  
第70回日本泌尿器科学会中部総会・金沢  
2020.11.12 金沢市
  - 永草 大輔、川村 研二  
CTによる尿管結石評価における最適プロトコルの検討  
第70回日本泌尿器科学会中部総会・金沢  
2020.11.12 金沢市
  - 酒井 順、川村 研二  
尿道結石陥頓に対するリアルタイム経直腸超音波下経尿  
道的碎石術の経験  
第70回日本泌尿器科学会中部総会・金沢  
2020.11.12 金沢市
  - 奥村 みず穂、川村 研二  
MRIのinchworm signが筋層非浸潤膀胱癌の診断に  
有用であった巨大膀胱腫瘍の1例  
第70回日本泌尿器科学会中部総会・金沢  
2020.11.12 金沢市
  - 堀井 雄之介、川村 研二  
ペムプロシズマブ投与により長期に完全寛解が維持できた  
転移性腎盂・尿管癌の1例  
第70回日本泌尿器科学会中部総会・金沢  
2020.11.12 金沢市
  - 川村 研二  
リアルタイム経直腸超音波を用いた経尿道的膀胱タンポ  
ナーゼ除去術の経験  
第34回日本泌尿器内視鏡学会総会・岡山  
2020.11.19 オンライン
  - 酒井 順、川村 研二  
尿道結石陥頓に対するリアルタイム経直腸超音波下経尿  
道的碎石術の経験  
第34回日本泌尿器内視鏡学会総会・岡山  
2020.11.19 オンライン
  - 辻口 美奈子、川村 研二  
Dornier DeltaIIIを用いた上部尿管結石に対する腹側  
からの超音波焦点によるESWL  
第34回日本泌尿器内視鏡学会総会・岡山  
2020.11.19 オンライン
  - 扇 菜美、川村 研二  
泌尿器科手術におけるERAS 1000例の評価  
第34回日本泌尿器内視鏡学会総会・岡山  
2020.11.19 オンライン
  - 永草 大輔、川村 研二  
CTによる尿管結石評価における最適プロトコルの検討  
第34回日本泌尿器内視鏡学会総会・岡山  
2020.11.19 オンライン
  - 川村 研二  
Dornier DeltaIII Far Sightを用いた超音波焦点による  
上部尿管結石の治療  
第70回日本泌尿器科学会総会・神戸  
2020.12.23 神戸市
  - 川村 研二  
ERASと急性期期間の短縮－DPCデータによる急性期期  
間の分析－  
第70回日本泌尿器科学会総会・神戸  
2020.12.23 オンライン
  - 川村 研二  
Real-time transrectal ultrasound guided  
transurethral lithotripsy for impacted urethral  
stones.  
第33回日本内視鏡外科学会総会  
2021.3.11 横浜市
- 【恵寿総合病院 リハビリテーション科】**
- 川北 慎一郎  
摂食・嚥下に影響する薬剤  
第11回能登摂食嚥下栄養研究会  
2020.7.29 七尾市
  - 川北 慎一郎  
当院地域包括ケア病棟のリハビリ実態  
第48回日本リハビリテーション医学会 北陸地方会  
2020.8.29 金沢市
  - 川北 慎一郎  
ボツリヌス治療と地域連携



第7回日本ポツリヌス治療学会

2020.9.19 東京都

- 川北 慎一郎  
認知症と自動車運転  
認知症診療を考える会 2020.9.25 七尾市
- 川北 慎一郎  
フレイルと脳卒中  
脳卒中フォーラム  
2020.10.3 七尾市
- 川北 慎一郎  
ポツリヌス手帳と地域連携  
脳卒中フォーラム  
2020.10.3 七尾市
- 川北 慎一郎  
ポツリヌス注射投与量の再考について  
ポツリヌス治療の進歩  
2020.10.23 富山市
- 川北 慎一郎  
2019年度能登エリア脳卒中連携バス現況報告  
第15回日本海脳卒中医療連携セミナー  
2020.11.14 オンライン
- 川北 慎一郎  
認知症と自動車運転  
第39回日本認知症学会  
2020.11.29 名古屋市
- 川北 慎一郎  
上下肢へのポツリヌス治療の進化  
北陸脳卒中リハビリセミナーin石川  
2021.3.11 金沢市

#### 【恵寿総合病院 健康管理部】

- 上野 恭一、泉谷 麻子、室塚 秋子、西谷 雅樹、  
宮澤 雅樹、瀧崎 宇一郎、宮森 弘年  
人間ドックで発見した悪性腫瘍の2例  
第61回日本人間ドック学会学術大会  
2020.11.26-27 オンライン

#### 【恵寿総合病院 看護部】

- 大野木 結菜  
双胎妊娠への効果的な授乳方法指導  
～妊娠期からの関わりを通して～  
第61回 日本母性衛生学会総会 学術集会  
2020.10.9-10 浜松市
- 吉野 杏奈

自然分娩と無痛分娩の狭間で揺れ動く産婦への関わり

第61回 日本母性衛生学会総会 学術集会

2020.10.9-10 浜松市

- 扇 菜美、川村 研二、尾崎 香奈、濱 春香、万行 文子  
宮城 歩、堀内 礼子  
泌尿器科手術におけるERAS1000例の評価  
第70回日本泌尿器科学会中部総会  
2020.11.2 金沢市
- 矢田 世莉果  
患者が描く帝王切開とは  
～バースプランを取り入れた術中看護～  
第34回日本手術看護学会年次大会  
2020.11.6-7 金沢市

#### 【恵寿総合病院 医事課】

- 谷口 真裕美  
DPCデータを用いた前立腺摘除術におけるバリエーション分析  
第70回日本泌尿器科学会中部総会  
2020.11.12-14 金沢市

#### 【恵寿総合病院 医療秘書課】

- 田中 瑞栄  
多死社会における泌尿器科患者の高齢化  
第70回日本泌尿器科学会中部総会・金沢  
2020.11.12 金沢市
- 長浦 智里  
恵寿総合病院・泌尿器科における手術の質の評価ー手術併発症と手術関連死亡についてー  
第70回日本泌尿器科学会中部総会・金沢  
2020.11.12 金沢市

#### 【恵寿総合病院 放射線課】

- 辻口 美奈子  
Dornier DeltaIIIを用いた上部尿管結石に対する腹側からの超音波焦点によるESWL  
第70回日本泌尿器科学会中部総会・金沢  
2020.11.12 金沢市
- 永草 大輔  
CTによる尿管結石評価における最適プロトコルの検討  
第70回日本泌尿器科学会中部総会・金沢  
2020.11.12 金沢市
- 奥村 みず穂  
MRIのinchworm signが筋層非浸潤膀胱癌の診断に有用であった巨大膀胱腫瘍の1例

第70回日本泌尿器科学会中部総会・金沢

2020.11.12 金沢市

- 辻口 美奈子

Dornier DeltaIIIを用いた上部尿管結石に対する腹側からの超音波焦点によるESWL

第34回日本泌尿器内視鏡学会総会・岡山

2020.11.19 オンライン

- 永草 大輔

CTによる尿管結石評価における最適プロトコルの検討

第34回日本泌尿器内視鏡学会総会・岡山

2020.11.19 オンライン

#### 【恵寿総合病院 理学療法課】

- 藤井 亮嗣

重度の右片麻痺、失語症を呈した血栓性脳梗塞の1例

第4回能登脳卒中地域連携症例検討会

2020.12.9 七尾市

- 東野 優香

回復期リハビリテーション病棟入院中患者に対してボツリヌス療法と理学療法を併用し、歩容改善した一症例

第29回石川県理学療法学会

2021.2.28 オンライン

- 谷口 佳久

消化器外科手術患者における術前リハビリテーション介入の効果について

第29回石川県理学療法学会

2021.2.28 オンライン

- 土肥 徹也

大腿骨頸部骨折を呈した患者に対する当院での骨粗鬆症リエゾンサービスの関わり

第29回石川県理学療法学会

2021.2.28 オンライン

- 松江 慧汰

サージカルマスクとフェイスシールドでの運動時バイタルサインと呼吸に及ぼす影響

第29回石川県理学療法学会

2021.2.28 オンライン

- 土山 葵衣

大腿骨近位部骨折患者が独居で自宅復帰するために必要な要因について

第29回石川県理学療法学会

2021.2.28 オンライン

- 今中 瑛理伽

慢性閉塞性肺疾患患者の再入院の有無に関わる

因子の検討

第29回石川県理学療法学会

2021.2.28 オンライン

- 金谷 一輝

回復期リハビリテーション病棟における運動器疾患患者のアウトカム分析～骨折箇所別での比較～

第29回石川県理学療法学会

2021.2.28 オンライン

- 澤村 謙伸

運動習慣と透析効率の関連性について

第29回石川県理学療法学会

2021.2.28 オンライン

#### 【恵寿総合病院 作業療法課】

- 北谷 渉

橋出血後に長期的な異常眼球運動の増悪を認めた事例への仕事再開に向けた介入

第54回日本作業療法学会

2020.10.25-11.25 オンライン

- 藤井 遥

バリエーション症候群を呈した事例に対する食事動作への急性期作業療法介入

第54回日本作業療法学会

2020.10.25-11.25 オンライン

#### 【恵寿総合病院 言語療法課】

- 金城 総

失語により意思疎通に難渋した症例の緩和ケア研究会

2020.11.28 七尾市

- 荒尾 祐希、諏訪 美幸、木村 聖子、真田 はるか

右側頭葉脳梗塞により失語を呈した矯正右利き患者の一例

北陸言語障害研究会

2020.12.12 金沢市

- 真田 はるか、木村 聖子

人工内耳を装着した重度難聴児の一例

石川県言語聴覚士会

2021.2.24 オンライン

#### 【恵寿総合病院 薬剤課】

- 室宮 智彦

経尿道的膀胱腫瘍切除術の周術期感染予防

－抗菌薬無投与の妥当性－

第70回日本泌尿器科学会中部総会

2020.11.12 金沢市

- 堀井 雄之介  
ペムプロリズム投与により長期に完全寛解が維持できた  
転移性腎盂・尿管癌の1例  
第70回日本泌尿器科学会中部総会  
2020.11.12 金沢市

#### 【恵寿総合病院 臨床栄養課】

- 小蔵 要司  
サーベイランス調査からみるリハ栄養の過去  
第10回日本リハビリテーション栄養学会学術集会  
2020.12.12 オンライン
- 小蔵 要司  
Participating in international conferences and  
writing English papers contribute to improving  
the level of registered dietitians and  
establishing new nutrition management  
methods  
1st congress of the International Association of  
Rehabilitation Nutritio  
2020.12.12 オンライン

#### 【恵寿総合病院 臨床検査課】

- 窪 亜紀  
男性外来患者における基質特異性拡張型β-ラクタマーゼ  
(ESBL)産生菌の直腸内長期間保菌について  
第70回日本泌尿器科学会中部総会  
2020.11.12 金沢市
- 竹内 由紀子  
当院における外来採血業務の新たな取り組み  
－採血情報の作成－  
第46回石川県医学検査学会  
2021.3.21 オンライン
- 井下 侑一郎  
HE染色退色における代替エキシレンの影響についての  
検討  
第46回石川県医学検査学会  
2021.3.21 オンライン
- 北野 可那子  
PSA高値男性外来通院患者におけるESBL酸性菌の直  
腸内保有期間について  
第46回石川県医学検査学会  
2021.3.21 オンライン

#### 【恵寿金沢病院 理学療法課】

- 浅野 慶祐、東 利紀、本間 文子、大井 貴文、  
佐々木 賢太郎、中瀬 順  
投球動作中の肘関節の高さと前額面上の角度の関連性  
-学童期野球選手と高校生野球選手における検討-  
第31回日本臨床スポーツ医学会学術集会  
2020.11.4-30 オンライン

#### 【介護老人保健施設 鶴友苑】

- 上坂 清恵  
「ダンスケア」で効率化！  
～IT化で業務改善と手書き書類の整理～  
第16回東海・北陸ブロック老健大会岐阜  
2020.7.29-30 抄録発表

#### 【介護医療院 恵寿鳩ヶ丘】

- 大崎 志帆  
介護医療院の中での役割作り～本人の得意を生かして～  
第21回日本認知症ケア学会 紙上発表

## 講師・座長・パネリスト等

### 【理事長 神野 正博】

- ポストコロナを見据えた病院が健康経営に取り組み価値と意義（講師）  
九州健康長寿・地域共生病院フォーラム  
2020.5.9 オンライン
- 病院における新型コロナの影響と今後の対策（講師）  
医療マネジメントセミナー2020 Summer  
2020.8.23 東京都
- COVID-19がもたらした病院経営へのインパクト 日本の医療はどう進んでいくか？（講師）  
第1回病院経営Live  
2020.8.27 オンライン
- With & Afterコロナ時代を迎え 持続可能な医療経営基盤強化と高度な地域貢献実践への処方箋  
～HealthcareのIntegration/Innovation/  
Inspiration～（講師）  
日本計画研究所 エグゼクティブセミナー  
2020.8.29 東京都
- 立て直す病院経営、診療報酬改定からみる2040年の展望とは（講師）  
日経 スペシャル健康セミナー21 医療・介護マネジメント最前線 Vol.15  
2020.9.11 オンライン
- With/after- コロナ時代の病院経営（講師）  
エルゼビア・ジャパン 病院経営者のための医療の質向上と経営改善ウェブセミナー  
2020.10.23 オンライン
- With/afterコロナ時代における三位一体改革に備える病院経営を考える（座長）  
第3回 中外製薬・医療Webフォーラム  
2020.10.30 オンライン
- Withコロナ時代における今後の病院・医療のあり方（講師）  
全日本病院協会・日本医療法人協会 共催セミナー  
2020.11.12 東京都
- with/after コロナ時代の医療提供体制を考える（講師）  
第25回和歌山県病院協会学術大会／第18回和歌山県病院大会  
2020.11.15 和歌山市
- With-, After コロナ時代の地域をデザインする（講師）

七尾市倫理法人会モーニングセミナー

2020.11.16 七尾市

- With/after コロナにおける医療提供体制の課題（講師）  
第18回地域医療福祉情報連携フォーラム  
「第2世代の地域医療連携」  
2020.11.30 オンライン
- With/Post/Next コロナ時代の病院経営（講師）  
『病院』セミナー 難局を乗り越える中小病院の経営戦略  
2020.12.13 東京都
- 新たな日常における長期的展望を考えた病院経営（講師）  
日経 スペシャル健康セミナー21 医療・介護マネジメント最前線 Vol.16  
2021.2.10-11 オンライン
- 激変した医療環境「これからの医療経営」を考える（講師）  
大塚製薬e講演会  
2021.3.17 オンライン

### 【本部 常務理事 神野 厚美】

- 地域の医療・観光を活用した外国人受け入れのための調査・展開事業（講師）  
厚生労働省・観光庁 2021.3.23 オンライン

### 【本部 本部長 進藤 浩美】

- 新しい生活様式に対応した介護予防の取り組み紹介～けいじゅ一本杉での取り組み～（講師）  
石川県・PT・OT・ST連絡会 第1回研修会  
PT・OT・ST向け  
2020.8.26 オンライン
- 新しい生活様式に対応した介護予防の取り組み紹介～けいじゅ一本杉での取り組み～（講師）  
石川県・PT・OT・ST連絡会 第1回研修会  
市町担当者向け  
2020.9.7 オンライン
- 職業倫理（講師）  
石川県作業療法士会 現職者研修会  
2020.11.15 オンライン
- 新しい生活様式に対応した介護予防の取り組み紹介～石川県作業療法士会での実態と暮らしのひと工夫チラシ

の紹介～（座長）

石川県・PT・OT・ST連絡会 第3回研修会

PT・OT・ST向け

2021.2.18 オンライン

- 市町村に関わるリハビリテーション専門職に期待すること  
～市町の立場から～（座長）

石川県・PT・OT・ST連絡会 地域包括ケア研修会

2021.3.7 オンライン

#### 【本部 情報管理課】

- 小澤 竹夫  
VDIを活用した施設外からの病院情報システムアクセス事例の紹介（講師）  
Dell Technologies ヘルスケアセミナー【病院ITのニューノーマルを考える】  
2020.8.28 オンライン
- 小澤 竹夫  
VDIを活用した施設外からの病院情報システムアクセス事例の報告（講師）  
第6回 四国医療情報技師会勉強会  
テーマ：テレワークによる働き方改革  
2020.10.11 オンライン

#### 【恵寿総合病院 病院長 鎌田 徹】

- HER2陽性乳癌周術期治療 一切（手術）も親切、  
切らぬ（NAC）も親切ー（座長）  
能登乳がんセミナー 2020.11.4 オンライン
- よくわかる転移再発乳癌治療のポイント（座長）  
乳がん診療を考える会 in 能登  
2021.02.24 オンライン

#### 【恵寿総合病院 消化器内科】

- 守護 晴彦  
肝臓を生き生きと もうこわくないB型とC型（講師）  
令和2年度肝炎ウイルス感染者等支援事業  
2020.11.13 輪島市
- 守護 晴彦  
肝臓をいきいきと もうこわくないB型とC型（講師）  
令和2年度肝炎ウイルス感染者等支援事業  
2021.1.13 七尾市

#### 【恵寿総合病院 循環器内科】

- 宝達 明彦  
高齢者に対する新しいカテーテル治療と薬（座長）

Cardiovascular Expert Meeting in Nanao

2021.2.10 オンライン

#### 【恵寿総合病院 整形外科】

- 森永 敏生  
当院手術センターにおける新型コロナウイルス対策  
（ディスカッサント）  
整形外科疾患を考える会 2021.2.26 オンライン

#### 【恵寿総合病院 産婦人科】

- 新井 隆成  
帝王切開癒痕部症候群の予防～縫合部の良好な癒痕形成を目指す試み～（講師）  
第72回 日本産科婦人科学会学術講演会  
2020.4.23-28 オンライン
- 新井 隆成  
“pay it forward”が未来のお産を安全に守る  
（シンポジスト）  
第6回ALSO-Japan学術集会  
シンポジウム『ALSOの継承』  
2020.5.16-10.31 オンライン
- 新井 隆成  
ALSOプロバイダーコース 旭川医科大学（講師）  
2020.9.20-21 オンライン
- 新井 隆成  
BLSOプロバイダーコース前橋赤十字病院（講師）  
2020.11.7-8 オンライン
- 新井 隆成  
遂にコロナクラスターが発生！さあ能登のお産をどうやって守  
つたらいいのか？（座長）  
第3回能登母子保健・医療連携ネットワーク研究会  
2021.3.4 オンライン
- 新井 隆成  
ALSOプロバイダーコース 成育医療センターwebセミナー  
（講師）  
2021.3.13 オンライン

#### 【恵寿総合病院 家庭医療科】

- 宮田 潤 他  
ヘルスリテラシー入門 ～患者さんの「健康を決める力」を高  
めるために～（講師）  
第32回学生・研修医のための家庭医療学夏期セミナー  
2020.8.9-10 オンライン
- 伊達岡 要

- 「日常外来での女性診療について」(講師)  
家庭医療学ポートフォリオ指導  
組合立 諏訪中央病院 家庭医療学研修会  
2020.11.8 オンライン
- 吉岡 哲也  
新型コロナウイルスとインフルエンザを学ぼう(講師)  
今、私たちが知りたい病気のこと  
2020.11.17 七尾市
  - 吉岡 哲也  
第9回日本プライマリ・ケア連合学会  
中部ブロック支部学術集会(大会長)  
2020.11.29 オンライン
  - 宮田 潤 他  
ヘルスリテラシー入門  
～患者さんの「健康を決める力」を高めるために～  
(講師)  
第16回若手医師のための家庭医療学冬期セミナー  
2021.2.6-7 オンライン
  - 宮田 潤 他  
根拠に基づくヘルスマネジメント ～患者さんや一般市民の  
健康を守るために～(講師)  
第16回若手医師のための家庭医療学冬期セミナー  
2021.2.6-3.31 オンライン

#### 【恵寿総合病院 泌尿器科】

- 川村 研二  
HoLEP 失禁のない核出術を実現しよう 体積80cc以上の  
前立腺肥大症に対する経直腸超音波下経尿道的前立  
腺核出術(シンポジスト)  
第34回日本泌尿器内視鏡学会総会・岡山  
2020.11.19 オンライン

#### 【恵寿総合病院 リハビリテーション科】

- 川北 慎一郎  
脳卒中片麻痺患者の上肢機能  
第57回日本リハビリテーション医学会(座長)  
2020.8.21 京都市
- 川北 慎一郎  
脳卒中とてんかん  
脳卒中WEB講演会(座長)  
2020.9.9 七尾市
- 川北 慎一郎  
DLBの補助診断と睡眠障害  
認知症と睡眠セミナー(座長)

- 2020.9.17 金沢市
- 川北 慎一郎  
認知症診断治療  
認知症診療を考える会(座長)  
2020.9.25 七尾市
  - 川北 慎一郎  
コロナ感染と救急医療  
七尾市救急医療研修会(座長)  
2021.1.27 七尾市
  - 川北 慎一郎  
病理からみたPDと認知症の関係  
認知症とPDを考える会(座長)  
2021.3.16 七尾市

#### 【恵寿総合病院 看護部】

- 船山 真理子  
病態疾病論(呼吸機能障害看護)(講師)  
石川県立田鶴浜高等学校 衛生看護専攻科  
2020.5 七尾市
- 高柳 由香里  
老年看護学Ⅱ(認知症看護)(講師)  
石川県立田鶴浜高等学校 衛生看護専攻科  
2020.9 七尾市
- 黒氏 美紀  
がん性疼痛にどう対応するか(講師)  
地域医療支援病院研修会  
2020.10.22 七尾市
- 戸田 秀之  
成人看護学Ⅱ(血液・造血管看護)(講師)  
石川県立田鶴浜高等学校 衛生看護専攻科  
2020.11 七尾市
- 山田 志都子  
成人看護学Ⅱ(血液・造血管看護)(講師)  
石川県立田鶴浜高等学校 衛生看護専攻科  
2020.12 七尾市
- 川江 辰徳  
脳卒中の予防と前兆をとらえる(講師)  
地域医療支援病院研修会  
2021.1.29 七尾市
- 山田 志都子  
がん化学療法を受けている方のケア(講師)  
地域医療支援病院研修会  
2021.2.12 七尾市
- 大根 光彩

- Zoom Meetingsによるオンライン講話（講師）  
2021.3.4 七尾市
- 山本 美保  
急性期NPPV における看護、意思疎通、せん妄対策とは  
（シンポジスト）  
第30回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会  
2021.3.19 京都府
- 半浦 聖香  
I型DMについて学ぼう（講師）  
2021.3.26 七尾市

#### 【恵寿総合病院 事務長 森下 毅】

- 当院におけるRPAの使用経験（講師）  
全日本病院協会 WEBセミナー第5弾  
「RPA（RoboticProcess Automation/ロボティック・プロセス・オートメーション）の医療機関への導入」  
2021.3.9 オンライン

#### 【恵寿総合病院 理学療法課】

- 松本 康嗣  
専門職・探求課題ガイダンス（講師）  
石川県立鹿西高等学校  
2020.7.14 中能登町
- 松本 康嗣  
総合的な探求の時間（講師）  
石川県立鹿西高等学校  
2020.7.31 オンライン
- 松本 康嗣  
社会人と語る会（講師）  
石川県立鹿西高等学校  
2020.10.19 中能登町
- 久保 佳子  
健康福祉科「リハビリテーションと介護」（講師）  
石川県立田鶴浜高等学校  
2020.11.2,11.9-10 七尾市
- 桶 拓貴  
中能登町百歳体操（講師）  
2020.12.7 中能登町
- 田中 秀明  
在宅リハビリテーション検討会（ファシリテーター）  
石川県リハビリテーションセンター  
2020.12.19 オンライン
- 室野 翔太  
中能登町百歳体操支援（講師）

- 2020.12.21 中能登町
- 田中 秀明  
石川県理学療法士会 新人教育プログラム  
「一次救命処置」（講師）  
石川県理学療法士会  
2021.1.24 オンライン
- 田中 秀明  
石川県臨床実習指導者講習会（ファシリテーター）  
石川県理学療法教育協議会、  
石川県作業療法教育協議会  
2021.3.6-7 オンライン

#### 【恵寿総合病院 作業療法課】

- 川上 直子  
老年期障害のトピックス（講師）  
石川県作業療法士会現職者選択研修会・老年期障害  
2020.10.4 オンライン
- 高間 達也  
恵寿総合病院での取り組み（講師）  
自動車運転支援 ～県内5施設の移動支援の紹介と、  
情報交換会  
2021.2.19 オンライン
- 北谷 涉  
中能登町で在宅療養生活を送るご夫婦への支援者として  
各職種の役割と支援内容について（講師）  
令和2年度中能登町在宅医療介護連携推進事業  
多職種研修会  
2021.2.27 オンライン

#### 【恵寿総合病院 言語療法課】

- 諏訪 美幸  
コミュニケーション支援実習Ⅰ（講師）  
令和2年度石川県 失語症者向け意思疎通支援者  
養成講習会  
2020.11.8,12.13 金沢市
- 木村 聖子  
治療論 言語療法（講師）  
七尾看護専門学校  
2020.11.17,2020.12.1 七尾市
- 木村 聖子  
介護福祉基礎（講師）  
石川県立田鶴浜高等学校健康福祉科  
2020.12.8,16 七尾市
- 木村 聖子

- 思春期以降の難聴者の心の発達と親の心構え（講師）  
難聴と共に歩む親子の会金沢方式研究会研修会  
2021.2.27 オンライン
- 真田 はるか  
思春期以降の難聴者の心の発達と親の心構え（講師）  
難聴と共に歩む親子の会金沢方式研究会研修会  
2021.3.20 オンライン

**【恵寿総合病院 リハビリテーション教育研修センター】**

- 井舟 正秀  
リハビリテーション看護（理学療法関係）（講師）  
七尾看護専門学校  
2020.10.20,27 七尾市

**【恵寿総合病院 臨床栄養課】**

- 小蔵 要司  
回復期リハビリテーション病棟における栄養管理（講師）  
回復期リハビリテーション病棟協会専従医師研修会  
2020.9 オンライン
- 小蔵 要司  
リハ栄養症例検討会（講師）  
令和2年度石川県高度・専門医療人材養成支援事業  
研修会  
2021.3.29 オンライン

**【恵寿総合病院 臨床検査課】**

- 尾田 真一  
講義（講師）  
七尾看護専門学校  
2021.1.12,19,26,2.2 七尾市
- 橋 ひとみ  
講義（講師）  
七尾看護専門学校  
2021.2.9,16,3.2 七尾市
- 木戸 薫  
生理機能（座長）  
第46回石川県医学検査学会  
2021.3.21 オンライン

**【恵寿総合病院 感染制御課】**

- 谷田部 美千代  
施設における感染症予防対策 ～クラスター発生を防止するための万全態勢を整える～（講師）  
石川県能登中部保健福祉センター

令和2年度 感染症予防研修会

2020.8.11 七尾市

- 谷田部 美千代  
高齢者施設における感染防止対策について ～手指衛生と个人防护具～（講師）  
公益社団法人石川県看護協会  
高齢者施設等における感染防止対策事業  
2020.10.8 七尾市

**【恵寿金沢病院 理学療法課】**

- 浅野 慶祐  
現場における理学療法士の役割（講師）  
金城大学キャリア開発講座  
2021.2.24 オンライン

**【恵寿金沢病院 看護部】**

- 井上 直美  
高齢者施設における感染防止対策事業（講師）  
2020.10.5 金沢市

**【介護老人保健施設 鶴友苑】**

- 廣正 修一  
不眠症治療のパラダイムシフト（講師）  
2020.4.26 金沢市
- 廣正 修一  
慢性心不全と神経体液性因子（講師）  
2021.1.14 七尾市

**【介護老人保健施設 和光苑】**

- 福井 朱美  
加賀支部MTDLP事例検討会（アドバイザー）  
2020.7.15 オンライン
- 松井 洸  
職業説明会（講師）  
2020.8.23 氷見市
- 福井 朱美  
七尾市地域ケア会議（アドバイザー）  
2020.9.10 七尾市
- 泉 真由美  
中能登町地域ケア会議（アドバイザー）  
2020.9.15 中能登町
- 小塚 寛也  
中能登町地域ケア会議（アドバイザー）
- 福井 朱美



- 中能登町地域ケア会議（アドバイザー）  
2020.10.20 中能登町
- 泉 真由美  
七尾市地域ケア会議（アドバイザー）  
2020.11.12 七尾市
- 小塚 寛也  
七尾市地域ケア会議（アドバイザー）  
七尾市地域包括支援センター  
2020.11.26 七尾市
- 福井 朱美  
100歳体操  
中能登町地域リハビリテーション活動支援事業（講師）  
2020.12.2 中能登町
- 泉 真由美  
100歳体操  
中能登町地域リハビリテーション活動支援事業（講師）  
2020.12.10 中能登町
- 仁八 志緒理  
100歳体操  
中能登町地域リハビリテーション活動支援事業（講師）  
2020.12.10 中能登町
- 福井 朱美  
七尾市地域ケア会議（アドバイザー）  
2021.1.14 七尾市
- 三平 拓矢  
100歳体操  
中能登町地域リハビリテーション活動支援事業（講師）  
2021.2.2 中能登町
- 小塚 寛也  
100歳体操  
中能登町地域リハビリテーション活動支援事業（講師）  
2021.2.15 中能登町

#### 【介護医療院 恵寿鳩ヶ丘】

- 原田 真梨  
にこにこ健康教室（講師）  
令和二年度穴水町健康教室  
2020.7.20 穴水町
- 大崎 志帆  
小又健康教室（講師）  
令和二年度穴水町健康教室  
2020.8.25 穴水町
- 原田 真梨  
からこ健康教室（講師）

- 令和二年度穴水町健康教室  
2020.10.7 穴水町
- 金田 岬  
パワーアップ教室（講師）  
令和二年度一般介護予防事業  
2020.10.29,12.3 穴水町
- 中西 こずえ  
パワーアップ教室（講師）  
令和二年度一般介護予防事業  
2020.11.12,2021.3.11 穴水町
- 国吉 貴志  
輝き健康教室（講師）  
令和二年度穴水町健康教室  
2020.11.18 穴水町
- 田辺 航也  
利用者、多くの種類の専門職等への説明及び合意  
（講師）  
令和二年度 介護支援専門員実務研修・再研修  
2020.12.24 七尾市
- 田辺 航也  
居宅サービス計画等の作成（ファシリテーター）  
令和2年 介護支援専門員実務研修・再研修  
2020.12.24 七尾市
- 田辺 航也  
アセスメント及び居宅サービス計画作成の総合演習  
（ファシリテーター）  
令和二年度 介護支援専門員実務研修・再研修  
2021.2.5 七尾市
- 鶴野 誠  
介護における安全確保（講師）  
ゼロからはじめる介護職入門セミナー  
2021.2.18 七尾市
- 形田 晃子  
ゼロからはじめる 介護職入門セミナー  
基本的な介護の方法（講師）  
石川県社会福祉協議会 福祉の仕事マッチングサポート  
センター  
2021.2.24-25 七尾市
- 蒲田 千晴  
住吉健康教室（講師）  
令和二年度穴水町健康教室  
2021.3.9 穴水町

#### 【ケアマネステーション 恵寿】

- 山本 直美  
地域ケア会議（個別プラン検討会議）（アドバイザー）  
七尾市地域包括支援センター  
2020.9.10 七尾市
  - 高松 由紀子  
地域ケア会議（個別プラン検討会議）（アドバイザー）  
七尾市地域包括支援センター  
2020.12.17 七尾市
  - 愛徳 誓城  
実習振り返り（講師）  
令和2年度石川県介護支援専門員実務研修・再研修  
2021.2.12 七尾市
  - 愛徳 誓城  
ケアマネジメントの展開／基礎理解（講師）  
令和2年度石川県介護支援専門員実務研修・再研修  
2021.2.12 七尾市
  - 愛徳 誓城  
介護支援専門員に求められるマネジメント  
（チームマネジメント）（講師）  
令和2年度石川県介護支援専門員実務研修・再研修  
2021.2.12 七尾市
  - 愛徳 誓城  
ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術／サービス担  
当者会議の意義及び進め方（講師）  
令和2年度石川県介護支援専門員実務研修・再研修  
2021.2.13 七尾市
  - 愛徳 誓城  
アセスメント及び居宅サービス計画等作成の総合演習  
（講師）  
令和2年度石川県介護支援専門員実務研修・再研修  
2021.3.4 七尾市
  - 愛徳 誓城  
ケアマネジメントに係る法令等の理解（講師）  
令和2年度石川県介護支援専門員実務研修・再研修  
2021.3.5 七尾市
  - 愛徳 誓城  
研修全体を振り返っての意見交換、  
講評及びネットワーク作り（講師）  
令和2年度石川県介護支援専門員実務研修・再研修  
2021.3.5 七尾市
- 【在宅複合施設 ほのほの】**
- 諏訪 勝志  
主任介護支援専門員としての実践の振り返りと指導及び  
支援の実践／リハビリテーションや福祉用具の活用に関する  
事例（講師）  
石川県社会福祉協議会  
令和2年度主任介護支援専門員更新研修  
2020.10.20 金沢市
  - 諏訪 勝志  
主任介護支援専門員としての実践の振り返りと指導及び  
支援の実践／家族への支援の視点が必要な事例  
（講師）  
石川県社会福祉協議会  
令和2年度主任介護支援専門員更新研修  
2020.10.28 金沢市
  - 諏訪 勝志  
ケアマネジメントの展開／脳血管疾患に関する事例  
（講師）  
石川県社会福祉協議会 令和2年度介護支援専門員専  
門実務研修・更新研修B・再研修  
2021.1.13 七尾市
  - 諏訪 勝志  
ケアマネジメントの展開／内臓の機能不全に関する事例  
（講師）  
石川県社会福祉協議会 令和2年度介護支援専門員専  
門実務研修・更新研修B・再研修  
2021.2.17 七尾市
  - 諏訪 勝志  
一般演題VI-地域-（座長）  
第29回石川県理学療法学会  
2021.2.28 金沢市
- 【小規模多機能型居宅介護支援事業所 けいじゅ一本杉】**
- 小川 真由美  
ゼロからはじめる 介護入門セミナー 入門講座（講師）  
石川県社会福祉協議会 石川県介護福祉士会  
2021.2.24-25 金沢市
- 【青山彩光苑リハビリテーションセンター】**
- 久保 奈保  
サービス提供のプロセス（講師）  
令和2年度サービス管理責任者等基礎研修  
2020.12.9-10,16-17 オンライン
  - 久保 奈保  
令和2年度サービス管理責任者等更新研修演習  
（講師）  
令和2年度サービス管理責任者等更新研修

2021.2.4,25 オンライン

**【石川県精育園】**

- 平譚 麻里  
特別支援学校の医療等外部専門家との連携（講師）  
2020.9.1,12.15 石川県
- 田中 こず恵  
相談支援従事者初任者研修（ファシリテーター）  
石川県社会福祉協議会  
2020.10.13-14,29,11.25-26
- 川島 大和  
障害者虐待防止・権利擁護研修（ファシリテーター）  
2021.1.27 石川県
- 谷 良観  
強度行動障害支援者養成研修 実践編  
（ファシリテーター）  
2021.3.4-5 石川県
- 田中 こず恵  
主任相談支援専門員養成研修（講師、ファシリテーター）  
石川県社会福祉協議会  
2021.3.11,24

## 資格取得

### 【本部 本部長 進藤 浩美】

- 認定作業療法士
- 病院管理士（更新）
- 介護支援専門員

### 【本部 財務部長 安井 智美】

- 医療経営士3級（更新）

### 【本部 経理課】

- 戸田 静佳  
日商簿記検定3級
- 受川 由佳  
日商簿記検定3級

### 【恵寿総合病院 内科】

- 山崎 雅英  
日本血液学会 血液専門医（更新）
- 山崎 雅英  
日本血液学会 血液指導医（更新）
- 山村 健太  
日本呼吸器学会 呼吸器指導医
- 山村 健太  
日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡指導医
- 村田 亜香里  
日本呼吸器学会 呼吸器専門医

### 【恵寿総合病院 消化器内科】

- 守護 晴彦  
日本内科学会指導医（更新）
- 守護 晴彦  
日本消化器病学会指導医
- 神野 正隆  
日本消化器病学会指導医
- 神野 正隆  
日本内科学会指導医（更新）
- 神野 正隆  
日本内科学会総合内科専門医（更新）
- 神野 正隆  
日本肝臓学会指導医
- 神野 正隆  
日本胆道学会指導医

### 【恵寿総合病院 循環器内科】

- 寺田 和始  
日本心血管インターベンション治療学会認定医
- 宝達 明彦  
日本内科学会総合内科専門医（更新）

### 【恵寿総合病院 リハビリテーション科】

- 川北 慎一郎  
日本ボツリヌス治療学会 認定施注医
- 川北 慎一郎  
日本認知症学会 専門医（更新）
- 川北 慎一郎  
日本認知症学会 専門医（日本専門医機構認定）

### 【恵寿総合病院 健康管理部】

- 上野 恭一  
肺がんCT検診認定医師
- 泉谷 麻子  
人間ドック学会専門医
- 新木 可奈子  
食生活アドバイザー3級

### 【恵寿総合病院 看護部】

- 和田 征久  
認知症看護認定看護師
- 川江 辰徳  
脳卒中リハビリテーション看護認定（更新）
- 松江 仁美  
特定行為研修修了  
（2区分3行為 長期呼吸・栄養関連）
- 寺井 文裕  
特定行為研修修了  
（1区分1行為 長期呼吸関連）
- 柴田 エリ  
特定行為研修修了（1区分2行為 栄養関連）
- 船木 博憲  
特定行為研修修了（1区分2行為 栄養関連）
- 中島 真理子  
特定行為研修修了（2区分3行為 血糖・栄養関連）
- 山崎 道恵  
特定行為研修修了（2区分3行為 創傷・栄養関連）

- 宮崎 敬太  
特定行為研修修了（2区分3行為 創傷・栄養関連）
- 平田 吉喜  
医療安全監理者養成研修
- 松下 逸子  
アドバンス助産師（更新）
- 高本 一枝  
アドバンス助産師（更新）
- 麻生 美和  
アドバンス助産師（更新）
- 穴田 雅実  
ALSOプロバイダー 認定
- 池高 未来  
ALSOプロバイダー 認定

#### 【恵寿総合病院 事務長 森下 毅】

- 肺がんCT検診認定技師（更新）

#### 【恵寿総合病院 サービス課】

- 山下 優子  
ICM 医療通訳士認定
- 山下 優子  
NGCM医療通訳養成研修（I及びII）2020 修了
- 柴田 詠美  
外国人患者受入れ医療コーディネータ養成研修 修了

#### 【恵寿総合病院 医事課】

- 瀬戸 亜矢  
医療経営士3級

#### 【恵寿総合病院 医療秘書課】

- 井上 朱美  
石川県肝炎医療コーディネーター
- 三浦 有紀  
石川県肝炎医療コーディネーター（更新）
- 鷲尾 留美  
石川県肝炎医療コーディネーター（更新）
- 長浦 智里  
ドクターズクラーク

#### 【恵寿総合病院 内視鏡課】

- 水口 賢  
消化器内視鏡技師（更新）

#### 【恵寿総合病院 理学療法課】

- 松本 康嗣  
フレイル対策推進マネジャー
- 赤坂 直樹  
フレイル対策推進マネジャー
- 土肥 哲也  
フレイル対策推進マネジャー
- 山下 友美  
フレイル対策推進マネジャー
- 大森 光紗  
フレイル対策推進マネジャー
- 土肥 哲也  
骨粗鬆症マネジャー
- 中村 秀哉  
福祉住環境コーディネーター2級
- 田中 秀明  
AHA BLSインストラクター（更新）  
川畑 真司  
認定理学療法士（脳卒中）

#### 【恵寿総合病院 作業療法課】

- 北谷 渉  
認定作業療法士
- 白山 真由子  
認定作業療法士
- 五十嵐 満哉  
生活行為向上マネジメント指導者
- 高間 達也  
認定作業療法士（更新）

#### 【恵寿総合病院 リハビリテーション教育研修センター】

- 井舟 正秀  
専門理学療法士（更新）

#### 【恵寿総合病院 薬剤課】

- 堀井 雄之介  
日本病院薬師会 薬病院薬学認定薬剤師
- 藤田 昌雄  
日本糖尿病療養指導士（更新）

#### 【恵寿総合病院 臨床栄養課】

- 前田 美穂  
日本糖尿病療養指導士（更新）

**【恵寿総合病院 臨床検査課】**

- 山口 拓也  
糖尿病療養指導士（更新）
- 室塚 秋子  
超音波検査士（腹部・健診領域）（更新）
- 橋 ひとみ  
超音波検査士（腹部・健診領域）（更新）
- 浦辺 由弥子  
超音波検査士（心臓領域）（更新）
- 尾田 真一  
脳神経超音波検査士（更新）

**【恵寿総合病院 臨床工学課】**

- 栃原 さとみ  
透析液水質確保加算/透析液安全管理責任者（更新）
- 栃原 康則  
認定臨床実習指導者（日本臨床工学技士会）

**【恵寿総合病院 医療安全管理部】**

- 小谷 薫  
医療安全管理者（更新）

**【恵寿総合病院 感染制御課】**

- 谷田部 美千代  
感染管理認定看護師（更新）

**【恵寿金沢病院 理学療法課】**

- 柴田 真行  
臨床実習指導者講習会修了
- 柴田 真行  
フレイル対策推進マネージャー
- 柴田 真行  
BLSインストラクター（更新）
- 浅野 慶祐  
臨床実習指導者講習会修了
- 廣岡 祐美  
臨床実習指導者講習会修了

**【恵寿金沢病院 作業療法課】**

- 生田 隆倫  
介護支援専門員

**【恵寿金沢病院 看護部】**

- 佐々木 絵美  
がん化学療法認定看護師（更新）

**【介護老人保健施設 和光苑】**

- 林 祐里恵  
認定理学療法士（呼吸）
- 泉 真由美  
糖尿病療養指導士（更新）
- 松井 洸  
認定理学療法士（運動器）

**【介護老人保健施設 鶴友苑】**

- 廣正 修一  
ICD（更新）
- 廣正 修一  
循環器専門医（更新）
- 廣正 修一  
内科認定医（更新）
- 宮坂 一恵  
防災士
- 古木 恵実子  
ストレスマネジメント検定Ⅱ種

**【介護医療院 恵寿鳩ヶ丘】**

- 原田 真梨  
認定理学療法士（地域理学療法）

**【在宅複合施設 ほのぼの】**

- 高森 栄一  
介護福祉士
- 金崎 知子  
介護プロフェッショナルキャリア段位制度評価者（アセッサー）

**【小規模多機能型居宅介護支援事業所 けいじゅ一本杉】**

- 野崎 早苗  
調理師免許
- 岡本 孝子  
福祉住環境コーディネーター 3級
- 小川 真由美  
介護支援専門員（更新）

**【小規模多機能型居宅介護支援事業所 恵寿みおや】**

- 畑 晶子

**【青山彩光苑ライフサポートセンター】**

- 船塚 結衣  
社会福祉士
- 三浦 真琴  
介護福祉士
- 奥村 桜子  
介護福祉士
- 濱崎 あかり  
介護福祉士

**【青山彩光苑穴水ライフサポートセンター】**

- 宮西 竜太郎  
社会福祉士
- 碓井 求  
社会福祉士

**【石川県精育園】**

- 摩郷 陽子  
介護福祉士
- 森本 郁  
介護福祉士

**【エレガントなぎの浦】**

- 西野 栄祐  
介護福祉士
- 西 花音  
介護福祉士

**【ローレルハイツ恵寿】**

- 林 ゆん  
介護福祉士

## 公職

### 【理事長 神野 正博】

- 公益社団法人 全日本病院協会  
副会長  
看護師特定行為研修検討プロジェクト委員会委員長
- 一般社団法人 日本社会医療法人協議会  
副会長
- 一般社団法人 日本専門医機構  
理事  
総合診療専門医検討委員会副委員長  
財務委員会委員  
専門研修に関するハラスメント対策委員会委員
- 七尾商工会議所  
副会頭
- サービス産業生産性協議会(SPRING)  
幹事
- 石川県病院協会  
副会長
- 特定非営利活動法人VHJ機構  
理事・VHJ研究会監事
- 公益財団法人 日本医療機能評価機構  
評議員、事業推進委員
- 一般社団法人 日本医療経営実践協会  
理事
- 一般社団法人 日本ホスピタルアライアンス  
理事
- 厚生労働省  
医道審議会医師分科会医師臨床研修部会委員
- 厚生労働省  
医道審議会保健師助産師看護師分科会看護師特定行為・研修部会委員
- 厚生労働省  
医師臨床研修制度到達目標・評価の在り方に関するWG委員
- 厚生労働省  
中医協・診療報酬調査専門組織 入院医療等の調査・評価分科会委員
- 厚生労働省  
医療従事者の需給に関する検討会構成員
- 厚生労働省  
医療従事者の需給に関する検討会医師分科会委員  
構成員

- 石川県  
石川県医療審議会委員
- 石川県  
医療計画推進委員会地域医療ビジョン策定部会委員
- 石川県  
医商工連携促進協議会会員

### 【本部 常務理事 神野 厚美】

- 公益財団法人 日本看護協会  
看護業務の効率化・生産性向上のための支援策検討委員会

### 【本部 本部長 進藤 浩美】

- 社会福祉法人 徳充会  
理事
- 公益社団法人 石川県作業療法士会  
監事
- 一般社団法人 日本作業療法士協会  
代議員
- 一般社団法人 日本作業療法士協会  
学会演題査読委員
- 一般社団法人 石川県介護支援専門員協会  
監事
- 厚生労働省受託事業 介護ロボットのニーズ・シーズ連携  
協調協議会  
石川県委員長
- 公益財団法人日本電信電話ユーザー協会七尾地区協会  
理事

### 【恵寿総合病院 内科】

- 宮本 正治  
石川県医師会 石川県糖尿病対策推進会議  
委員
- 宮本 正治  
糖尿病患者を助け合う地域連携協議会・七緒の会  
会長
- 山崎 雅英  
日本内科学会北陸支部  
評議員
- 山崎 雅英  
日本血液学会



評議員

- 山崎 雅英  
石川県医療計画推進委員会 災害・救急医療対策部会  
石川県メディカルコントロール協議会  
委員
- 山崎 雅英  
石川県ドクターヘリ運営委員会  
委員
- 山崎 雅英  
いしかわクラスター対策班  
班員
- 山崎 雅英  
骨髄移植推進財団  
調整医師
- 山崎 雅英  
造血幹細胞移植連携協議会  
北陸地区造血幹細胞移植推進委員

#### 【恵寿総合病院 消化器内科】

- 守護 晴彦  
日本消化器病学会  
北陸支部評議員
- 神野 正隆  
石川県肝炎対策検討委員会  
委員

#### 【恵寿総合病院 循環器内科】

- 宝達 明彦  
日本循環器学会北陸支部  
評議員
- 宝達 明彦  
日本心血管インターベンション治療学会東海北陸支部  
運営委員

#### 【恵寿総合病院 産婦人科】

- 新井 隆成  
山梨大学医学部産婦人科学教室  
臨床教授
- 新井 隆成  
日本胎児心臓病学会  
評議員
- 新井 隆成  
NPO法人 周生期医療支援機構  
代表理事

#### 【恵寿総合病院 泌尿器科】

- 川村 研二  
日本クリニカルパス学会  
評議員

#### 【恵寿総合病院 リハビリテーション科】

- 川北 慎一郎  
日本リハビリテーション医学会  
代議員、指導責任者
- 川北 慎一郎  
日本リハビリテーション医学会北陸地方会  
世話人、監事
- 川北 慎一郎  
日本医師会  
認知症サポート医
- 川北 慎一郎  
七尾市医師会  
理事
- 川北 慎一郎  
石川県医師会  
スポーツ医会委員
- 川北 慎一郎  
日本温泉気候物理医学会  
温泉療法アドバイザー
- 川北 慎一郎  
能登脳卒中連携協議会  
会長
- 川北 慎一郎  
北陸癌リハ研究会  
副会長
- 川北 慎一郎  
国際医療福祉専門学校七尾校  
非常勤講師
- 川北 慎一郎  
七尾市  
介護保険審査委員会委員

#### 【恵寿総合病院 看護部】

- 本橋 敏美  
石川県スポーツナース連絡協議会  
理事
- 松下 逸子  
公益社団法人石川県看護協会

助産師職能委員

- 平田 吉喜  
公益社団法人石川県看護協会  
医療・看護安全対策委員
- 櫻 さおり  
公益社団法人石川県看護協会  
教育委員
- 中田 淳也  
公益社団法人石川県看護協会  
男性看護職会委員

**【恵寿総合病院 事務長 森下 毅】**

- 公益社団法人 石川県診療放射線技師会  
会長

**【恵寿総合病院 医療福祉相談課】**

- 岡崎 美穂  
七尾市  
介護認定審査会委員

**【恵寿総合病院 医療福祉相談課】**

- 宮田 琴江  
七尾市  
介護認定審査会委員
- 宮田 琴江  
七尾市  
地域包括支援センター運営協議会

**【恵寿総合病院 医療秘書課】**

- 田中 瑞栄  
北陸診療情報管理研究会  
理事

**【恵寿総合病院 放射線課】**

- 赤坂 正明  
石川県診療放射線技師会  
理事（事務局担当）

**【恵寿総合病院 理学療法課】**

- 田中 秀明  
公益社団法人 日本理学療法士協会  
日本運動器理学療法学会学術大会査読員
- 田中 秀明  
公益社団法人 日本理学療法士協会

日本神経理学療法学会学術大会査読員

- 田中 秀明  
七尾市  
介護認定審査委員
- 田中 秀明  
石川県理学療法教育協議会  
幹事
- 久保 佳子  
石川県立田鶴浜高等学校  
非常勤講師
- 久保 佳子  
公益社団法人 日本理学療法士協会  
日本生活支援理学療法学会学術大会査読員
- 桶 拓貴  
公益社団法人 日本訪問リハビリテーション協会  
日本訪問リハビリテーション協会学術大会査読員

**【恵寿総合病院 作業療法課】**

- 川上 直子  
金沢大学  
医薬保健学域保健学類臨床講師
- 川上 直子  
七尾市医療・介護連携推進委員会  
委員
- 永井 亜希子  
公益社団法人石川県作業療法士会  
理事
- 永井 亜希子  
石川県立田鶴浜高等学校  
非常勤講師
- 小川 正人  
七尾市介護認定審査会  
委員
- 高間 達也  
七尾市障害判定審査会  
委員
- 高間 達也  
専門学校金沢リハビリテーションアカデミー  
非常勤講師

**【恵寿総合病院 言語療法課】**

- 諏訪 美幸  
公益社団法人 石川県言語聴覚士会  
学術研修局研修部 副理事

- ・ 諏訪 美幸  
石川県失語症友の会  
主任相談役

**【恵寿総合病院 リハビリテーション教育研修センター】**

- ・ 井舟 正秀  
公益社団法人 日本理学療法士協会  
日本神経理学療法学会大会査読員
- ・ 井舟 正秀  
能登脳卒中地域連携協議会  
幹事

**【恵寿総合病院 臨床検査課】**

- ・ 尾田 真一  
一般社団法人 石川県臨床衛生検査技師会  
常務理事

**【恵寿総合病院 感染制御課】**

- ・ 伊達岡 要  
いしかわクラスター対策班  
班員
- ・ 谷田部 美千代  
石川県院内感染対策支援ネットワーク会議  
委員
- ・ 谷田部 美千代  
石川県感染対策フォーラム  
世話人
- ・ 谷田部 美千代  
いしかわクラスター対策班  
班員

**【恵寿金沢病院 病院長 上田 幹夫】**

- ・ 上田 幹夫  
日本内科学会北陸支部  
評議員
- ・ 上田 幹夫  
日本血液学会  
評議員
- ・ 上田 幹夫  
日本血液学会北陸支部  
評議員
- ・ 上田 幹夫  
日本輸血・細胞治療学会  
評議員

- ・ 上田 幹夫  
日本輸血・細胞治療学会北陸支部  
評議員
- ・ 上田 幹夫  
石川県合同輸血療法委員会  
顧問

**【恵寿金沢病院 放射線課】**

- ・ 廣田 さおり  
金沢市医師会 乳がん検診読影委員会  
委員
- ・ 武村 真弓  
公益社団法人 石川県放射線技師会  
理事

**【恵寿金沢病院 薬剤課】**

- ・ 高倉 美穂  
石川県病院薬剤師会がん治療委員会 委員

**【恵寿金沢病院 看護部】**

- ・ 前大道 綾子  
公益社団法人石川県看護協会  
ナースセンター委員
- ・ 藤川 裕美  
公益社団法人石川県看護協会  
教育委員

**【介護老人保健施設 鶴友苑】**

- ・ 廣正 修一  
石川県循環器学会  
評議員
- ・ 廣正 修一  
石川県老人保健施設協会  
理事

**【介護医療院 恵寿鳩ヶ丘】**

- ・ 中西 こずえ  
七尾市  
介護認定審査会委員
- ・ 中瀬 利美  
石川県介護福祉士会  
能登北部ブロック役員
- ・ 鶴野 誠  
一般社団法人 石川県介護福祉士会

- 理事
- 鶴野 誠  
石川県  
災害派遣福祉チーム員
- 形田 晃子  
七尾市  
介護認定審査会委員

- 形田 晃子  
石川県介護福祉士会  
能登中部ブロック長
- 田辺 航也  
石川県介護支援専門員協会  
能登中部支部役員
- 田辺 航也  
石川県介護支援専門員協会  
業務推進委員

#### 【ケアマネステーション 恵寿】

- 愛徳 誓城  
石川県介護支援専門員協会  
理事
- 愛徳 誓城  
石川県介護支援専門員協会  
業務推進委員
- 愛徳 誓城  
石川県介護支援専門員協会  
能登中部支部役員
- 愛徳 誓城  
石川県介護支援専門員協会  
介護支援専門員研修企画委員
- 高塚 るみ子  
七尾市  
介護認定審査会 審査委員

#### 【在宅複合施設 ほのほの】

- 諏訪 勝志  
公益社団法人石川県理学療法士会  
副会長
- 諏訪 勝志  
公益社団法人日本理学療法士協会  
日本理学療法学会大会査読員
- 諏訪 勝志  
国際医療福祉専門学校七尾校  
教育課程編成委員

- 諏訪 勝志  
七尾市  
七尾市在宅医療・介護連携推進協議会委員
- 諏訪 勝志  
中能登町  
介護認定審査会審査委員

#### 【苑長 今寺 忠造】

- 今寺 忠造  
全国身体障害者施設協議会  
常任協議員
- 今寺 忠造  
石川県 障害者施策推進協議会  
委員
- 今寺 忠造  
石川県 自立支援協議会  
委員
- 今寺 忠造  
石川県 いしかわ介護・福祉人材確保対策推進協議会  
委員
- 今寺 忠造  
穴水町 障害福祉計画策定委員会  
委員
- 今寺 忠造  
石川県社会福祉協議会  
石川県身体障害者施設部会 副部会長
- 今寺 忠造  
公益社団法人 石川県作業療法士会  
顧問
- 今寺 忠造  
七尾市・中能登町 自立支援協議会  
会長
- 今寺 忠造  
七尾市 自殺対策委員会  
委員
- 今寺 忠造  
七尾市社会福祉協議会  
理事
- 今寺 忠造  
特定非営利活動法人 七尾鹿島手をつなぐ育成会  
顧問

#### 【青山彩光苑リハビリテーションセンター】

- 久保 奈保

石川県 サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者  
基礎研修 企画委員

- 久保 奈保

石川県 サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者  
更新研修 企画委員

#### 【青山彩光苑ライフサポートセンター】

- 瀧野 利徳  
七尾市 健康福祉審議会  
委員
- 瀧野 利徳  
七尾市・中能登町 自立支援協議会定例会  
委員
- 瀧野 利徳  
中能登町 障害福祉計画策定  
委員
- 米田 直美  
七尾市 障害支援区分認定審査会  
委員
- 山本 奈々  
石川県  
介護・福祉の仕事の魅力伝道師

#### 【青山彩光苑 ワークセンター田鶴浜】

- 細木 俊逸  
社会福祉法人経営者協議会  
青年部 副代表幹事
- 細木 俊逸  
石川県 自立支援協議会  
相談支援部会 委員
- 細木 俊逸  
奥能登地域 自立支援協議会  
会長
- 細木 俊逸  
石川県 相談支援専門員協会  
理事
- 細木 俊逸  
輪島市 障害支援区分認定調査会  
委員

#### 【石川県精育園】

- 池田 まり子  
穴水町 障害支援区分認定審査会  
委員

- 平澤 麻里  
中能登町 障害支援区分認定審査会  
委員
- 田中 こず恵  
石川県相談支援従事者初任者研修  
企画委員
- 田中 こず恵  
石川県 主任相談支援専門員養成研修  
企画委員
- 谷 良観  
石川県 強度行動障害支援者養成研修  
企画委員
- 川島 大和  
石川県 障害者虐待防止・権利擁護研修  
企画委員

#### 【ふれあいの里】

- 芳原 哲弥  
七尾市介護保険事業者連絡会  
副会長
- 芳原 哲弥  
七尾市 地域密着型サービス運営委員会  
委員
- 芳原 哲弥  
七尾市 健康福祉審議会 高齢者福祉分科会  
委員
- 北野 正敏  
七尾市 介護認定審査会  
委員
- 北野 正敏  
一般社団法人 石川県介護福祉士会  
副会長

#### 【エレガントなぎの浦】

- 藤澤 優子  
七尾市 障害支援区分認定審査会 委員

#### 【エレガントたつるはま】

- 畑中 浩樹  
田鶴浜地区社会福祉協議会 理事
- 畑中 浩樹  
石川県社会福祉法人経営者協議会  
青年部 広報部会 委員

## メディア出演

### FMラジオななお「ほっとたいむ」出演者：神野 正博

放送年月日	放送内容	放送回数
2020.4.6	新型コロナウイルス感染新たなフェイズ	1,193
2020.4.13	緑内障、70歳以上の1割 自覚しにくく自動車事故の危険	1,194
2020.4.20	Stay Home お家にはよう	1,195
2020.4.27	Stay Home 消毒しよう	1,196
2020.5.4	Stay Home 新型コロナ、無症状の感染者からも発症者並みウイルス 症状がない人から感染が広がる可能性も	1,197
2020.5.11	Stay Home 新型コロナウイルスから子どもの心を守る。WHOから世界中の保護者たちへ。	1,198
2020.5.18	Stay Home 脱水ケアで医療を守れ	1,199
2020.5.25	「座りっぱなし」が健康をむしろ 運動の効果を打ち消す「座りっぱなし」は、現代人の天敵	1,200
2020.6.1	Stay Home ファクターXとは？	1,201
2020.6.8	Stay Home コロナ・スリッパ	1,202
2020.6.15	Stay Home マスク着用での熱中症のリスク、予防策のポイント 自粛から自衛へ	1,203
2020.6.22	劣化した毛細血管、「ゴースト血管」が老化を推し進める	1,204
2020.6.29	のどの老化度はどうすればチェックできる？	1,205
2020.7.6	暑い季節はこむら返りに注意 カギは血行、足に枕も	1,206
2020.7.13	肌荒れ？ いえ水虫かも 梅雨時は要注意	1,207
2020.7.20	関節リウマチには早期治療が効果的	1,208
2020.7.27	コロナも要注意だが、、、食中毒を防ごう	1,209
2020.8.3	悪玉コレステロール 食事と運動のどちらで下がる？	1,210
2020.8.10	長引く胃のもたれ、痛み 機能性ディスペプシアかも	1,211
2020.8.17	「眠れない」を解消して抵抗力を高める	1,212
2020.8.24	夏に増えるダニにご用心！ 鼻炎・ぜんそく・感染症も	1,213
2020.8.31	潰瘍性大腸炎	1,214
2020.9.7	高齢化で増える「慢性腎臓病」健診の異常値を見逃さないで	1,215
2020.9.14	つらいドライアイ	1,216
2020.9.21	50歳を過ぎたら「メタボ予防」より「筋肉」	1,217
2020.9.28	秋冬コロナ対策 インフルのワクチン接種が重要に いよいよインフル・風邪シーズン！ 秋冬こそ入念なウイルス対策を	1,218
2020.10.5	歩きたいのに歩けない！ つらい「足の痛み」	1,219
2020.10.12	歩きたいのに歩けない！ つらい「足の痛み」2 足の動脈硬化	1,220
2020.10.19	失明の危険？ 本当は怖い中高年の「目の3大病」 早い人は40代から白内障を発症、緑内障は40代以上の5%	1,221
2020.10.26	中性脂肪を下げたい 脂質、糖質どちらを減らすべき？	1,222
2020.11.2	ポツリヌス療法ってご存知ですか？	1,223
2020.11.9	更年期障害と似てるけど 30～50代女性は橋本病に注意	1,224
2020.11.16	魚の目・たこの話	1,225
2020.11.23	スクワットの理想的な足幅は？	1,226
2020.11.30	冬の「ヒートショック」を防ぐ	1,227
2020.12.7	ターンオーバーのサイクル	1,228
2020.12.14	放っておくと肝臓がん 怖い脂肪肝	1,229
2020.12.21	「冷え」対策 効果が期待できるのはどんな方法？	1,230
2021.1.4	新型コロナ感染症拡大中	1,231
2021.1.11	4300万人が患う国民病「高血圧」数ある病気の中でも「別格」な理由	1,232
2021.1.18	冬の体調不良は「寒暖差疲労」が原因？	1,233
2021.1.25	老化を遅らせる方法は？ すぐ実践できる3つの法則	1,234
2021.2.1	コロナ重症化でも話題の「COPD」	1,235
2021.2.8	大腸がんのいま	1,236
2021.2.15	区別つきにくい花粉症とコロナ、特徴は「鼻水」にあり…例年との症状の違いにも注目	1,237
2021.2.22	健康診断で潜血(せんけつ)	1,238
2021.3.1	めまいいろいろ	1,239
2021.3.8	高齢者に多い不整脈～心房細動	1,240
2021.3.15	痛風の話	1,241
2021.3.22	筋トレ効果は顔にも表れる？ 積み重ねでカラダ若返り	1,242
2021.3.29	徐々につらくなる息切れやむくみは「心不全」のサインかも 予備軍は数千万人！	1,243

## FMラジオななお安心マイライフ

放送年月日	放送内容	出演者	
2020.4.1	ローレルについて②		
2020.4.8	ローレルについて③	ローレルハイツ恵寿 施設長	内田 かおり
2020.4.15	電話診療について	本院 事務副部長	前多 亜佐子
2020.4.22	QRコード決済について	本部 財務部 部長	安井 智美
2020.5.13	地域医療支援病院について	本院 病院長	鎌田 徹
2020.5.20	地域医療支援病院について		
2020.6.3	地域医療支援病院について	本院 地域連携課 課長	宮田 琴江
2020.6.10	企画課について①		
2020.6.17	企画課について②	本部 企画課	磯野 和香 辻口 芹夏 金子 佳樹
2020.6.24	企画課について③		
2020.7.1	ローレルハイツ恵寿①		
2020.7.8	ローレルハイツ恵寿②	ローレルハイツ恵寿 介護主任	久保 由美子
2020.7.15	ローレルハイツ恵寿③オンライン面会について	ローレルハイツ恵寿 生活相談員	三山 薫
2020.7.22	一本杉再生プロジェクトについて①		
2020.7.29	一本杉再生プロジェクトについて②	けいじゅ一本杉 所長 ローレルハイツ恵寿 施設長	高木 ひとみ 内田 かおり
2020.8.5	一本杉再生プロジェクトについて③		
2020.8.19	来院前問診について①		
2020.8.26	来院前問診について②	本院 サービス課 課長	寺尾 美樹
2020.9.2	来院前問診について③		
2020.9.9	ローソンリニューアルについて①		
2020.9.16	ローソンリニューアルについて②	本部 本部長	進藤 浩美
2020.9.23	運動指導について	本院 事務副部長	前多 亜佐子
2020.9.30	肺がん検診リニューアルについて	本院 運動指導課長	一谷 真澄
2020.10.7	発熱外来について		
2020.10.14	乳がん検診について	本院 病院長	鎌田 徹
2020.10.21	食中毒予防について①		
2020.10.28	食中毒予防について②	和光苑 臨床栄養課	畑中 聡子
2020.11.4	発熱外来について	本院 病院長	鎌田 徹
2020.11.11	回復期リハビリ病棟		
2020.11.18	ポツリヌス治療について	本院 リハビリテーション科 科長	川北 慎一郎
2020.11.25	認知症		
2020.12.2	冬のスキンケアについて	本院 皮膚科 科長	坂田 祐一
2020.12.9	理学療法士の仕事について①	本院 理学療法課 課長	田中 秀明
2020.12.16	理学療法士の仕事について②	本院 理学療法課	大森 光紗
2020.12.23	一年の振り返り		
2021.1.6	換気システムについて	本部 常務理事	神野 厚美
2021.1.13	新年のご挨拶	本院 病院長	鎌田 徹
2021.1.20	理学療法士について	本院 理学療法課 課長 本院 理学療法課	田中 秀明 大森 光紗
2021.2.3	冬の季節の依頼について①	ベンリー七尾店 店長	竹田 明弘
2021.2.10	ローレルバレンタインイルミネーションについて	ローレルハイツ恵寿 施設長	内田 かおり
2021.2.17	冬の季節の依頼について②	ベンリー七尾店 店長	竹田 明弘
2021.2.24	糖尿病について	本院 薬剤課 課長	藤田 昌雄
2021.3.3	ヘルポートについて	本院 管理課 課長	松木 尊紀法
2021.3.10	糖尿病の治療について		
2021.3.17	糖尿病の薬と種類について	本院 薬剤課 課長	藤田 昌雄
2021.3.24	BCP倉庫について		
2021.3.31	資財課業務について	本部 資財課 課長	池岡 一彦

### テレビ放送（董仙会）

放送年月日	放送内容	放送番組
2020.10.23	感染予防とフレイル予防 (介護老人保健施設 和光苑 仁八 志緒理)	ケーブルテレビななお「ニコニコちゃんねる」
2020.12.16	能登に輝くイルミネーション	北陸朝日放送「スーパー」チャンネル
2021.1.29	外国人技能実習生のために祈祷室を新設！	石川テレビ「プライムニュース」
2021.2.9	100歳体操ワンポイントアドバイス (恵寿総合病院 理学療法課 桶 拓貴)	ケーブルテレビななお「ニコニコちゃんねる」

### テレビ放送（徳充会）

放送年月日	放送内容	放送番組
2020.12.16	能登に輝くイルミネーション	北陸朝日放送「スーパー」チャンネル

### 雑誌・書籍等掲載（徳充会）

タイトル	著書・掲載誌名・巻・号・頁
七尾市・中能登合同特集 障害がある人の「働きたい」を考える（2） (さいこうえんの障害者就業・生活支援センター)	広報ななお（七尾ごころ） No.195:2021.
ご利用者が来所したくなる仕掛けを「心」「技」「体」のチームで考案 (ふれあいの里)	月間DAY Vol.256 4月号:2021.

### その他（董仙会）

ホワイト500健康経営優良法人2021～ホワイト500～認定	董仙会
いしかわ魅力ある福祉職場 継続認定	董仙会
2020年度 日本病態栄養学会 アルビレオ賞 受賞	恵寿総合病院 臨床栄養課 小蔵 要司
令和2年度石川県産業振興賞受賞	在宅複合施設 ほのぼの 杉本 祐加
厚生労働省・観光庁 地域の医療・観光を活用した外国人受入れのための調査・展開事業 2020.9-2021.3	董仙会 本部 神野 厚美、進藤 浩美、磯野 和香

### その他（徳充会）

いしかわ魅力ある福祉職場 継続認定	徳充会
-------------------	-----





2021年3月4日 健康優良法人ホワイト500に認定



第 6 章  
KEIJU  
MONTHLY  
LETTER

## グレー・リノが暴れだした

けいじゅヘルスケアシステム 理事長 神野正博

新型コロナウイルス禍はあっという間に世界を駆け巡り、パンデミックとして局地的な対応から全世界的な対応が求められる局面となった。これまでの化石エネルギーを大量消費して、豪華クルーズ船や航空機でありとあらゆるところに移動し、洋の東西から取り寄せられた美酒や美食に舌鼓を打ち、「快適で」「豊かな」生活を送ってきた地球市民を震撼させている状況だ。残念ながら東京2020オリンピックの開催も延期となってしまったことは止むを得ない選択だろう。

主に金融の世界に『ブラック・スワンBlack Swan』という言葉と『グレー・リノGray Rhino（灰色のサイ）』という言葉がある。

われわれはスワンと言えば白い鳥だと思っている。黒鳥ブラック・スワンはあり得ないと思っている。その存在は見えにくいゆえに予見しにくいのだ。しかし、現実には存在する。したがって、発生する確率は低い、発生すれば大きな影響を与える問題だとされ、主に発生の予測が難しい「金融危機」や「自然災害」を表す際によく使われてきた。

一方、図体のおおきなグレー・リノはその存在に気が付いている。そして、草を食むおとなしいリノが一旦暴走すると、その攻撃力は凄まじく、誰も手が付けられなくなる。ここから転じ、われわれの視界の中にずっといたにも関わらず、普段はおとなしいゆえに「まあ、大丈夫だろう」と軽視されてきたリスクや問題が爆発する場合に使われるという。

さて、今回のコロナ禍はどちらに当てはまるのか。われわれは、その

存在に気が付いていたのか。コロナ禍の直前まで、目の前で議論されてきた環境破壊、海洋汚染、地球温暖化、そしてそれに伴う気象の変化はグレー・リノではなかったのか。根本的な問題の解決から目を逸らせ、経済発展のみを優先してきた西や東の超大国、その顔色をうかがう極東の島国の責任に対しての地球からのしっぺ返しだったのではないかと思われてならない。

多くの死者を出したイタリア。その誘因は、経済政策からの病院病床の削減だったという。医療は「コスト」なのか、「産業」なのかという議論がなされてから久しい。「コスト」ならば削減しなければならない。産業ならば振興せねばならないのだ。国民は医療崩壊が起きて初めて医療の価値を知る。セーフティネットだけならば、消防や警察同様「コスト」かもしれない。しかし、医療にはセーフティネットを担保しながら雇用とともに、住みやすさ、健康を通じた地域の活性化に寄与する機能である「産業」の側面があることを忘れてはならない。

リノの暴走に相対することができるのは、医療の底力ではないだろうか。



## どこでもドア

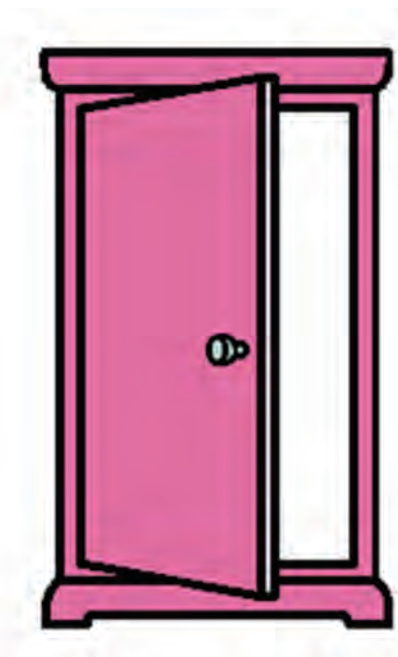
けいじゅヘルスケアシステム 理事長 神野正博

まだまだ新型コロナウイルス禍の終息の見込みが立たないのに、ポストコロナは気が早いことかもしれない。しかし、すでにポストコロナの時代が始まっているという認識が必要だ。

実際、エッセンシャルワーカーとして、現場仕事が必要なわれわれ医療人ですら、多くの変化を許容し、これまで躊躇してきたイノベーションを享受することとなった。私もここ2か月以上、能登の国から出ていない。病院団体の会議や厚労省の審議会、講演等で、東京との間を週2~3往復してきたのは何だったのか！多少のむなしさと寂しさはある。しかし、Teams、Zoom、Webex、Skypeなどを用いたWeb会議ではまさに『どこでもドア』状態だ。移動時間なく、瞬間移動で、しっかりと会に参加し、情報を共有できることを実感する。昨今は病院や法人内の会議もWeb会議だ。また、先日は法人職員と「オンライン飲み会」なるものも自宅から経験した。人とのつながりも問題ない。

もちろん、ポストコロナはこういったコミュニケーションの変革だけではない。医療を取り巻く社会で、**5つの変化**が想定される。まず、今後の**医療提供体制の変化**だ。感染症患者と免疫能が落ちた担癌患者を同じ医療機関で診ることで多くの不幸が生じる。これまで、高度急性期、急性期、回復期、慢性期という医療機能分化が地域医療構想の名の下に進められてきた。新たな考え方として、迅速な検査が可能なトリアージ機関、感染症受け入れ病院、非感染症病院を規定することが求められているように思う。そして、いざという時のために、「無駄な」病床をどこまで許容するかが問題だ。

2番目として、**患者の受療行動と価値観の変化**だ。特に、慢性疾患の患者は病院に行かなくとも管理可能なことを実感している。電話再診やオンライン診療などの遠隔診療への需要が一気に進むに違いない。



3番目として、**物流の変化**だ。他の商工業同様、病院もJust in Time & Stocklessの考え方で、発注点の見直しと頻回搬送によって在庫を削減し、経営の効率化を進めてきた。ここへきて个人防护具（PPE）等、特に非常時物品の枯渇が問題となった。地震や台風などの自然災害を含めた病院のBCPと在庫のあり方が必要だろう。

4番目として、**環境問題**だ。コロナ禍による産業の休止は地球温暖化を遅らせる。人と経済は、どちらの世界を善とするかだ。

そして、最後に**社会の協働**だ。ネット社会でも現実の社会でも、これまで以上に協働するプロジェクトが多数現れた。労苦を讃え、励まし合い、新たな知恵を公開し合う社会だ。

ポストコロナの時代は、捨てたものじゃない社会の到来かもしれない。

## 西遊記

けいじゅヘルスケアシステム 理事長 神野正博

長く続いた新型コロナウイルス感染症にかかわる緊急事態宣言も全国で全面解除された。だからと言って世界に広がる新型コロナウイルスによるパンデミックを克服したわけではない。全国民、特にわれわれ医療従事者、介護従事者は警戒態勢を緩めるわけにはいかない。

厭戦気分の下、「出口戦略」や「経済との両立」という言葉でアフターコロナが語られる。しかし、すでにわれわれは、アフターはなくウィズコロナであることを覚悟している。加えて、ネクストコロナに対応しなければならないのだ。

唐の時代に中国からインドへ渡り仏教の経典を持ち帰った玄奘三蔵の長年の旅をもとに書かれた西遊記は、三蔵法師と如意棒や筋斗雲ほかの術を駆使する孫悟空らによる今なお人気の冒険紀行だ。

長安（西安）の都を出発し、新疆ウイグル地区、タクラマカン砂漠、天山山脈、タシケント、サマルカンドから天竺といわれたガンダーラへの行程だ。その間に、行く手を阻む数多くの恐ろしい物の怪、妖怪たちを駆逐しながら前に進む。

この行程、最近よく聞く中国の国家戦略である一帯一路構想における「陸のシルクロード」の行程だ。砂漠に険しい山脈など、今なお人を拒む辺境の地に、筋斗雲よろしく高規格道路や高速鉄道が敷設されていく。この辺境の地に、これまで物の怪や妖怪と恐れられて来た未知なる生命体として細菌やウイルスが隠れていないわけがない。

物の怪や妖怪は、一帯一路やグローバル物流に乗って、人口密集地、そして全世界へ広がっていく。そして、人類はその度ごとに犠牲を払いながら、如意棒よろしくPCR検査やワクチン、新しい薬を駆使して戦い続けなければならない。

われわれには、今回のコロナウイルス禍が何十年に1回のものでなく、今後絶えず戦い続けていくものである



という認識が必要だ。ネクストコロナの時代に備える「新しい生活様式」を常態化し、医療提供体制を構築し直す時期に来ているに違いない。

すなわち、今後はオンラインを常態化すべきだ。移動に伴うリスクも経費も、さらに会場設営の労力も大幅に軽減される。当然われわれはオンラインによる診療のあり方、患者と家族間やそれに医療者やケアマネージャーなどを加えたミーティングの場も検討せねばならない。

また、これまで地域医療計画で整備目標とされた5疾病5事業\*に、6事業目として「感染症医療」を加えて、医療圏での役割機能を層別にデザインする必要があるだろう。

\* 5疾病：

がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患

5事業：

救急医療、災害時医療、へき地医療、  
周産期医療、小児救急医療を含む小児医療

## 時々東京、ほぼ田舎

けいじゅヘルスケアシステム 理事長 神野正博

近年の日本経済ではほぼ10年に一度の危機が訪れているといわれている。すなわち、

- ① 平成10年の金融危機（山一証券、北海道拓殖銀行破綻）：バブル崩壊に伴う金融機関の不良債権問題により、貸し渋り、貸し剥がしで企業の資金調達に支障
- ② 平成20年のリーマンショック：世界的な信用収縮により、経済が冷え込む
- ③ 令和2年のコロナショック

である。今回は、まさにヒト・モノ・カネの動きの急停止だ。しかも金融発ではなく、需要側に端を発した。これは、リーマンショックが製造、建設業から影響を受けたのに比べて、サービス業が重大な影響を受けたと断言していいだろう。

確かに、サービス業の一つであるわれわれ医療も金融危機やリーマンショックの折には大きな影響を受けることはなかった。逆に大手企業の業績の落ち込みに伴って求人市場で恩恵にあずかったかもしれない。また、同様に以前の経済危機では、ここまで市中の飲食業などが影響を被ることはなかった。

われわれは、ここで手をこまねいて、立ち止まっているわけにはいかない。withコロナの時代、すなわちリスクを前提とするニューノーマル（新常态）の時代に何を仕掛ける必要かを模索しなければならない。

日本経済新聞6月1日朝刊に、緊急事態宣言の解除を受けた「社長100人アンケート」の結果が掲載された。自社の製品やサービスの市場が回復するには「1年以上かかる」との予測の下、国内に工場を持つ企業の7割がサプライチェーン（供給網）を見直すとして回答。全体の9割がテレワークを継続するとした。

大都会は密集した都市構造である。特に、東京一極集中と断言していい。今後避けられない首都直下地震



も予想される。だとすれば、わが国のリスク分散のためには、強靱な新しい国土構造、すなわち都市機能の分散化は必須だと思われる。

幸いにして、今回のコロナウイルス禍という外圧によって、テレワークが進展し、先のアンケート結果のように多くの企業がテレワークの継続を望むと言う。ならば、「時々東京、ほぼ田舎」生活へのチャンス到来かもしれない。

空気がきれいで、密にならない、食が充実することはもちろん、田舎テレワークの絶対条件は、オンライン環境であり、かつエッセンシャルなインフラ（電気、水道、警察、消防、...）の整備、そしてセイフティネットとしてのいざという時の医療だ。地域が束となってテレワーク誘致のチャンスと捉えたい。われわれは其中で、東京でなくとも、東京と同等、それ以上の医療サービスの提供者として貢献できればと思う。

## 情報戦～個人情報と公衆衛生

けいじゅヘルスケアシステム 理事長 神野正博

“コロナ感染者は、金沢市在住の30歳台男性、会社員。5日前に1泊2日の旅程で東京へ出張。昨日から発熱あり、帰国者・接触者外来でPCRを実施した結果、、、”といった報道をよく聞く。

去る7月30日に小池東京都知事が感染拡大特別警報を発出したように、東京の感染者数は指数関数的な伸びを見る。さらには、大阪、愛知、福岡などの大都会でも指数関数的な増加だ。この中でやはり感染経路不明例の増加が気になる。先の「会社員の男性」は単に都会の街を歩いただけで感染したのか？得意先の会社へ行ったのか、会議に出たのか、唾を飛ばしながら必死の値段交渉をしたのか、、、はたまた、いわゆる接待を伴う夜の街へ行ったのか、友人と飲酒と会食で気炎を上げたのかわからない。

単に、どの都市へ行ったかの情報だけでは傾向と対策にならないのではなからうか。どの都市のどの地域のどういふ場所に何時に何をしに行ったかによって対策は異なるのではないだろうか。これによって、十分な感染対策が取られていない場所は避けるといった対策が取れるのではないだろうか。

一方、広島県選出の河井前法務大臣夫妻が、公職選挙法の買収の罪で起訴されたことは記憶に新しい。ここで驚いたのは、金を受け取った地方議員などは、お札に名前が書いてあるわけでもないので、「知らぬ存ぜぬ」を通すことができたはずである。それでもスピードを以って白状させられたのは、かの前法相のパソコンデータの復元とスマホのGPS位置情報の解析なのだ。お国や警察権力はその気になれば、Deleteした情報は復元し、詳細な行動履歴も分析可能だということが露呈した事件でもあった。これからの犯罪捜査では、スマホの押収は決め手となることだろう。

もちろん、コロナ感染者は犯罪者ではない。しかし、ス



マホでのGPS位置情報の履歴は取れるはずである。どの地域のどの店へ何時に行ったのかが追えることになるかもしれない。加えて、最近の犯罪捜査で必ず出てくる街中の監視カメラもある。これらで保健所職員が、労力をかけて、かつ感染リスクを押しで行う行動履歴調査の多くを代替できるかもしれない。

韓国や監視社会と言われる中国では、まさにスマホデータや監視カメラを中心に、クレジットカードの利用履歴を合わせたビッグデータの利用（韓国）や「健康コード」と呼ばれるQRコードアプリの利用（中国）で、濃厚接触者を洗い出し、徹底したPCR検査で感染を封じ込めるといことが行われている。また、これらの国ばかりではなく欧米各国においてIDカードの利用拡大の潮流だ。これらを含めたビッグデータの収集が世界の潮流であり、それが感染対策に応用されている。情報戦で感染対策を行うという考え方だ。

わが国でもCOCOAと呼ばれる接触確認アプリが誕生した。その普及はお寒い限りだ。国が信用されていないと個人情報セキュリティの不安はある。しかし、私は公衆の衛生のためには個人情報は犠牲にしてもやむ無しと考える。マイナンバーの普及とともに、コロナ感染の早期の封じ込め策は、わが国が情報戦を制することができるか、そしてそれに政府も国民も一丸となってあたれるかが鍵のような気がしてならない。

## 三密

けいじゅヘルスケアシステム 理事長 神野正博

いまさら三密である。年末の流行語大賞に当選確実かと思われる。今や誰もが知っているこの言葉、いつ、誰が作った言葉か？この当たり前の言葉の出現に記憶がないのは、自分の認知機能の衰えなのだろうか。

2月25日、厚生労働省クラスター対策班が設置され、クラスターの共通項を見つけて類型化すればより有効な行動変容を呼びかけることができるはずとのことで、それまでのスポーツジムや屋形船などにおける感染事例から、

- ・換気が悪く
  - ・人が密に集まって過ごすような空間
  - ・不特定多数の人が接触するおそれが高い場所
- での注意喚起が行われた。そして、3月14日に首相官邸から発出され、この注意喚起をより分かりやすくした、
- ・換気の悪い密閉空間

- ・多数が集まる密集場所
- ・間近で会話や発声をする密接場面

というのが、三密の始まりのように推測される。これは世界にも広がり、WHOはこの7月に3Cとして、

- ・Crowded places（人が集まる場所）
- ・Close-contact settings（濃厚接触になる状況）
- ・Confined and enclosed spaces（閉鎖かつ密閉された空間）

といった同様な避けるべき行動を推奨している。

一方で、この三密、真言密教の教えでもあるそうだ。

三密の修行とは、

- ・身密（身体・行動）
- ・口密（言葉・発言）
- ・意密（こころ・考え）

を整えることだ。コロナ対策に当てはめれば、身を清潔にし、命を守る行動を心掛ける。感謝の気持ちを口に出し、決して風評など口にしな。そして、自分だけでな



く他者に気を配り、様々な情報を食べることどころ惑わされないということになるだろう。

私たちは、仕事でも私生活でも本当に三密を実行しているか？インフルエンザの流行も危惧される今こそ、振り返る必要がある。もちろん、医療や介護、福祉の世界では、その仕事の性格上、密にならねばならないことはたくさんある。しかし、回避できる密までもを、医療、介護、福祉だからと言って言い訳にしていないだろうか。

すなわち、三密を回避する技術・サービスを以下のよう読み替える。

密閉 ⇒ 超臨場（メタ・リアリティ）

密集 ⇒ 遠隔（リモート）

密接 ⇒ 非接触

いずれも、われわれの領域ではオンライン〇〇といったものは当然のことVR（仮想現実）、AR（拡張現実）、MR（複合現実）などICTやロボット技術のお世話にならねばならない。10年先だと思っていた未来をいま先取りするイノベーションが求められているに違いない。



## GO TO ○○キャンペーン

けいじゅヘルスケアシステム 理事長 神野正博

なにもニューヨークまで行ってはとは思うものの、あのタイムズスクエアにあるあのMがロゴのおなじみバーガーショップで、「テイクアウト」と言って店員にきよんとされた。同行したバイリンガルの娘がすかさず「TO GO」と言ってくれ、ようやく日本のものよりも品なく大きなバーガーとポテトをゲットできた。その赤っ恥のおかげで、「お持ち帰り」は「テイクアウト」ではなく、「TO GO」と強烈に覚えることができた。大げさであるが、まさに生きた英語だ。

せっかく「TO GO」を使いこなせることになったのに、今度は「GO TO」である。あの感染拡大期の7月からのGO TO トラベルはいかかなものかと思っただ、いよいよ（感染が少し落ち着いたらしい）10月から東京にも拡大となった。観光業の裾野は農業、漁業、食品卸、物流、交通インフラ、クリーニング、ビル管理、エネルギー供給等々であることを考えれば、1兆5,000億円の予算は地域振興のカンフル剤になるに違いない。GO TOが、コロナウイルスのTO GO、「お持ち帰り」や「お持ち込み」につながらないことを祈りたい。

さらに、GO TOはGO TO イート、GO TO イベント、GO TO 商店街と続くという。こうなると「なんでもござれ」「早い者勝ち」感が出てくる。GO TO デパート、GO TO 神社、GO TO 美術館から、GO TO おばあちゃんのうち、GO TO お墓、GO TO フィットネス、GO TO マッサージ、GO TO サウナ、GO TO ゲーセンなどなど出現しそうだ。ならば、われわれもGO TO 健診を拡げるべきだ。

3月ごろから、6月あたりまで、特に緊急事態宣言下で健診は不要不急として、また内視鏡検査はエアロゾル発生の危険性があるとして、多くの健診医療機関は業務をストップさせた。また、健診受診者も医療機関への受診抑制と同様に健診を受けることをためらった。

承知のごとく、早期の癌や臓器の異常は、自覚・他



NHKニュースより

覚症状ではまずチェックできない。不都合な症状が出るころには、進行している場合が多い。健診と治療成績にエビデンスが有る無しの研究もあるものの、早く見つけて早く治すことは国民にとっても、財政当局にとっても益となるに違いない。さらに、コロナ対応に加えて、患者の回復に苦勞し、疲弊する多くの医療機関にとって、健診者の増加とそれに伴う早期発見患者への治療機会の増加は願ってもない経営支援となる。

まさに、GO TO 健診は、国民、財政、そして医療機関、すべてに益となる三方よしキャンペーンとなるように思われる。いかがだろうか？

## 鬼滅の刃と桃太郎

けいじゅヘルスケアシステム 理事長 神野正博

3歳になる孫娘が指を口にくわえながら「きめちゆのやいば」、..「なにそれ!？」から始まった『鬼滅の刃』への関心は、あれよあれよという間にコロナ禍からの回復の象徴のように社会現象となりつつあることを知るに至った。「劇場版『鬼滅の刃』無限列車編」の興行収入が公開からわずか10日間で107億円になり、歴代最速で興行収入100億円に達したと聞くと、映画鑑賞やイベントの自粛はどこへ行ったのかと思ってしまう。

さすがに、一人で、あるいは（老）夫婦で、この映画を見に映画館に入るのも気恥ずかしく、情報収集にとどまっている現状だ。ヒットの理由がいくつかあげられる。家族愛とか、最近のオンラインテレビゲームよろしく仲間と協働して鬼を倒しながら上りへ向かうなどがあるようだ。加えて、どうやら鬼が鬼になる前の人生も描かれているようだ。主人公・竈門炭治郎の鬼となった妹、禰豆子も含めて、鬼それぞれの人生と人とのつながりがあるのだ。

鬼と言えば断然、桃太郎だ。桃太郎の鬼は退治されるべきものであって、決していかなる生い立ちか、どういう経緯で鬼のグループに入ったのか、家族はいるのか、どのような悪事を働いたから退治されるのかは描かれていない。また、桃太郎の方が略奪する盗賊かもしれないという疑問は全くない。古くは「水戸黄門」の越後屋は根っからの強欲商人だ。ハリウッド映画の多くでも悪は悪だ。悪者の商人や代官も、スパイも、秘密結社も、宇宙人も殲滅されても誰も悲しむことなく、同情もない。

さらに、現実の世界でも、某国の歴代大統領は（共和党大統領で多いようだが）ハリウッド映画よろしく、平気で「悪の枢軸」などという言葉を使う。もちろん現職も悪を懲らしめるアメリカンヒーロー気取りである。まさに劇場型だ。なぜ敵対するのか、敵対せざるを得ないのか、その背景や相手の立場を考えてみる余裕はないようだ。



わが国の政治の世界も、それを報道するマスコミの世界も、最近、All or Nothing、賛成か反対か的に単純な思考が多いように思う。政権から睨まれたら、どうしようという気持ちが簡単に迎合する風土を生む。反対者もだんまりを決め込まざるを得ない。昨今のオンライン診療もその条件を問えば、守旧派のレッテルを張られそうな勢いだ。

反対者の主張に耳を傾け、分かり合えるまで話し合うといった、ただ拒絶し攻撃するだけではない「鬼滅」的やさしさが求められないものだろうか。

## 大きな荷物を抱えて、大きな嵐からのレジリエンス

けいじゅヘルスケアシステム 理事長 神野正博



レジリエンスresilience。最初にこの言葉を聞いたのは、2015年に国連で開かれたサミットで世界のリーダーたちによって決められたSDGs（Sustainable Development Goals；持続可能な開発目標）の中での表現だったと思う。SDGsは、2030年に向けた国際社会共通の目標であるとされている。

「強靱性」と訳され、17の目標の中で、1. 貧困をなくそう、11. 住み続けられるまちづくりを、13. 気候変動に具体的な対策を、14. 海の豊かさを守ろうといった部分のターゲットの中で表現されている。わが国に当てはめると、環境問題を背景に最近激甚化する災害に耐えうる強固な国土づくりだろうと思った。

一方、現地時間の11月16日に宇宙飛行士の野口聡一さんを乗せて飛び立ったスペースX社の宇宙船「クルードラゴン」（Crew-1）の機体に「レジリエンス」と名付けたことを明らかになった。まさに、世界でコロナ禍が席捲する中で、希望に満ちた言葉、「困難から回復する力」と訳された。

レジリエンスは、同じ強靱でもRobustとも表現されるカチンコチンではなく、接頭に“re”が付いたごとく、

復元力、跳ね返り力を意味しているようだ。そう、われわれは、日本の社会は、世界は、このコロナ禍という困難な時代から回復せねばならない。そういった意味で、新たな未来に向けてのレジリエンスの気概が求められていると言えよう。

起こりつつある少子高齢社会、人口減という大きな荷物を抱えながら、コロナ禍という大きな嵐を被った。ここから回復することためには、形振りにかまっていられない。「元には戻らない」、「コロナによって先が早くなっただけ」、「未来にやるべきことを今やる」必要があるだろう。

未来では、価値観の変容が、そしてデジタルトランスフォーメーション（DX）が待っているに違いない。われわれだけの価値観、すなわち医療提供者の視点ではなく、コロナで学習した（学習してほしい）新しい社会生活、すなわちリモート、バーチャルな取り組みにいかに対応していくかが求められているだろう。

コロナ禍からのレジリエンスのためには、われわれは想像を越える取り組みを結集させねばならない。そういった意味で、イノベーションを引き起こすチャレンジにワクワクできる2021年にしたいものだ。

## すすめDX！オンライン診療考

けいじゅヘルスケアシステム 理事長 神野正博



あけましておめでとうございます。

2021年 元旦

コロナで始まった2020年も、コロナで終わることなく、2021年新年もコロナ漬けとなりました。beforeコロナを懐かしむことなく、withコロナの時代を常態とし、新しい未来を築いていかねばなりません。

新政権誕生と同時にDX推進の狼煙が打ち上げられ、その象徴のようにオンライン診療の恒久的実施が叫ばれている。厚生労働省の抑制的な議論と並行して、医療の外にある規制改革推進会議等では無制限解禁論が渦巻いている。

確かに、患者の顔をロクに見ず、コンピュータ画面を見ながら診療する医師を見ているとオンラインでいいのではと思う御仁もいよう。しかし、そういう医師は遠からずAIに駆逐されることだろう。患者の話聞き、触り、音を聞き、いわゆる身体所見を丁寧に取る臨床推論は診断する以上必要だ。顔を見るだけでピタリと当てるのは魔術師の世界だ。

一方で、密接を避けるためには非接触であり、密着を避けるためには、リモート（オンライン）だ。そこで、原理主義的なオンライン診療への賛否ではなく、オンライン診療が成り立つ以下の2つのあり方を提言してみたい。

## ①コンサルテーション機能

まさに受診相談だ。例えば、「めまいがする」時に、

耳鼻科を受診すべきか、内科を受診すべきか、はたまた脳神経内科を受診すべきか悩める患者は多い。それを、オンラインであらかじめ相談し、可能ならばしかるべき専門家の診療につなぐ（紹介する）機能は、患者にとっても、また医療者にとっても時間の無駄を省くことだろう。

## ②医療者を介した診療

オンライン診療は、医師对患者（D to P）をイメージすることが多い。しかし、これを医師対医師と患者（D to D with P）、医師対看護師と患者（D to N with P）としたらはどうだろうか。患者の傍らにいたりかかりつけ医と遠隔の専門医がつながり医師同士が意見を交わしながら適切な治療に結び付ける、あるいは看護師が訪問先の在宅や病棟で患者の画像を共有しながら医師と話し合い適切な治療に結びつけるという立て付けだ。医師の働き方改革対策にも資するかもしれない。

両者ともに診療報酬はどうなるのかといった議論は必要だろう。しかし、医療の質が向上するのは確実だ。ならば、カネは後から付いてくると考えて、スマホでもタブレットでも使っていることから積極的にチャレンジする時ではないだろうか。

## 日本の医療の三つ巴

けいじゅヘルスケアシステム 理事長 神野正博

数年前、海外からの留学生数人を地元能登の観光に案内した。とある旧家に右のような紋がある。「あれはどういう意味だ」としきりに尋ねる。「そんな知らない」は許されない雰囲気だった。思わず口から出まかせに、次のフレーズが浮かんだ。

"There are three forces in the world. Three make tension and stability. Two make competition and win-lose."である。彼らも感心したが、一番感心したのは私自身だった。

帰宅後、この紋は「三つ巴」だと知った。考えてみれば、椅子の脚と同じように世の中三つ巴ゆえに安定していることも多々あるように思えてくるのである。医師と患者の関係は、「お任せ」「つべこべ言うな」（パートナーリズム）という関係にあった。そこに、マスコミやインターネットによる情報という巴が入ることで、緊張感ある三つ巴関係になったのである。そして、社会保障費の伸びを抑えること、世界最高水準の医療を提供してきたことに対するもうひとつの巴は、医師をはじめとする医療職の倫理観に基づく犠牲的労働だったのかもしれない。それがコロナ禍という緊張の今、さらなる負荷がかかり、医療職の疲弊、医療崩壊という形で顕わになってきたのではないだろうか。だからこそ、別の巴を探して持続可能な医療提供体制を模索することは重要だと思う。

もともと診療報酬だけでは、高い稼働率を確保しない限り経営が成り立たない。そこに、コロナ感染症患者受け入れの「念のため病床」を確保せねばならない。公ばかりか民の病院でも感染症をはじめとした政策医療を求めるならば、診療報酬の枠の外の費用を手当せねば成り立たないことは自明であろう。



一方、費用を抑えて、質の高い医療を提供していくためのもうひとつの巴として、「医療の効率化」が挙げられる。ここでいう効率化は、DX（デジタルトランスフォーメーション）、標準化に始まり、もう一步踏み込んだ医療～介護～福祉～保健の地域連携・一元化、医療提供体制の再構築などといった構造改革を断行すること、それによる費用対効果を最大限に導く施策ではないだろうか。

withコロナ時代をチャンス到来として、大胆な仕組みの改革を模索すべき時だろう。

## ニューノーマル時代の医療

けいじゅヘルスケアシステム 理事長 神野正博

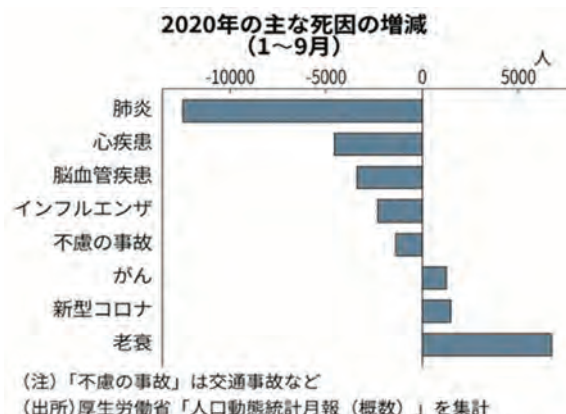
三病院団体(日本病院会、全日本病院協会、日本医療法人協会)が、今年度初めから4半期ごとに行ってきた新型コロナウイルス感染拡大による病院経営状況の調査(2020年度第3四半期)の概要版が2月16日に公開された(資料は各病院団体HPよりダウンロード可能)。全国の病院の経営状況は、新型コロナウイルスがまん延し、ロックダウン状態であった5月を底に回復基調があるものの、第3四半期においても外来患者数、入院患者数、予定手術件数等是对前年同月比で回復せず、特に第3波が到来した11月12月での再びの落ち込みが目立った。

私も発表記者会見にオンラインで臨んだ。一般全国紙記者からの質問の多くはコロナ受け入れ病院における医業利益率の低下(赤字)であった。人員の確保が最大の課題ではあるものの、赤字病院の増加は医療の継続性にも一石を投ずるからだ。

一方、コロナ禍のステイホームによって外傷、転倒事故が著しく減少した。また、マスクの着用と手洗いの徹底、そして三密を回避して群れないことによって大人でも子供でもインフルエンザを含めた感染症の著しい減少をみた。

医療そのものの需要が減少し、新たな常態ニューノーマルが今後も続くとしたならば、コロナ前の需要は生まれないものと認識する必要があるかもしれない。

そんな中、厚生労働省が22日に発表した人口動態統計(速報)によると、20年に死亡したのは138万4544人で、前年より9373人(0.7%)減った。死亡数は高齢化で年平均2万人程度増えており、減少は11年ぶりだという。また、同省が9月分まで発表している死因別の死亡数(概数)によると、前年同期より最も減少したのは呼吸器系疾患で約1万6千人減っていた。内訳は肺炎(新型コロナなどを除く)が約1万2千人、



インフルエンザが約2千人減っていたという。もちろん、新型コロナによる死亡数増を肺炎等の減少がはるかに凌駕している(図:日本経済新聞2月23日朝刊より)。

さらに、同省が発表した20年の出生数は前年比2.9%減の87万2683人と5年連続で過去最少となった。婚姻数は12.7%減の53万7583組で、減少率は1950年以来70年ぶりの大きさだという。

また、コロナ禍におけるコミュニケーション機会の減少、労働環境の変化が起因するのか、警察庁と厚生労働省は、20年の自殺者数は前年比750人増(3.7%増)の2万919人(速報値)だったと発表した。これまで10年連続で減少していたが、リーマン・ショック直後の09年以来11年ぶりに増加に転じたという。年代別では、中高年層の割合が高く、増減率では20代が17%増(同329人増)と最も高かった。

すなわち、少子化は加速し、高齢者を中心とした疾患の死亡数は減少しているのだ。その上に、価値観の変化だ。コロナ禍で慢性疾患の患者は、病院・診療所へ足繁く行かなくとも大丈夫だと悟り、終末期の患者は、家族や友人とも会えない病院に入院したくなった。

われわれ医療側は、コロナ前とは明らかに違うニューノーマル時代の新たなサービス提供を模索していく時代となったと考えなくてはならないだろう。



2020

健康経営優良法人

Health and productivity

ホワイト500

2021年3月4日 健康優良法人ホワイト500に4年連続認定



第 7 章  
トピックス  
(社会貢献)



## 董仙会トピックス（社会貢献）

日付	内容
2020.4.8	電話診療を開始（恵寿総合病院）
2020.4.27	就職説明会をオンラインで開催
2020.5.29	プレハブ診察室を設置（恵寿総合病院）
2020.6.1	オンライン面会サービス開始
2020.6.3	来院前AI問診を導入（恵寿総合病院）
2020.7.1	一本杉Caféを4ヶ月振りに再開
2020.7.8	シェイクアウトいしかわに参加
2020.7.22	めぐみサマーフェアを開催
2020.8.6	石川県医師会医療功労者表彰式開催 職員5名が受賞
2020.8.12	県警へ「いぬわし」離着陸訓練を実施（恵寿総合病院）
2020.8.14	医療福祉ショップめぐみ・ベンリー七尾店 プレミアム商品券対象店舗に登録
2020.8.21	医療へのいざないオンラインツアーin七尾高校を開催（恵寿総合病院）
2020.9.25	第20回董仙会TQM発表大会をオンラインで開催
2020.10.1	発熱外来を開設（恵寿総合病院）
2020.10.2	看護師特定行為研修修了式を開催 特定行為看護師が誕生
2020.10.9	「AYUMIEYE medical」を導入
2020.10.29	「育Café」をオンラインで開催
2020.10.30	医療へのいざないオンラインツアーin門前高校を開催（恵寿総合病院）
2020.12.1	PCR検査機器を導入
2020.12.1	ローレル&恵寿 イルミネーション点灯式を開催
2020.12.19	医療へのいざないオンラインツアーin羽咋高校を開催（恵寿総合病院）
2020.12.27	自費による新型コロナウイルス検査を開始
2021.1.4	けいじゅヘルスケアシステム新年互礼会をオンラインで開催
2021.1.8	インドネシア人介護技能実習生受け入れ（和光苑）
2021.3.1	iPadつながるプランサービス開始
2021.3.3	カルテコWEB登録開始
2021.3.29	PET-CT新装置導入
2021.3.31	恵寿ローレルクリニック・ローレルハイツ恵寿 合同災害避難訓練

2020.7.1  
けいじゅ一本杉  
一本杉Café 再開



2020.7.22  
めぐみサマーフェア



2020.8.12  
ヘリ着陸訓練

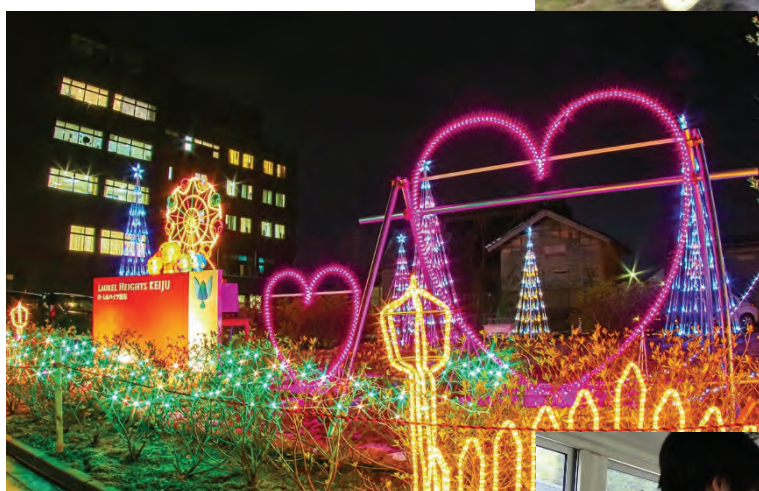


2021.1.8  
インドネシア人実習生 辞令交付式

## 徳充会トピックス（社会貢献）

日付	内容
2020.4.3	石川県精育園 買い物支援バス運行
2020.7.1	もみの木苑 田鶴浜カフェ 送迎車運行
2020.7.3	石川県精育園 買い物支援バス運行
2020.7.8	もみの木苑 田鶴浜カフェ 送迎車運行
2020.7.15	もみの木苑 田鶴浜カフェ 送迎車運行
2020.8.5	もみの木苑 田鶴浜カフェ 送迎車運行
2020.9.4	石川県精育園 買い物支援バス運行
2020.10.2	石川県精育園 買い物支援バス運行
2020.11.14	石川県精育園 地域連携沿道環境創出事業（いしかわ我がまちアドプト制度）花苗植栽
2020.12.1	ローレルハイツ恵寿 イルミネーション点灯式
2020.12.4	石川県精育園 買い物支援バス運行
2021.3.5	石川県精育園 買い物支援バス運行

2020.11.14 石川県精育園  
地域連携沿道環境創出事業  
(いしかわ我がまちアドプト制度) 花苗植栽



2020.12.1 ローレルハイツ恵寿  
イルミネーション点灯式

石川精育園  
買い物支援バス運行





2021年3月26日 PET-CT装置更新

---

けいじゅヘルスケアシステム

## **2020 業績集**

2021年（令和3年）6月1日発行

発行人 社会医療法人財団 董仙会 理事長

社会福祉法人 徳充会 理事長

神野 正博

編集 社会医療法人財団 董仙会 企画部 企画課

---

〒926-8605 石川県七尾市富岡町94番地

TEL:0767-52-3211 FAX:0767-52-3218

ホームページ <https://keiju-hcs.com>

メール [info@keiju.co.jp](mailto:info@keiju.co.jp)

# **Keiju Healthcare System**